

平成 23 年度

裾野市市民意識調査
報告書



平成 24 年 2 月
裾野市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
調査結果のまとめ	2
調査結果	3
回答者の属性	3
1 満足度・重要度調査	6
お住まいの周辺環境について（住環境）	6
裾野市の取り組みについて（市施策）	46
2 特集調査	102
健康について	102
スポーツ活動について	105
住宅用火災警報器の設置について	118
参考資料	125
1 追加クロス集計	125
2 調査票	130

調査の概要

1 調査の目的

平成 23 年度の裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象

本調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施しました。

3 調査期間

平成 23 年 9 月 6 日に発送し、平成 23 年 9 月 25 日を投函締め切りとしました。


4 調査方法

郵送配布、郵送回収

5 回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
1,000 票	514	51.4%

6 調査結果の表示方法

- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

調査結果のまとめ

重要度・満足度調査

住環境改善の重要課題は道路網・歩道、鉄道・バス、地震災害対策。

「道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況」、「鉄道やバスの便利さ」、「地震災害に強いまちづくり」については、満足度が低く重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要があると考えられます。特に地震災害対策については、経年変化からみても必要性が高まっています。

市施策について公園整備、スポーツ、生涯学習、青少年育成の分野で満足度が下がっている。

経年変化が比較できる9項目のうち市施策への満足度が公園整備、スポーツ、生涯学習、青少年育成の分野で低下しています。

市施策の重要課題は行政効率化、土地利用、不法投棄。

「市の予算の使い方、対応の早さなど行政の効率化」、「市内の土地利用のバランスの良さ」、「ごみの不法投棄や公害への対策」については、満足度が低く重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要があると考えられます。

特集調査

あまり健康でないと感じている方は2割。

自分があまり健康ではないと感じている方は、全体の2割です。45歳前半までは、自分が健康だと感じている方が多い傾向があります。

スポーツをする方は男性、若者、65歳以上に多い。

スポーツをする方は男性、若者、65歳以上に多い傾向があり、特に若い方は健康づくりよりも楽しみのためにスポーツをしています。20～30代をはじめとして、仕事で忙しいことや近くに施設がないことがスポーツや運動の妨げになっていると感じており、高齢になるほどスポーツや運動に施設を利用していません。

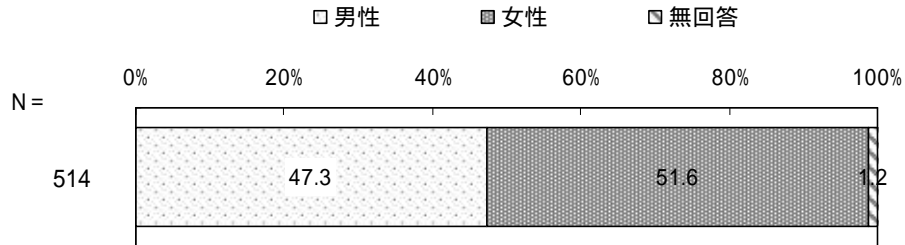
住宅用火災警報器が設置されていない住宅は27%。

住宅用火災警報器の設置は共同住宅で設置が進んでいます。一戸建て・長屋建てで設置負担費用が多いために設置されていないケースがあるようです。

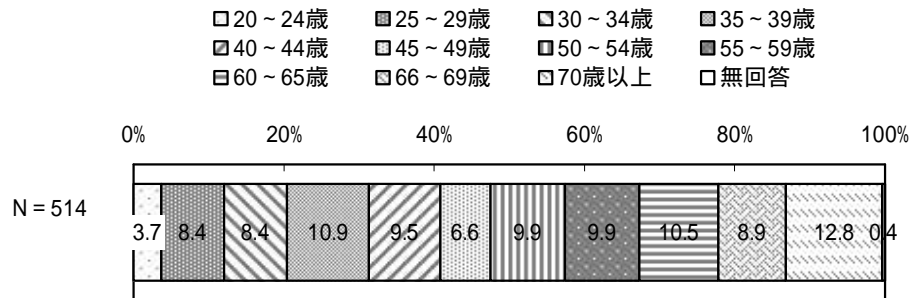
調査結果

回答者の属性

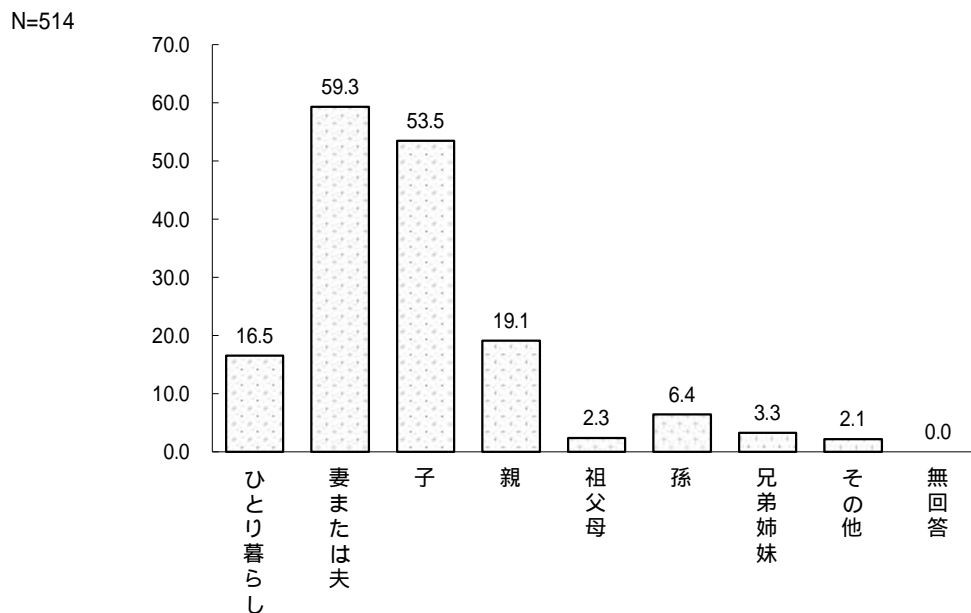
F1 性別



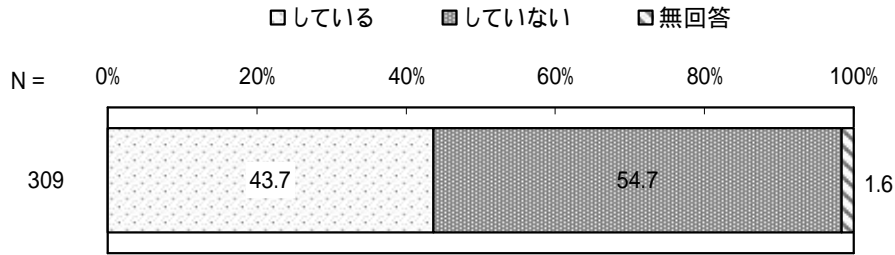
F2 年代



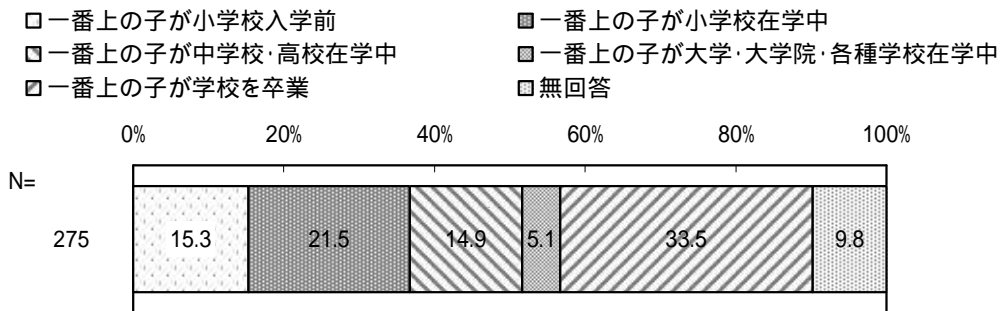
F3 同居の状況



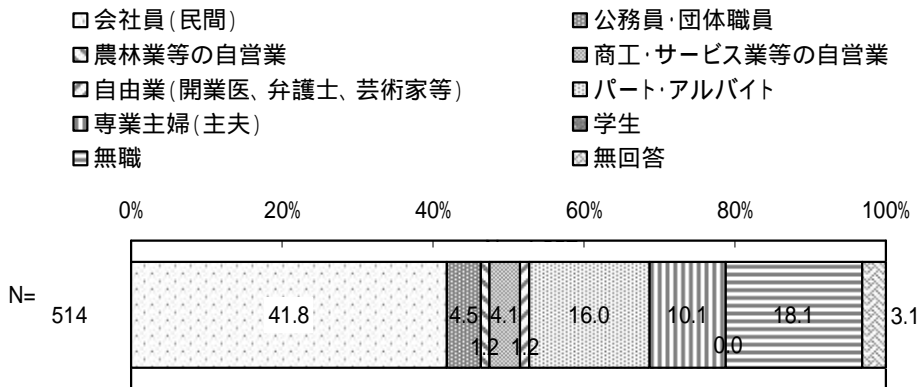
F3-1 共働きの状況



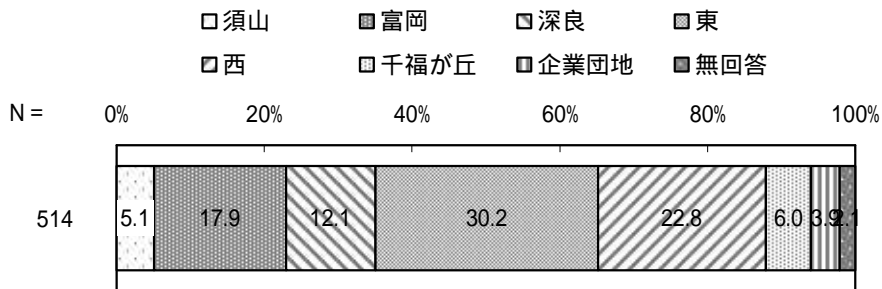
F3-2 子どもの状況



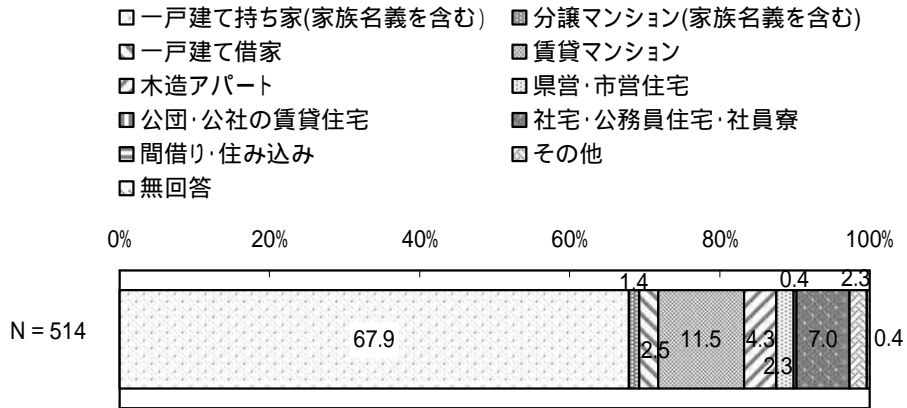
F4 就労の状況



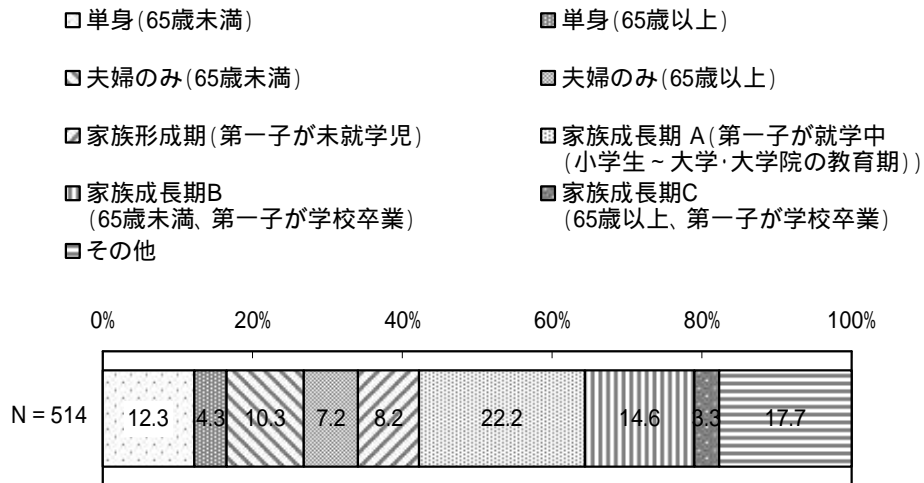
F5 居住地区



F6 住宅の状況



F7 ライフステージ別の状況



1 満足度・重要度調査

お住まいの周辺環境について（住環境）

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境について、感じていることをお答えください。（それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに ）

(1)現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

各項目の回答者数に下表の点数をかけて合計を出し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

算出された満足度・重要度得点をもとに、各事業の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

満足度 & 重要度ベスト3

満足度		順位	重要度	
事業名	得点		得点	事業名
身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	1位	1.66	必要は時に適切な医療が受けられる環境
不安のない消防体制と救急体制の充実	0.23	2位	1.62	地震災害に強いまちづくり
空気や河川の水のきれいさ	0.22	3位	1.56	犯罪のおきにくい安心なまちづくり

満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題の検討が必要）

順位	事業名	満足度	重要度	点数差 (満足度-重要度)
1位	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.74	1.34	-2.08
2位	鉄道やバスの便利さ	-0.92	1.14	-2.06
3位	地震災害に強いまちづくり	-0.25	1.62	-1.86

点数差 = 満足度 - 重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

満足度・重要度による順位

満足度	点数	順位	点数	重要度
チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	1位	1.66	ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実	0.23	2位	1.62	エ 地震災害に強いまちづくり
ソ 空気や河川の水のきれいさ	0.22	3位	1.56	オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境	0.21	4位	1.53	ク 不安のない消防体制と救急体制の充実
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境	0.17	5位	1.42	カ 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」	0.13	6位	1.34	サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況
ス まちなみや自然の景観の美しさ	0.10	7位	1.28	テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活	0.09	8位	1.25	ソ 空気や河川の水のきれいさ
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ	0.05	9位	1.25	タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉	0.01	10位	1.20	イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度	0.01	11位	1.16	コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備
ツ 河川や水路の整備状況	-0.05	12位	1.14	シ 鉄道やバスの便利さ
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり	-0.06	13位	1.14	キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活
カ 交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み	-0.17	14位	1.14	ツ 河川や水路の整備状況
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	-0.23	15位	1.05	セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境
エ 地震災害に強いまちづくり	-0.25	16位	1.05	ケ 公園などの身近な緑地の環境整備
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.29	17位	0.98	ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.74	18位	0.98	ス まちなみや自然の景観の美しさ
シ 鉄道やバスの便利さ	-0.92	19位	0.90	チ 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

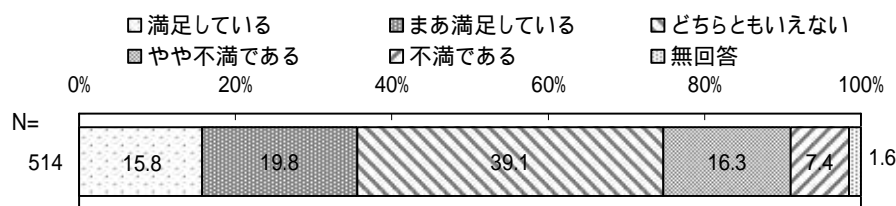
【問 1 満足度】

ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境

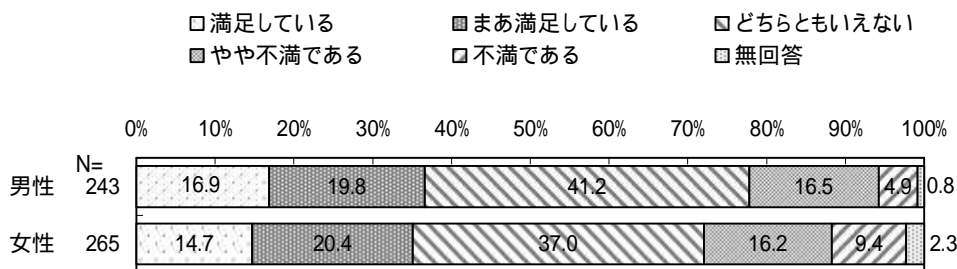
満足度について年代別にみると、他の年代に比べ、35～44歳で、「満足」と「まあ満足している」をあわせた、満足だと感じている人の割合が高く5割以上。ライフステージ別にみると、65歳未満の単身者で最も満足度が低く、家族形成期（第一子が未就学児）で満足だと感じている人の割合が最も高く6割以上となっています。

追加クロス（問1ア満足度×問5）は「参考資料」を参照

【全体】

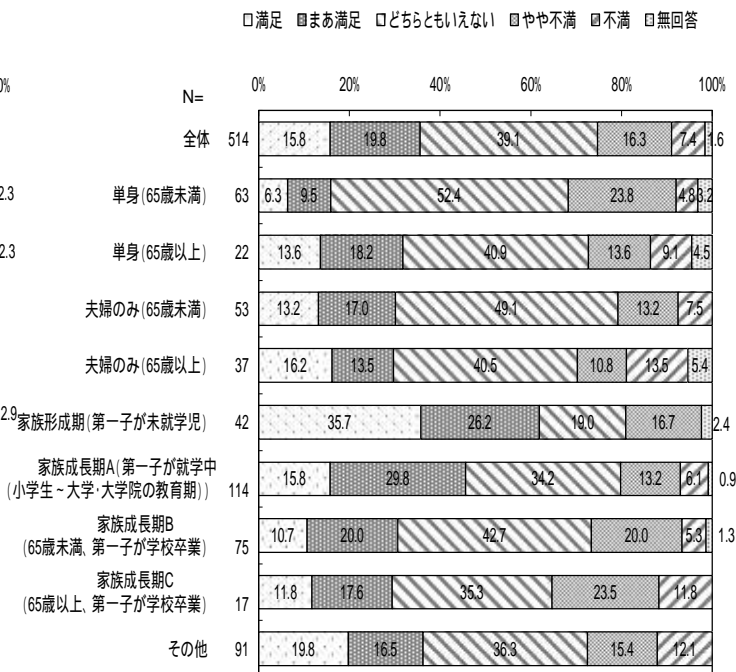
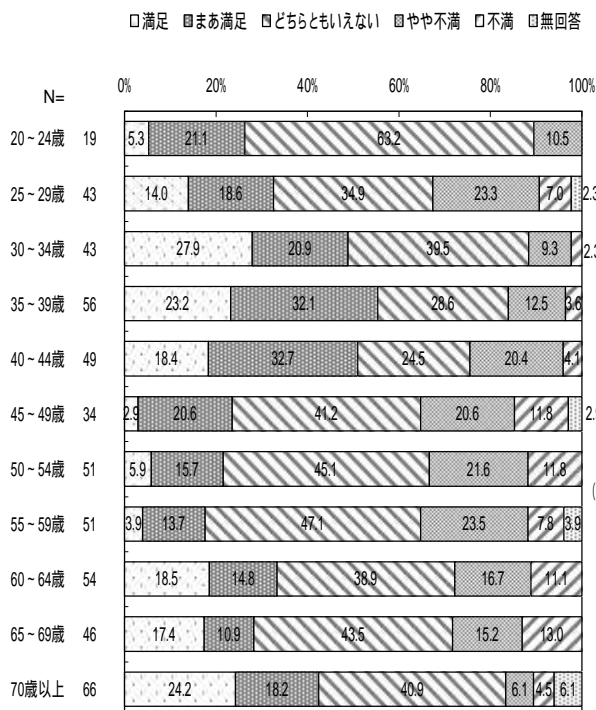


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



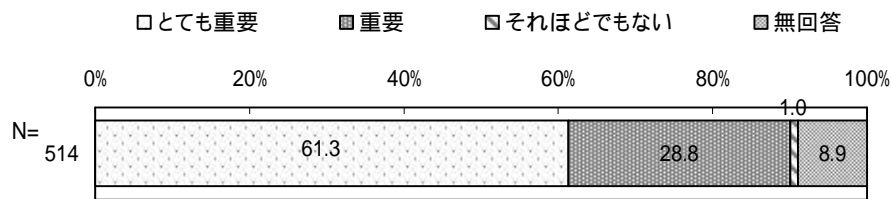
【問1 重要度】

ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境

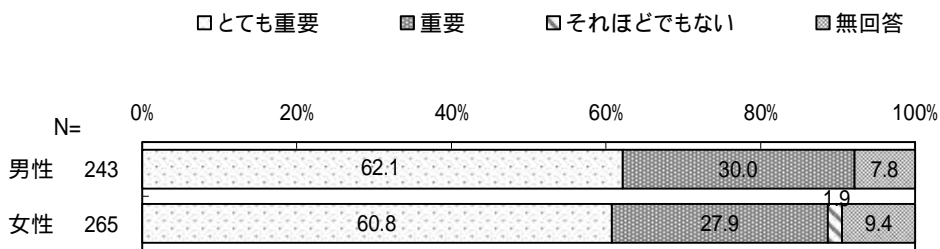
重要度を全体で見ると、「とても重要」が6割以上と高くなっています。年代別で見ると20～24歳と70歳以上で「とても重要」の割合が低いものの、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合は、すべての年代で7割以上。特に30～34歳で「とても重要」の割合が8割と高くなっています。ライフステージ別で見ると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で「とても重要」の割合が23.5%と低くなっています。

追加クロス（問1ア重要度×問5）は「参考資料」を参照

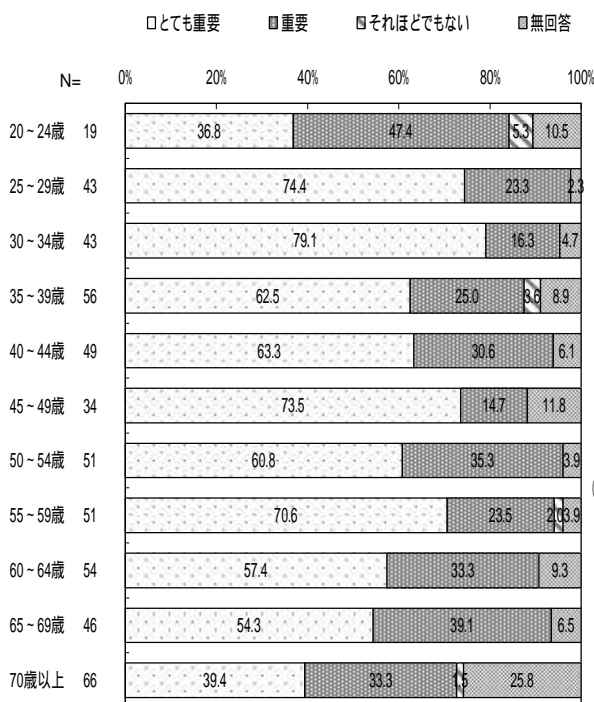
【全体】



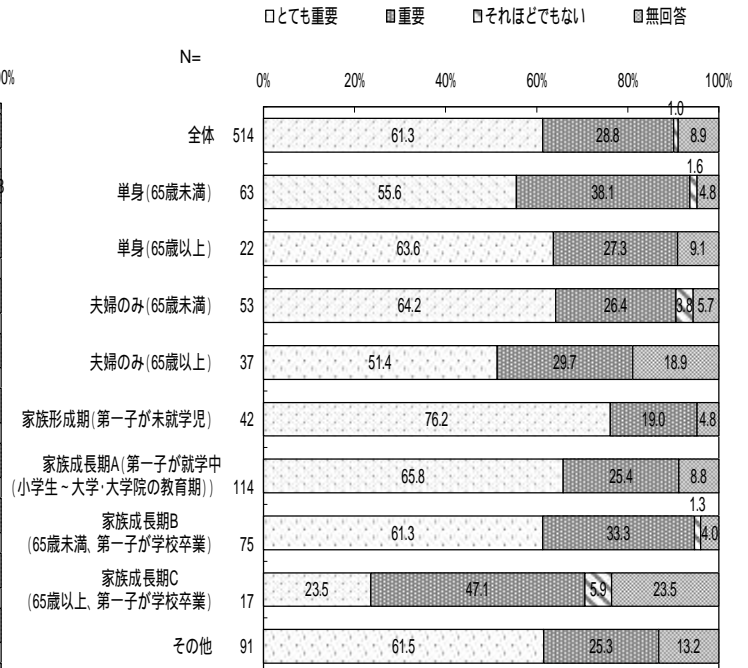
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

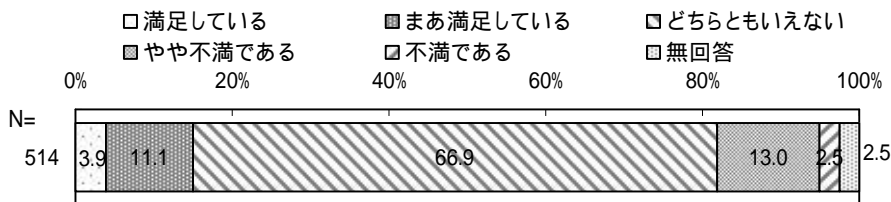


【問1 満足度】

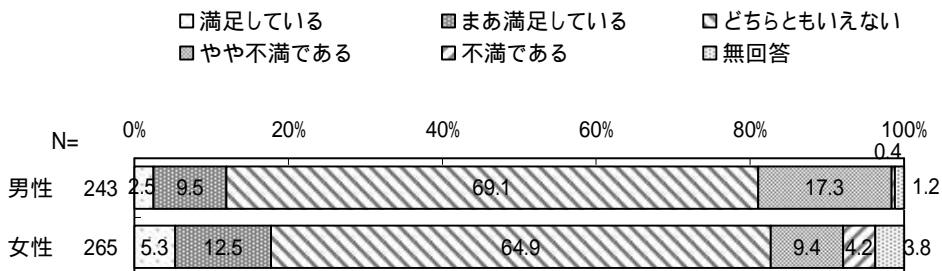
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉

満足度について、全体でみると「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合と「やや不満」と「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が同程度。性別でみると、男性に比べ、女性でやや満足度が高くなっています。ライフステージ別でみると、65歳以上の単身のみ「満足している」と答えた人が3割を越えています。

【全体】

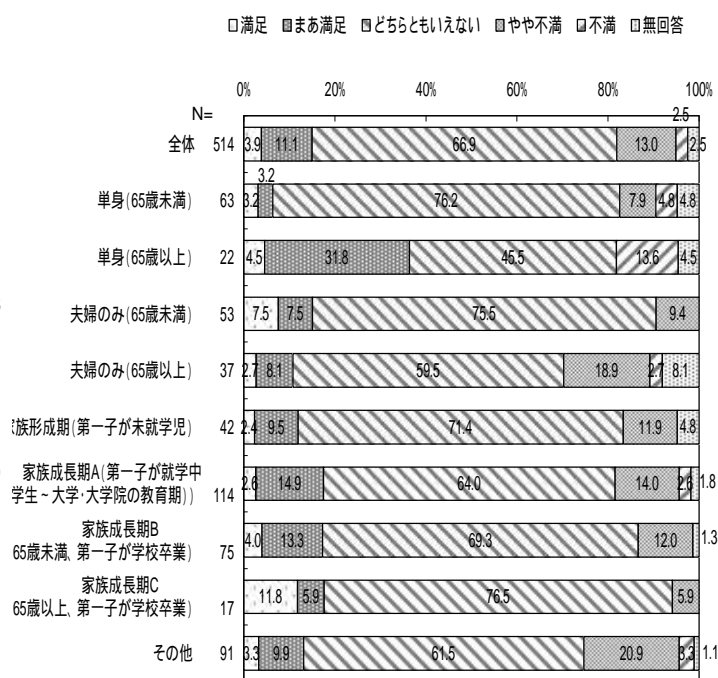
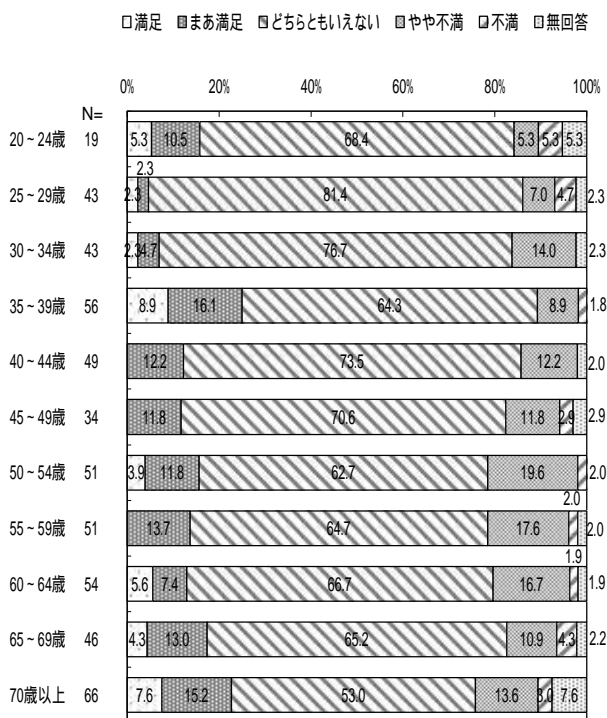


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

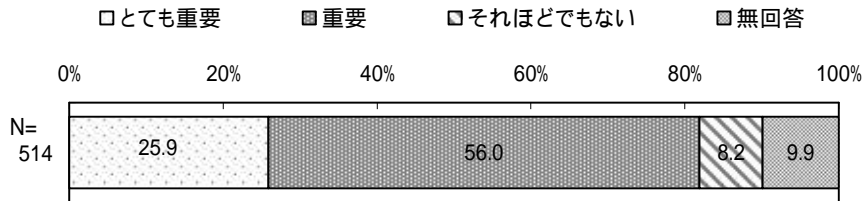


【問1 重要度】

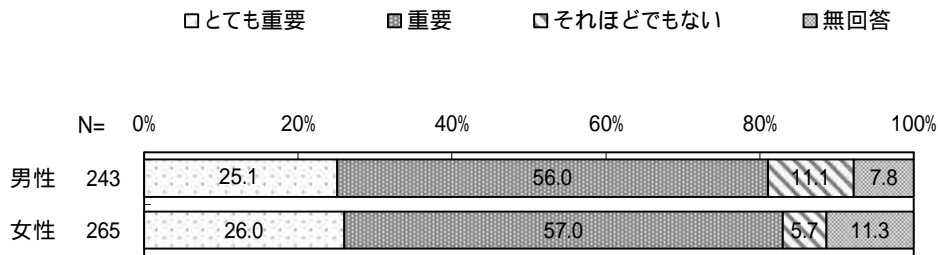
イ 近隣住民が共に支えあう地域福祉

重要度を全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く8割以上。年代別で見ると、他の年代に比べ、20～29歳で「それほどでもない」の割合が高く関心が薄い傾向がみられます。ライフステージ別で見ると、単身の65歳以上で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

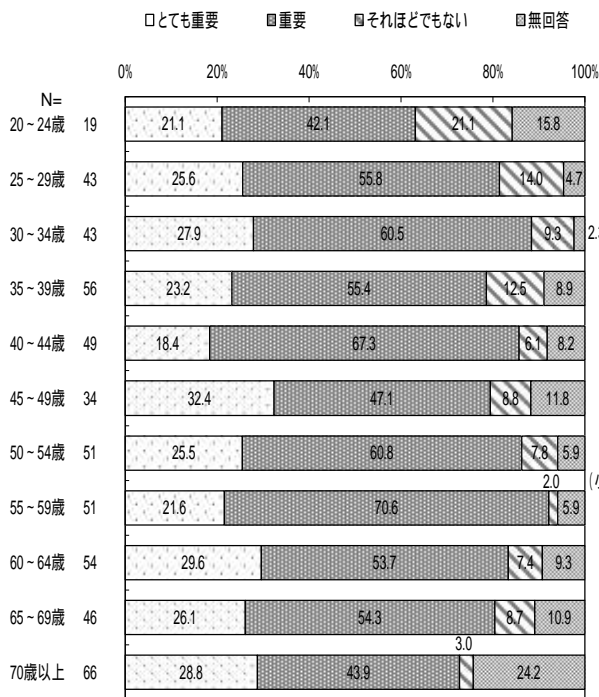
【全体】



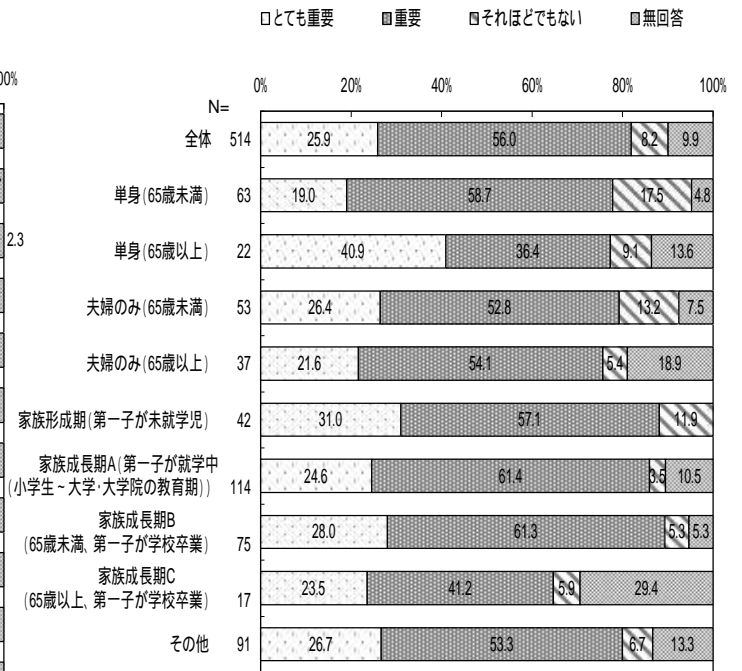
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

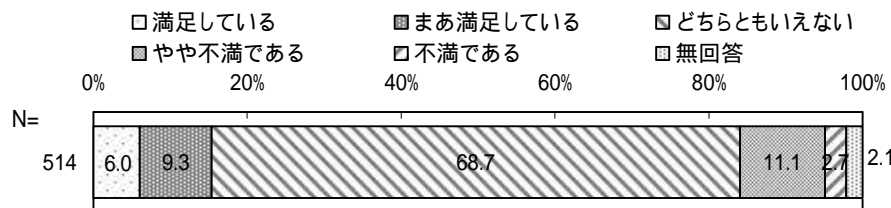


【問1 満足度】

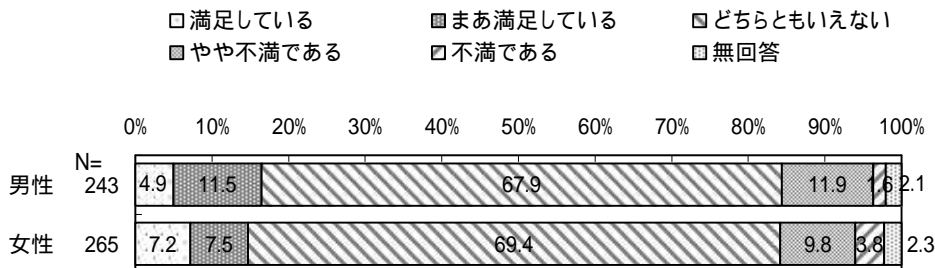
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

満足度について全体でみると、どちらともいえない人の割合が高く6割以上。年代別でみると45～49歳で特に満足だと感じている人の割合が低くなっています。ライフステージ別に見ると、他に比べ単身（65歳以上）で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人が4割と高くなっています。

【全体】

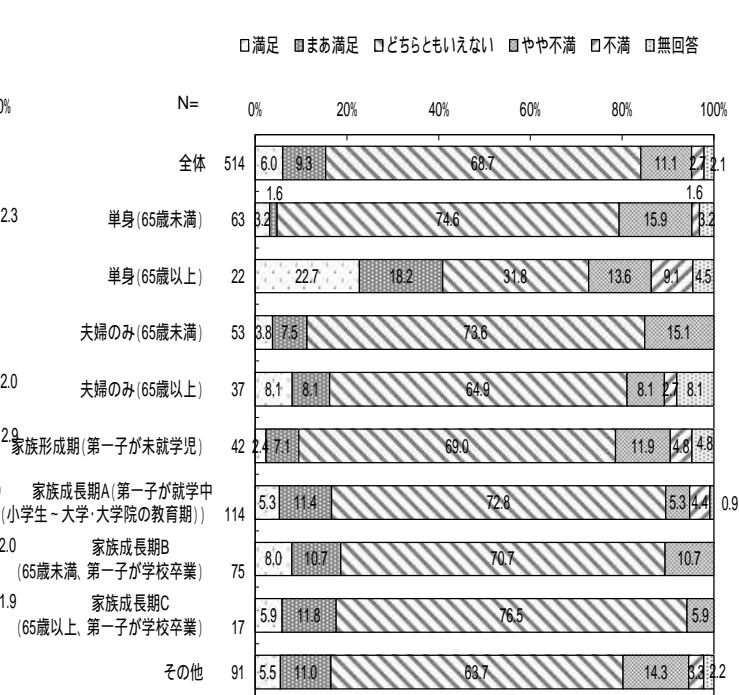
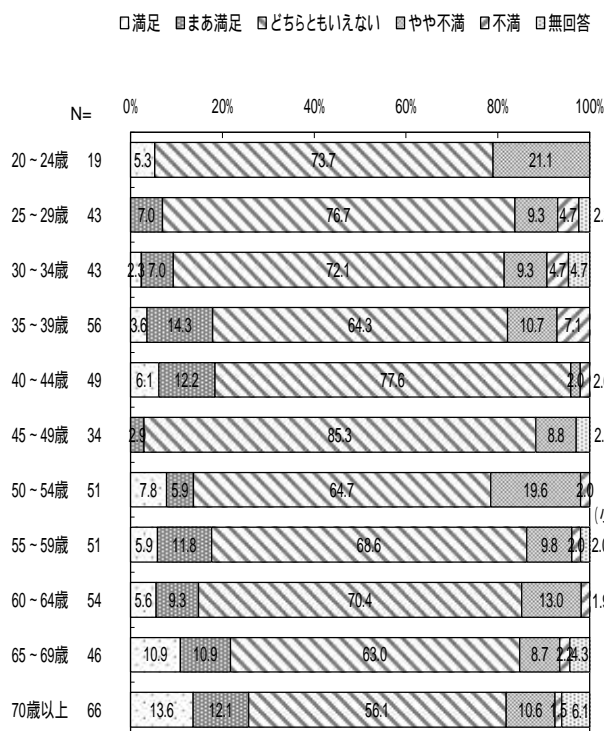


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

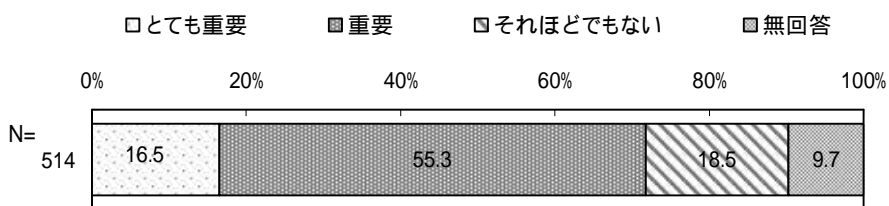


【問1 重要度】

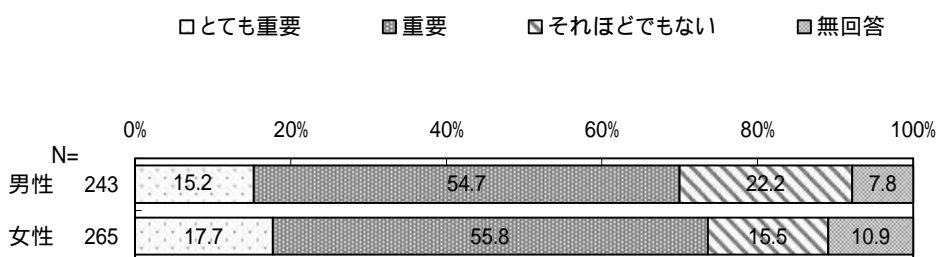
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

重要度を性別でみると、女性に比べ男性で「それほどでもない」の割合が高く、関心が薄い。年代別でみると、若い世代で「それほどでもない」の割合が高く関心の薄い傾向がみられます。ライフステージ別でみると、単身（65歳未満）では「それほどでもない」が4割近くと関心が薄いのにに対し、単身（65歳以上）になると「とても重要」だと感じている人の割合が最も多くなっています。

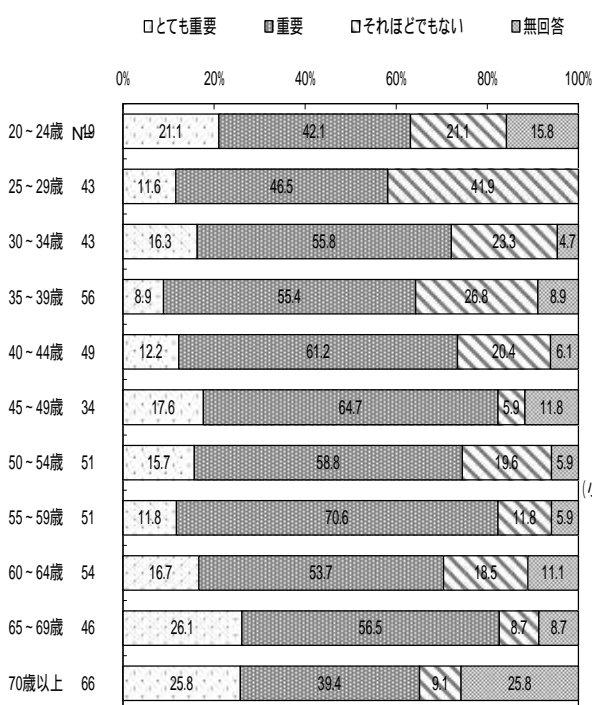
【全体】



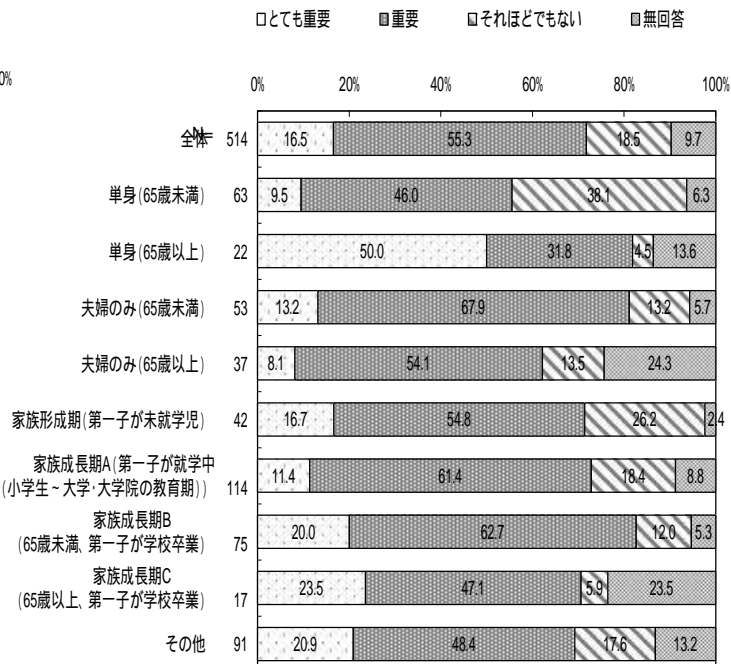
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

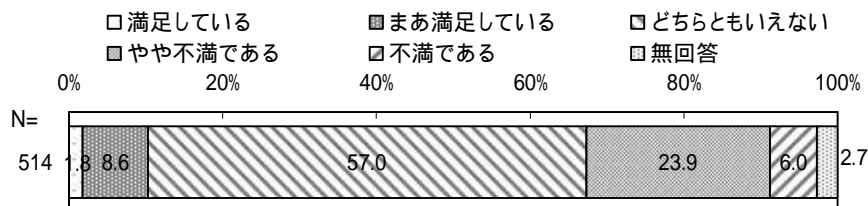


【問1 満足度】

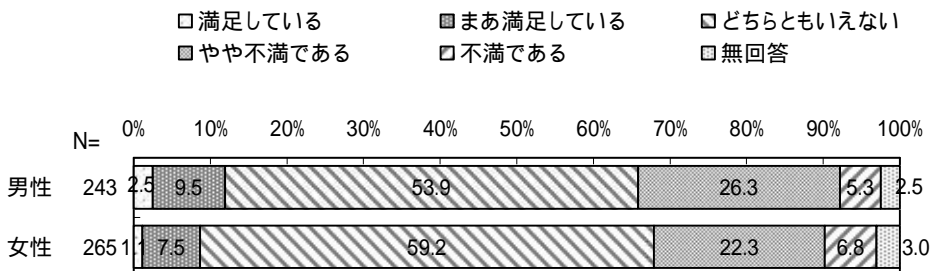
エ 地震災害に強いまちづくり

満足度を全体で見ると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満と感じている人の割合が満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別で見ると、25～29歳で不満だと感じている人の割合が特に高く4割以上。ライフステージ別で見ると、65歳未満の単身、夫婦のみで不満だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

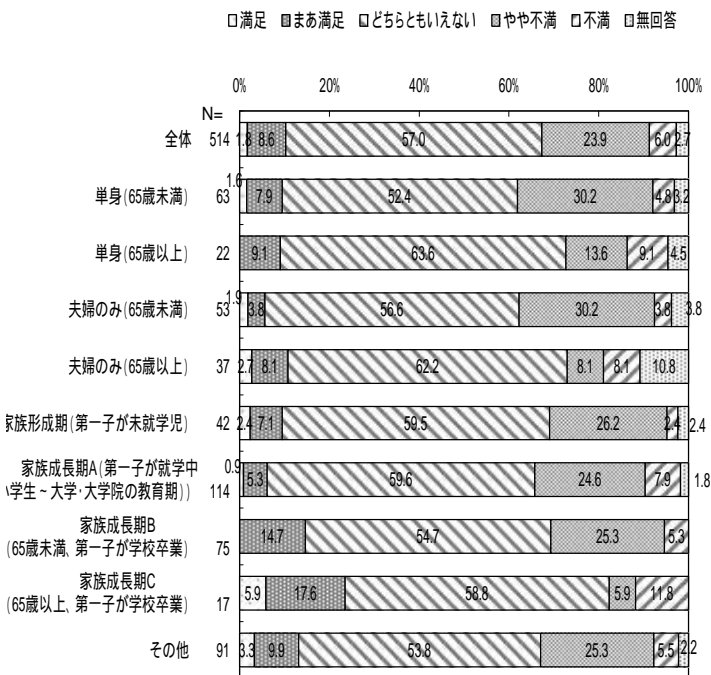
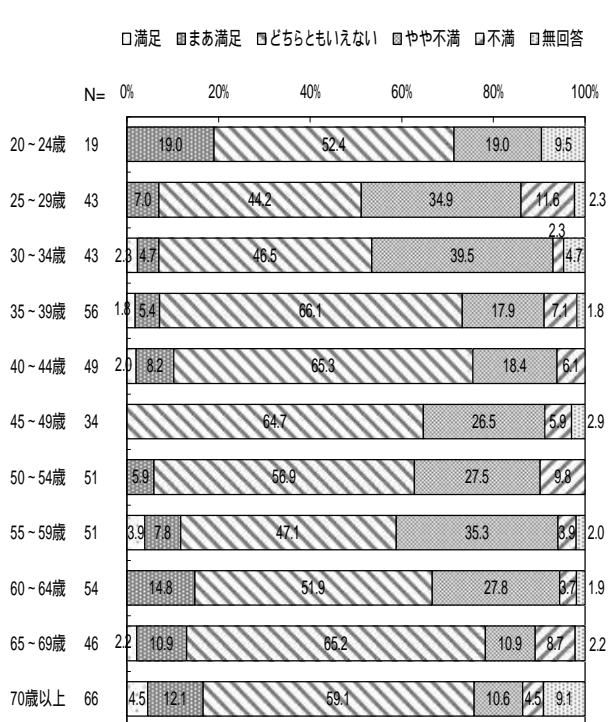


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

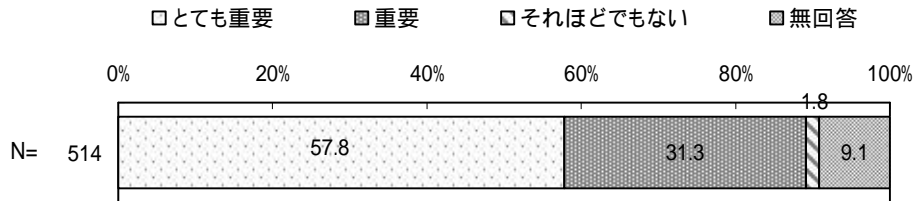


【問1 重要度】

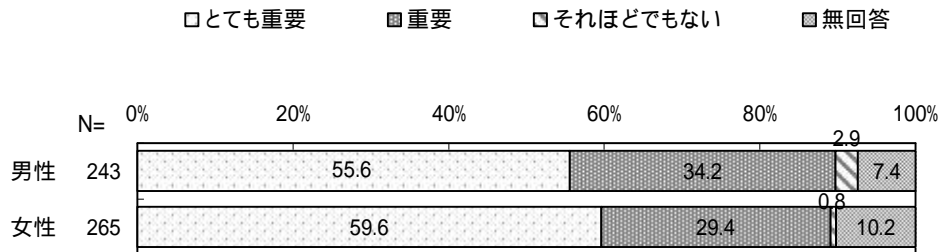
エ 地震災害に強いまちづくり

重要度について年代別にみると、他の年代に比べ、30～34歳で「とても重要」だと感じている人が7割以上。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と感じている人が最も多くなっています。

【全体】

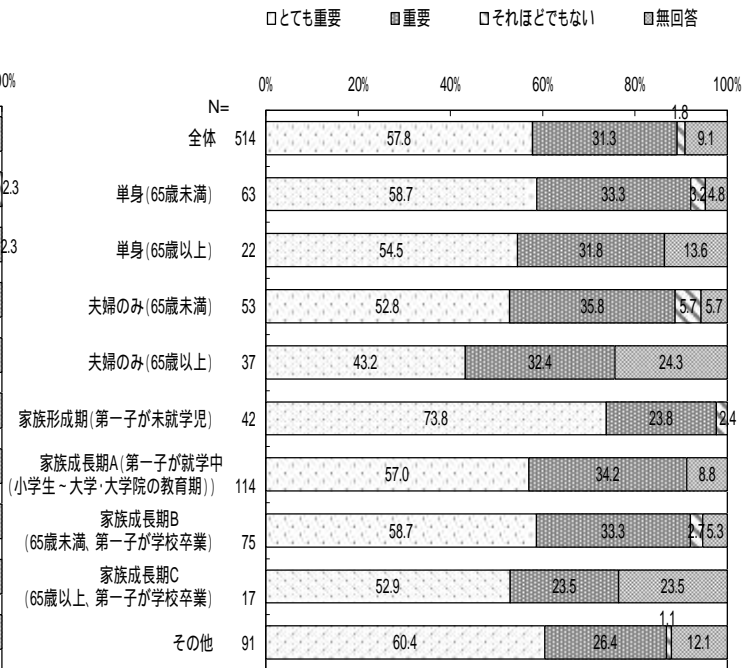
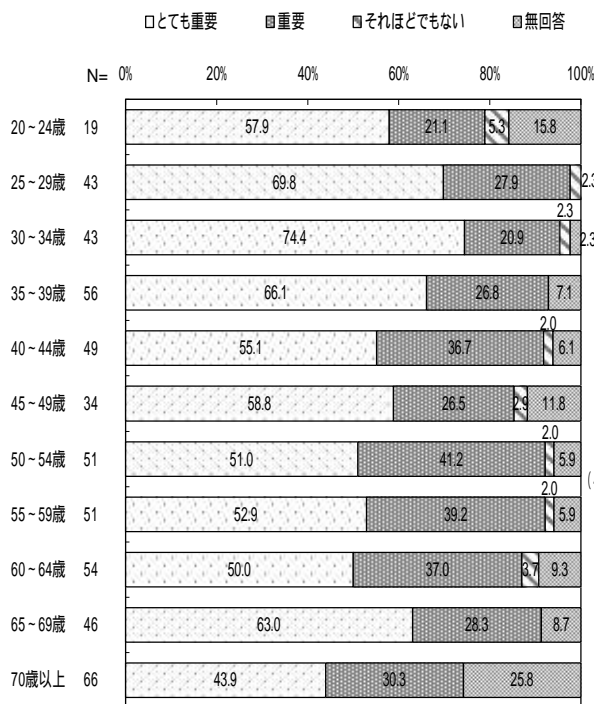


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

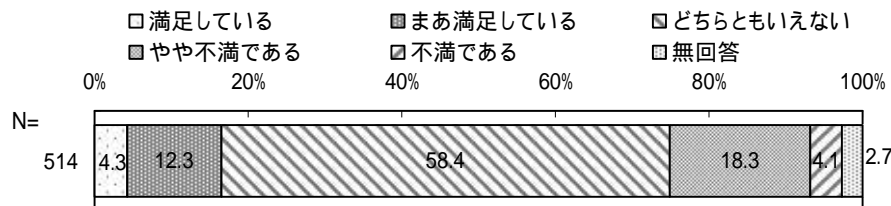


【問1 満足度】

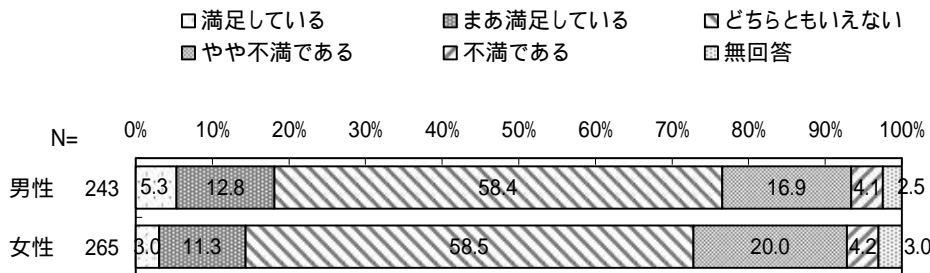
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

満足度について全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合より、「やや不満」と「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合がやや高くなっています。年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で「やや不満」と「不満」を合わせた不満だと感じている人の割合が4割以上と高くなっています。

【全体】

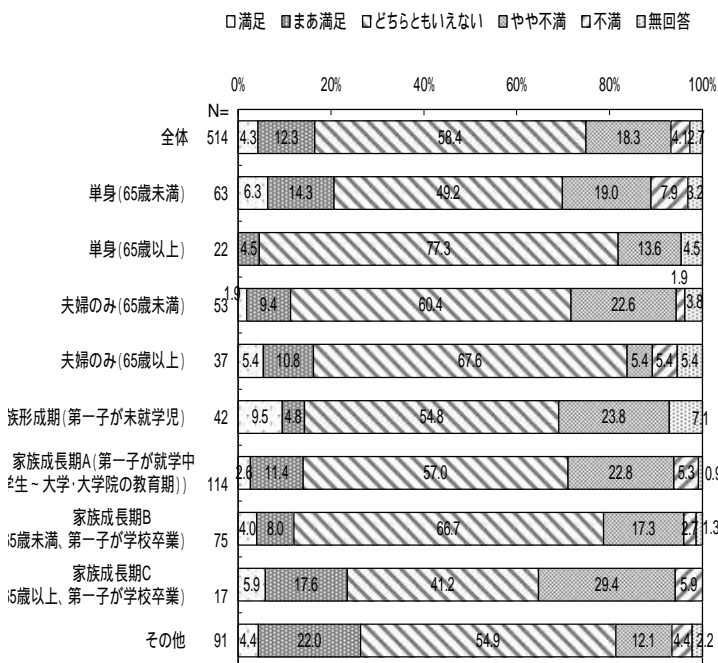
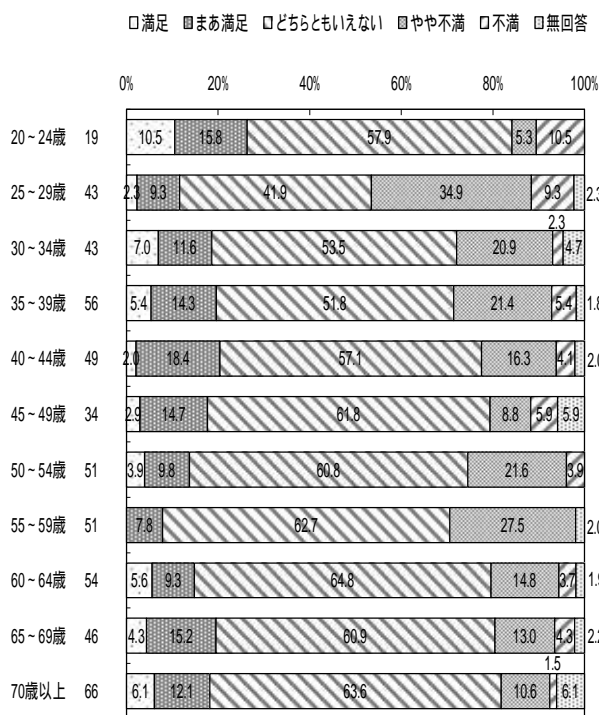


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

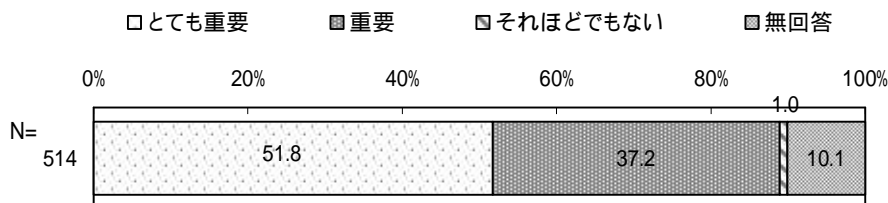


【問1 重要度】

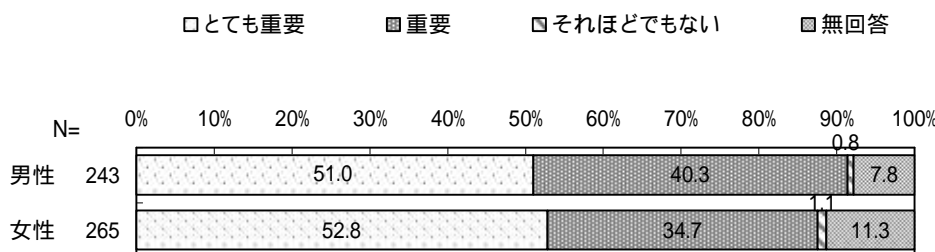
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

重要度を全体で見ると、「とても重要」と「重要」を合わせ重要だと感じている人の割合が約9割と高くなっています。年代別で見ると、30～34歳で「とても重要」の割合が、ライフステージ別で見ると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高くなっています。

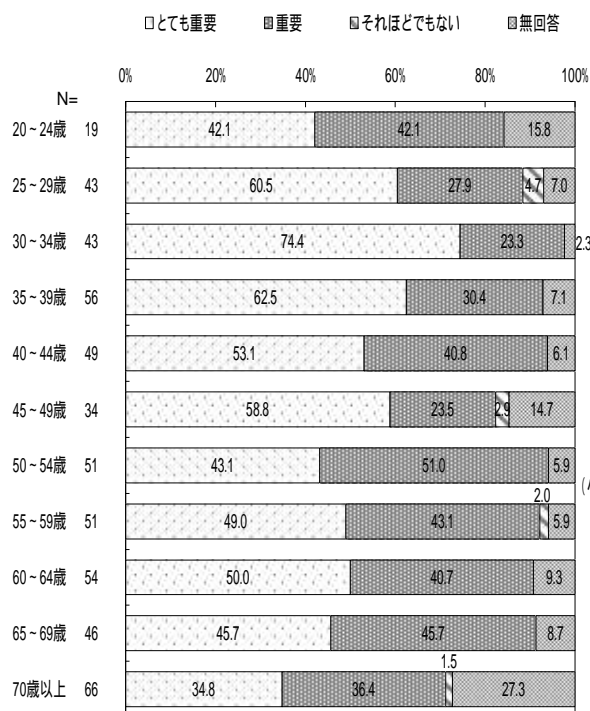
【全体】



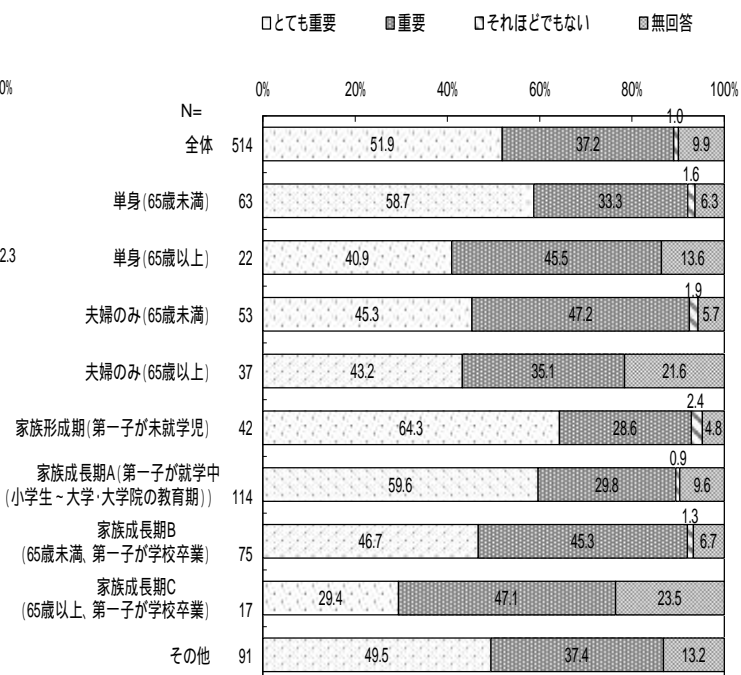
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

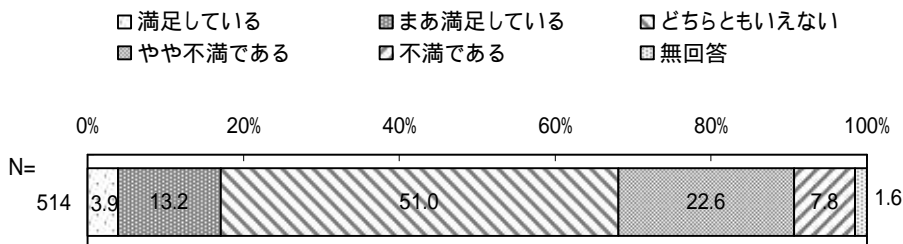


【問1 満足度】

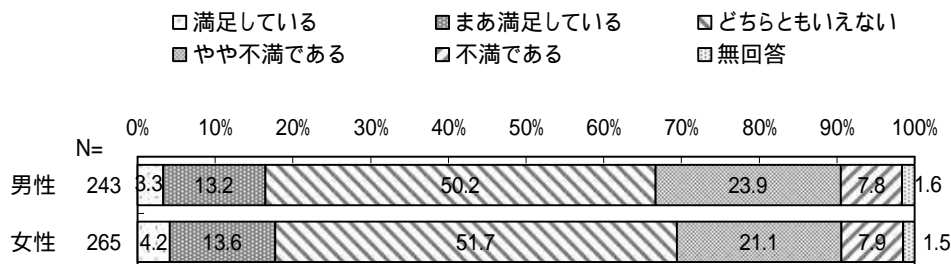
カ 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

満足度を全体でみると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が3割と満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）で満足している人の割合が最も高くなっています。

【全体】

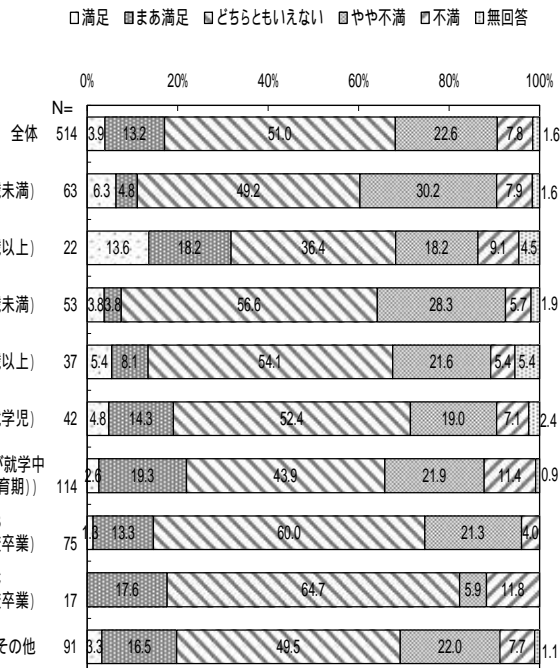
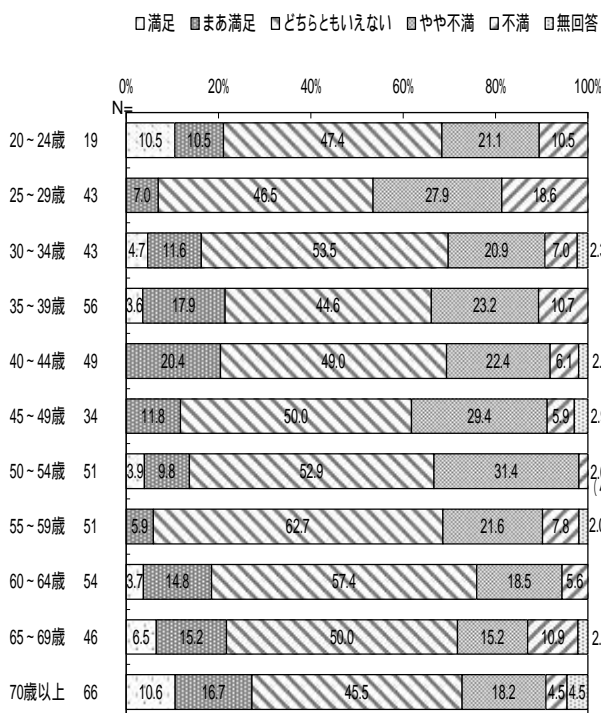


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

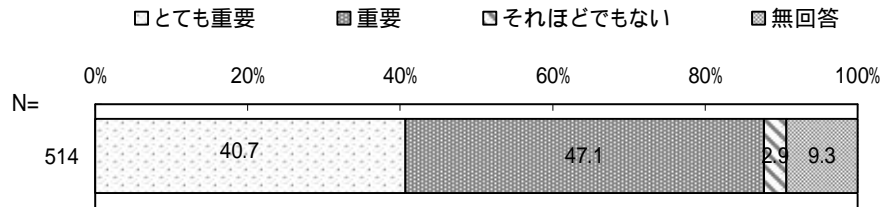


【問1 重要度】

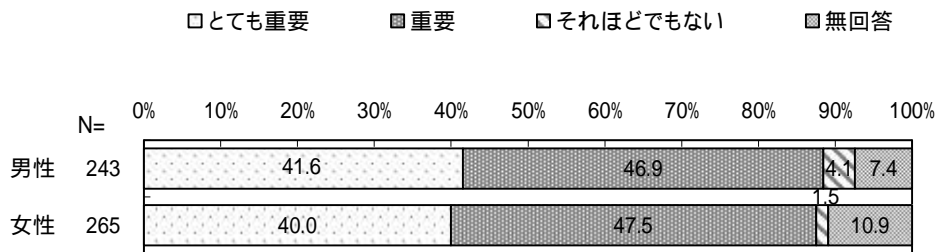
カ 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

重要度を全体で見ると、「とても重要」と「重要」を合わせた重要と感じている人の割合が約9割。ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が最も高くなっています。

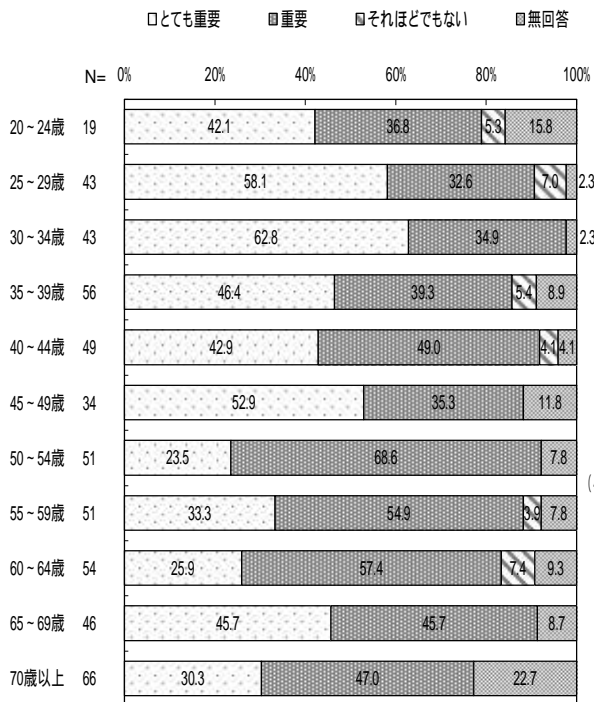
【全体】



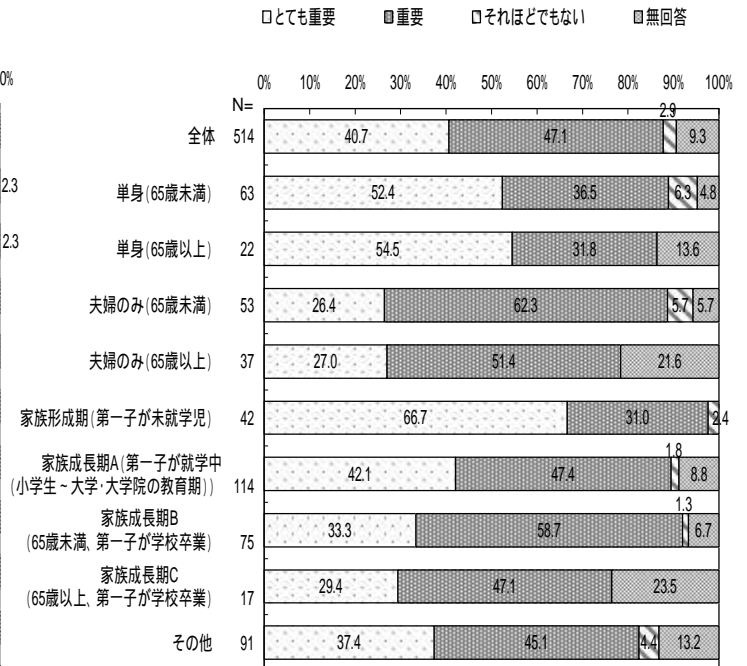
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

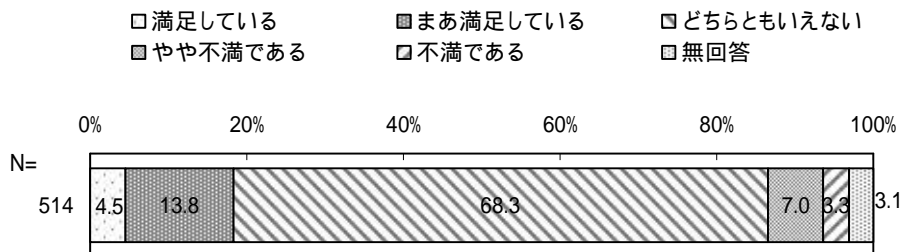


【問1 満足度】

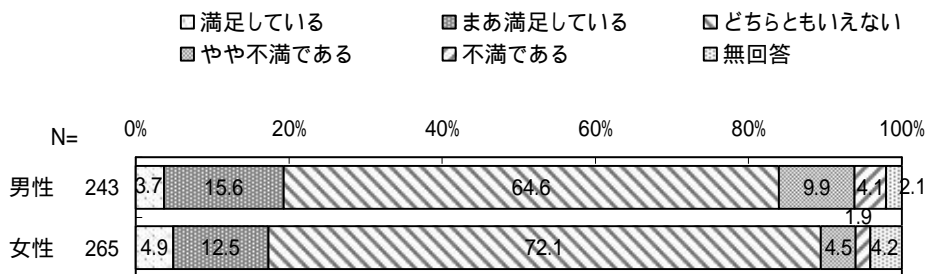
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活

満足度について全体でみると、「どちらともいえない」が最も多く7割近くを占めています。ライフステージ別でみると、他に比べ単身（65歳以上）で「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

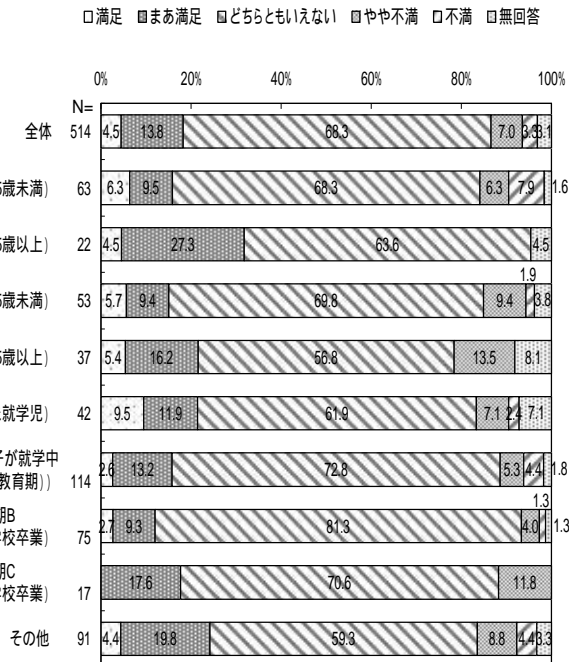
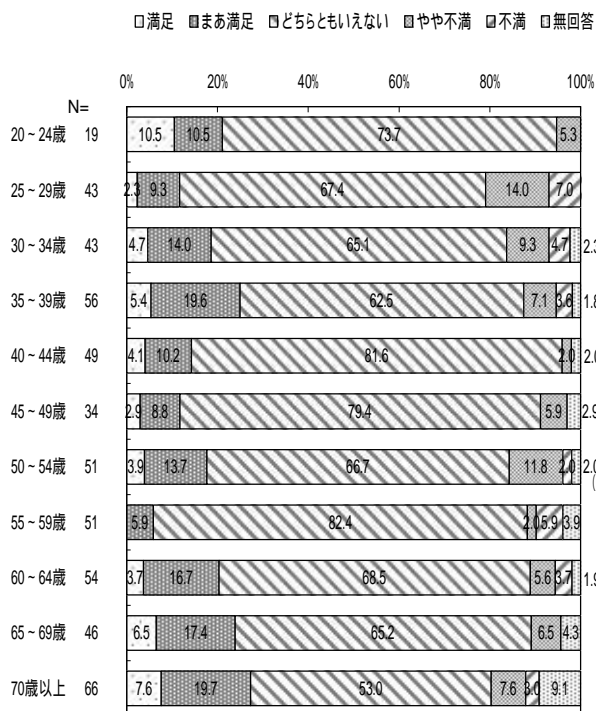


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

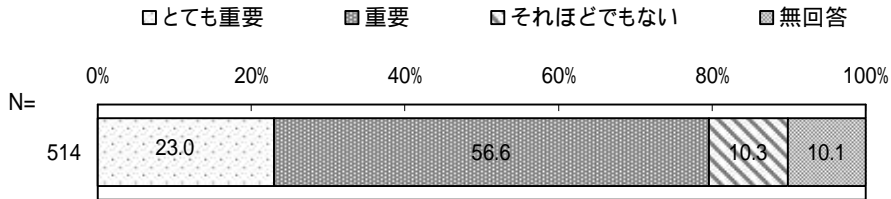


【問1 重要度】

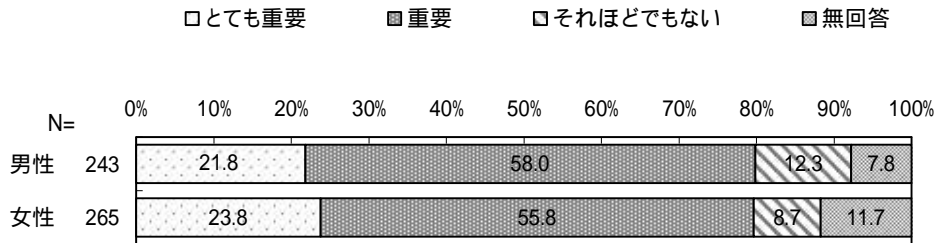
キ トラブルのない、安全で豊かな消費生活

重要度を性別、年代別でみると、大きな差異はみられませんが、ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）と家族成長期A（小学生～大学・大学院の教育期）で「とても重要」の割合が高くなっています。

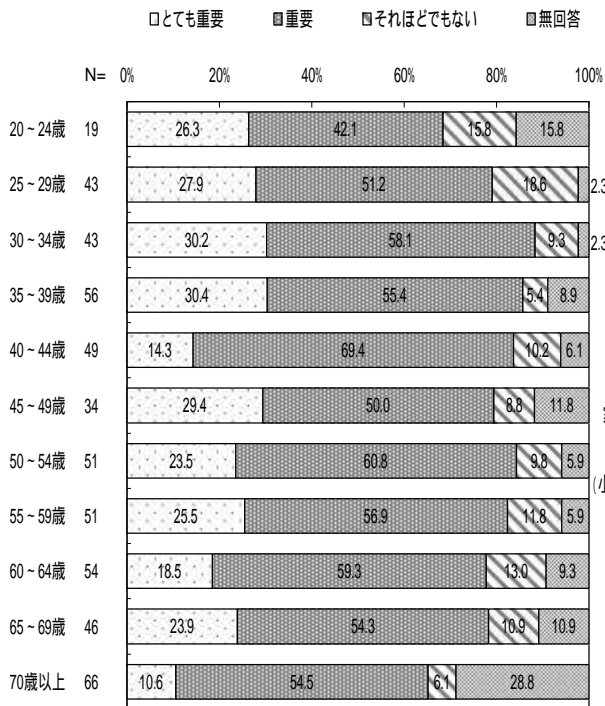
【全体】



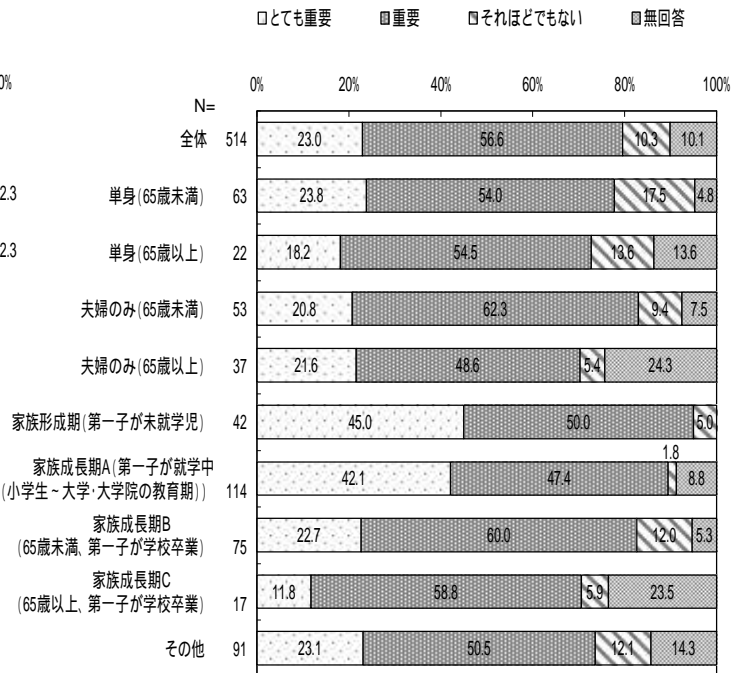
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

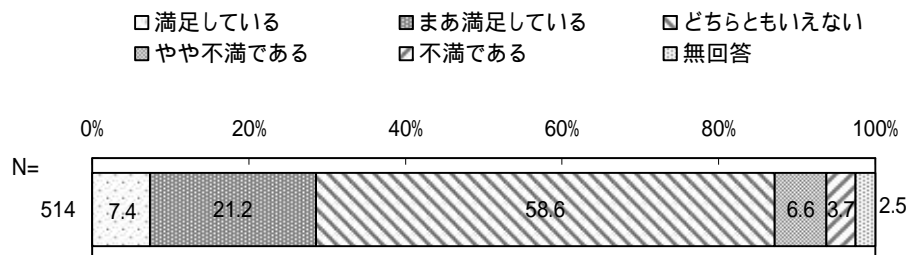


【問1 満足度】

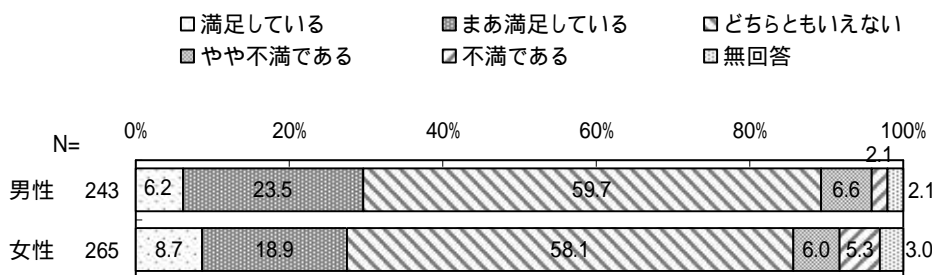
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実

満足度を全体で見ると、「満足」と「まあ満足」をあわせ満足だと感じている人の割合は28.6%。年代別で見ると、年齢が高くなるにつれ満足度が高い傾向にあります。ライフステージ別で見ると単身(65歳以上)で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が最も高く、単身(65歳未満)では満足している人の割合が低くなっています。

【全体】

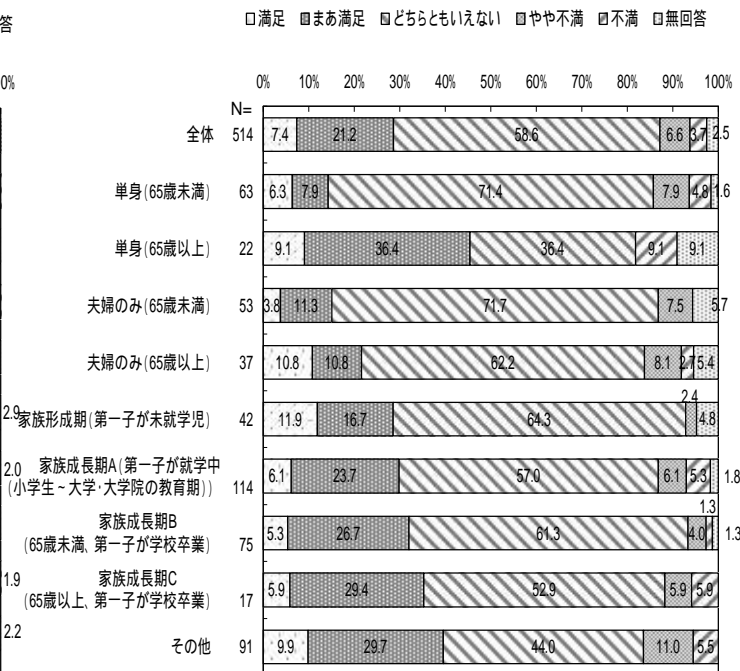
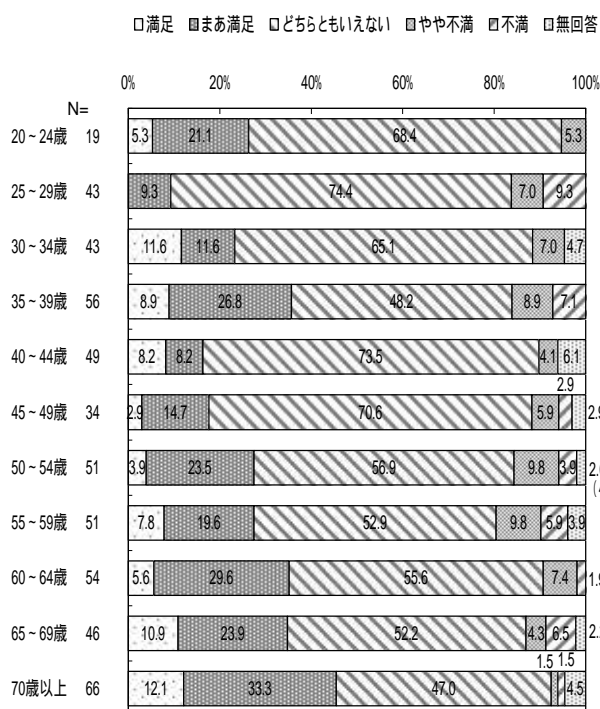


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

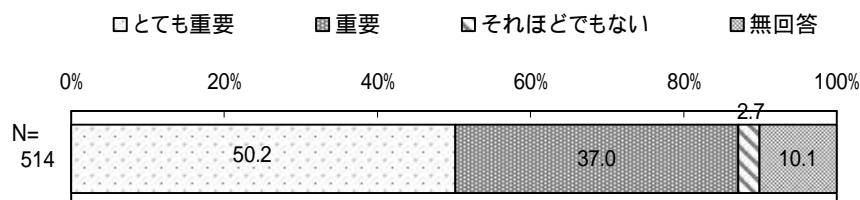


【問1 重要度】

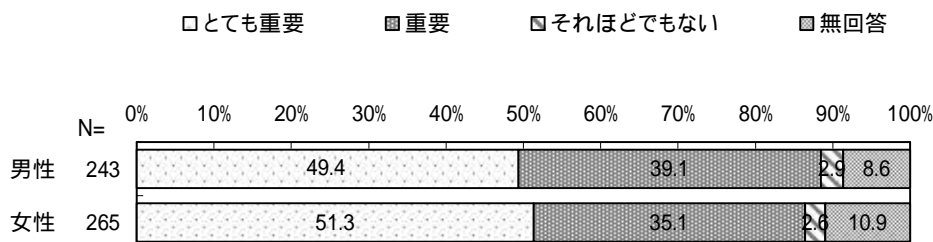
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実

重要度を全体で見ると、「とても重要」が5割を超えています。ライフステージ別で見ると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」が6割を超える他には性別、年代別で見ても大きな差異はみられません。

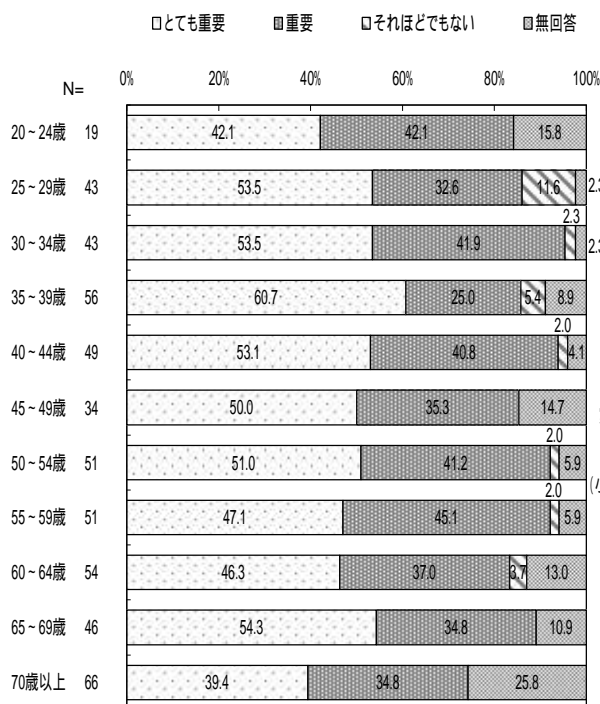
【全体】



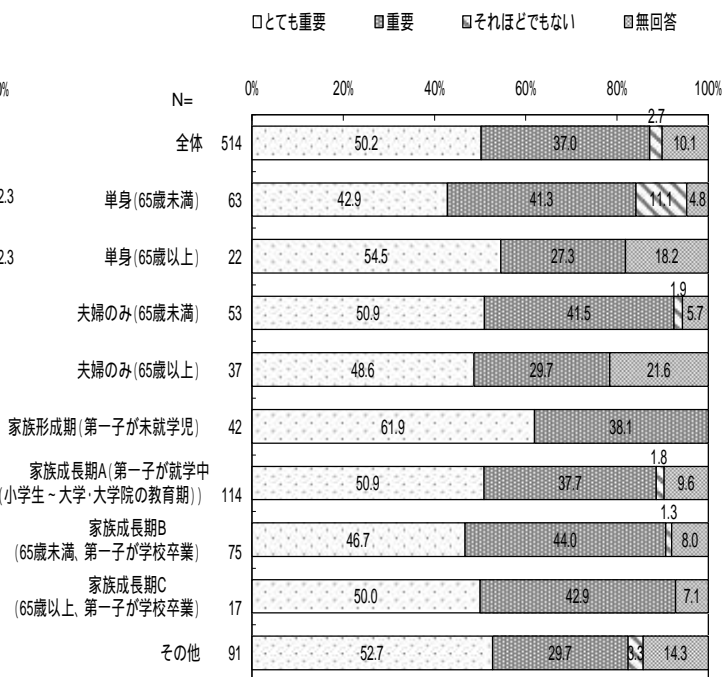
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

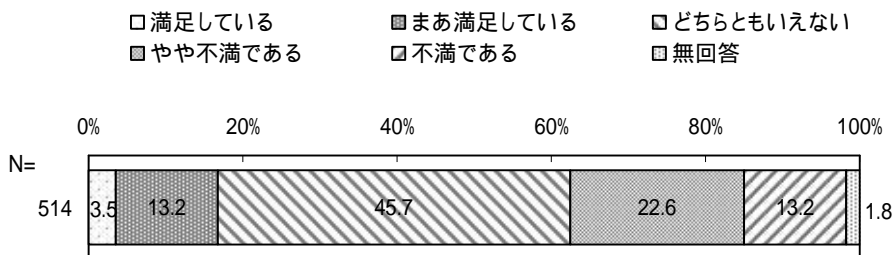


【問1 満足度】

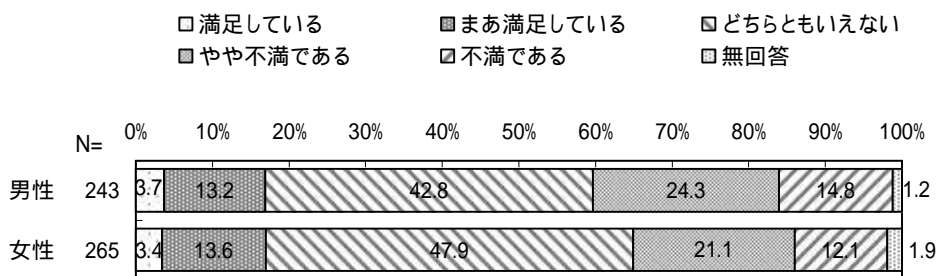
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備

満足度を全体で見ると、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合より、「不満」「やや不満」を合わせた不満である人の割合が2倍以上高くなっています。ライフステージ別で見ると、特に夫婦のみ（65歳未満）で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

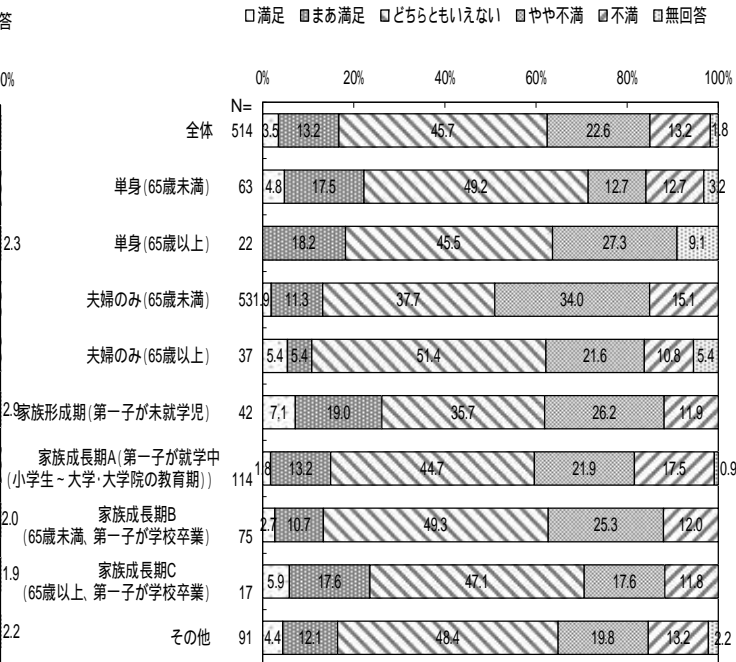
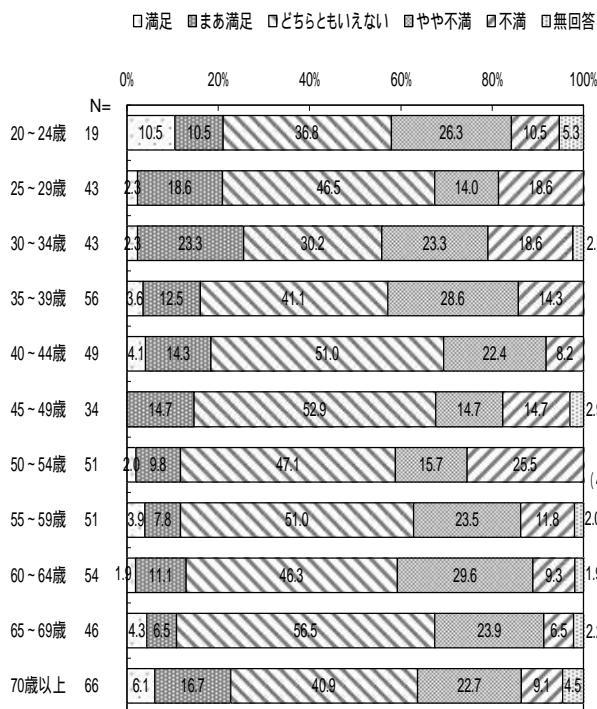


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

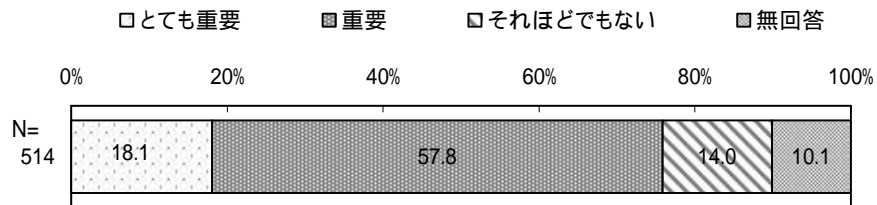


【問1 重要度】

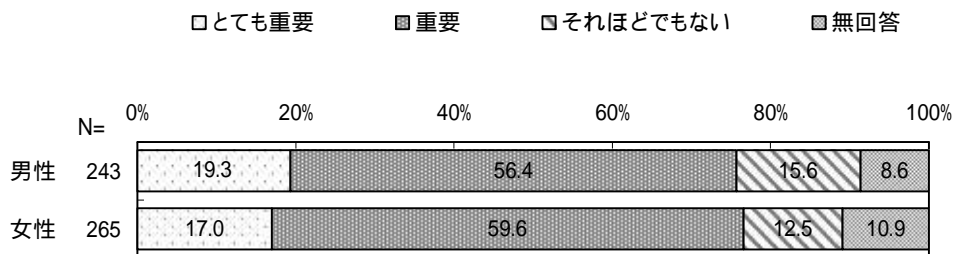
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備

重要度を年代別で見ると、20～39歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

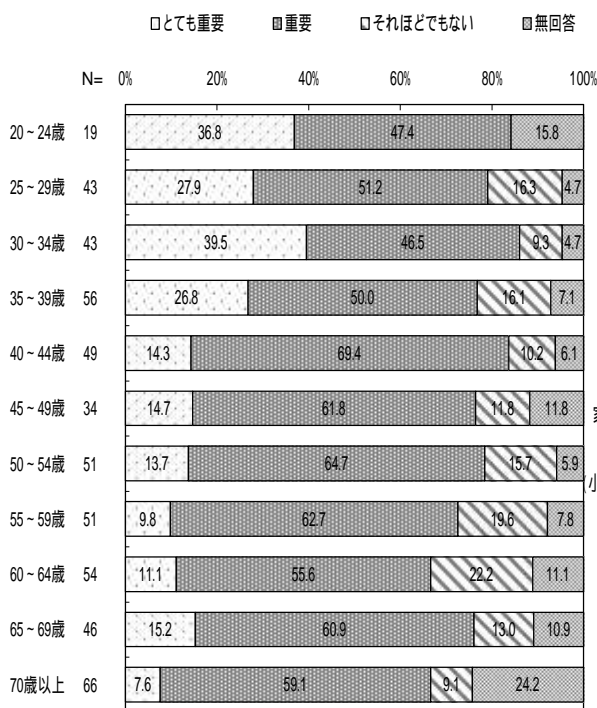
【全体】



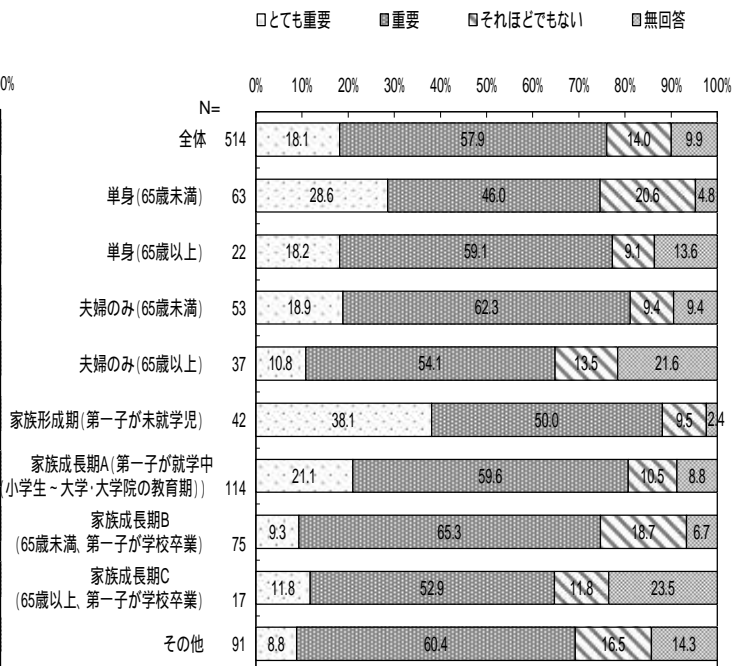
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

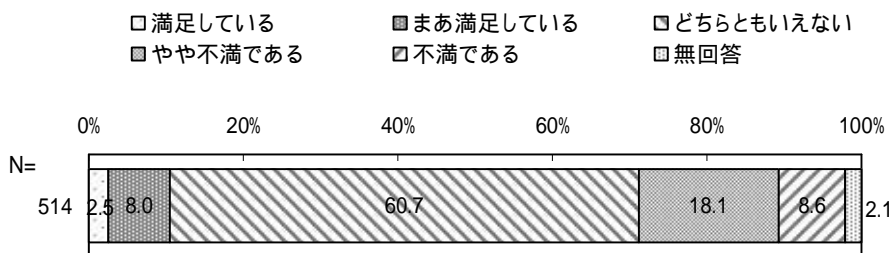


【問1 満足度】

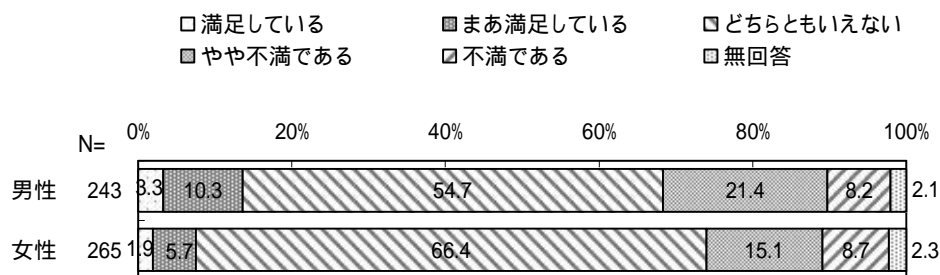
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

満足度を全体でみると、満足している人の割合より不満である人の割合が高い。
 年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で「やや不満」と「不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が、ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で不満の割合が最も高くなっています。

【全体】

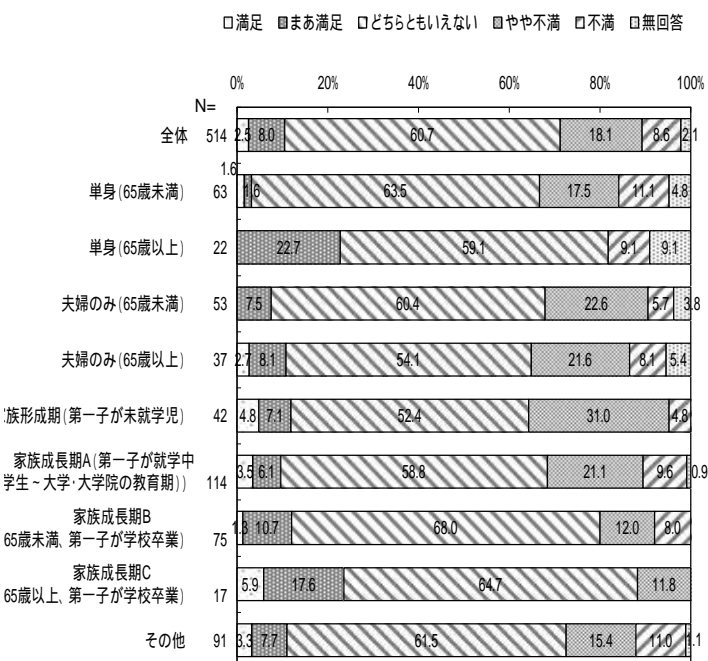
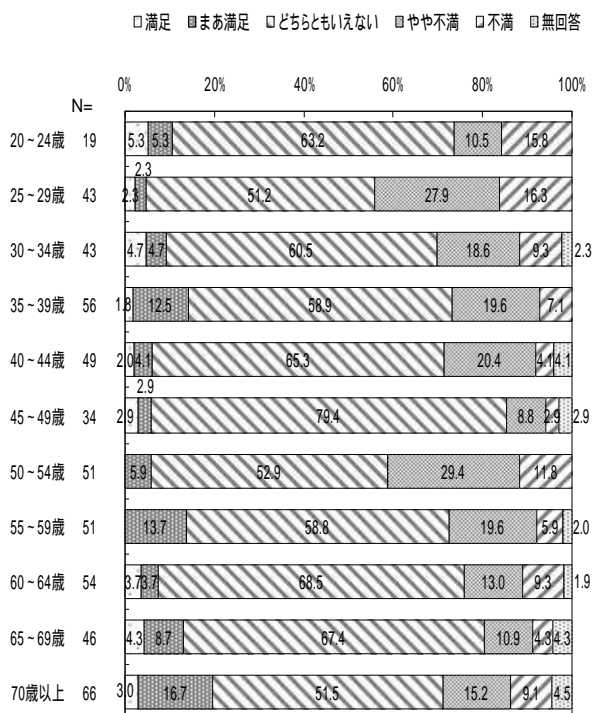


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

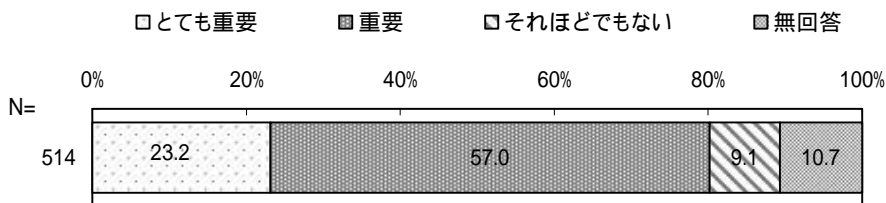


【問1 重要度】

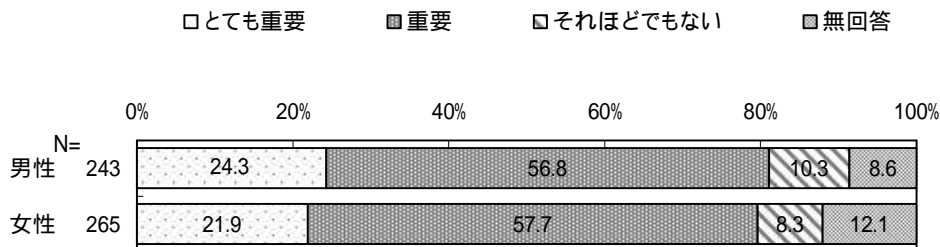
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

重要度を年代別で見ると、25～29歳で「とても重要」の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、満足度で不満だと感じる人の割合が最も高い族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と感じている人の割合が最も高くなっています。

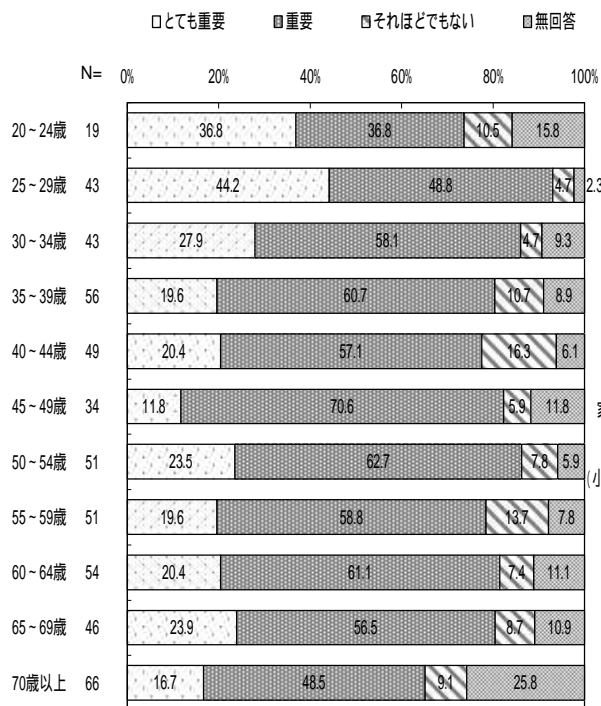
【全体】



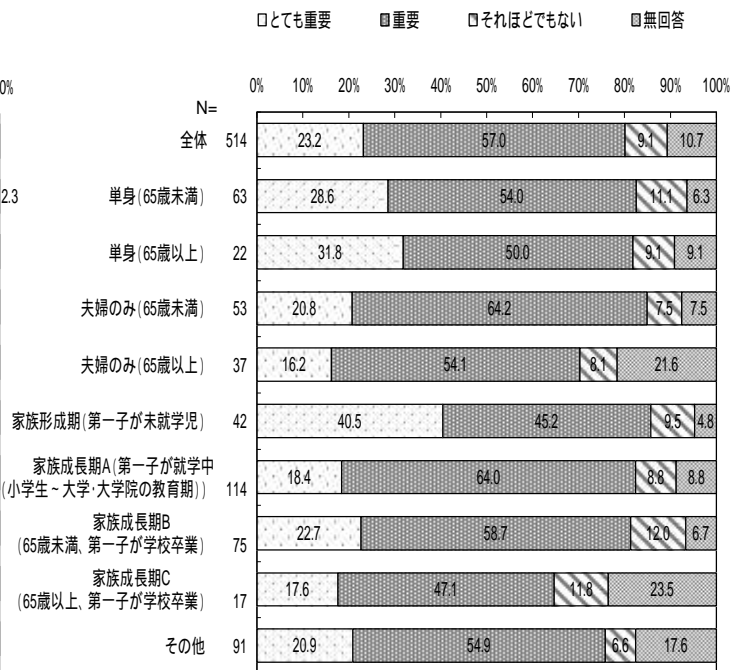
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

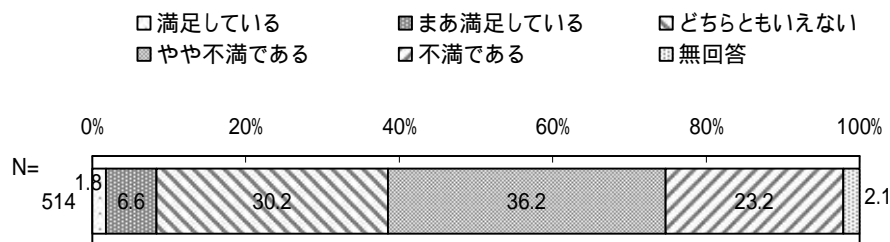


【問1 満足度】

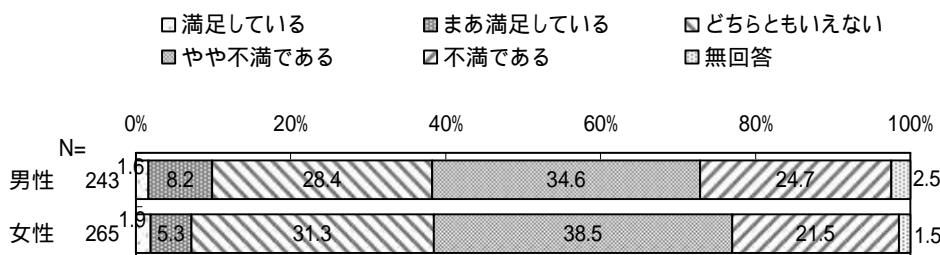
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

満足度を全体で見ると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満である人が約6割。年代別で見ると、他の年代に比べ、25～29歳で不満である人の割合が高く約8割、次いで50～54歳で不満である人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、単身(65歳以上)で「どちらともいえない」と関心の薄い人の割合が多くなっています。

【全体】

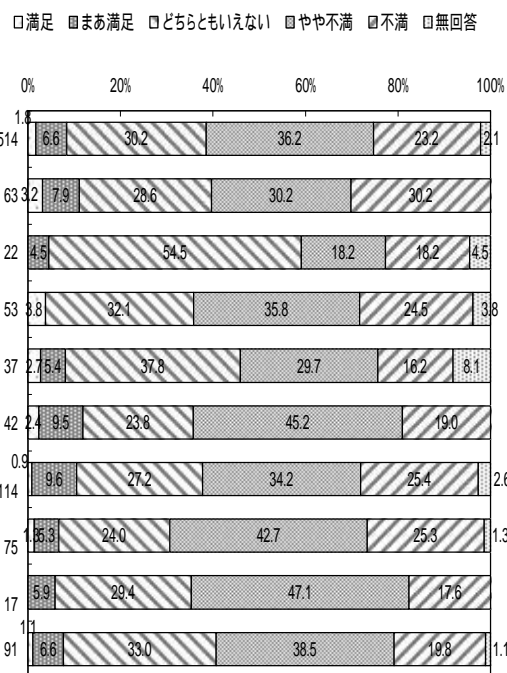
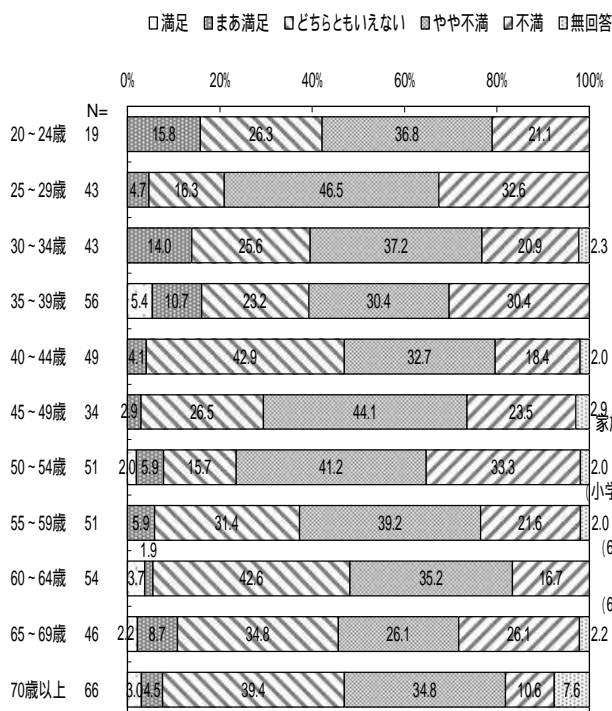


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

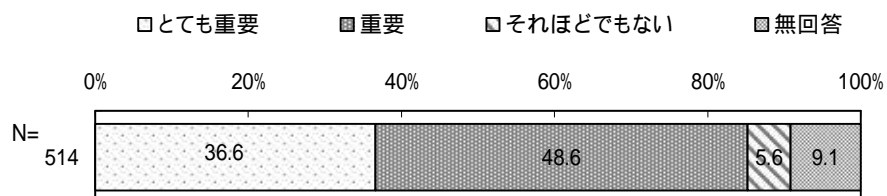


【問1 重要度】

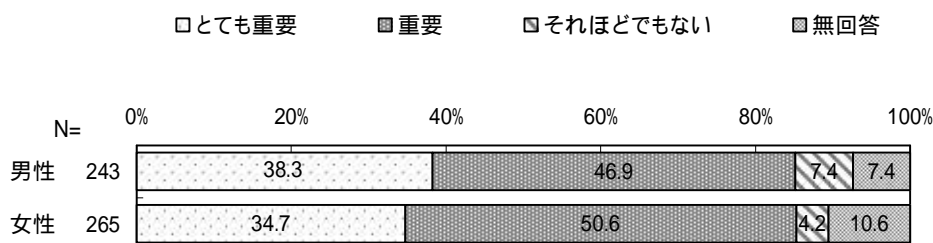
サ 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

重要度を年代別でみると、若い世代で「とても重要」の割合が高い傾向にあります。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が9割を超えています。

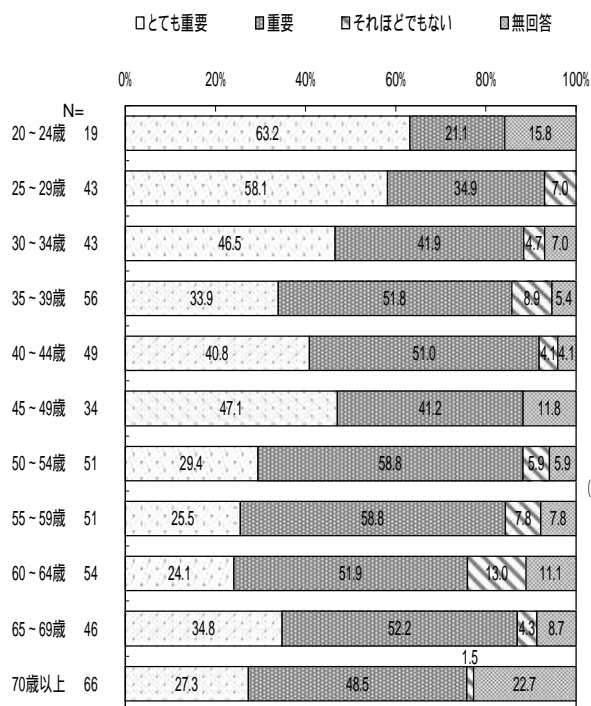
【全体】



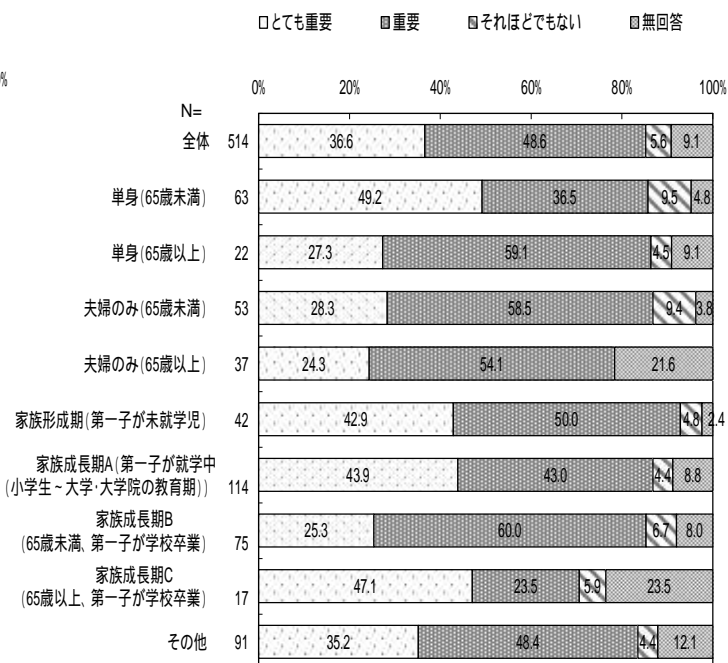
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

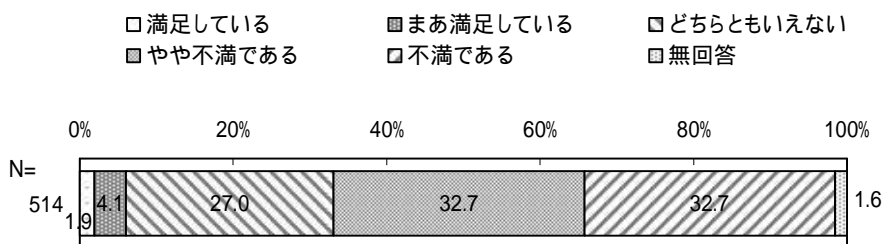


【問1 満足度】

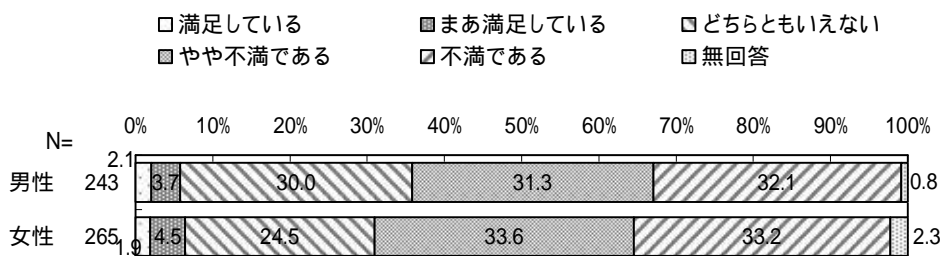
シ 鉄道やバスの便利さ

満足度を全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた不満である人の割合が6割以上。年代別でみると、他の年代に比べ、40～49歳で不満である人の割合が特に高くなっています。

【全体】

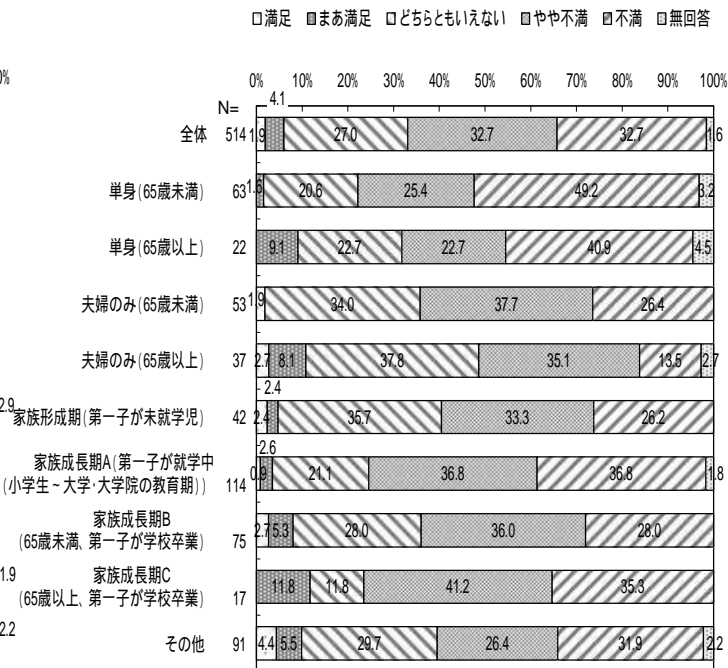
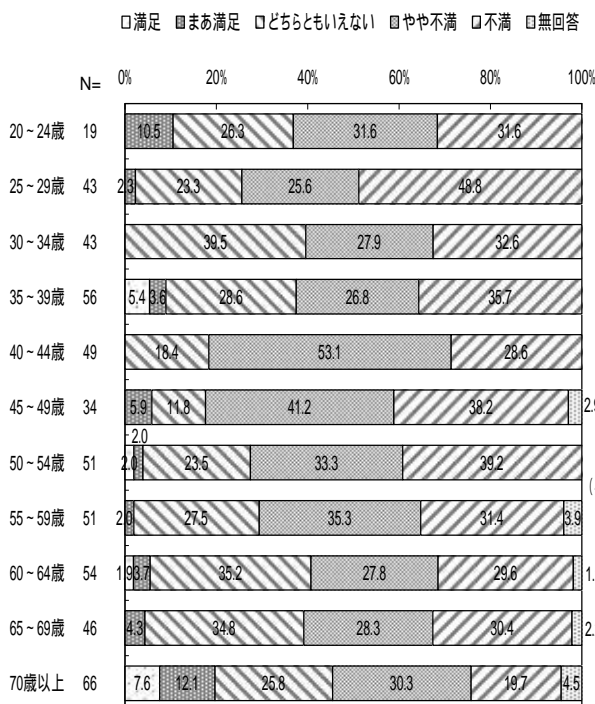


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

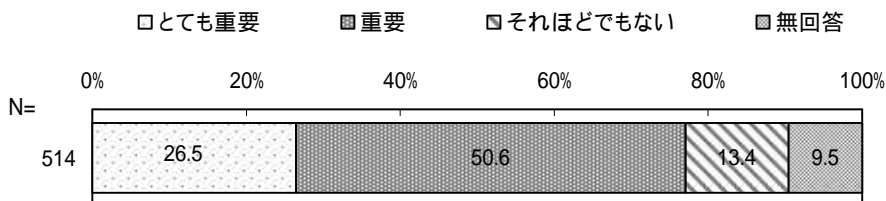


【問1 重要度】

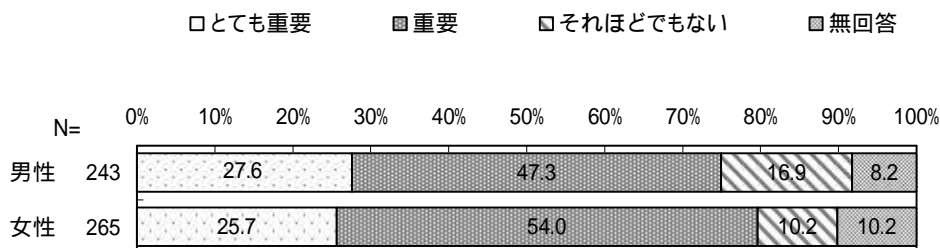
シ 鉄道やバスの便利さ

満足度では不満である人の割合が高いが、重要度では「とても重要」と「重要」を合わせ重要だと感じている人の割合は8割以下。年代別で見ると、20～29歳の若い世代でとても重要と感じている人の割合が高く、ライフステージ別で見ると、単身（65歳未満）で「とても重要」だと感じている人の割合が高くなっています。

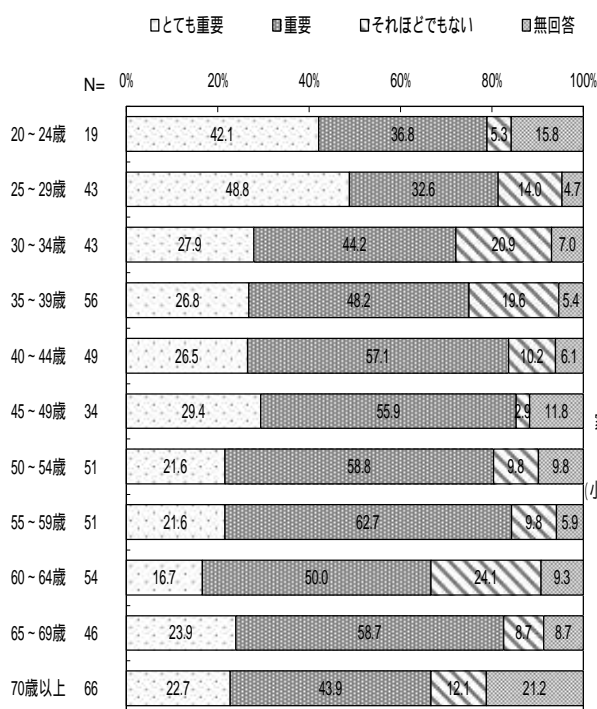
【全体】



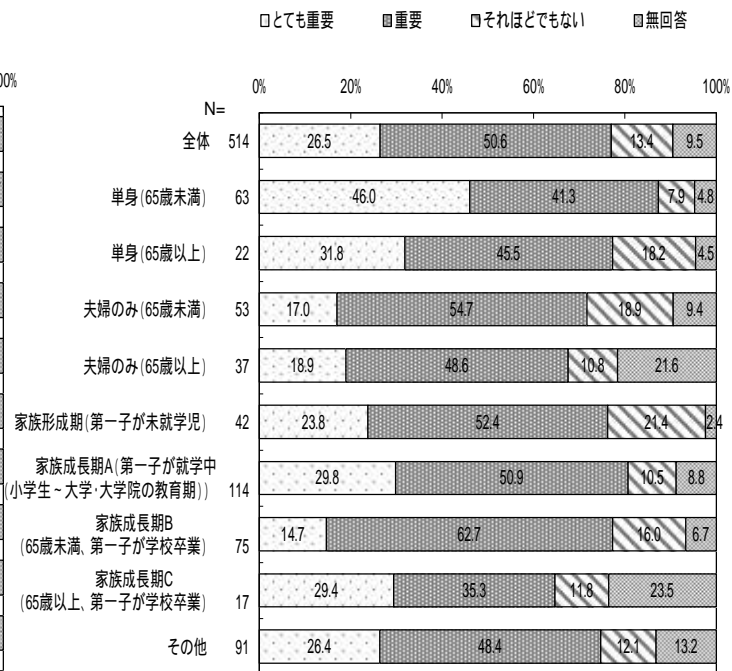
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

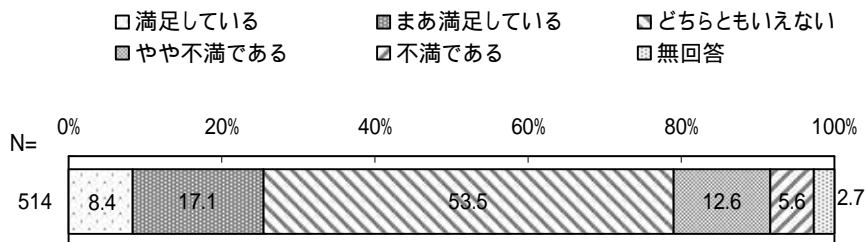


【問1 満足度】

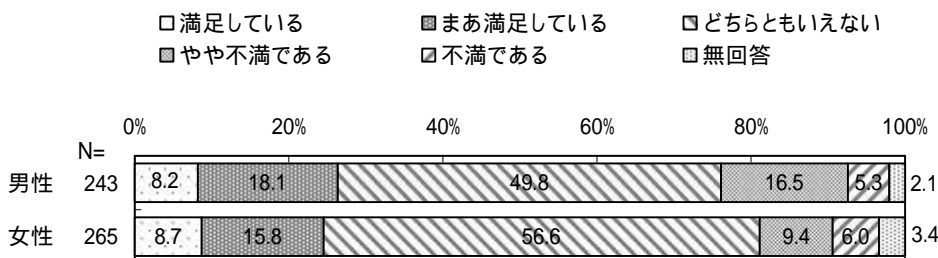
ス まちなみや自然の景観の美しさ

満足度を年代別で見ると、他の年代に比べ、30～44歳で「まあ満足」と「満足」を合わせた満足だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、夫婦のみ（65歳以上）で満足だと感じている人より「やや不満」と「不満」を合わせた不満である人の割合が高くなっています。

【全体】

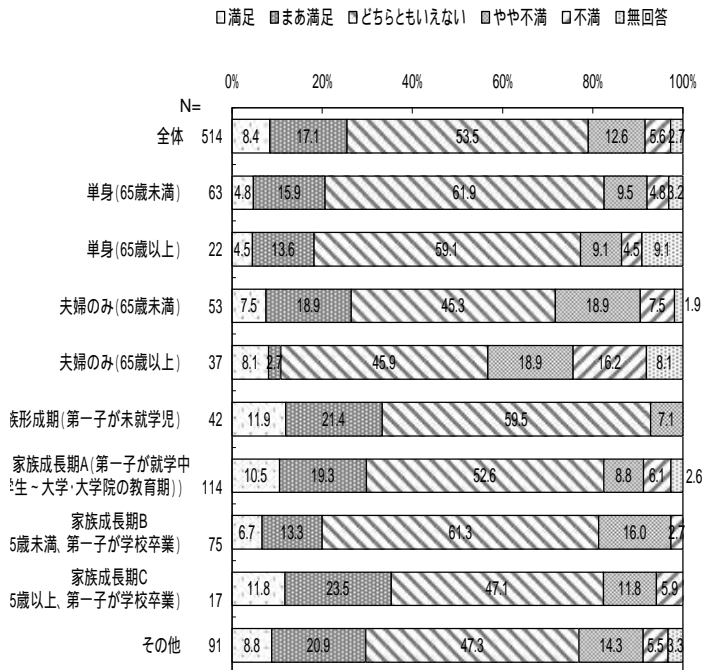
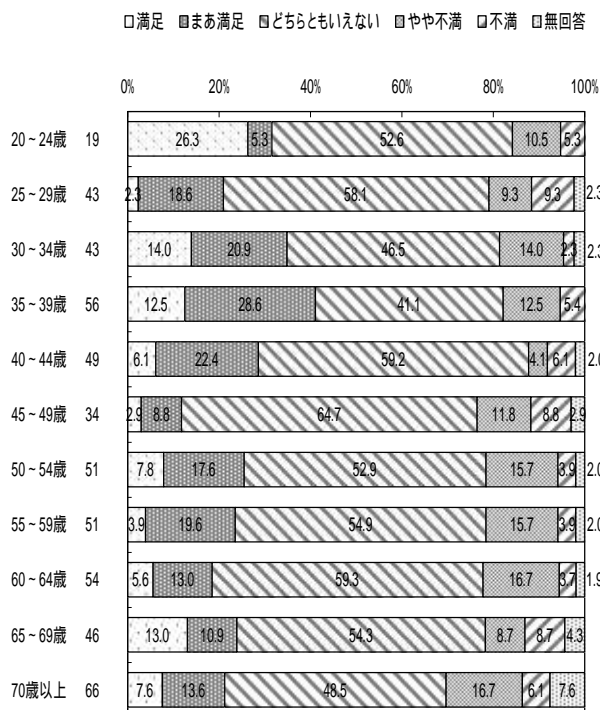


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

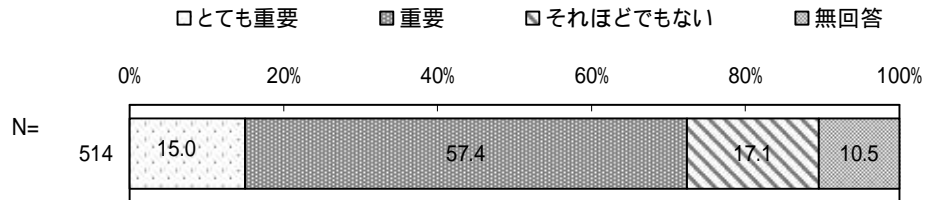


【問1 重要度】

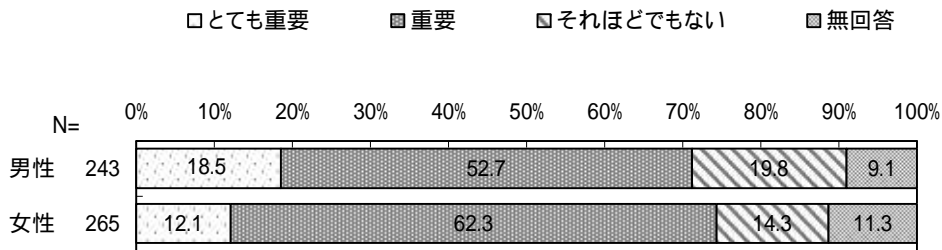
ス まちなみや自然の景観の美しさ

重要度を全体で見ると、「とても重要」「重要」だと感じている人の割合は72.4%。年代別で見ると、他の年代に比べ、20～34歳と若い世代で「とても重要」だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別では大きな差異はみられません。

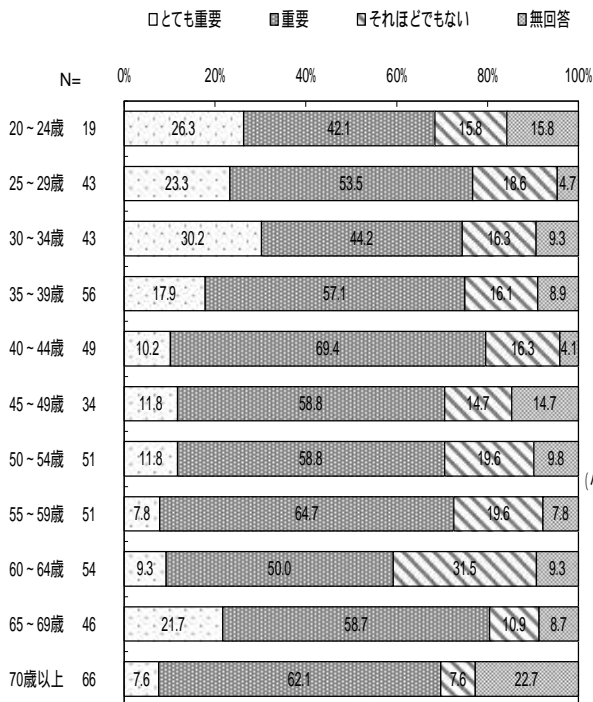
【全体】



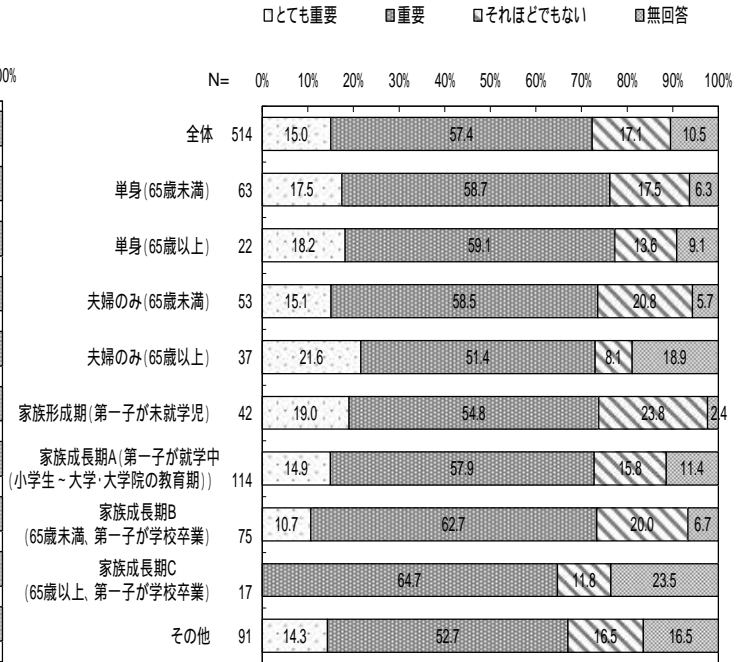
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

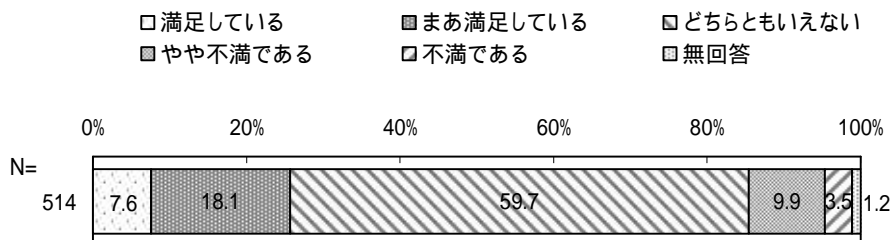


【問1 満足度】

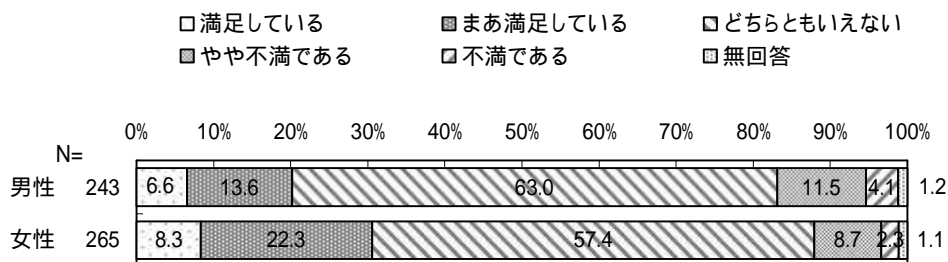
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

満足度を性別で見ると、男性に比べ、女性で「満足」「まあ満足」を合わせた満足している人の割合が高くなっています。年代別で見ると、25～29歳の若い世代で「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じている人の割合が高く、一方、60歳以上では満足と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で満足している人の割合が高く5割を超えています

【全体】

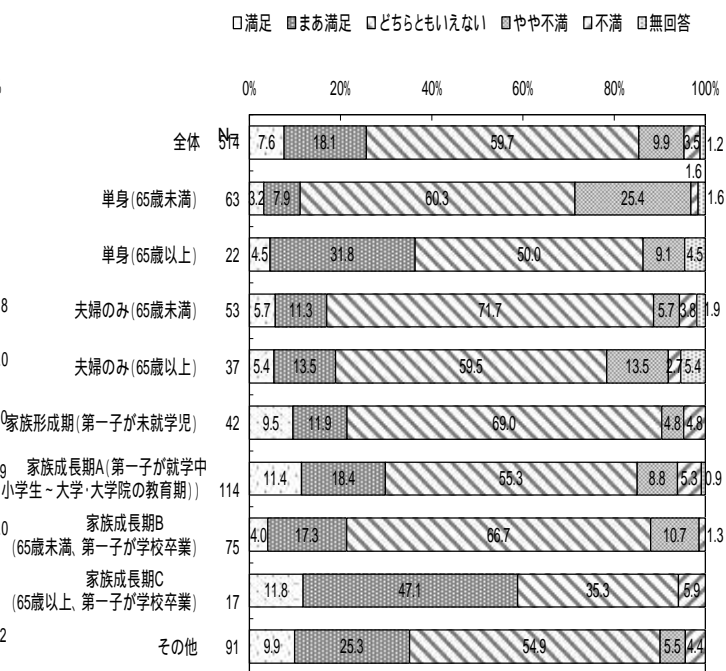
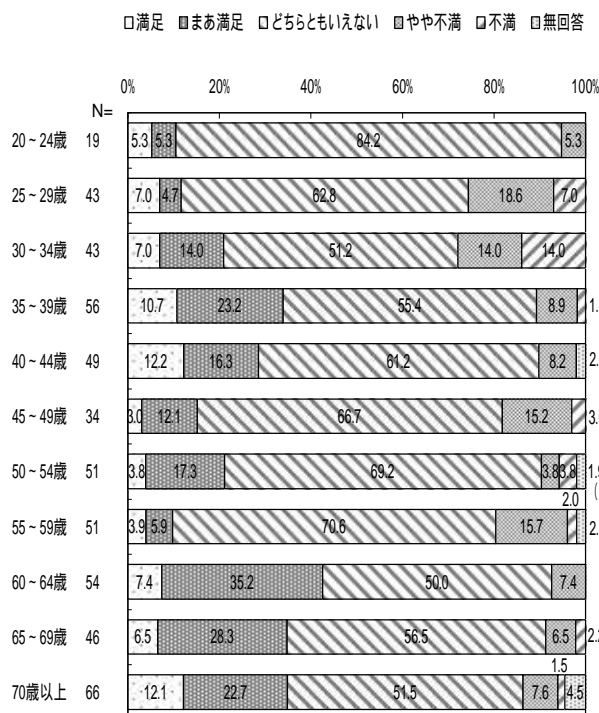


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

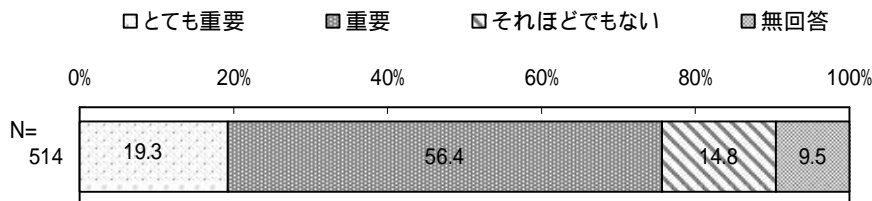


【問1 重要度】

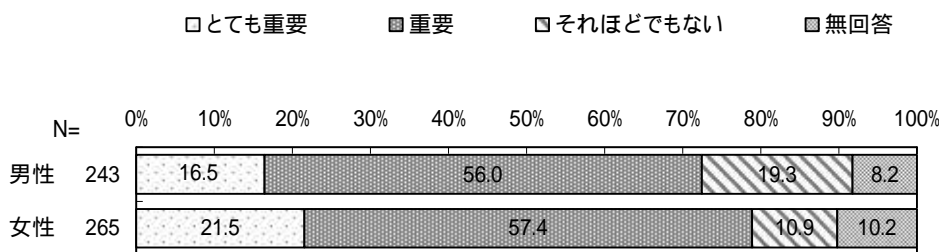
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

重要度を性別でみると、満足度と同じく、男性に比べ女性で重要だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）で「とても重要」だと感じている人の割合が最も高くなっています。

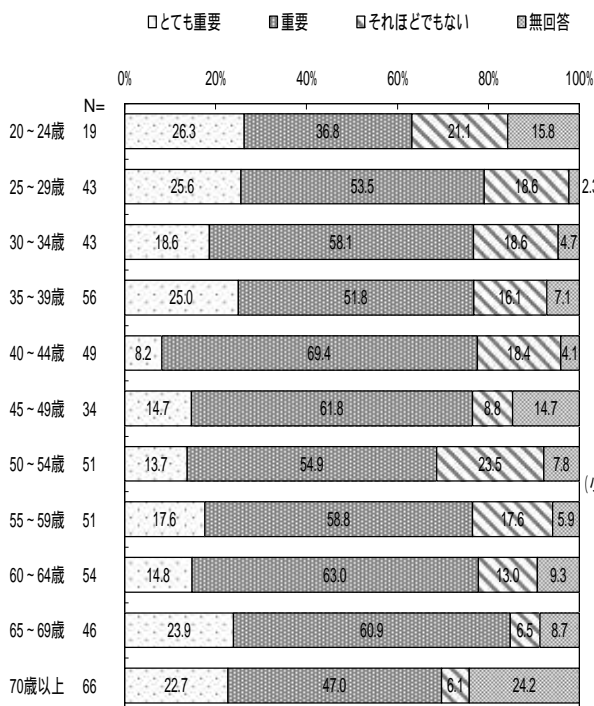
【全体】



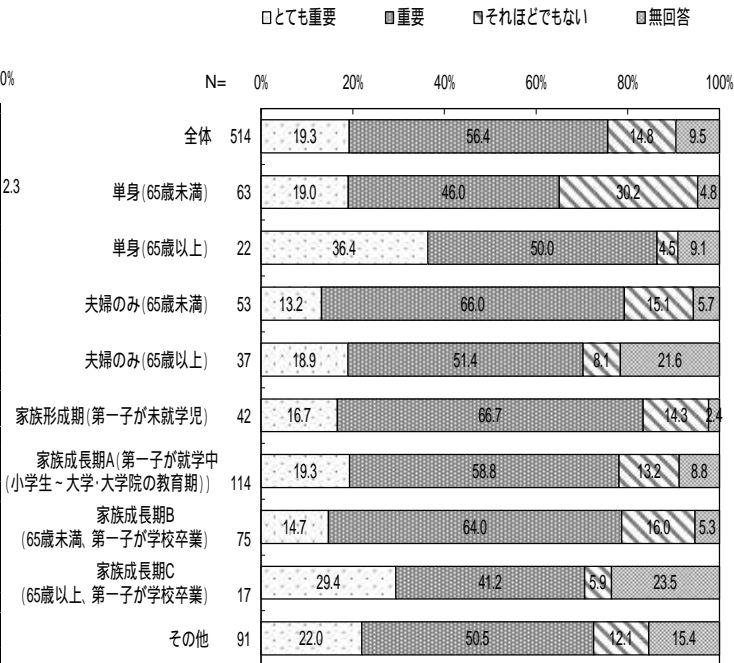
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

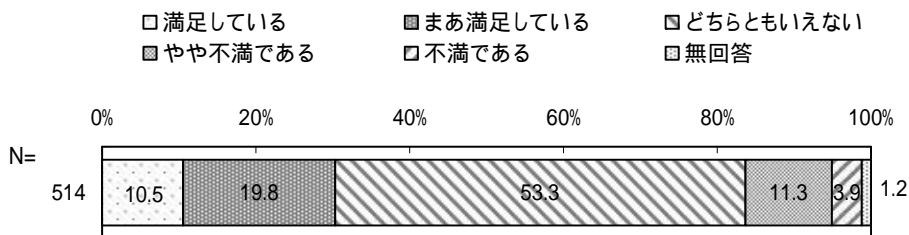


【問1 満足度】

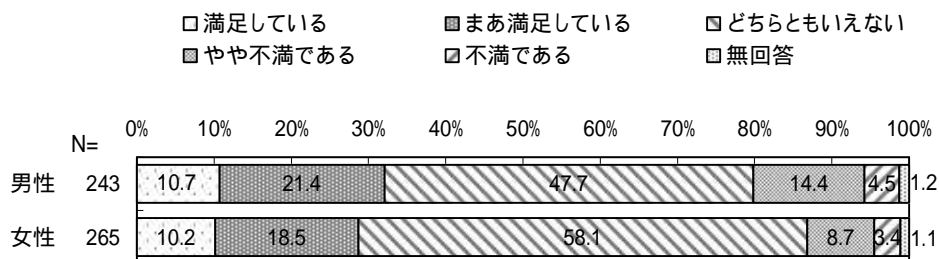
ソ 空気や河川の水のきれいさ

満足度を年代別でみると、25～29歳で「まあ満足」「満足」をあわせた、満足している人の割合より「やや不満」「不満」をあわせた不満である人の割合が上回っています。それ以外の年代では満足している人の割合の方が高くなっています。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

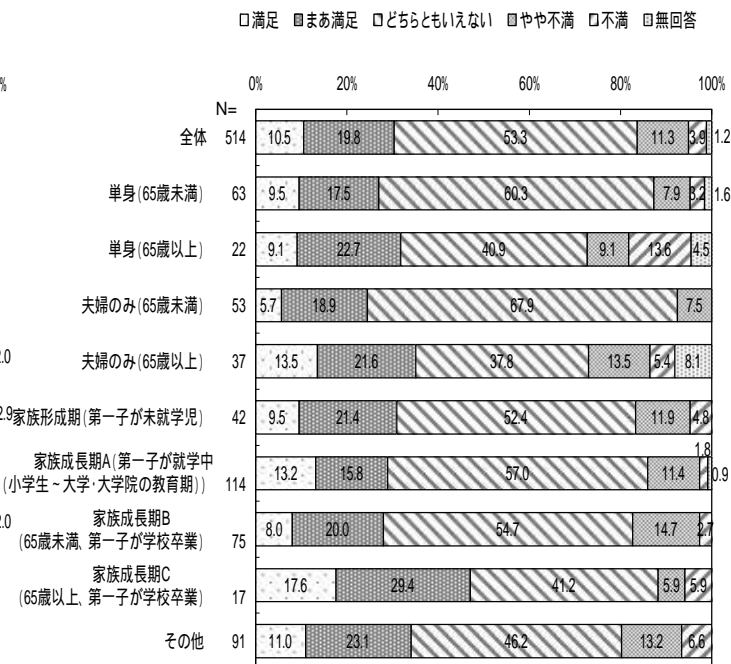
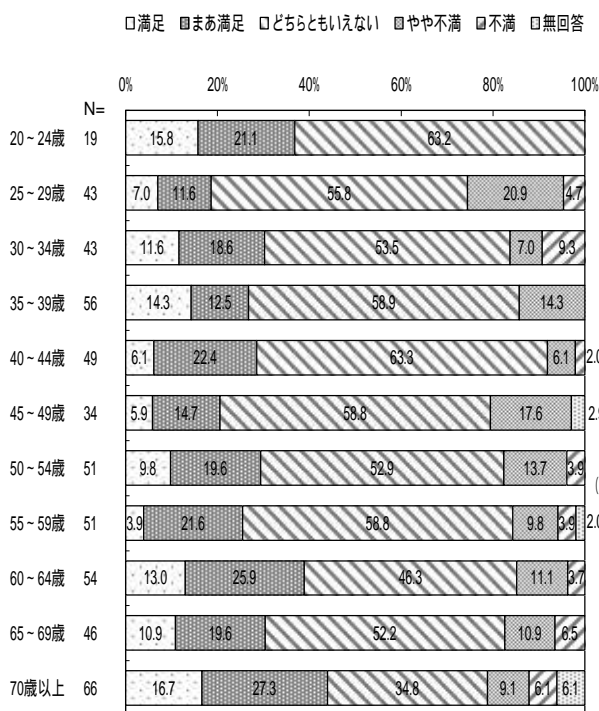


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

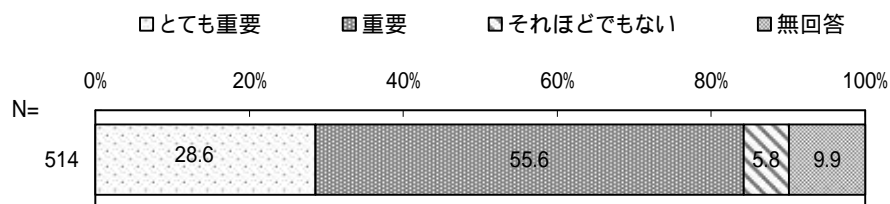


【問1 重要度】

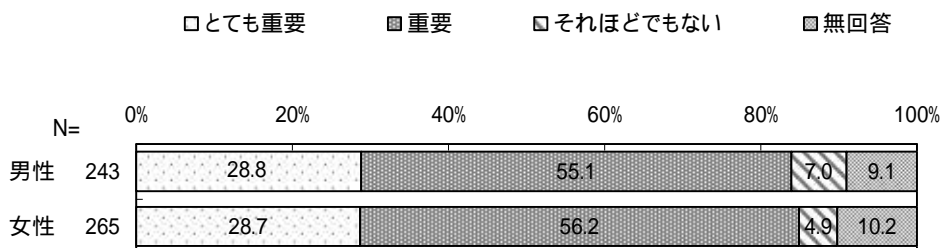
ソ 空気や河川の水のきれいさ

重要度を性別でみると、男女に差異はみられず、「とても重要」「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が8割を超えています。年代別でみると、他の年代に比べ20～34歳と若い世代で「とても重要」だと感じている人の割合が高くなっています。

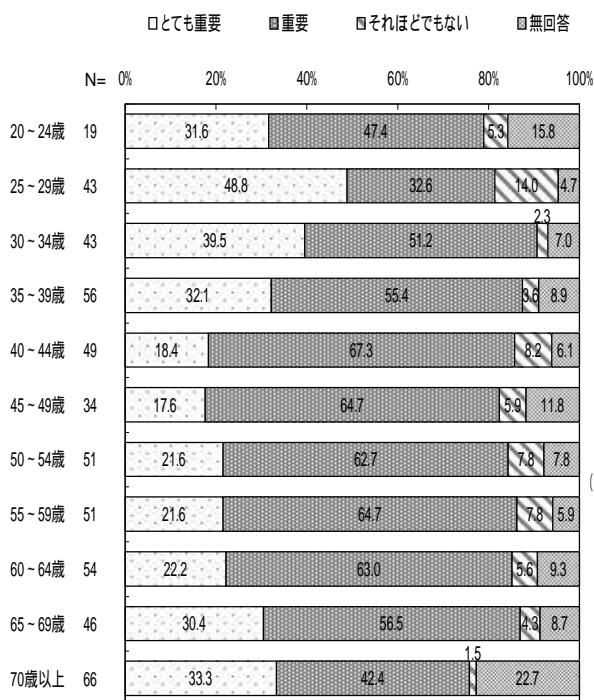
【全体】



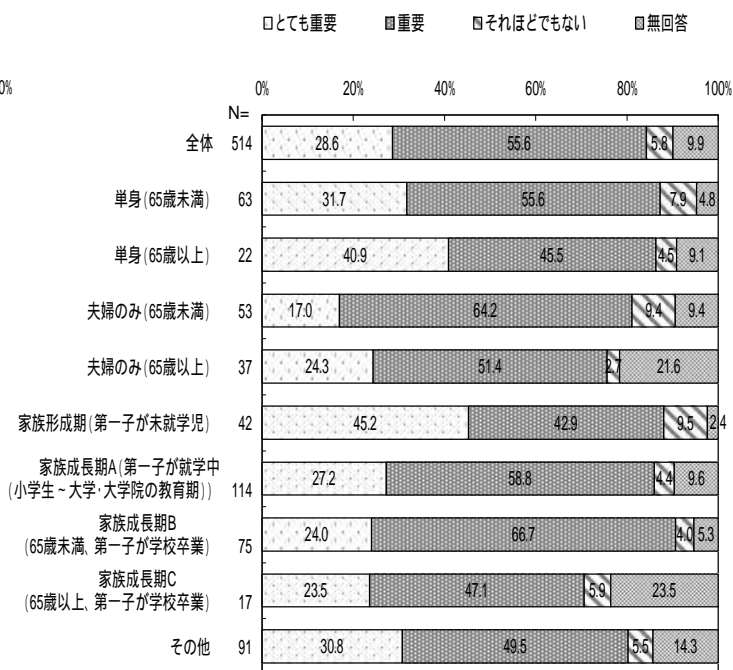
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

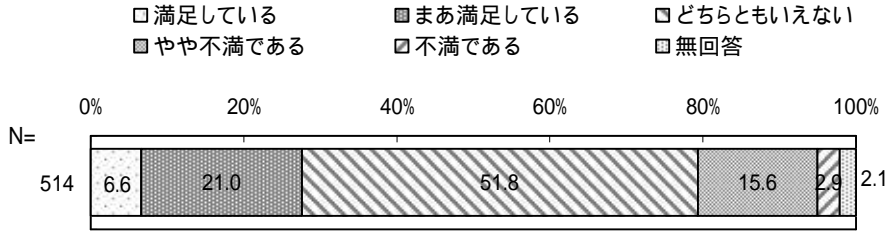


【問1 満足度】

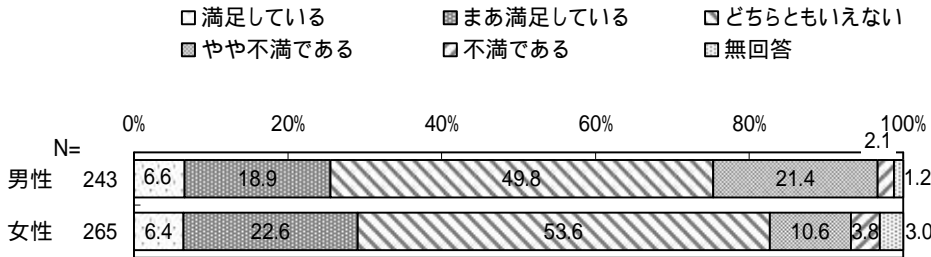
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

満足度を年代別で見ると、45～49歳で「まあ満足」と「満足」をあわせた、満足している人より「やや不満」と「不満」をあわせた不満である人の割合が上まわっています。その他の年代では満足している人の割合の方が高くなっています。ライフステージ別で見ると、家族成長期Cで満足しているより不満である人の割合が上まわっています。

【全体】

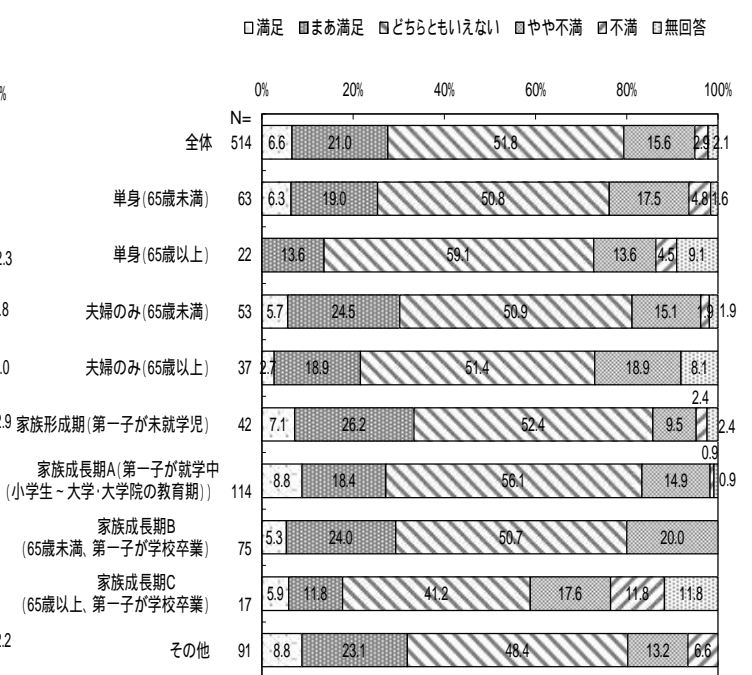
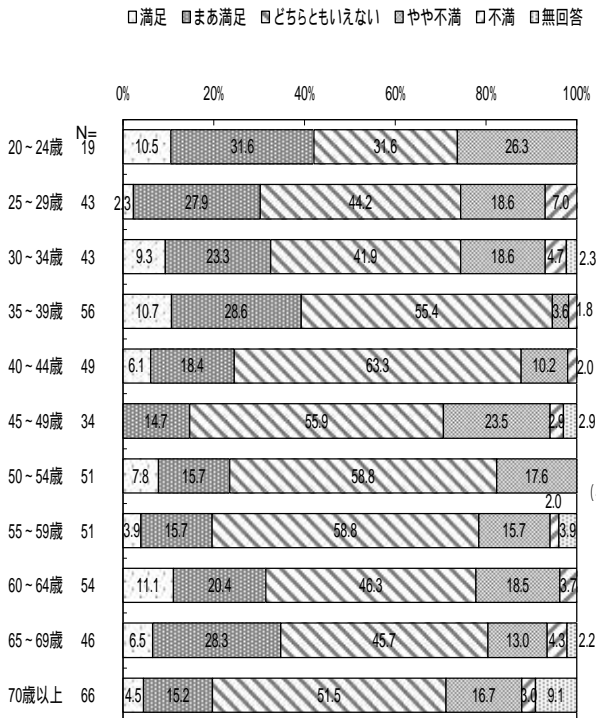


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

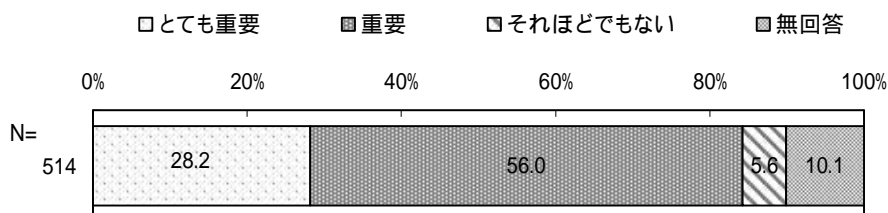


【問1 重要度】

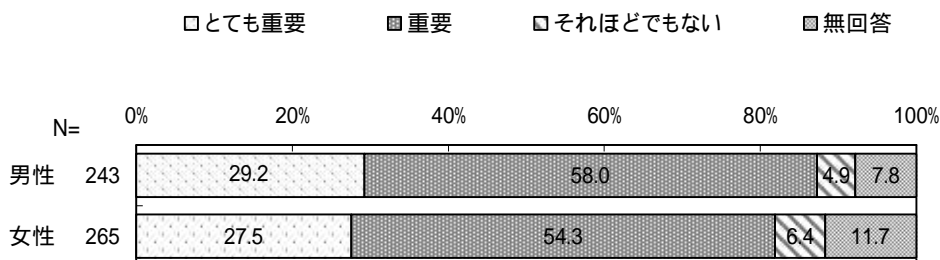
タ 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

重要度を年代別で見ると、若い世代で「とても重要」だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」だと感じている人の割合が高くなっています。

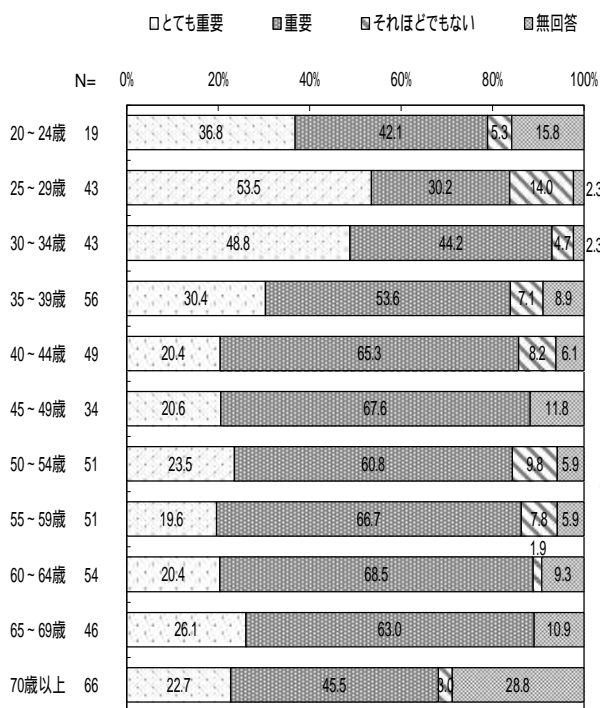
【全体】



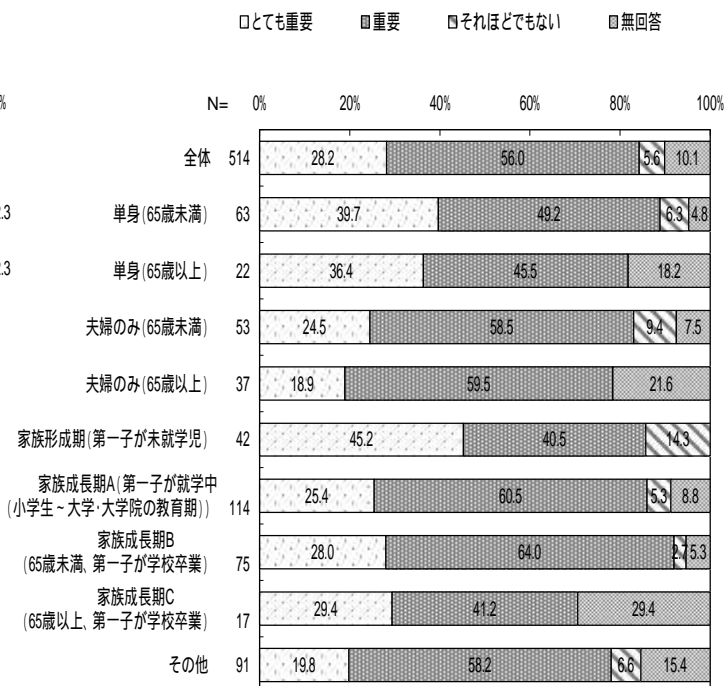
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

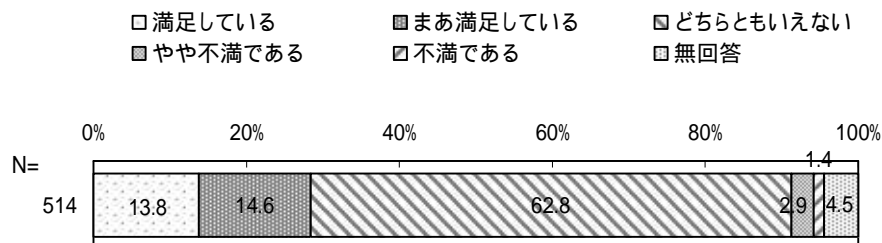


【問1 満足度】

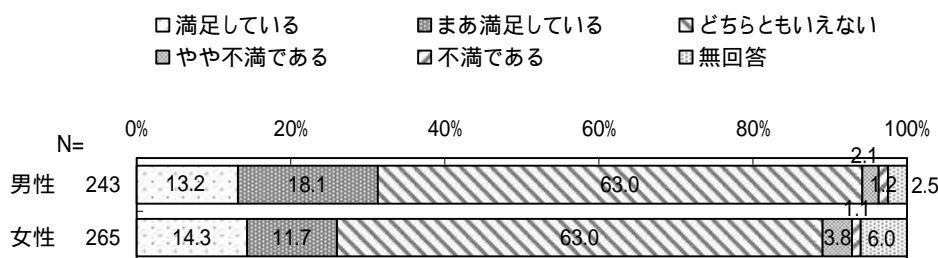
子 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

満足度を性別で見ると、男性が女性に比べ、満足だと感じている人の割合が高くなっています。
年代別で見ると、他の年代に比べ 35～39 歳で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

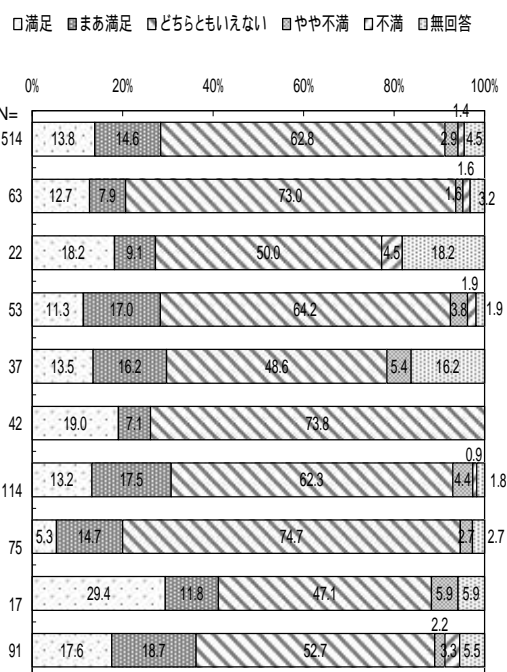
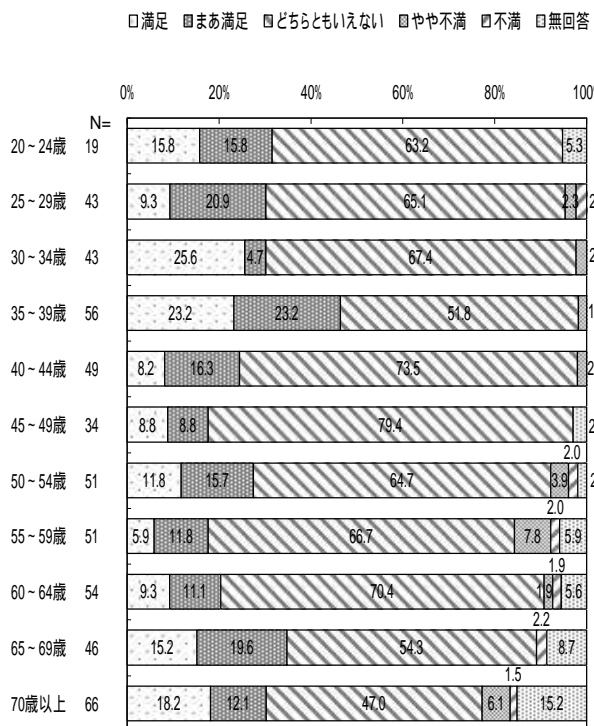


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

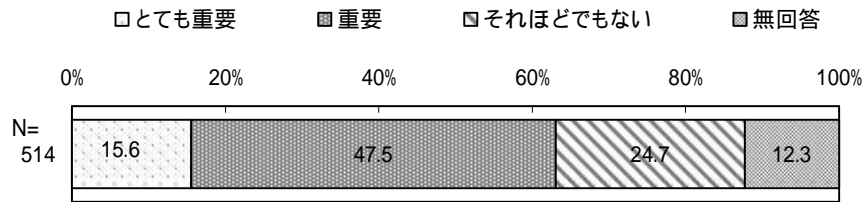


【問1 重要度】

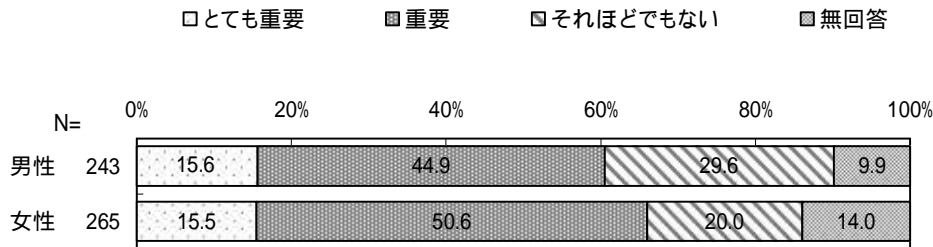
子 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

重要度を全体で見ると、「それほどでもない」が24.7%。性別で見ると、女性に比べ、男性で「それほどでもない」の割合が高く、関心が薄い。ライフステージ別で見ると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）では重要であると感じている人の割合が4割弱と低くなっています。

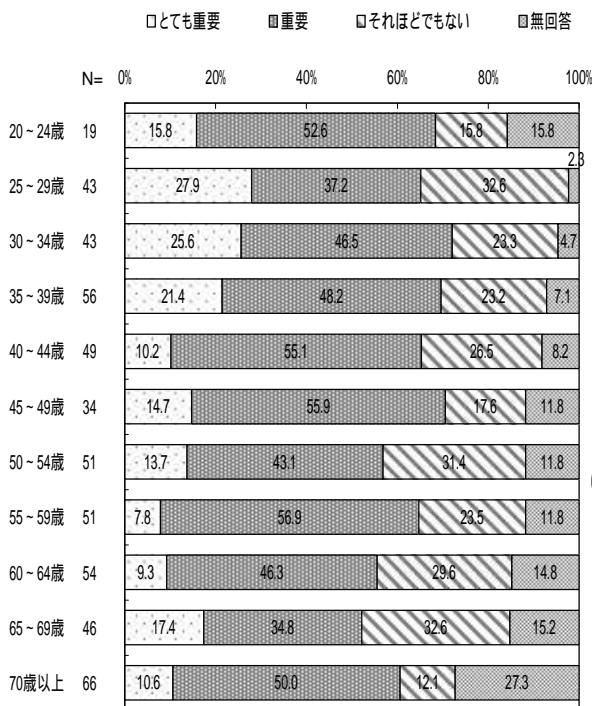
【全体】



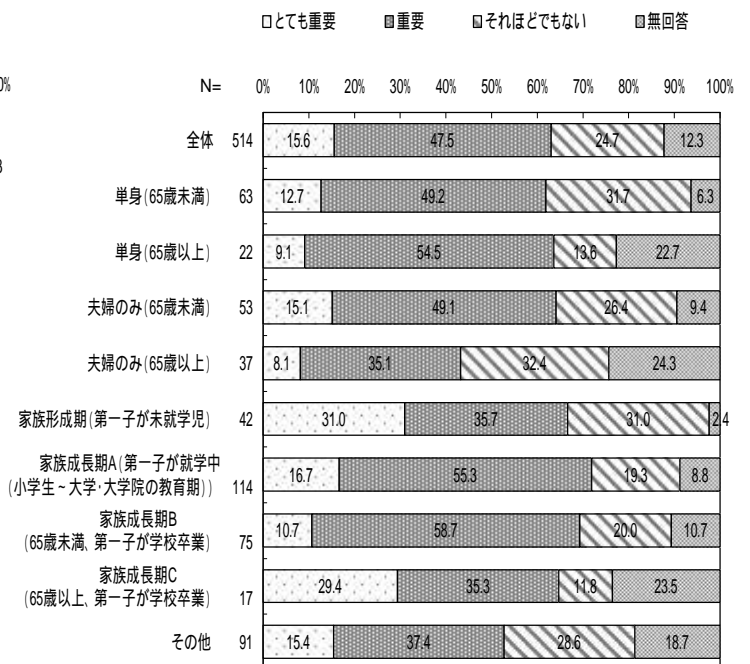
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

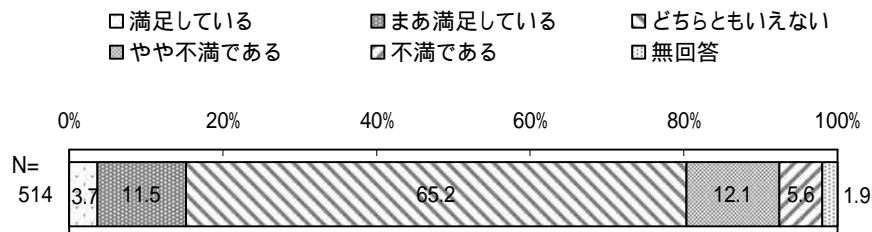


【問1 満足度】

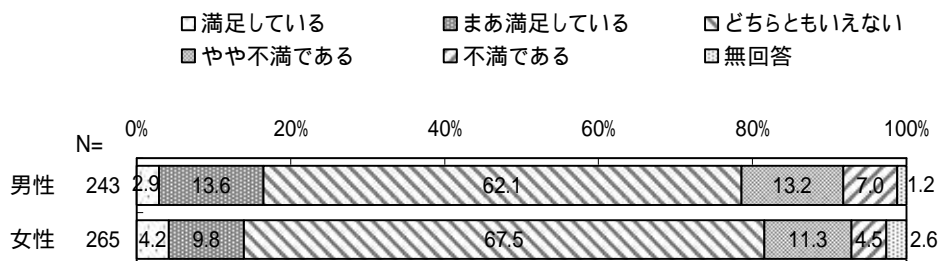
ツ 河川や水路の整備状況

重要度を全体で見ると、「やや不満」と「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合をやや上まわっています。

【全体】

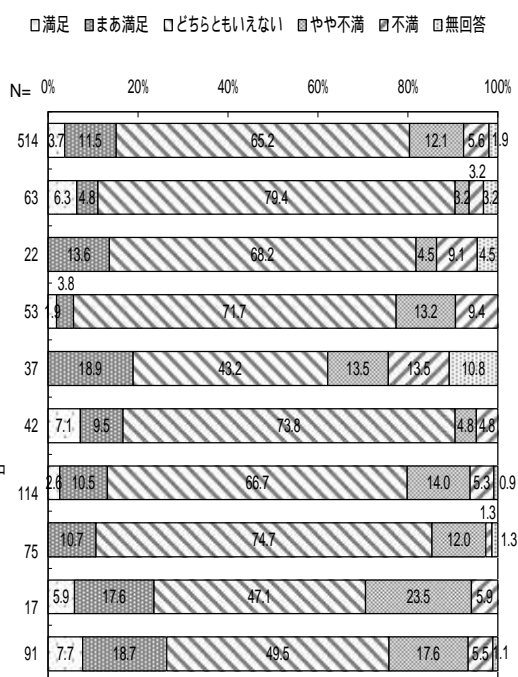
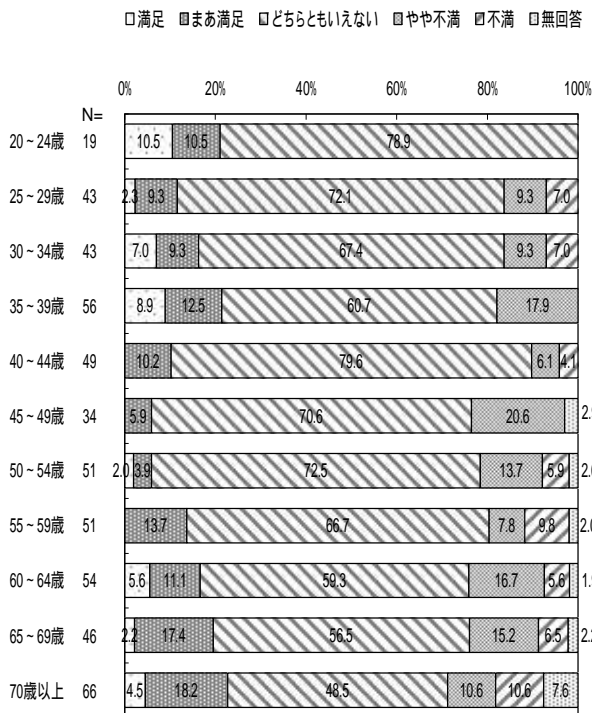


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

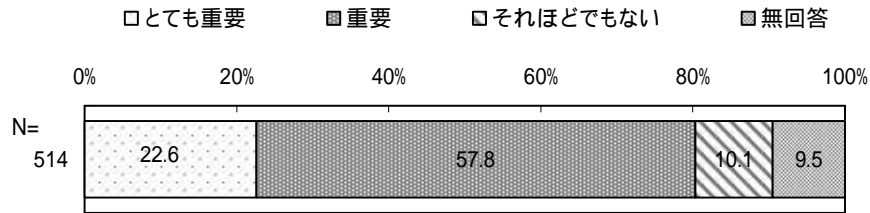


【問1 重要度】

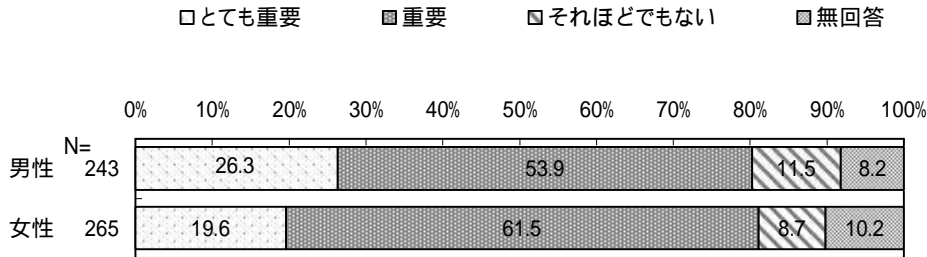
ツ 河川や水路の整備状況

重要度を性別で見ると、女性に比べ男性で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、他の年代に比べ、20～24歳と70歳以上で「とても重要」と「重要」を合わせた重要だと感じている人の割合が少なくなっています。ライフステージ別で見ると他に比べ、単身（65歳以上）で重要だと感じている人の割合が高くなっています。

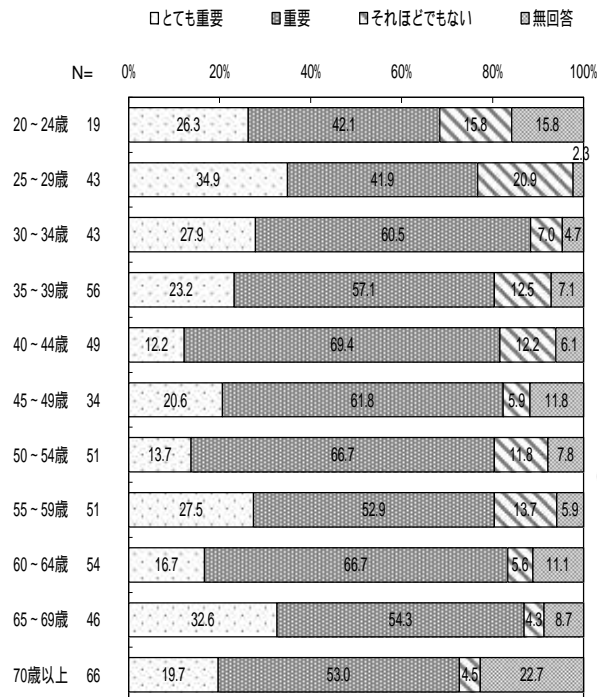
【全体】



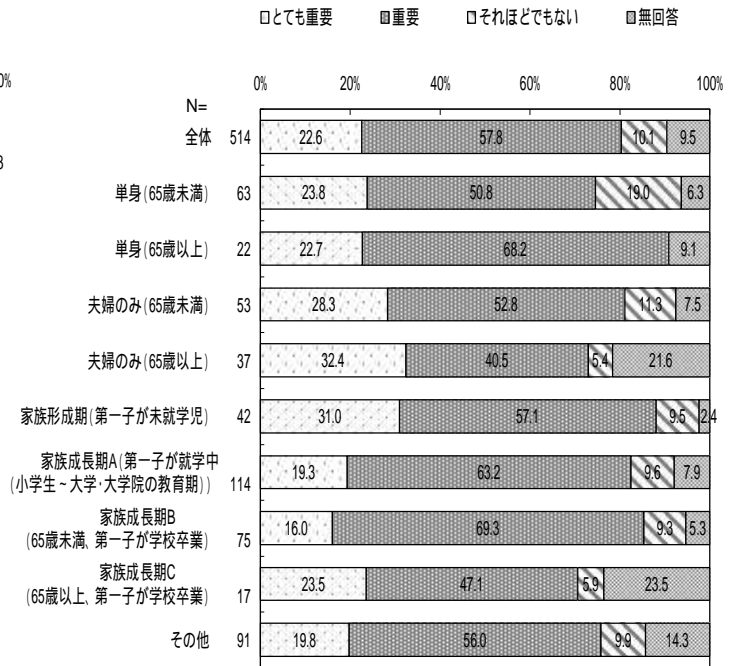
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

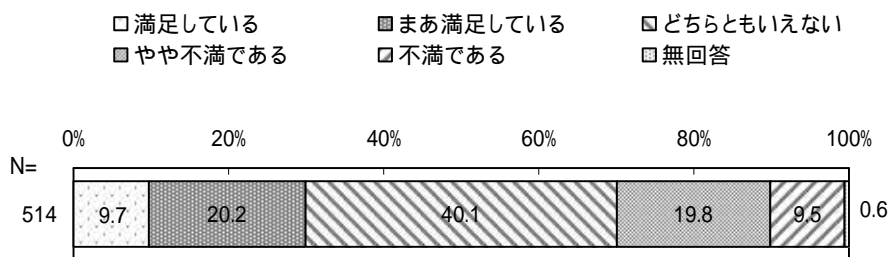


【問1 満足度】

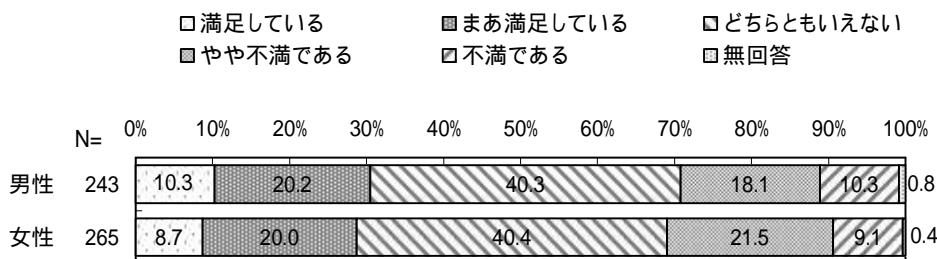
テ 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

満足度を全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合と「やや不満」と「不満」をあわせた、不満である人の割合は同程度。年代別でみると、他の年代に比べ30～34歳で満足だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期C(65歳以上、第一子が学校卒業)で不満であると感じている人の割合が47%と高くなっています。

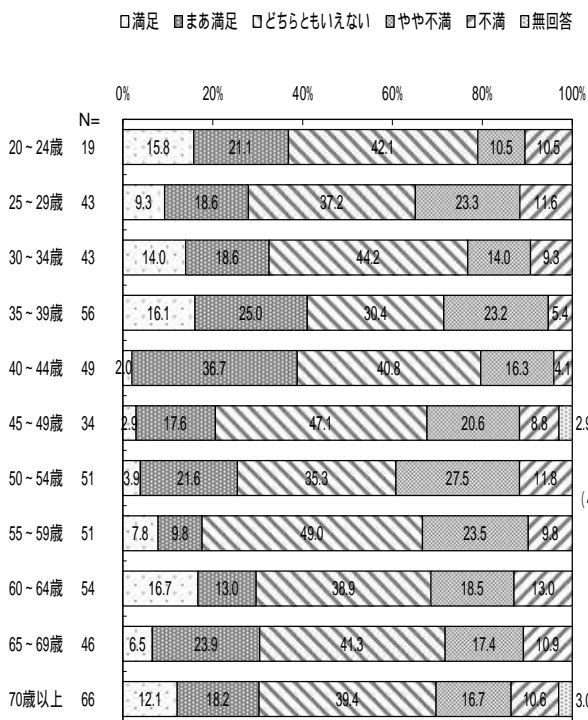
【全体】



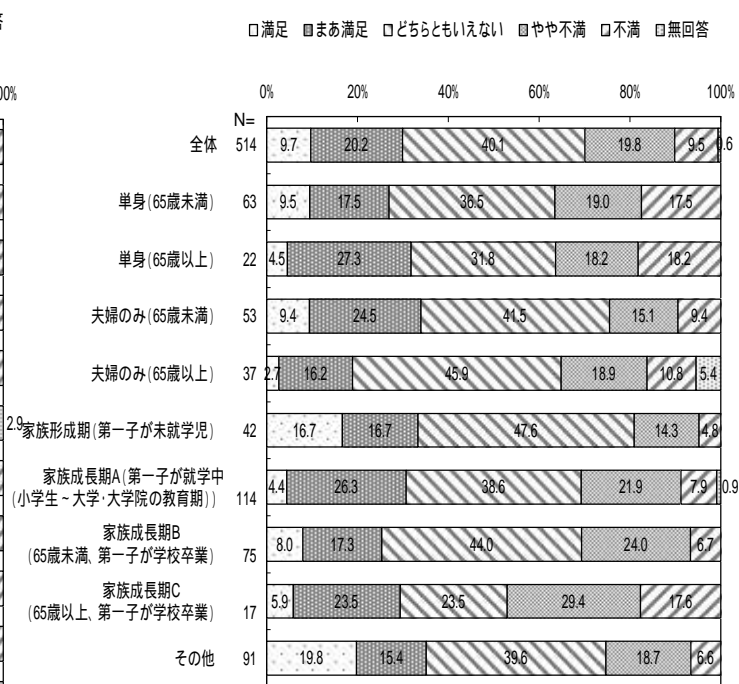
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

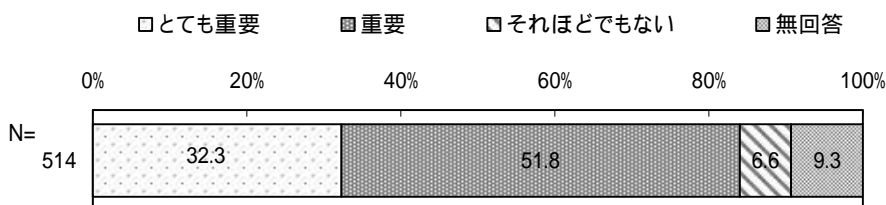


【問1 重要度】

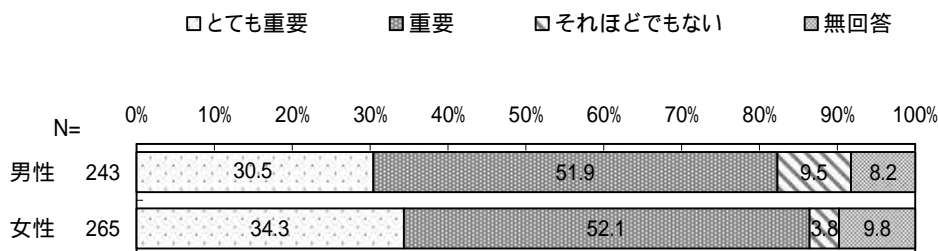
「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

重要度を性別で見ると、男性に比べ、女性で重要と感じてる人の割合が高くなっています。年代別で見ると、若い世代ほど「とても重要」だと感じている傾向にあります。ライフステージ別で見ると、65歳以上の夫婦のみで重要だと感じている人の割合が低くなっています。

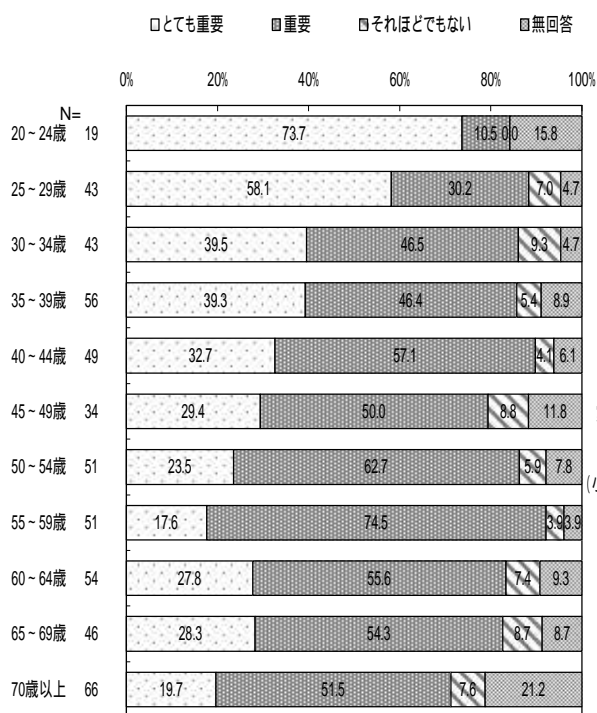
【全体】



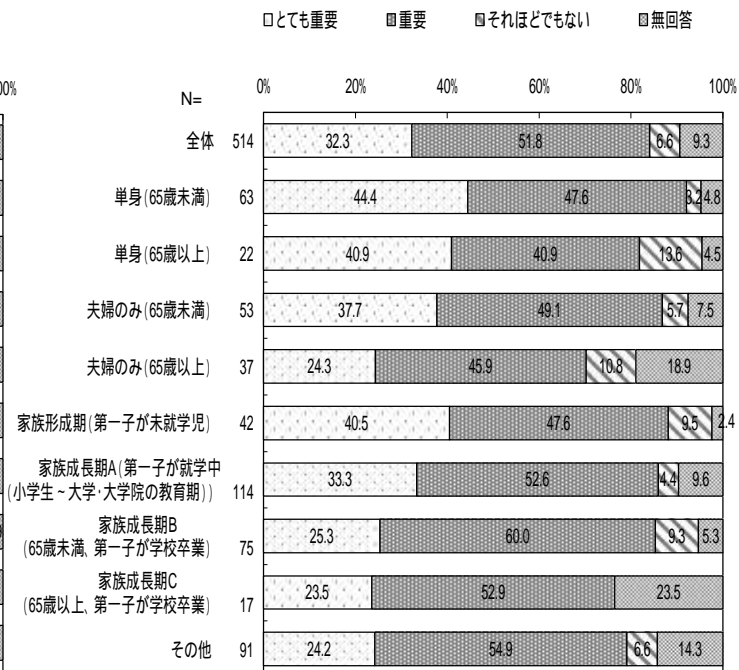
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



裾野市の取り組みについて（市施策）

問 2 裾野市行政の取り組みについて、感じていることをお答えください。（それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに ）

（1）現状の満足度と今後の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

各項目の回答者数に下表の点数をかけて合計を出し、回答者総数で割った平均値を得点とします。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

満足度 & 重要度ベスト3

満足度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	0.57
2	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.06
3	工業を中心とした産業の活性化	0.05

重要度		
順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	1.54
2	安心して子育てができる環境の充実	1.41
3	小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	1.40

満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題の検討が必要）

順位	事業名	満足度	重要度	点数差 (満足度-重要度)
1	市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政の効率化	-0.35	1.35	-1.70
2	市内の土地利用のバランスの良さ	-0.53	1.06	-1.59
3	ごみの不法投棄や公害への対策	-0.17	1.37	-1.53

点数差 = 満足度 - 重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

満足度・重要度による順位

満足度	点数	順位	点数	重要度
チ 豊かで良質な水道水の確保	0.57	1位	1.54	チ 豊かで良質な水道水の確保
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.06	2位	1.41	エ 安心して子育てができる環境の充実
テ 工業を中心とした産業の活性化	0.05	3位	1.40	オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況	0.03	4位	1.37	ス ごみの不法投棄や公害への対策
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	0.03	5位	1.35	ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況
ヌ 市が行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03	6位	1.35	ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化
エ 安心して子育てができる環境の充実	0.01	7位	1.32	セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	-0.03	8位	1.28	ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度	-0.05	9位	1.24	キ 次世代を担う青少年の育成
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」	-0.07	10位	1.16	サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.07	11位	1.14	ウ 障がいのある人の社会参加と自立
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	-0.09	12位	1.12	テ 工業を中心とした産業の活性化
ウ 障がいのある人の社会参加と自立	-0.10	13位	1.10	ソ 公園などの身近な緑地の環境整備
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進	-0.14	14位	1.08	イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.14	15位	1.08	ヌ 市が行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」
キ 次世代を担う青少年の育成	-0.16	16位	1.06	タ 市内の土地利用のバランスの良さ
ス ごみの不法投棄や公害への対策	-0.17	17位	1.04	ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進の利用推進
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進の利用推進	-0.20	18位	1.01	ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランド
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備	-0.24	19位	1.00	シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.24	20位	1.00	ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進
コ 市民が関わることのできるまちづくり	-0.26	21位	0.98	コ 市民が関わることのできるまちづくり
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.28	22位	0.96	ニ 新たな観光資源の創出と観光情報の発信
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化	-0.35	23位	0.94	ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備
ニ 新たな観光資源の創出と観光情報の発信	-0.39	24位	0.90	カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランド	-0.48	25位	0.85	ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感
タ 市内の土地利用のバランスの良さ	-0.53	26位	0.77	ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

【問2 満足度】

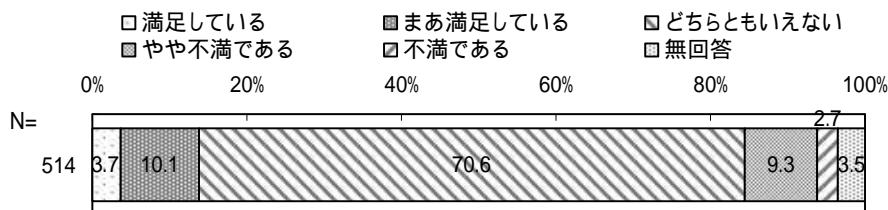
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

満足度を年代別で見ると60歳から歳が上がるにつれ、「まあ満足」と「満足」をあわせた満足している人の割合が高くなり、70歳以上では46.9%が満足していると感じています。

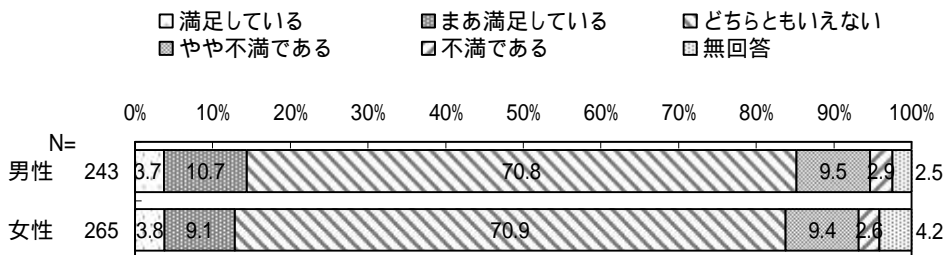
ライフステージ別でも単身（65歳以上）、夫婦のみ（65歳以上）、家族成長期（65歳以上、第一子が学校卒業）と65歳以上のいる世帯で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

追加クロス（問2ア満足度×問5）は「参考資料」を参照

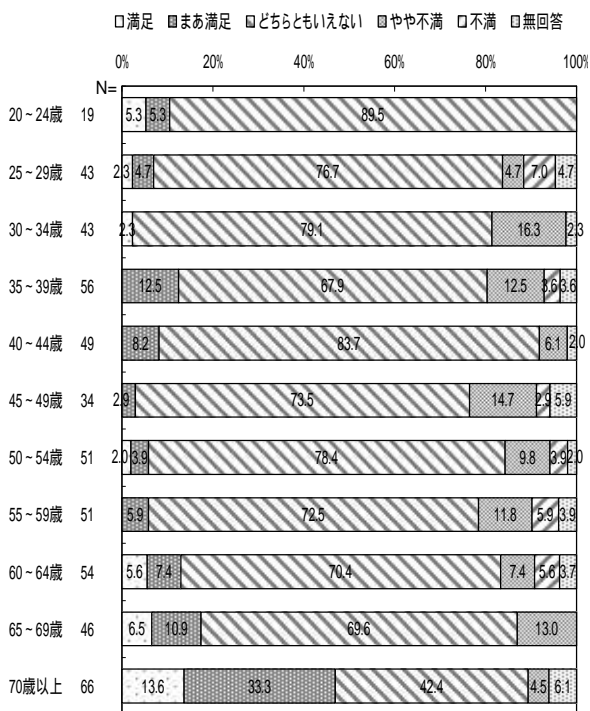
【全体】



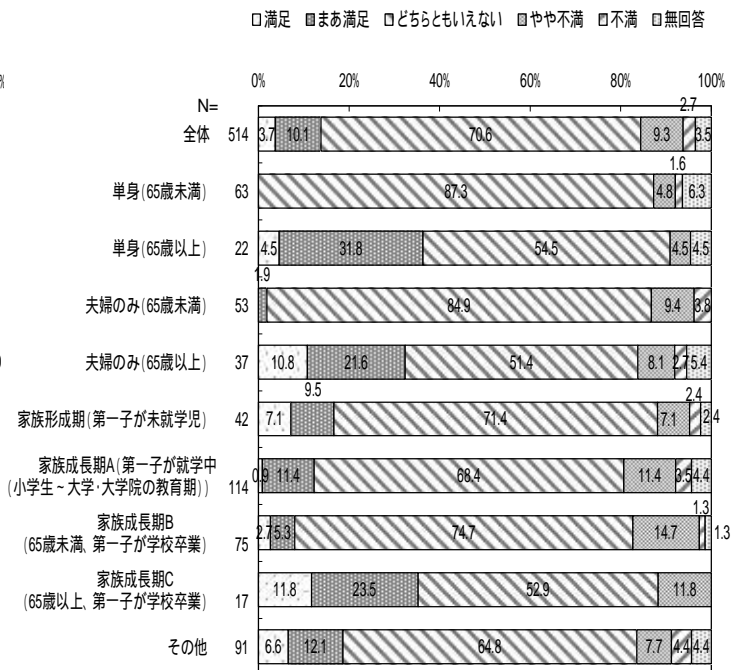
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

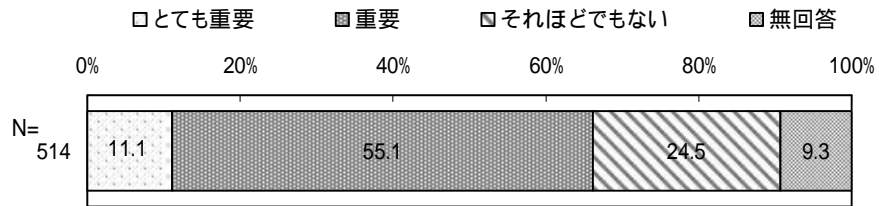


【問2 重要度】

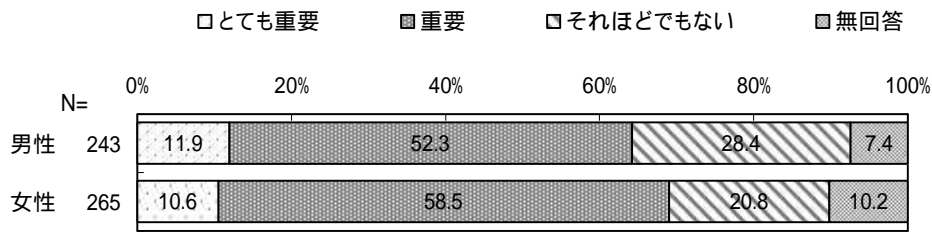
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

重要度を年代別で見ると、20～24歳で「それほどでもない」と関心の薄い人の割合が4割以上。
ライフステージ別で見ると、単身（65歳以上）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）と65歳以上で重要だと感じている人の割合が高くなっています。

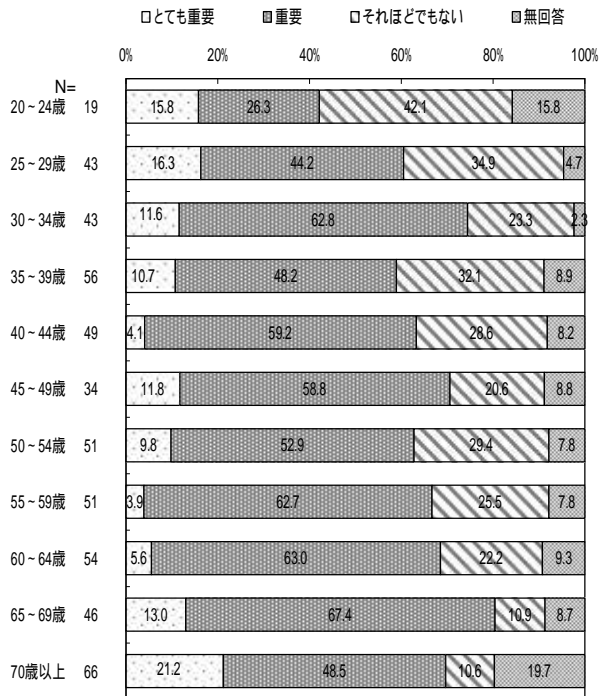
【全体】



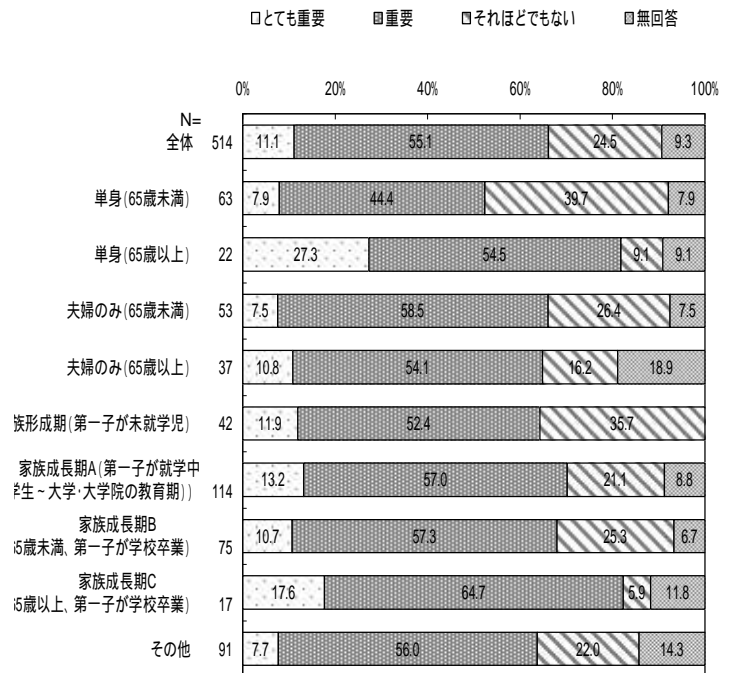
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

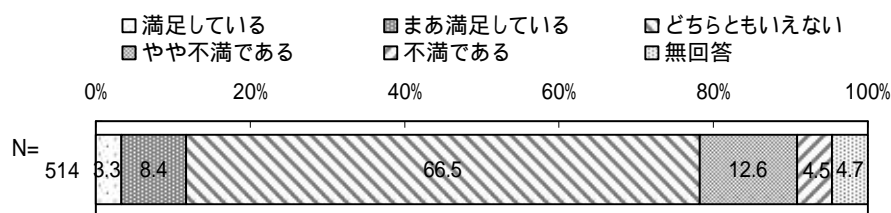


【問2 満足度】

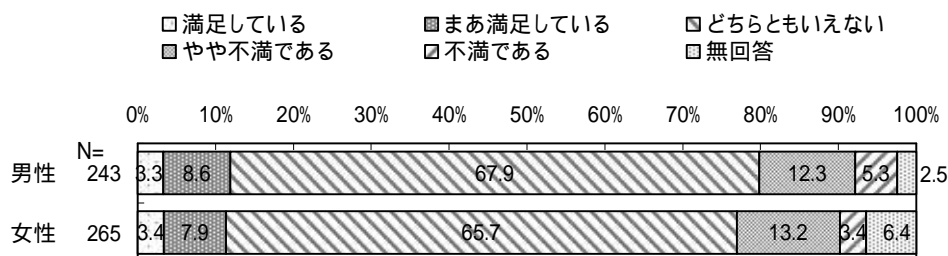
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

満足度をみると、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が 17.1% 「満足」「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が 11.7%と不満だと感じている人の割合がやや高くなっています。年代別でみると、45歳以上で不満だと感じている人の割合が高い傾向にあります。ライフステージ別でみると、他に比べ単身、夫婦のみとも65歳以上で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

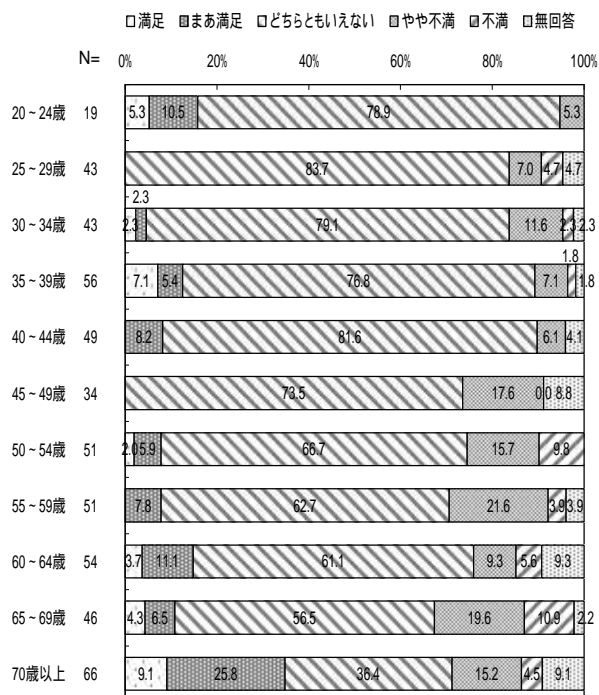
【全体】



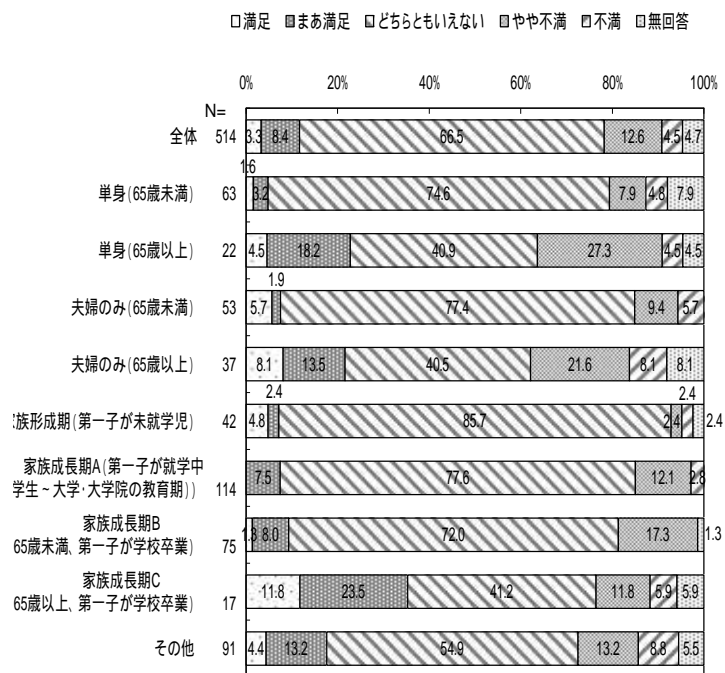
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

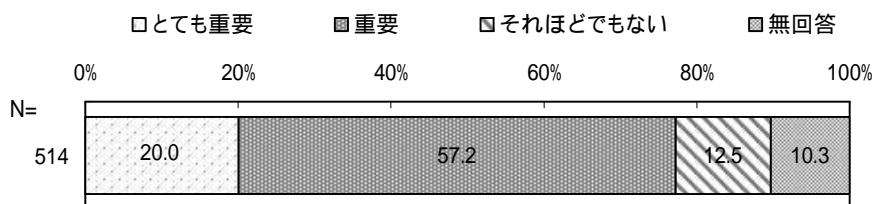


【問2 重要度】

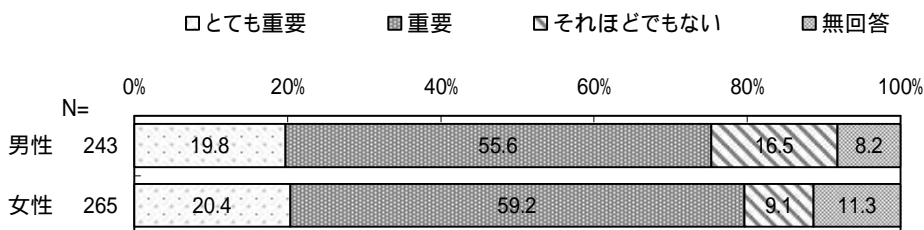
イ 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

重要度を性別で見ると、男性に比べ女性で、「とても重要」と「重要」をあわせ重要だと感じている人の割合がやや高くなっています。年代別で見ると、他の年代に比べ、30～34歳で重要だと感じている人の割合が最も高くなっています。ライフステージ別で見ると、単身（65歳以上）で重要だと感じている人の割合が最も高く、次いで家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）となっています。

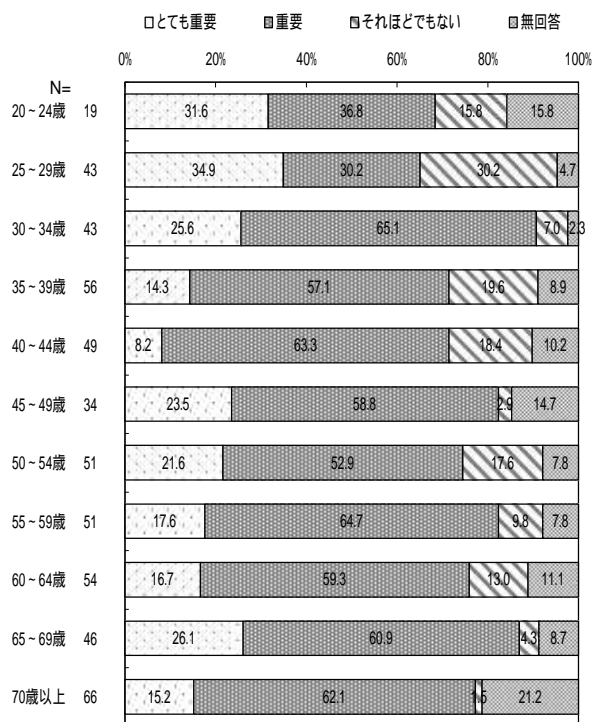
【全体】



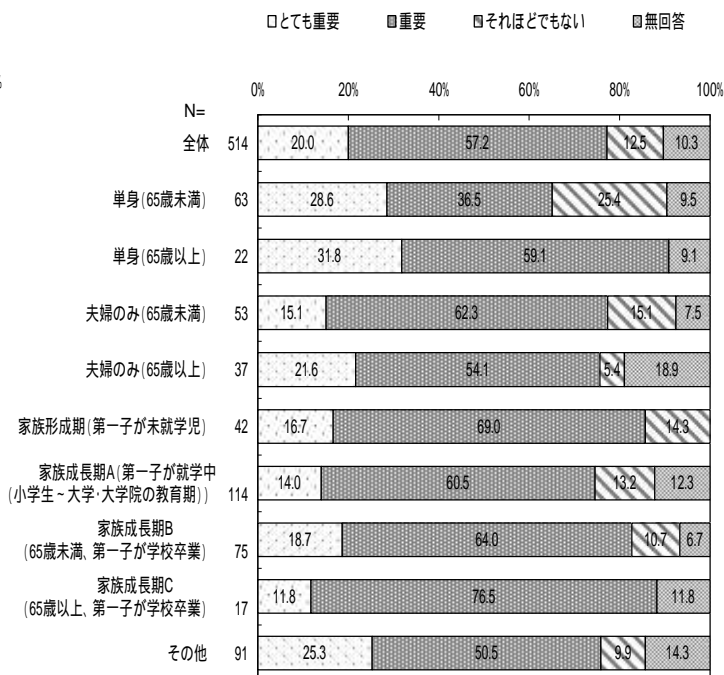
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

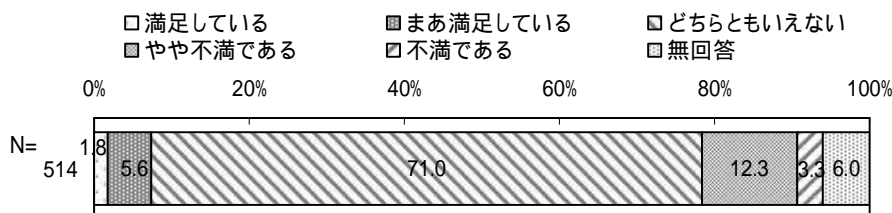


【問2 満足度】

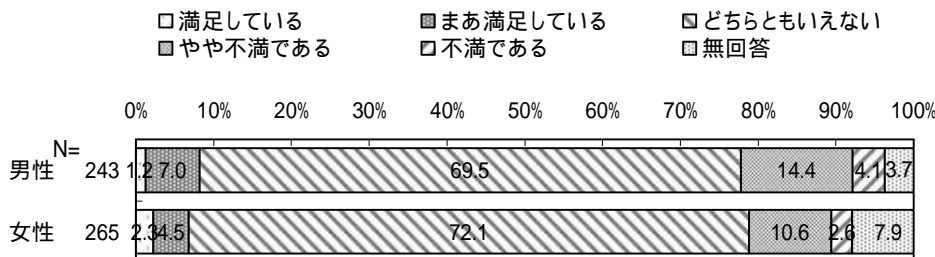
ウ 障がいのある人の社会参加と自立

満足度を全体でみると、「どちらともいえない」が約7割と関心が薄い。年代別でみると、45歳以上で「やや不満」と「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳以上）と家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で「やや不満」の割合が高くなっています。

【全体】

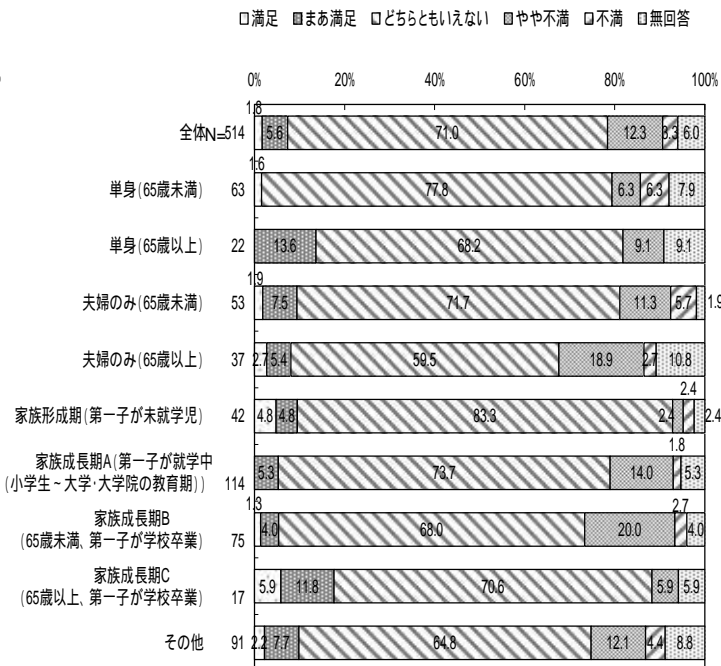
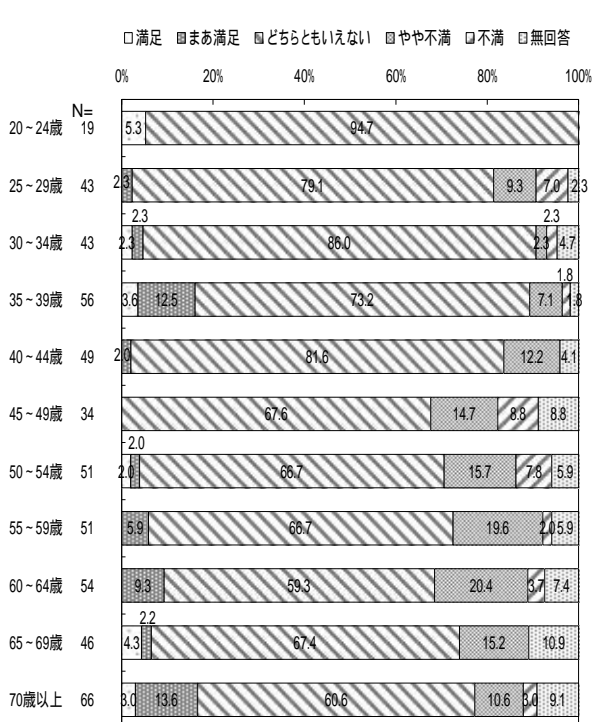


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

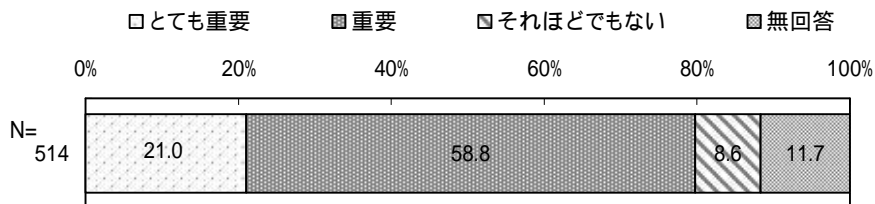


【問2 重要度】

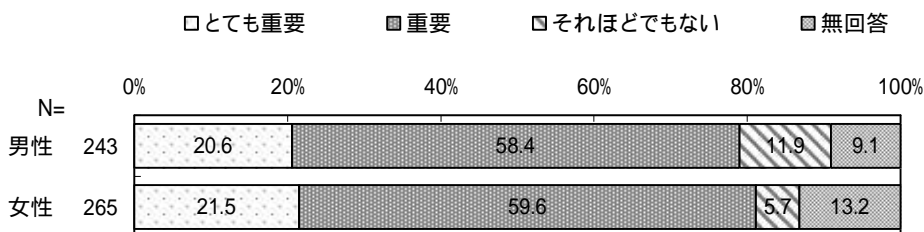
ウ 障がいのある人の社会参加と自立

重要度を全体で見ると、「重要」と「とても重要」をあわせ重要だと感じている人の割合が8割。年代別で見ると、とくに30～34歳の人で重要だと感じている人の割合が88.3%と高くなっています。ライフステージ別に見ると、家族成長期C（65歳未満、第一子が学校卒業）で約9割が重要だと感じています。

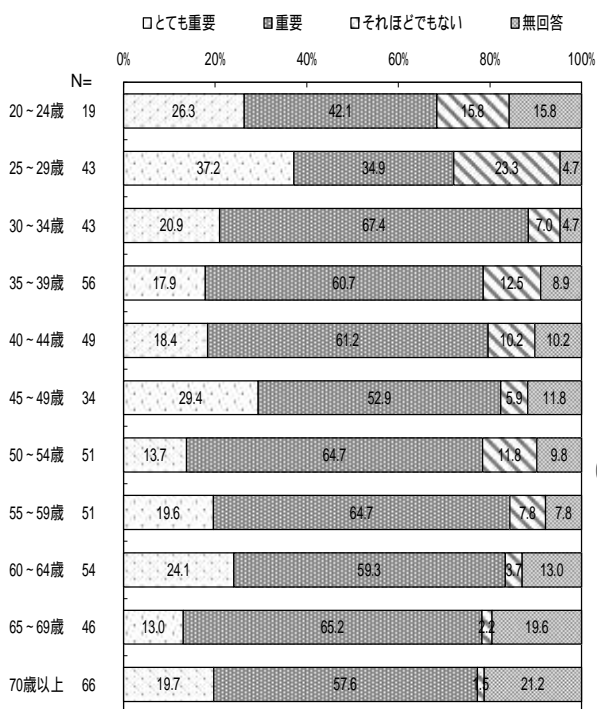
【全体】



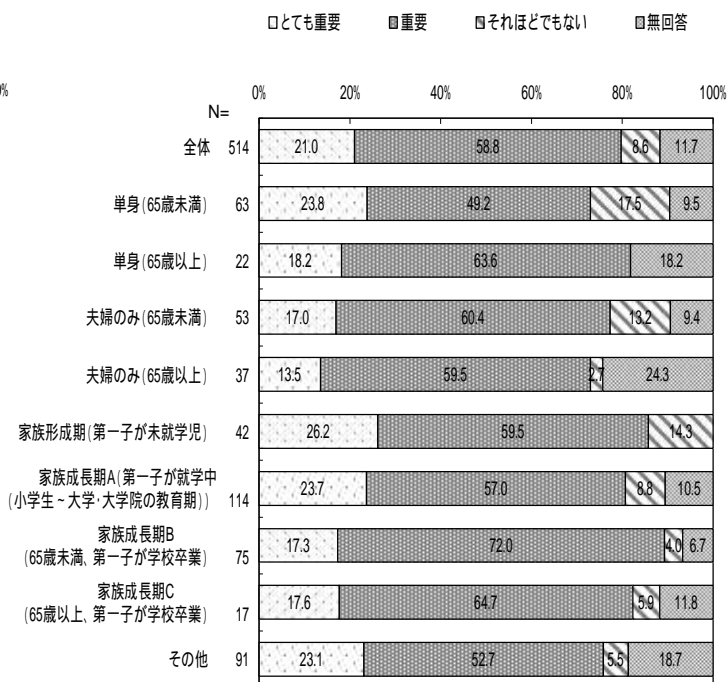
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



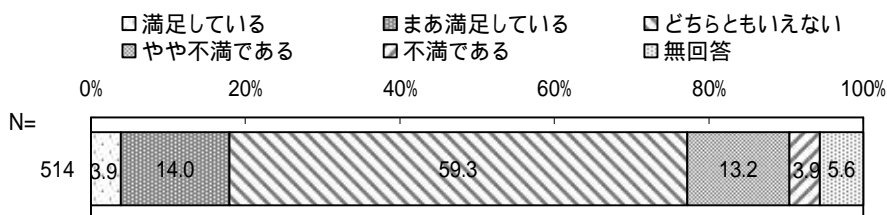
【問2 満足度】

エ 安心して子育てができる環境の充実

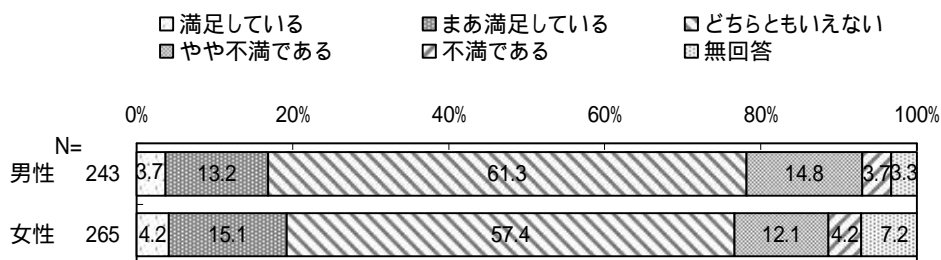
満足度を年代別でみると、25～29歳、次いで30～34歳で「やや不満」「不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で「まあ満足」と「満足」をあわせた満足だと感じている人の割合が41.2%と高い一方、家族形成期（第一子が未就学児）と家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））では不満だと感じている人の割合が高くなっています。

追加クロス（問2エ満足度×F3-2）は「参考資料」を参照

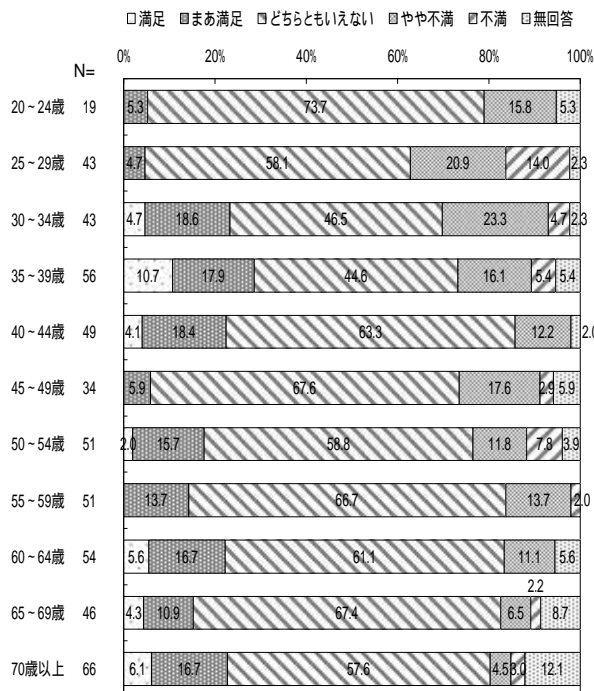
【全体】



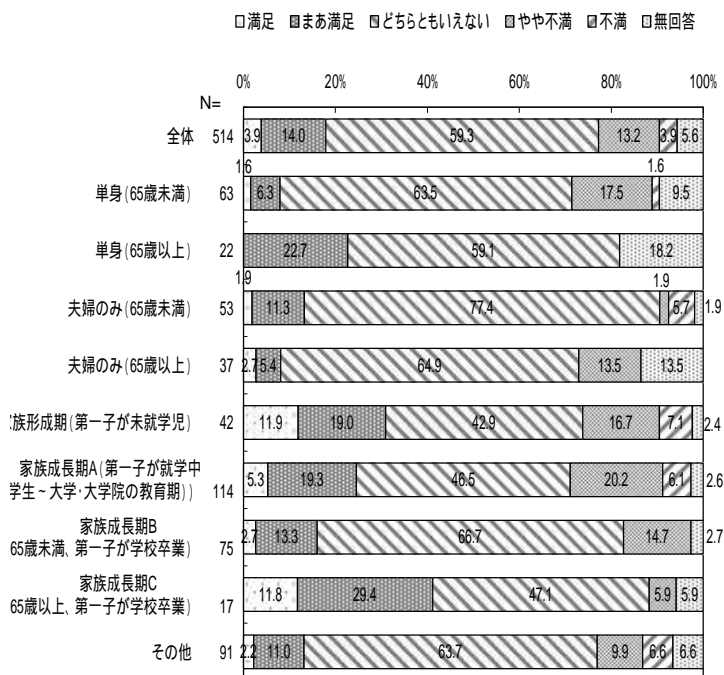
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

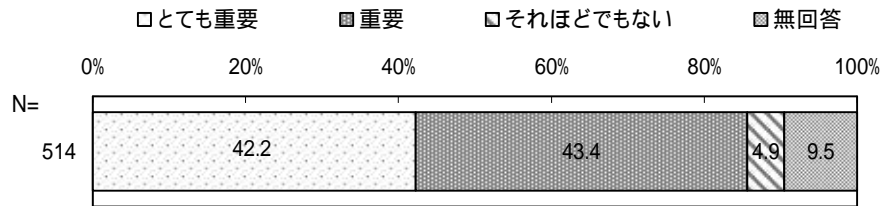


【問2 重要度】

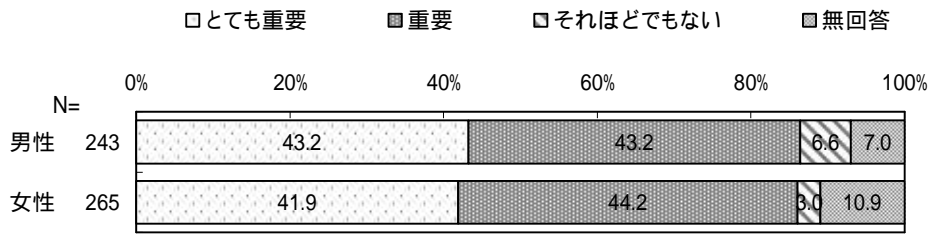
エ 安心して子育てができる環境の充実

重要度を年代別でみると、25～34歳で「とても重要」の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が7割以上と高くなっています。一方、夫婦のみ（65歳以上）で「とても重要」「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が低くなっています。

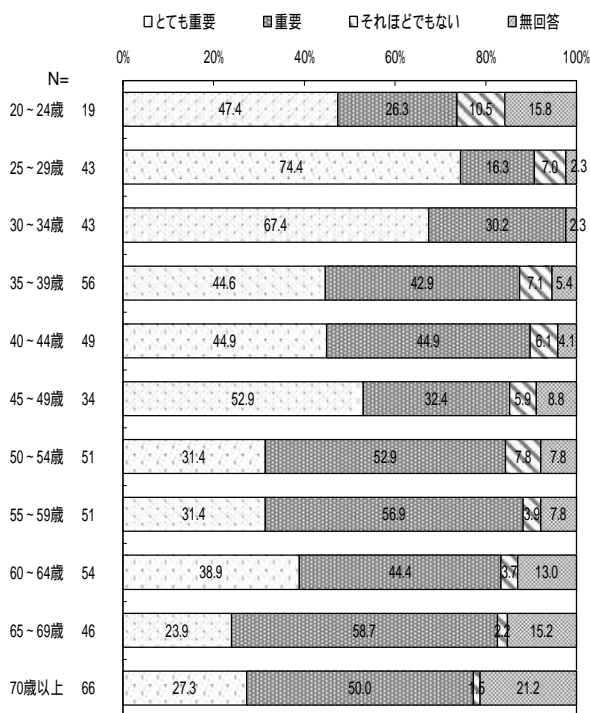
【全体】



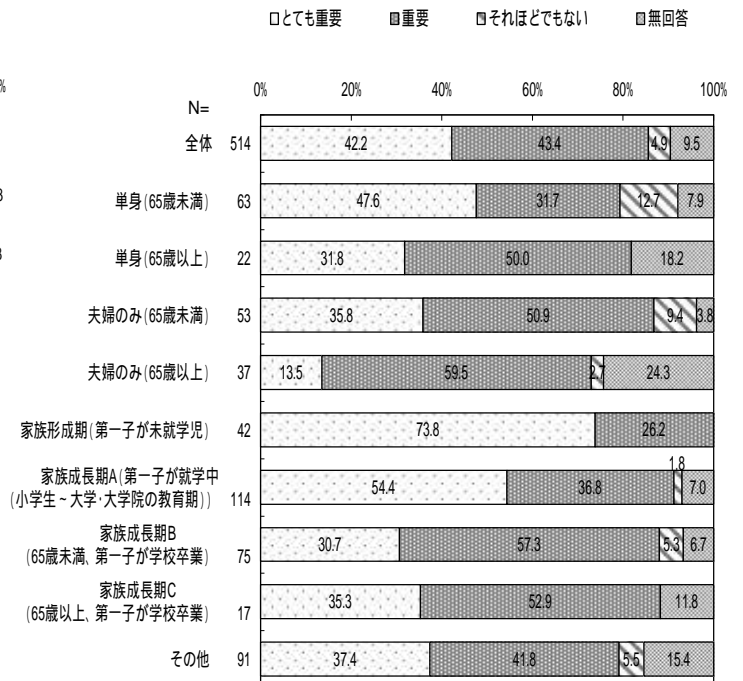
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

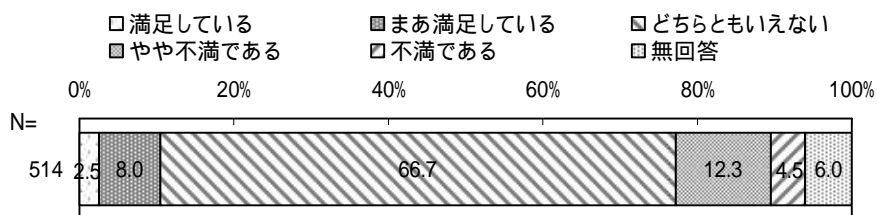


【問2 満足度】

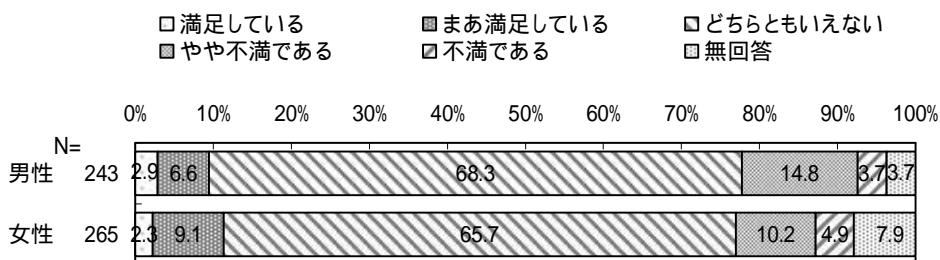
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

満足度を全体で見ると「やや不満」と「不満」をあわせた、不満であると感じている人の割合が「満足」「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別で見ると、45～49歳では満足だと感じている人はおらず、次いで25～29歳で「まあ満足」が2.3%と低い割合となっています。ライフステージ別で見ると、夫婦のみ（65歳未満）で満足だと感じている人の割合が特に低くなっています。

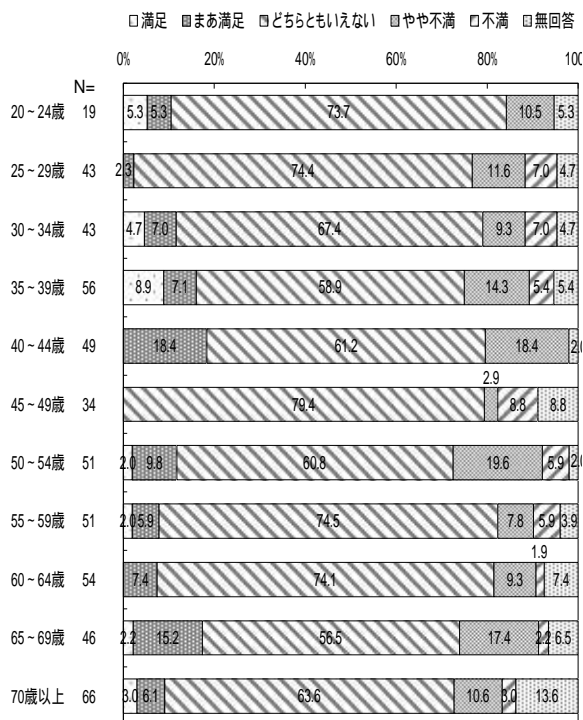
【全体】



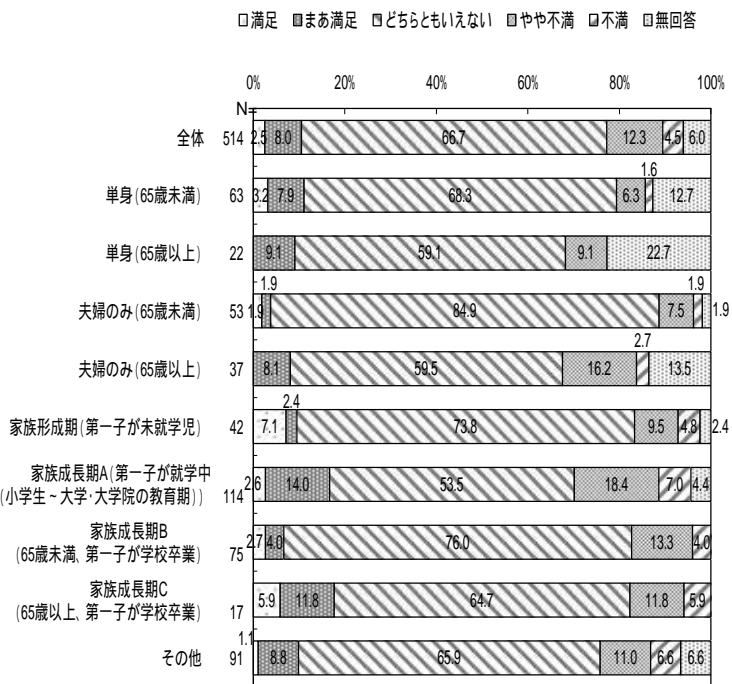
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

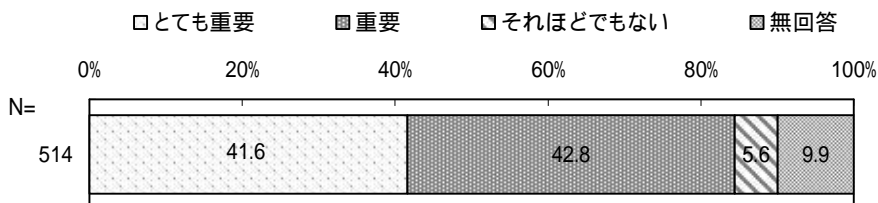


【問2 重要度】

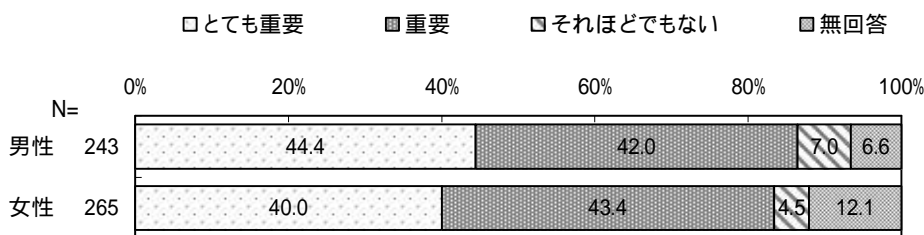
オ 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

重要度を年代別で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、すべての年代で7割以上となっています。ライフステージ別にみると、家族形成期（第一子が未就学児）と家族成長期Aで「とても重要」と感じている人の割合が特に高く5割を超えています。

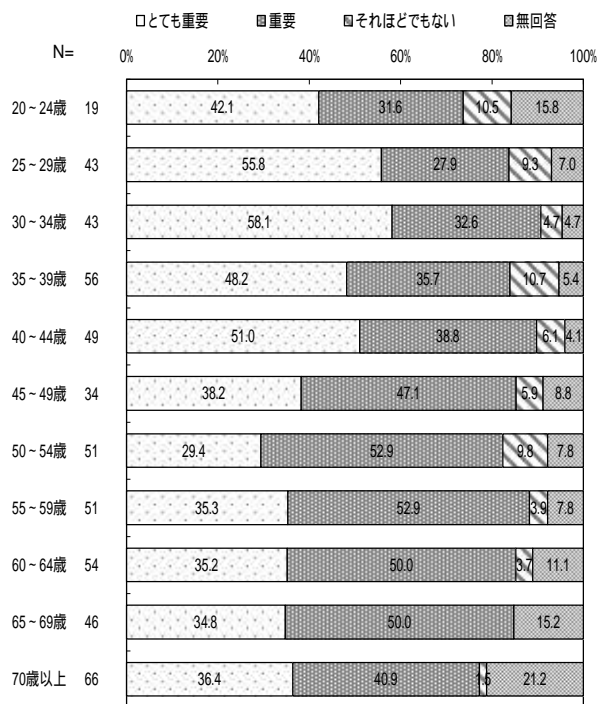
【全体】



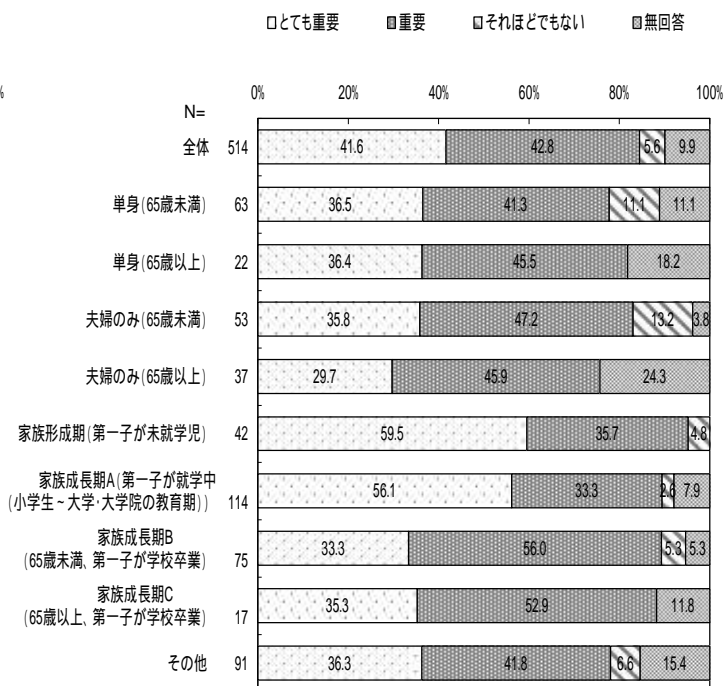
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

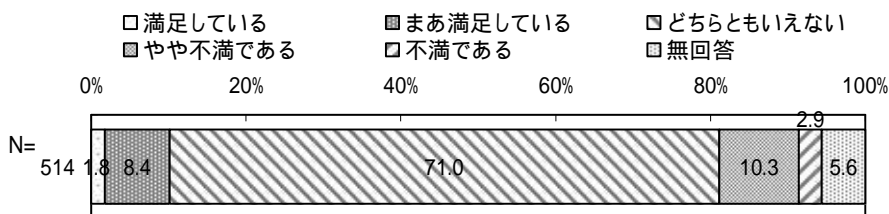


【問2 満足度】

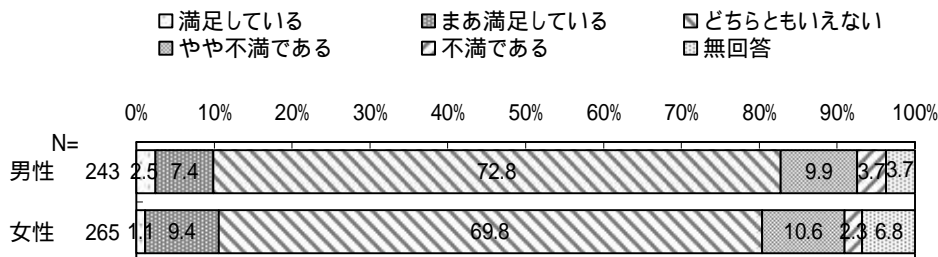
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度

満足度を全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足と感じている人より「不満」と「やや不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が上まわっています。性別、年代別では大きな差異はみられません。ライフステージ別でみると、家族成長期C(65歳以上で、第一子が学校卒業)と単身(65歳以上)で満足している人の割合が特に高くなっています。

【全体】

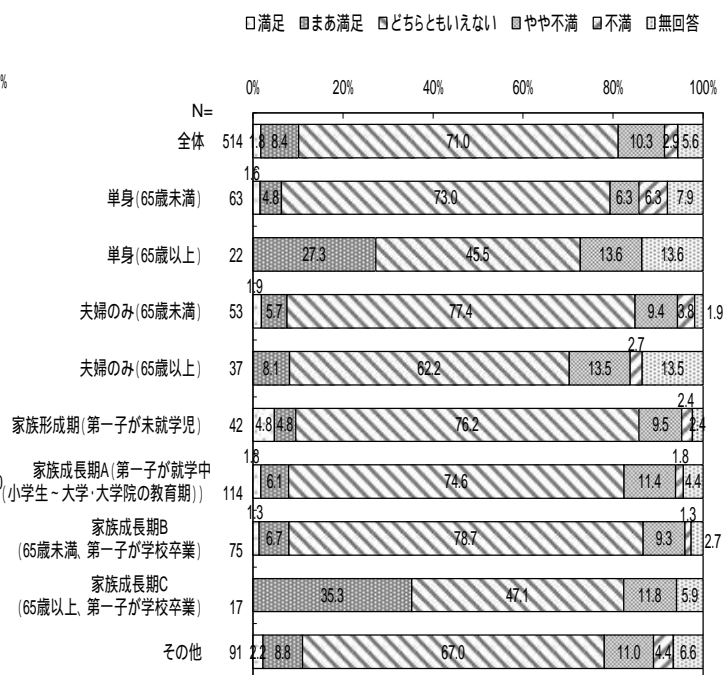
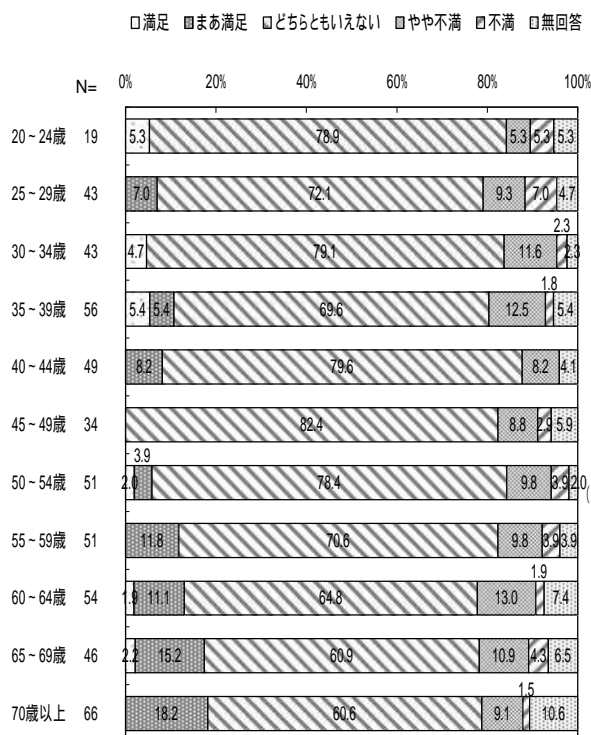


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

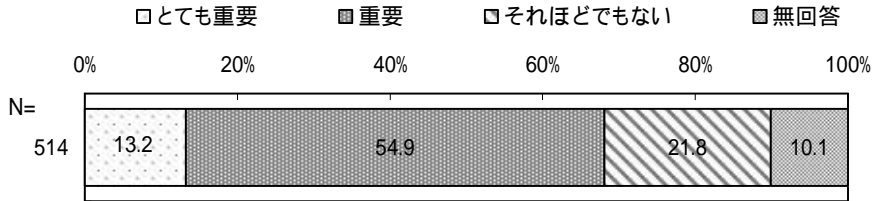


【問2 重要度】

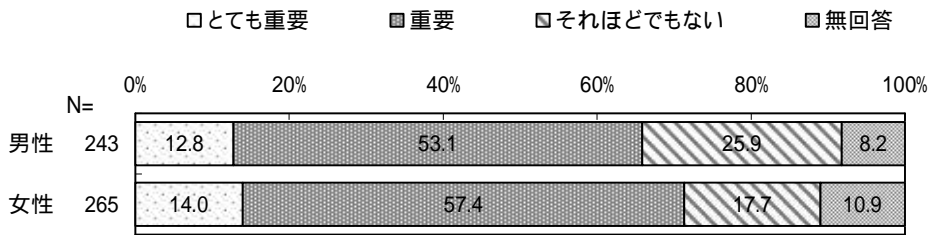
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実度

重要度を性別で見ると、男性に比べ女性で「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別に見ると、家族成長期（第一子が未就学児）で重要だと感じている人の割合が8割以上と高くなっています。

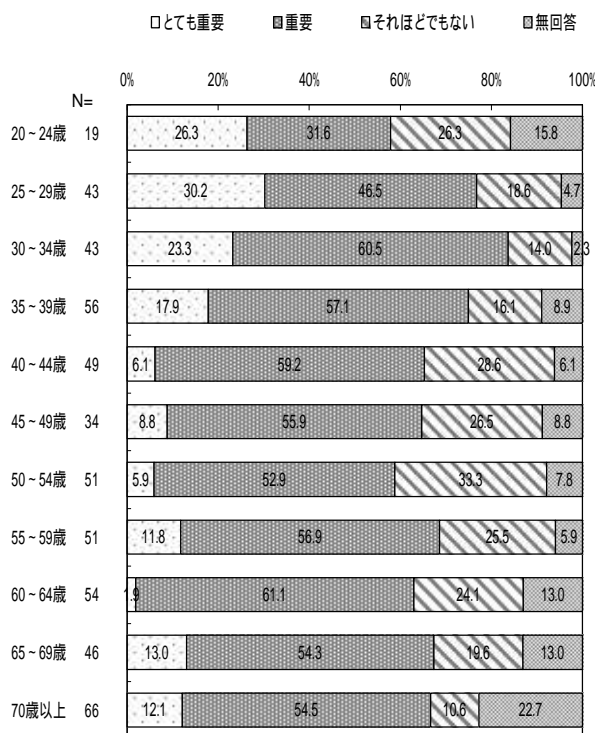
【全体】



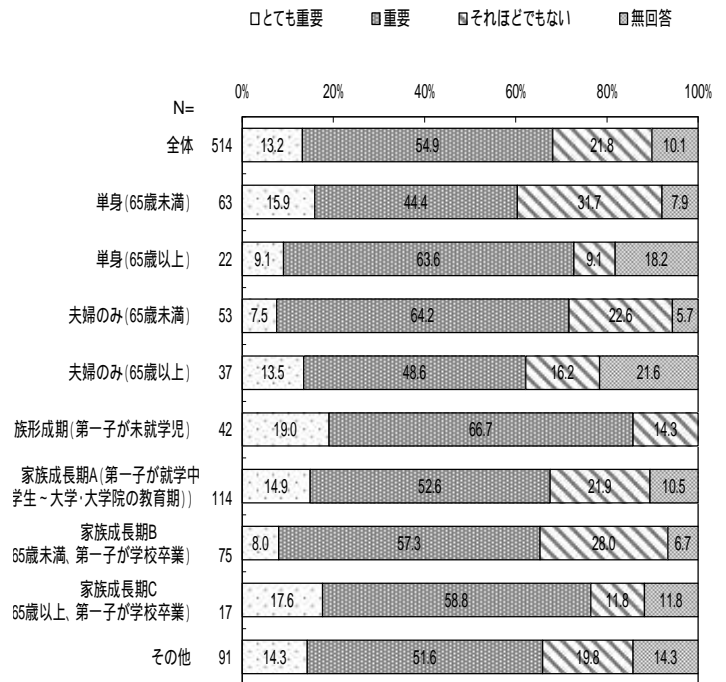
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

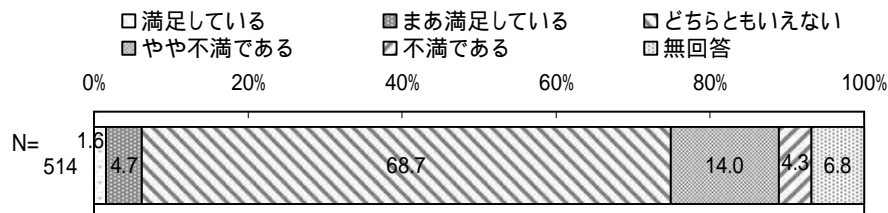


【問2 満足度】

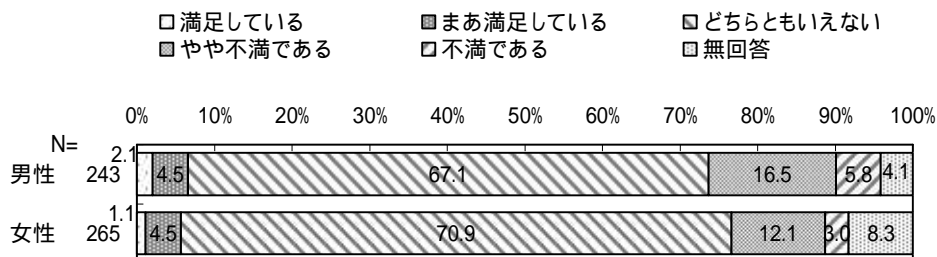
キ 次世代を担う青少年の育成

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別にみても全ての世代で不満だと感じている人の割合が満足だと感じている人の割合を上まわっています。

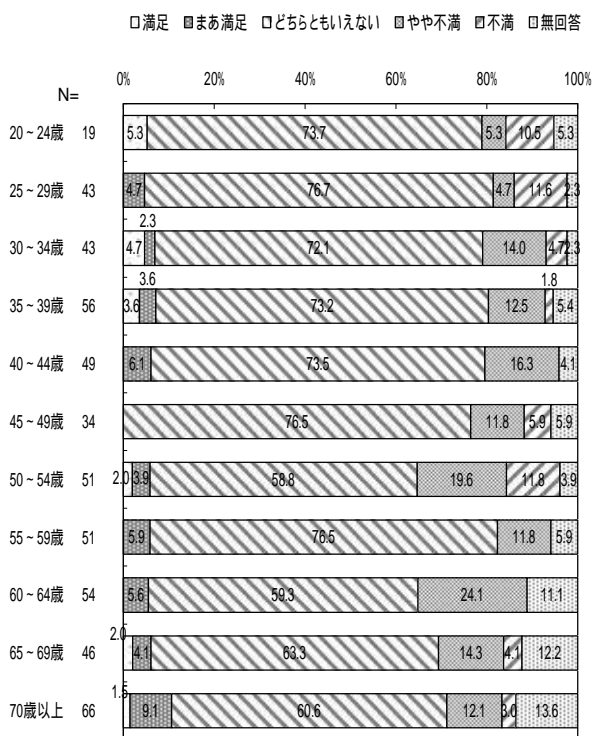
【全体】



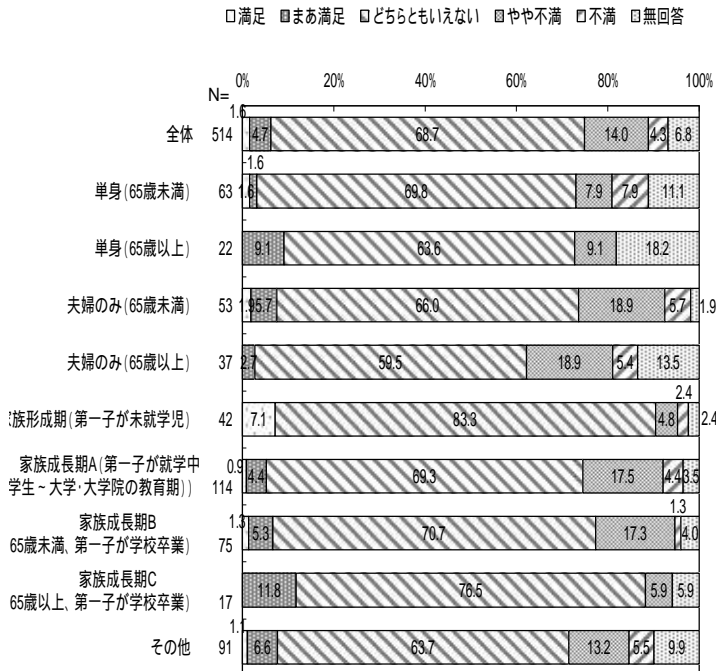
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

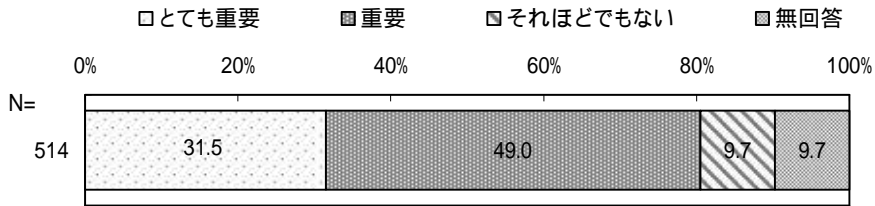


【問 2 重要度】

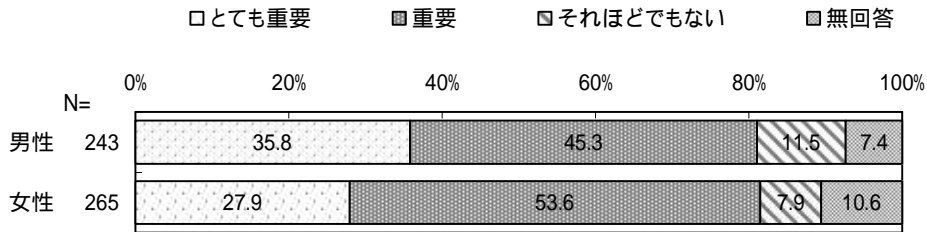
キ 次世代を担う青少年の育成

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は約 8 割。年代別で見ると、他の年代に比べ、20～24 歳で重要だと考えている人の割合が低くなっています。ライフステージ別で見ると、単身、夫婦のみ、家族成長期のうち 65 歳以上で「とても重要」と感じている人の割合が特に高くなっています。

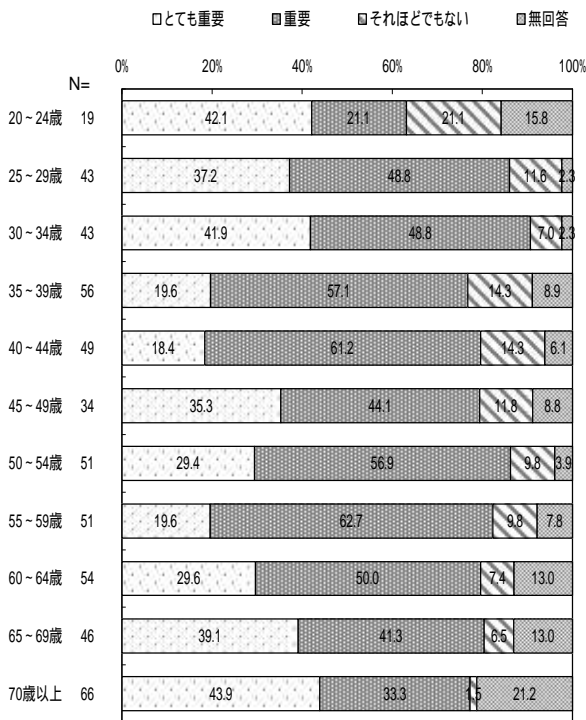
【全体】



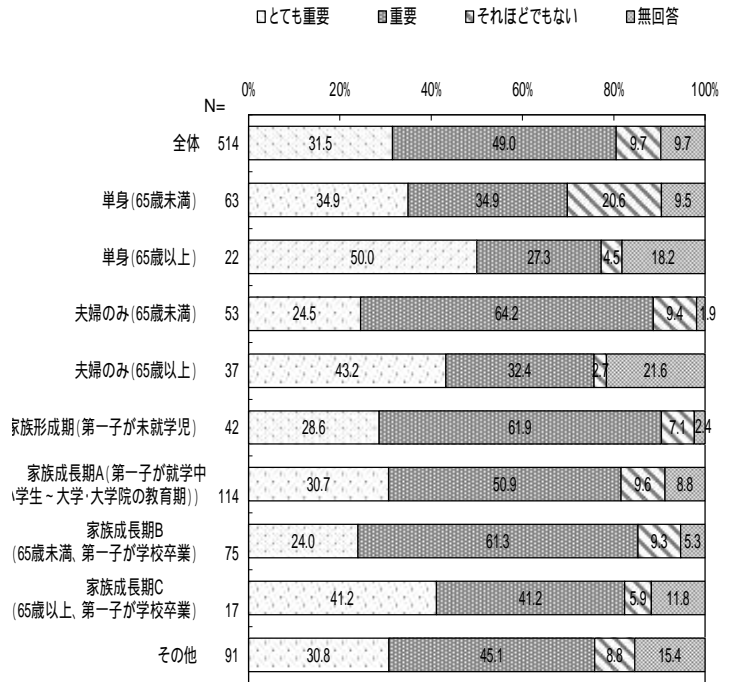
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

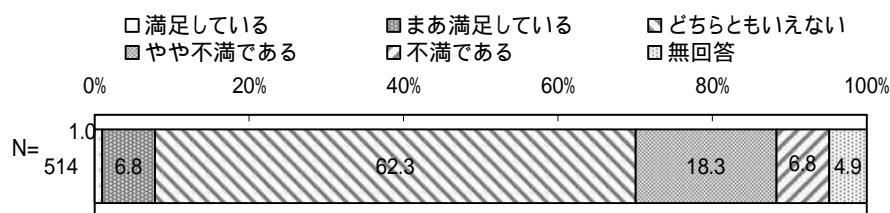


【問2 満足度】

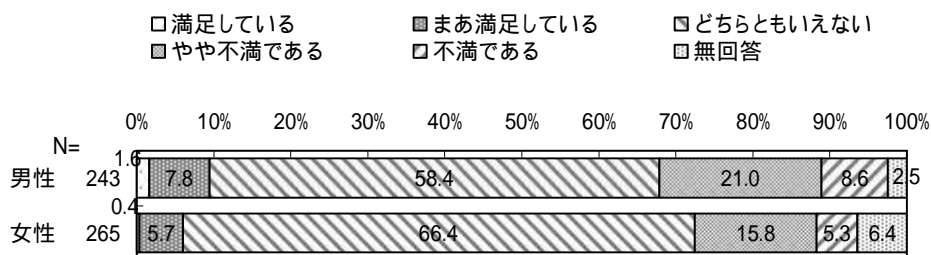
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を約3倍上まわっています。性別でみると、男性が女性に比べ、不満だと感じている人の割合が高くなっています。年代別にみると、25～29歳で不満だと感じている人の割合が最も高く、約4割。次いで35～39歳、50～54歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

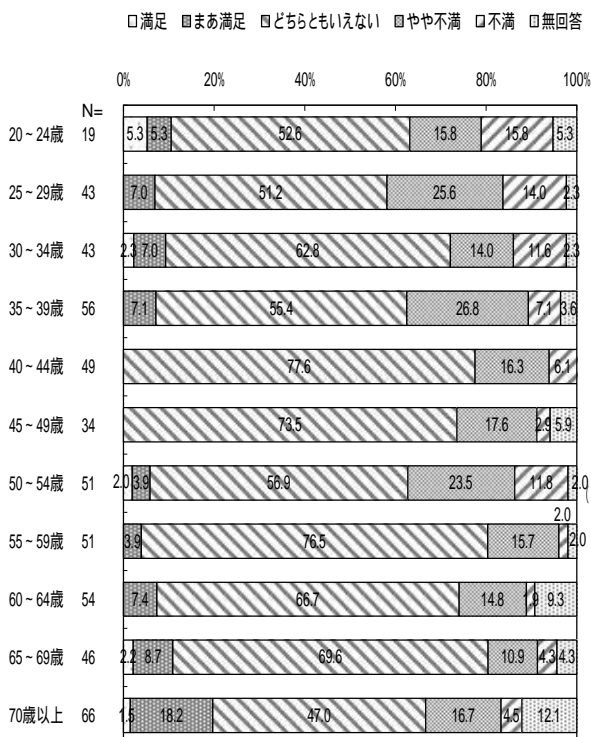
【全体】



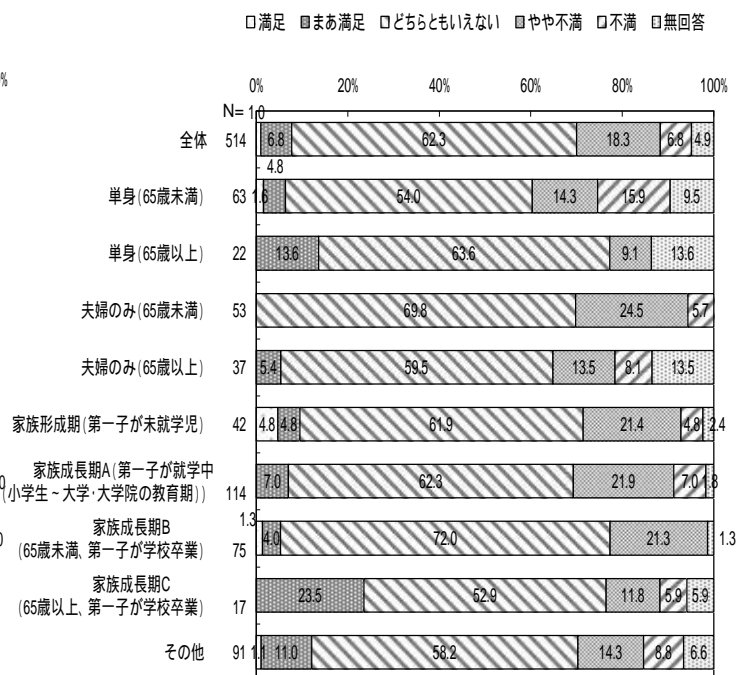
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

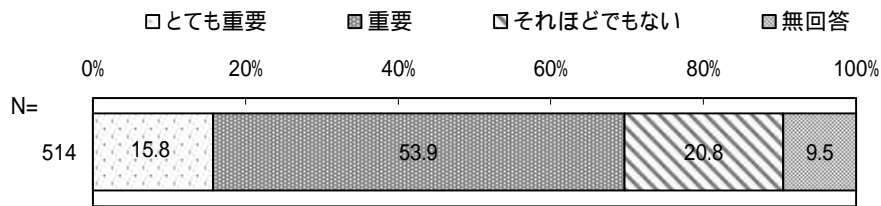


【問2 重要度】

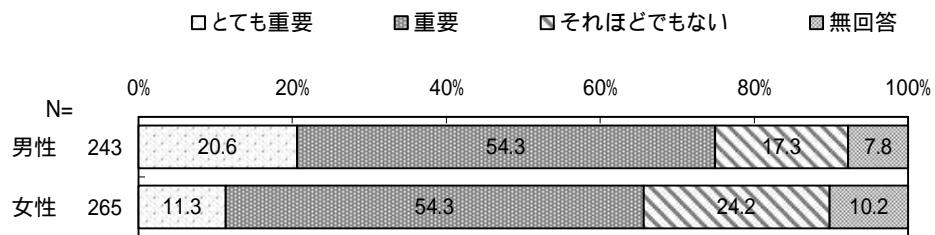
ク スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要だと感じている人の割合は7割。性別で見ると、男性が女性に比べ、重要だと感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、若い世代で「とても重要」と考えている割合が高く、特に20~24歳では4割以上が「とても重要」と感じています。ライフステージ別で見ると、単身(65歳未満)で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

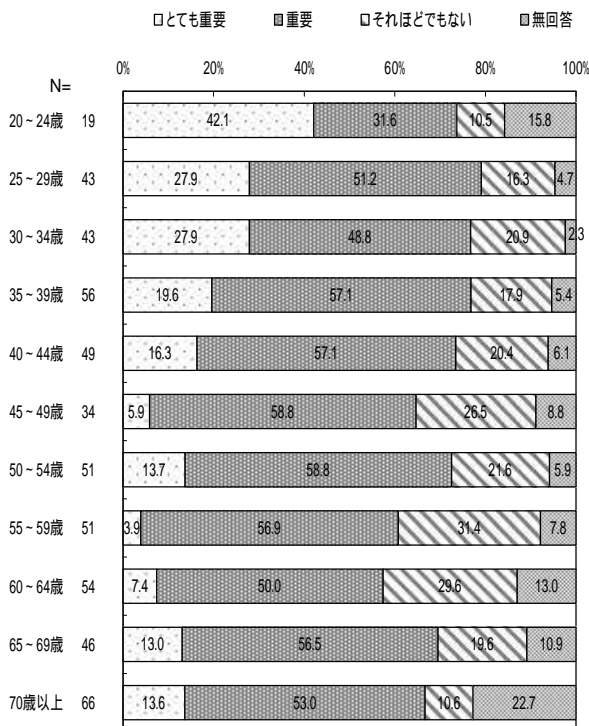
【全体】



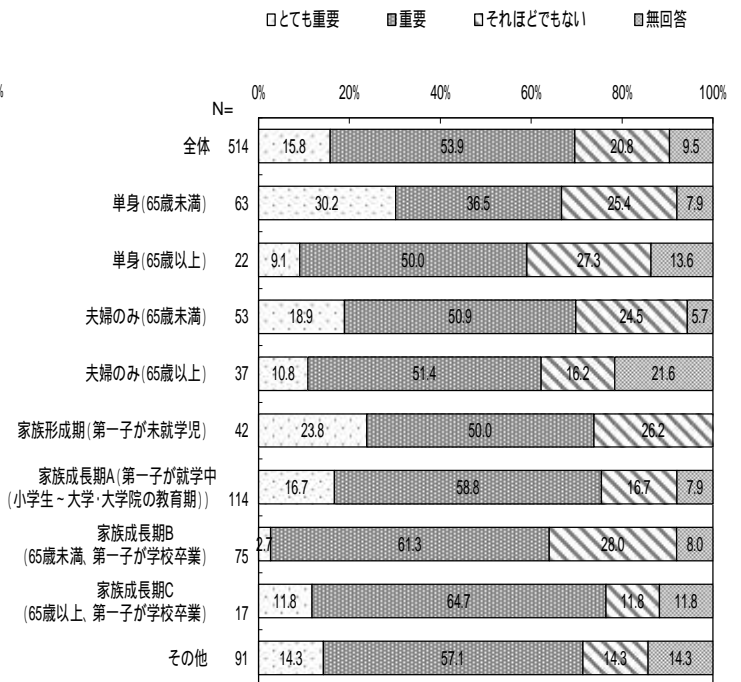
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

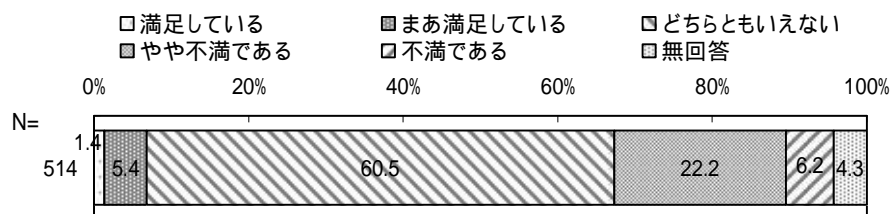


【問2 満足度】

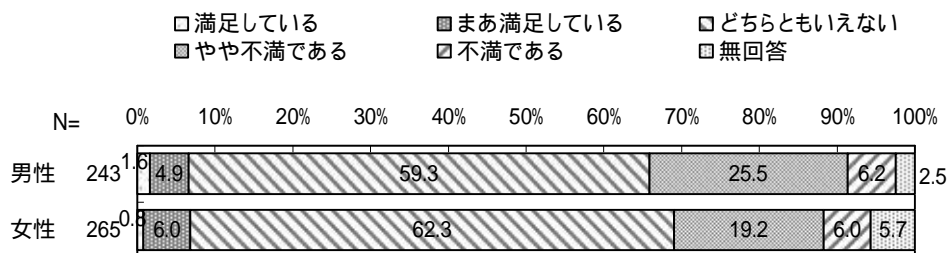
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別にみると、他の年代に比べ、25～29歳で不満だと感じている人の割合が5割と高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳以上）で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

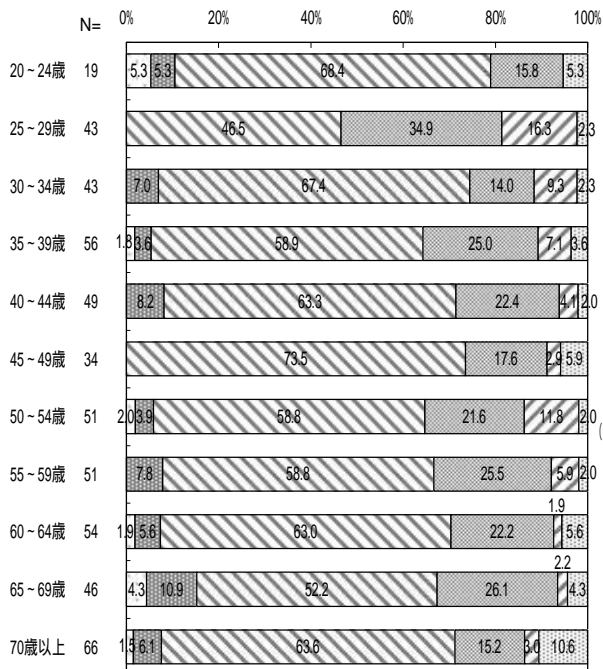


【性別】



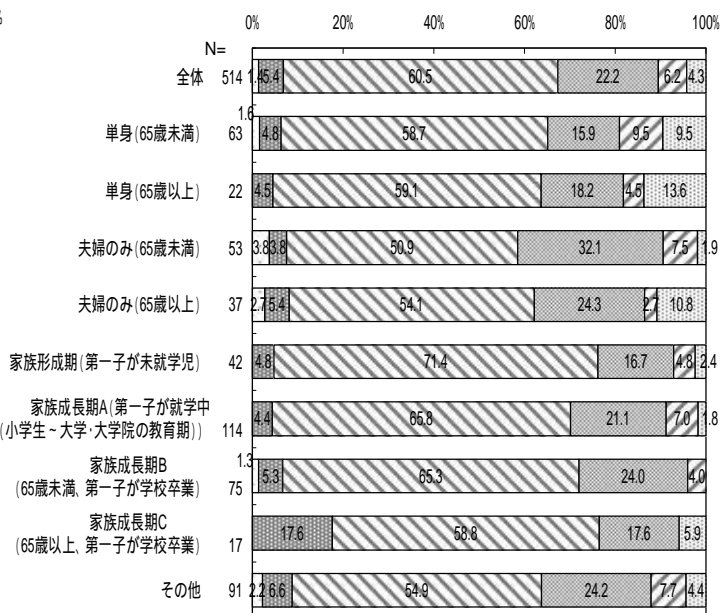
【年代別】

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答



【ライフステージ別】

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答

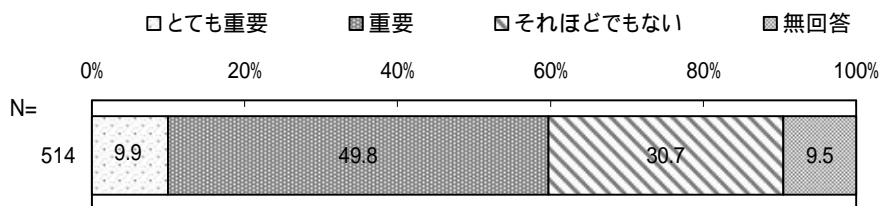


【問2 重要度】

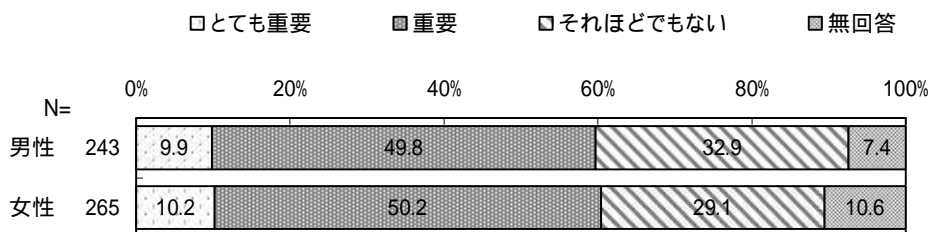
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は約6割と低くなっています。年代別で見ると、他の年代に比べ20～34歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高い。一方、45～49歳で「それほどでもない」が4割以上と関心が薄くなっています。性別、ライフステージ別では大きな差異はみられません。

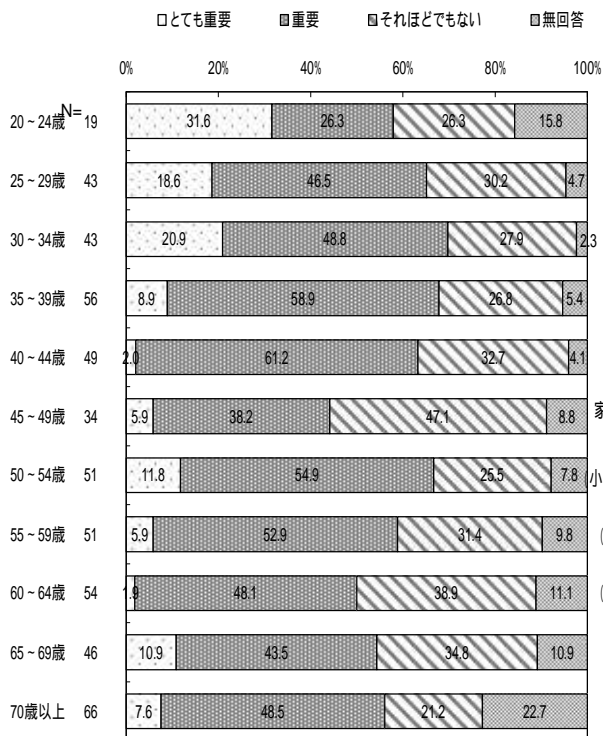
【全体】



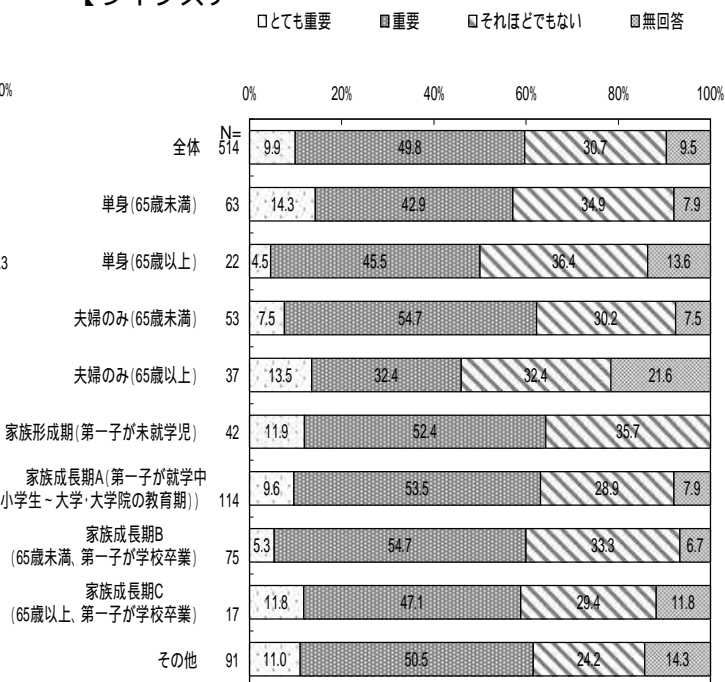
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

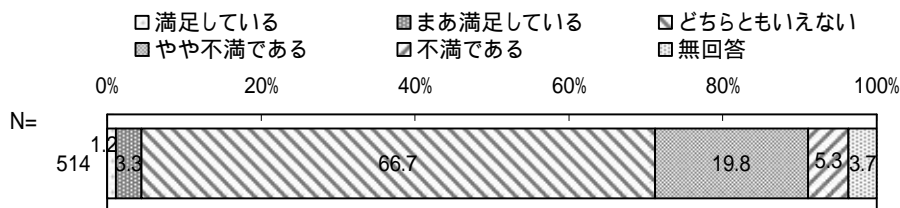


【問2 満足度】

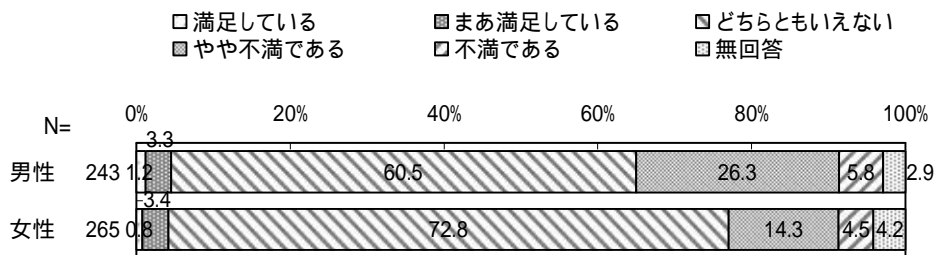
コ 市民が関わることのできるまちづくり

満足度については、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を5倍程度上まわっています。年代別にも全ての世代で不満だと感じている人の割合が満足だと感じている人の割合を上まわっており、特に25～29歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。性別でみると、女性に比べ男性の不満であると感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

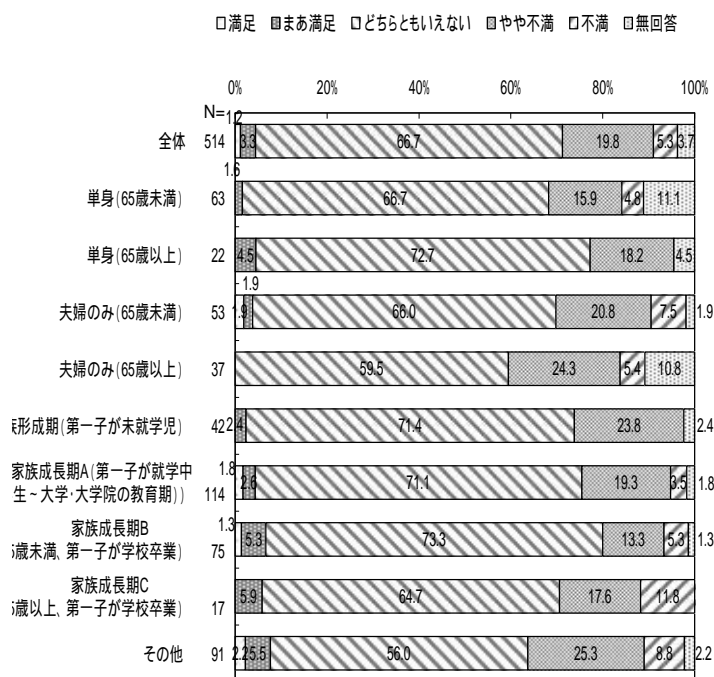
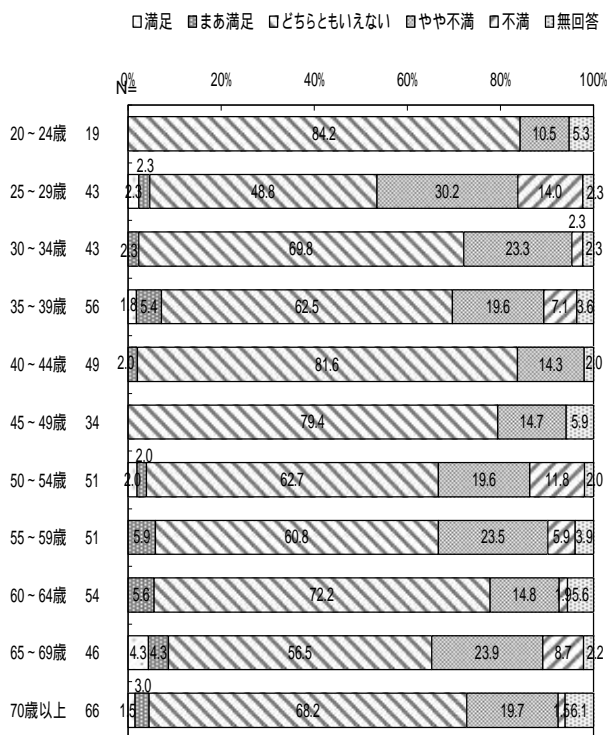


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

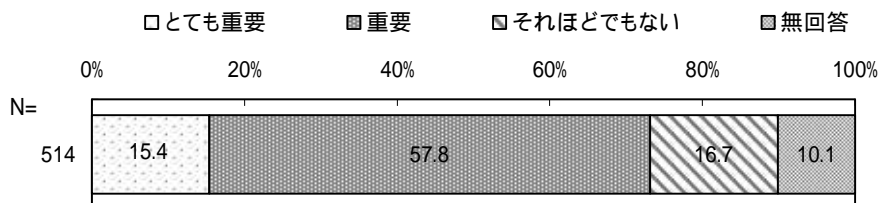


【問2 重要度】

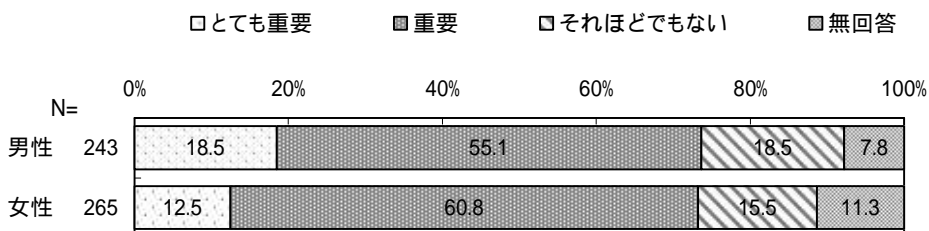
コ 市民が関わることのできるまちづくり

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は7割以上。年代別で見ると、20～34歳の若い世代で「とても重要」と考えている人の割合が高くなっています。

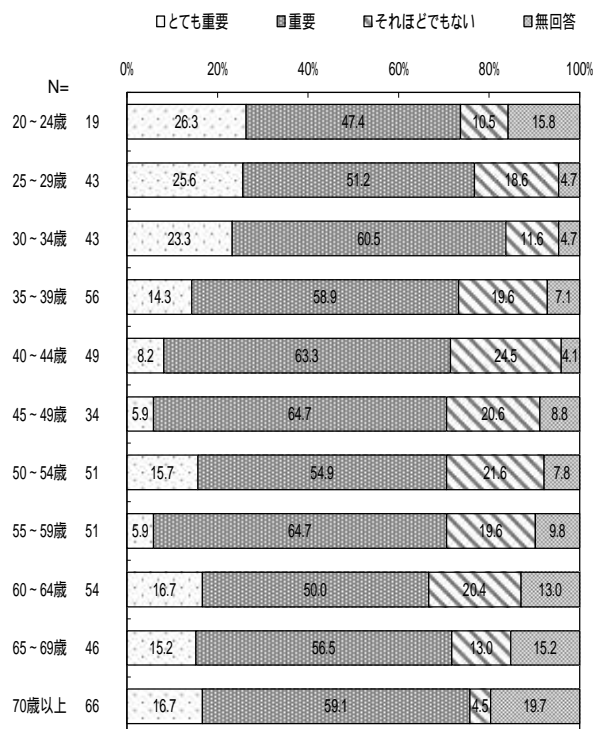
【全体】



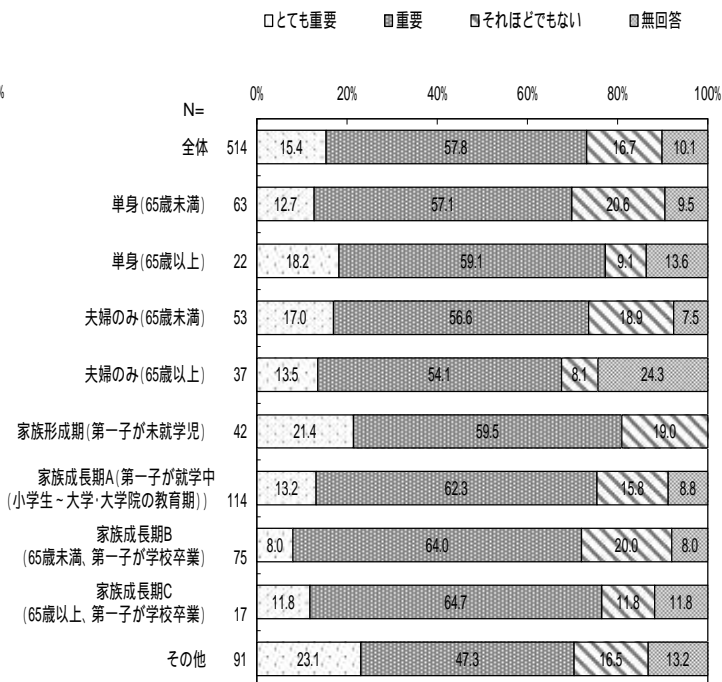
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

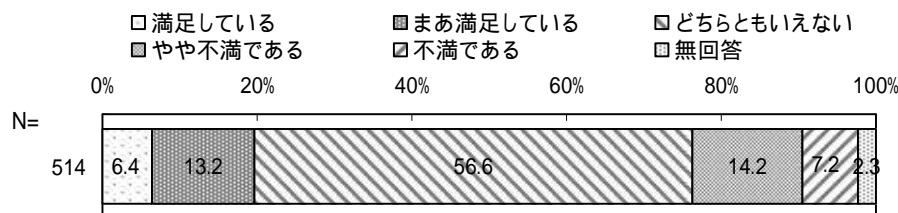


【問2 満足度】

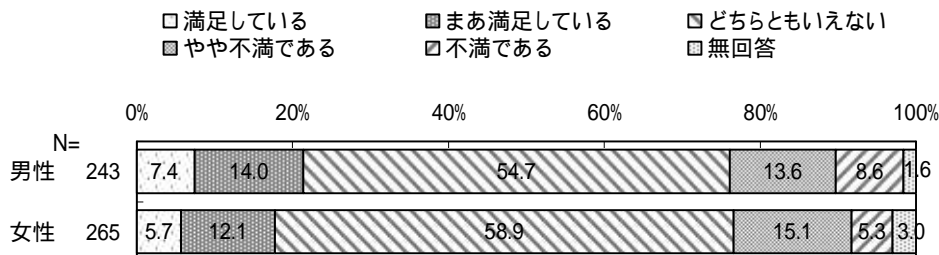
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合をやや上まわっています。年代別にみると、70歳以上で満足だと感じている人の割合が最も多く、36.4%。一方、25～34歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

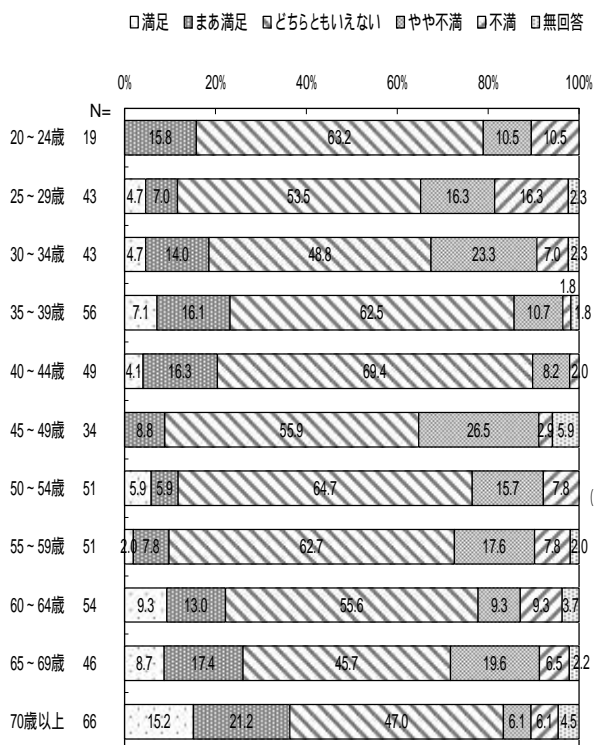
【全体】



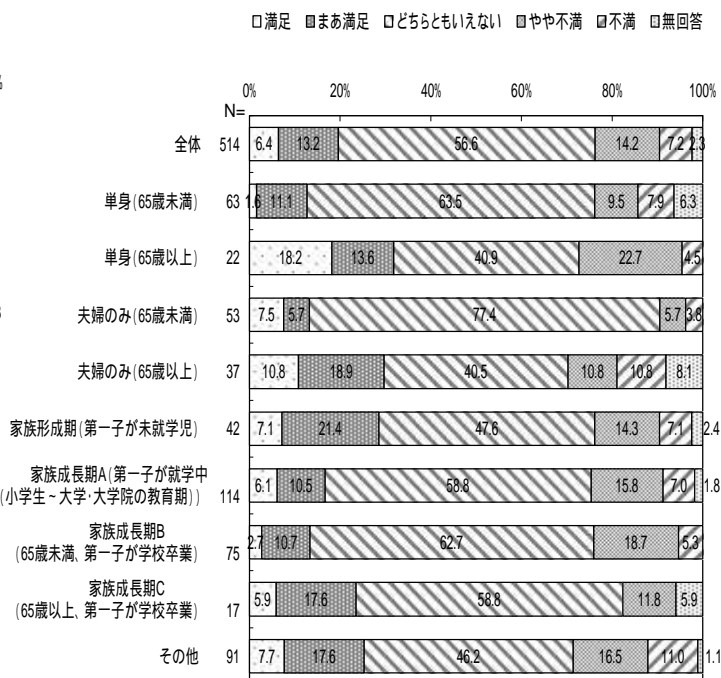
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

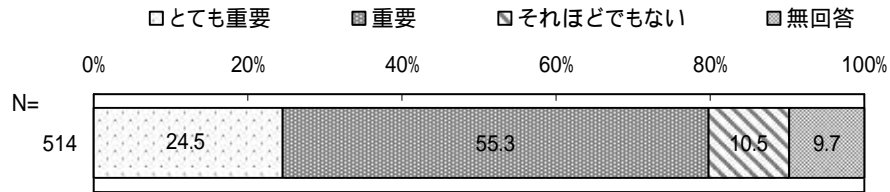


【問2 重要度】

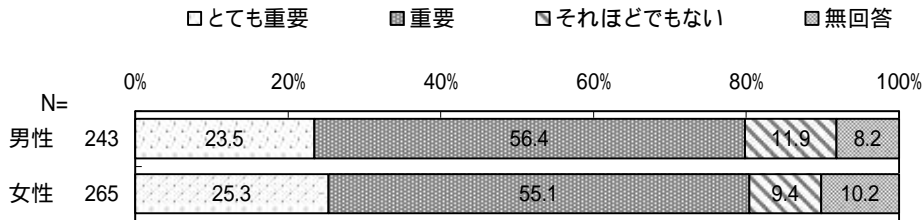
サ わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合は約8割。年代別で見ると、20～34歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、他に比べ、単身（65歳以上）で重要だと感じている人の割合が特に高くなっています。

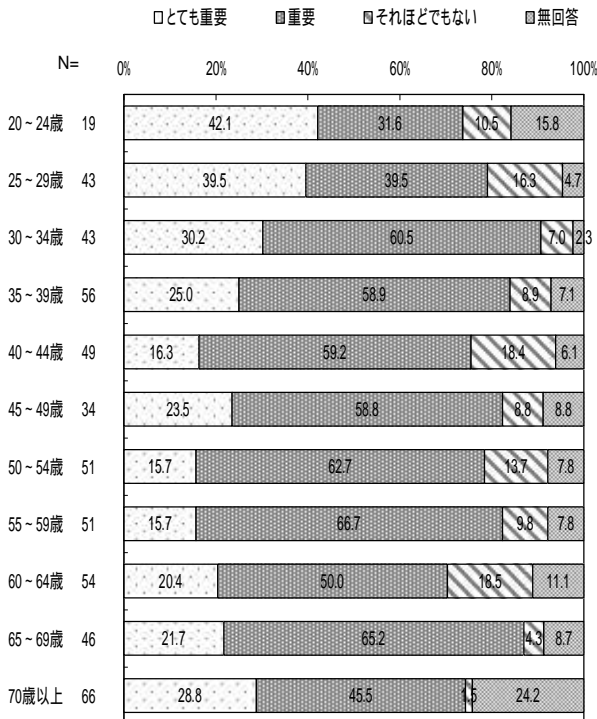
【全体】



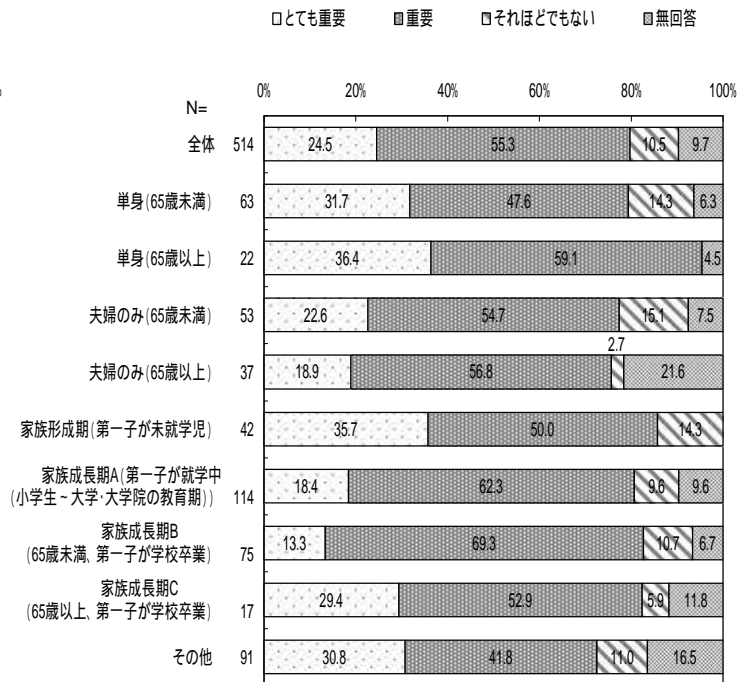
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

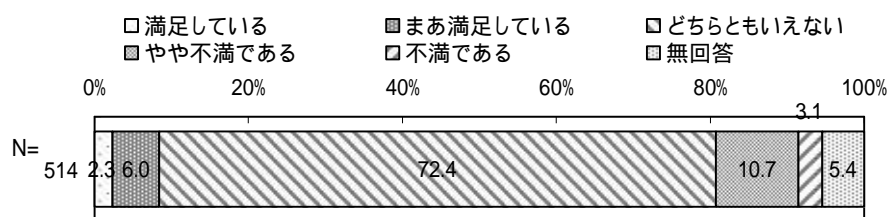


【問2 満足度】

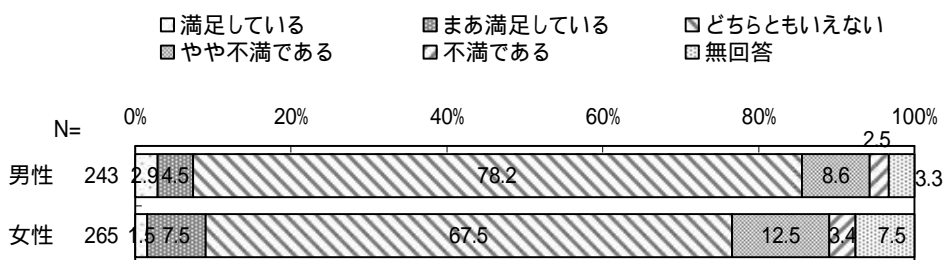
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

満足度を全体で見ると、「どちらともいえない」が7割を超えています。性別で見ると、男性に比べ女性が、満足だと感じている人の割合が高い一方、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合も高くなっています。年代別にみると、他の年代に比べ20～24歳で満足と感じている人の割合が、ライフステージ別では、家族成長期Cで満足と感じている人の割合が高くなっています。

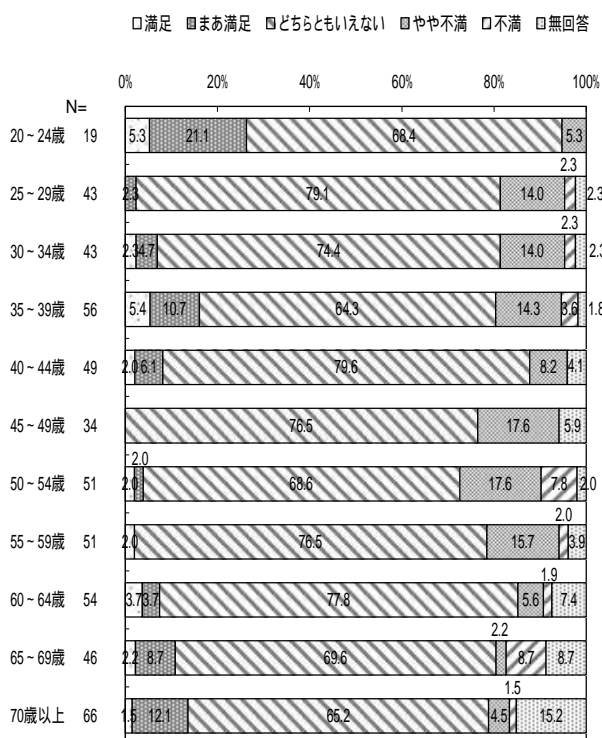
【全体】



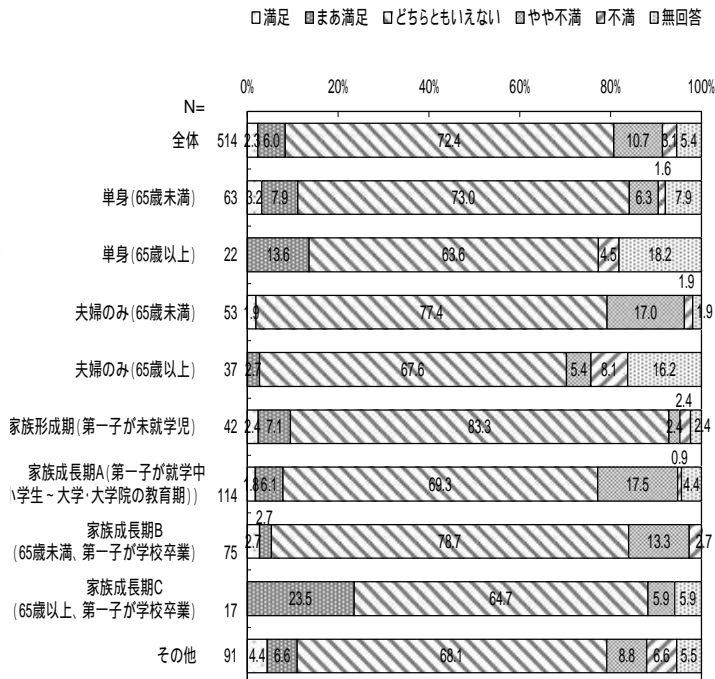
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

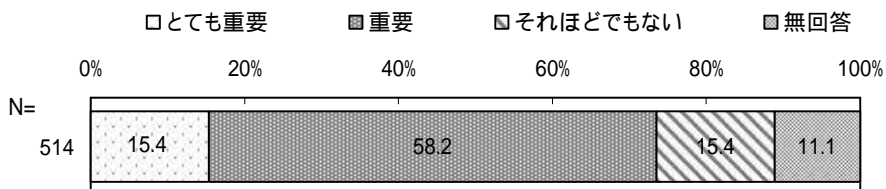


【問2 重要度】

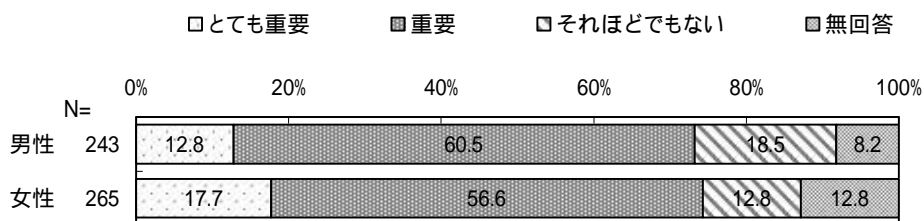
シ 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

重要度を性別で見ると、男性に比べ女性で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、20～39歳の若い世代で「とても重要」と考えている人の割合が高くなっています。

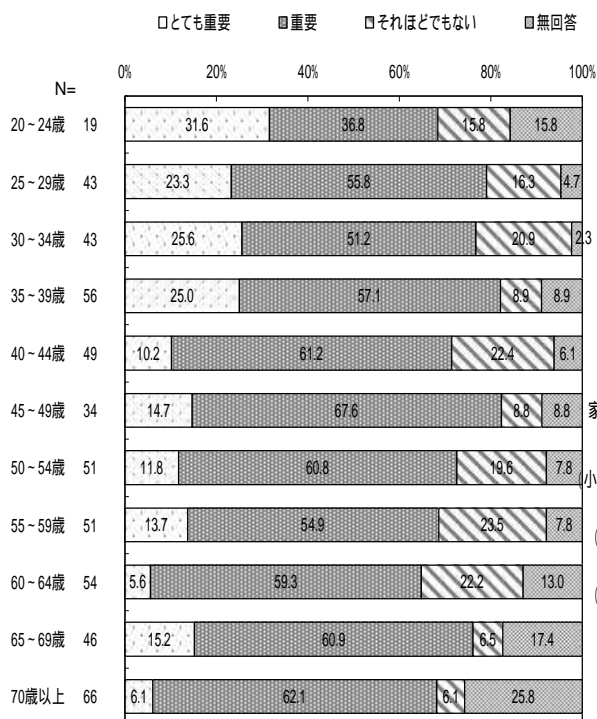
【全体】



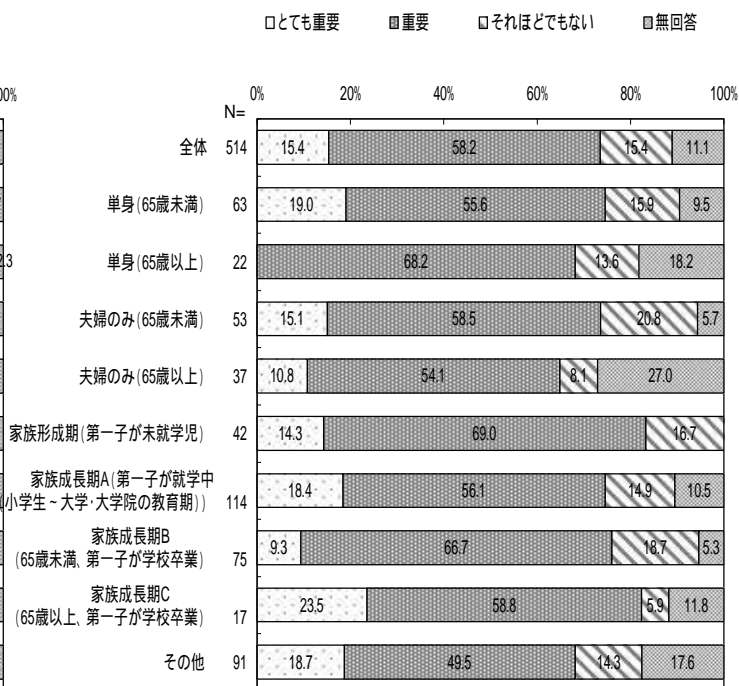
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

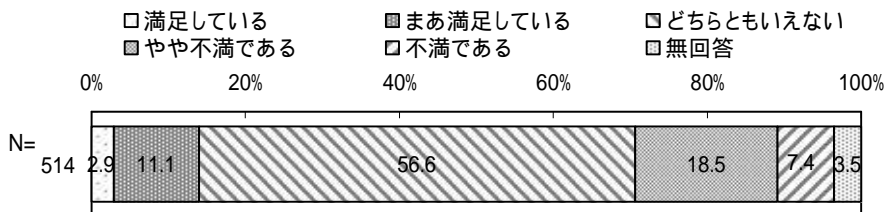


【問2 満足度】

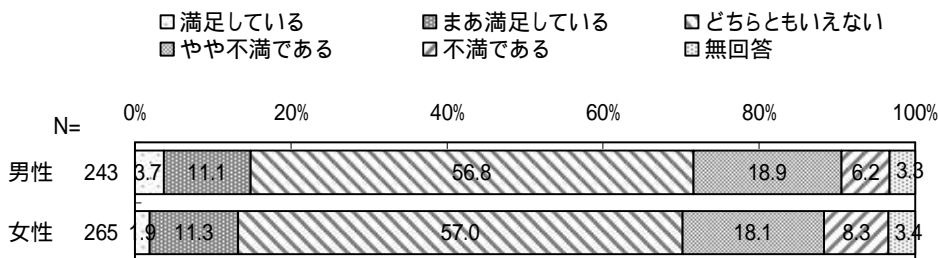
ス ごみの不法投棄や公害への対策

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別にみると、45～59歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。性別、ライフステージ別による大きな差異はみられません。

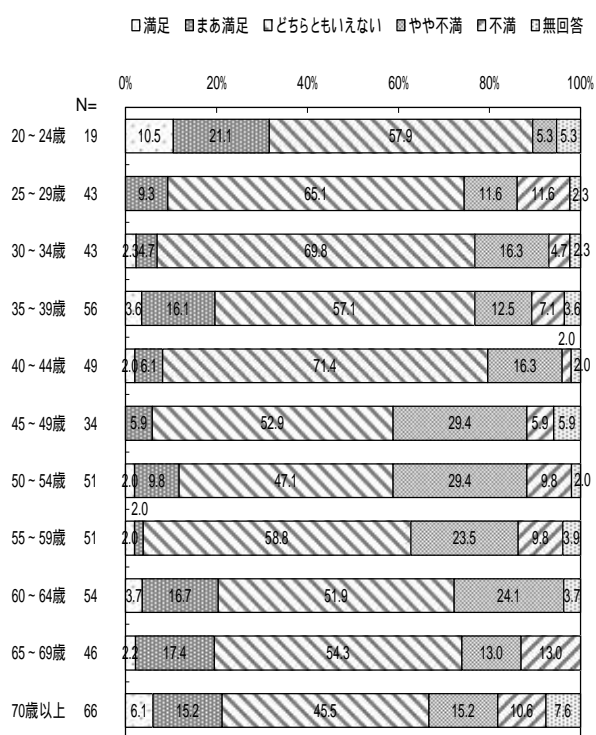
【全体】



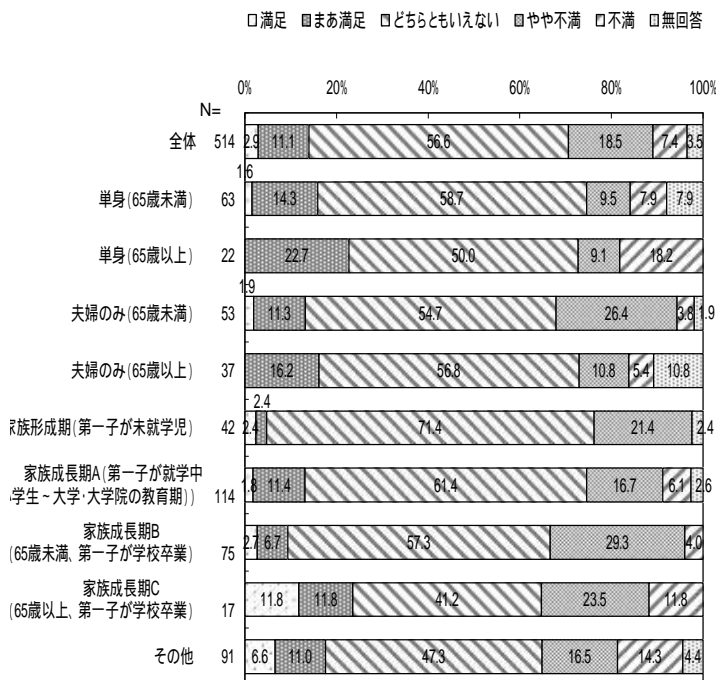
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

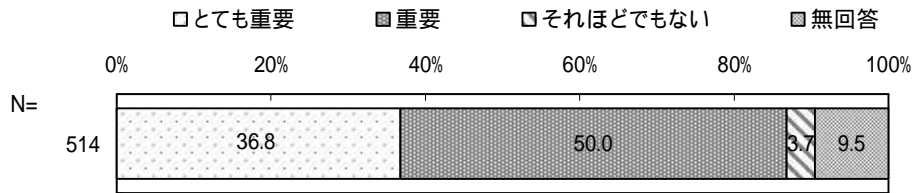


【問2 重要度】

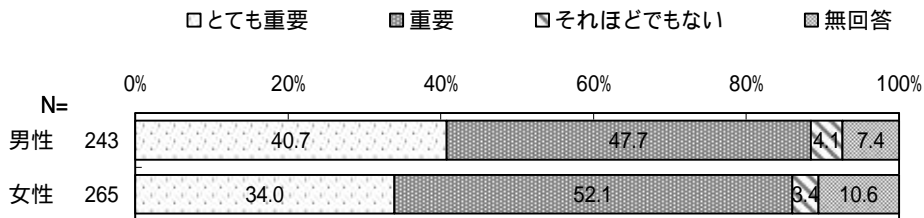
ス ごみの不法投棄や公害への対策

重要度を全体で見ると、「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は86.8%。性別で見ると、女性に比べ男性で「とても重要」と感じている人の割合がやや高くなっています。年代別で見ると、20～39歳で「とても重要」と感じている割合が高くなっています。ライフステージ別では大きな差異はみられません。

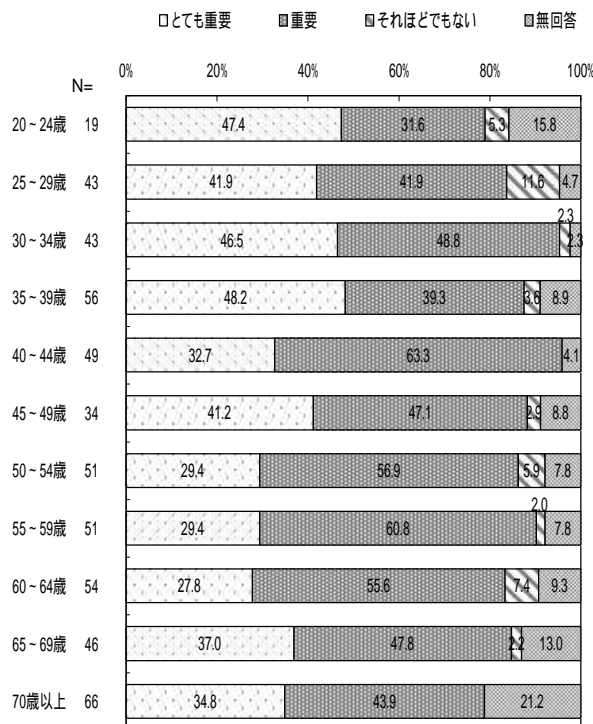
【全体】



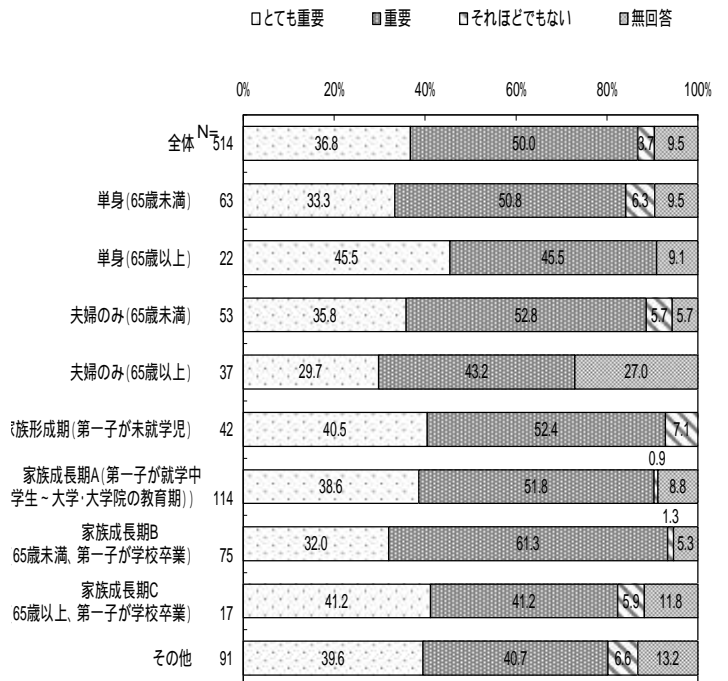
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

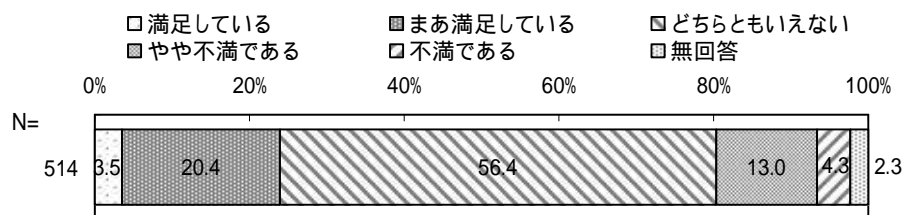


【問2 満足度】

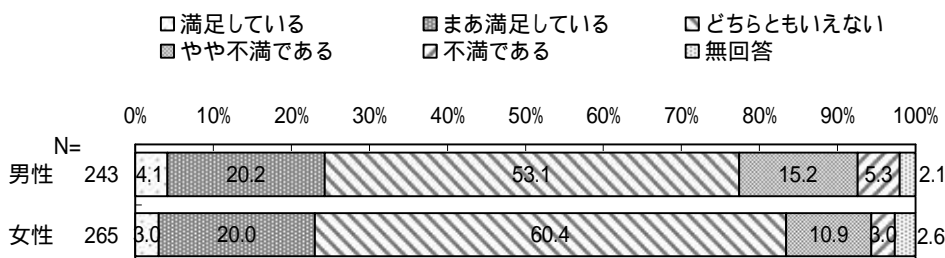
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

満足度について全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人が23.9%。年代別にみると、65歳以上で満足だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身、家族成長期Cともに65歳以上で満足度の高い傾向がみられます。

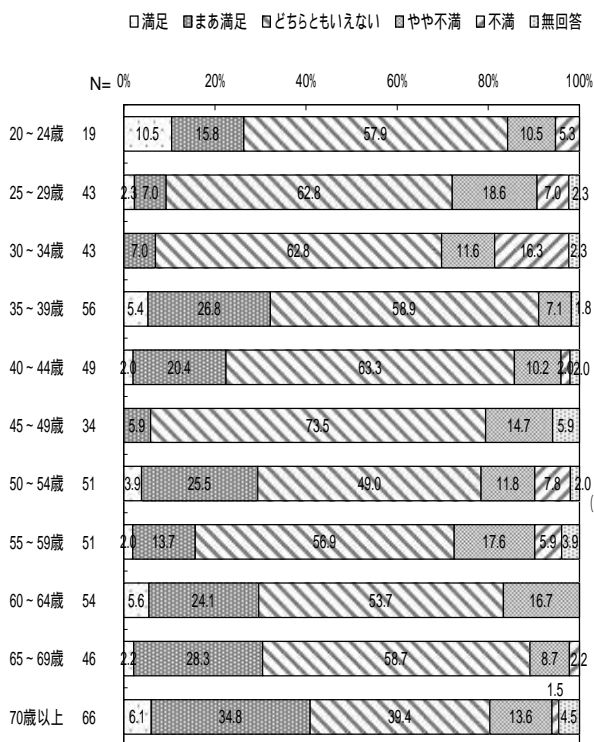
【全体】



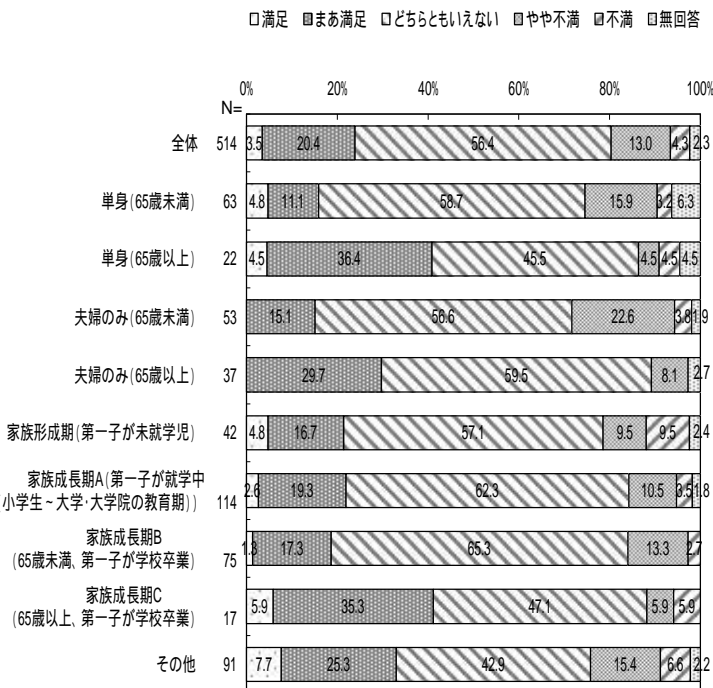
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

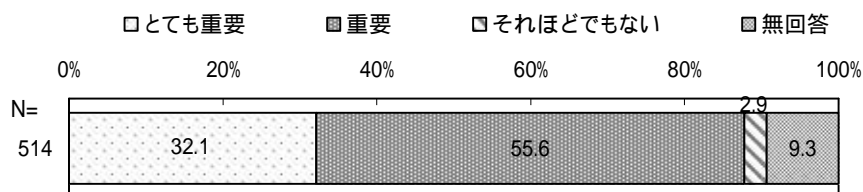


【問2 重要度】

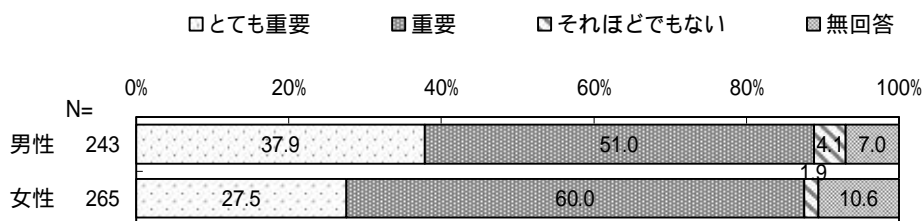
セ リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

重要度を全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は87.7%。
性別でみると、女性に比べ男性が、「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。
年代別、ライフステージ別でみると大きな差異はみられません。

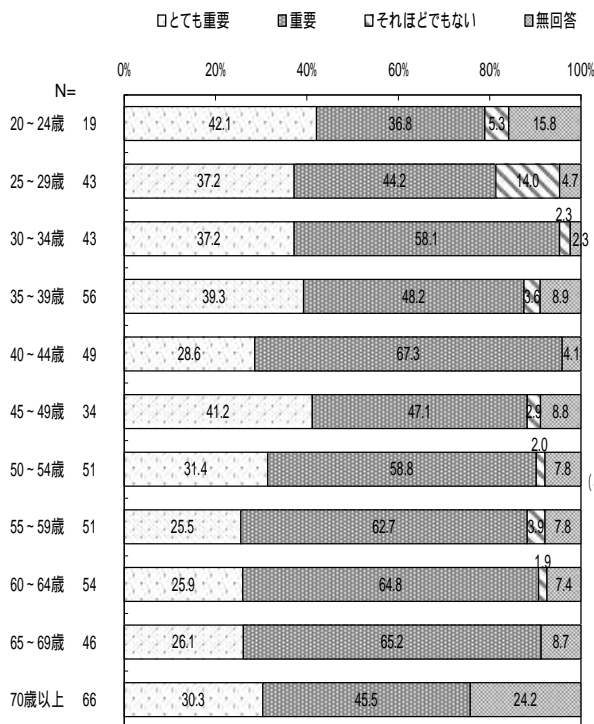
【全体】



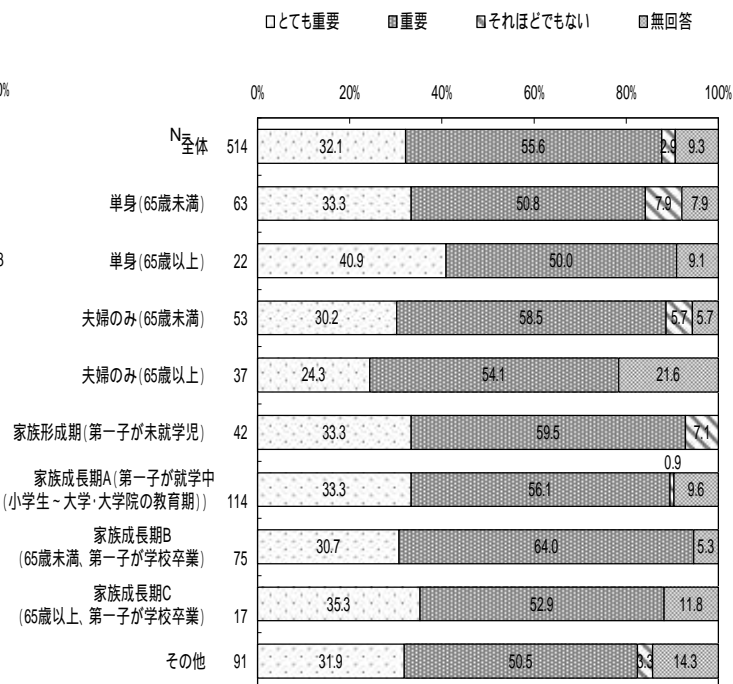
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

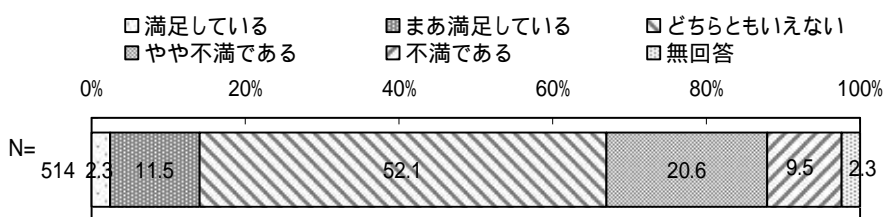


【問2 満足度】

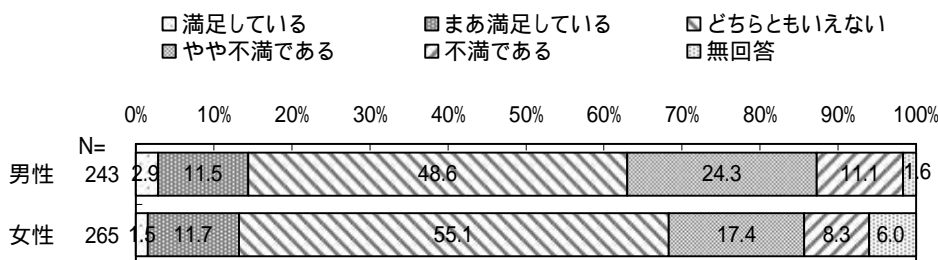
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合を上まわっています。性別でみると、女性に比べ男性で不満だと感じている人の割合が高くなっています。年代別でみると、50～54歳で不満だと感じている人の割合が、次いで30～34歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳未満）で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

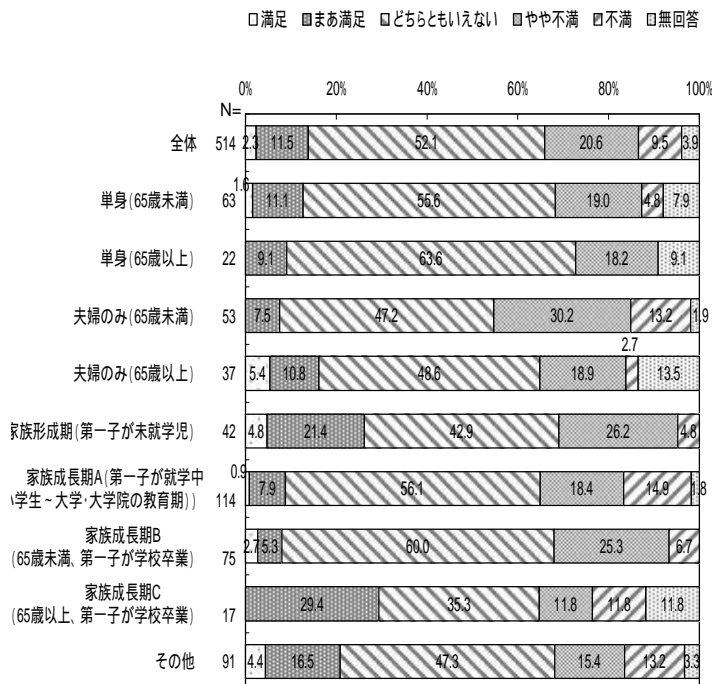
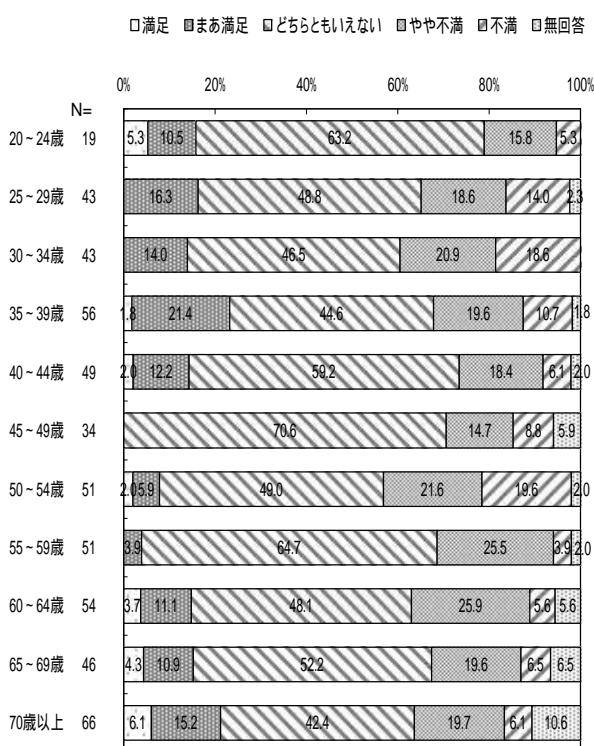


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

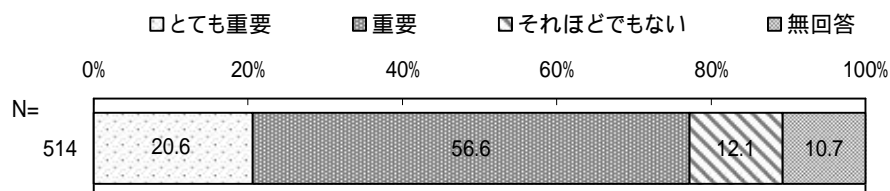


【問2 重要度】

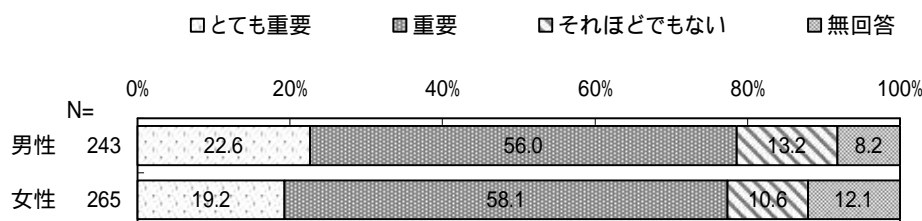
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要と感じている人の割合は約8割。年代別で見ると、年齢が下がるにつれ「とても重要」の割合が高くなる傾向がみられます。

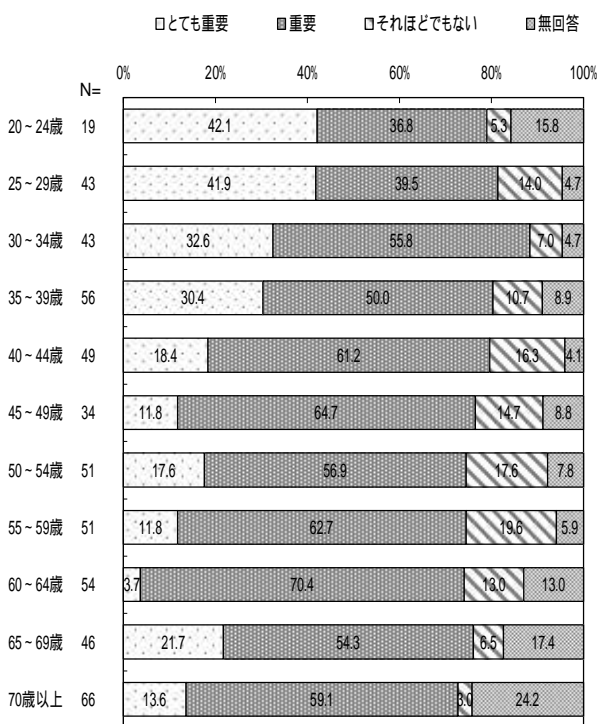
【全体】



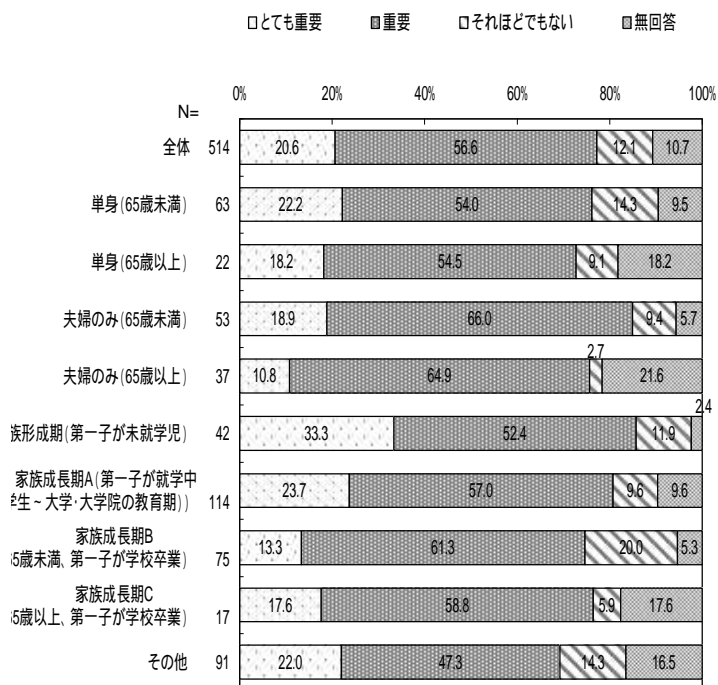
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

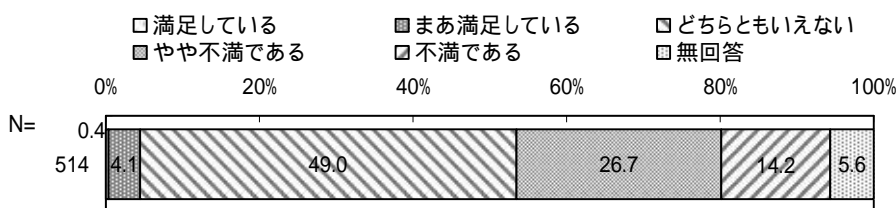


【問2 満足度】

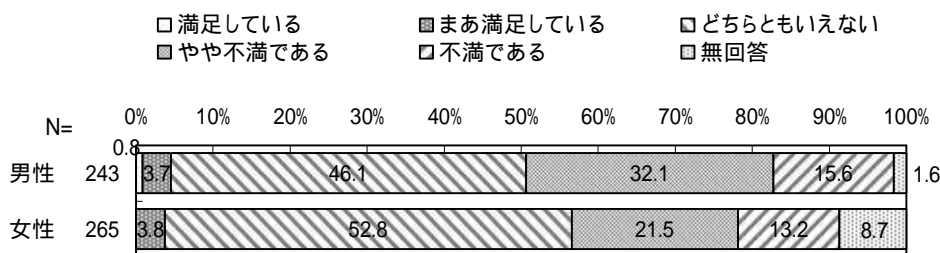
タ 市内の土地利用のバランスの良さ

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が4割。性別でみると、女性に比べ男性が、不満だと感じている人の割合が高くなっています。年代別にみると、他の年代に比べ50～54歳で不満だと感じている人の割合が高く、約6割。ライフステージ別でみると、夫婦のみ、家族成長期B、ともに65歳未満で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

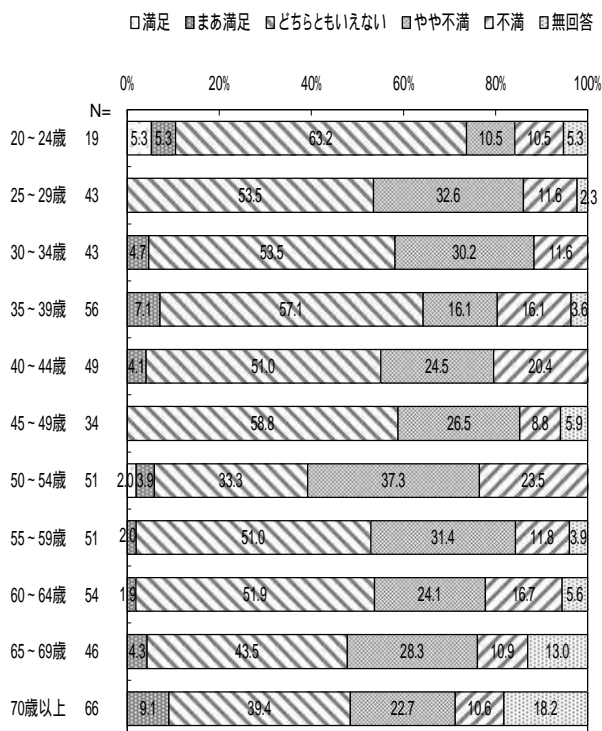
【全体】



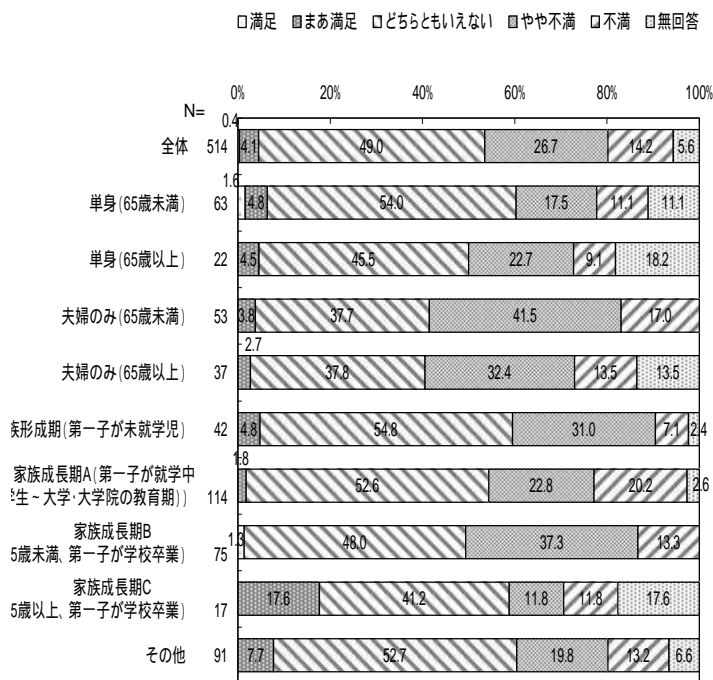
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

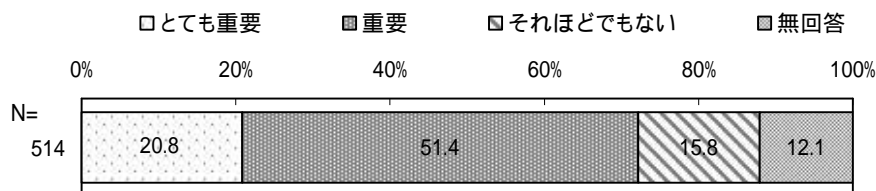


【問2 重要度】

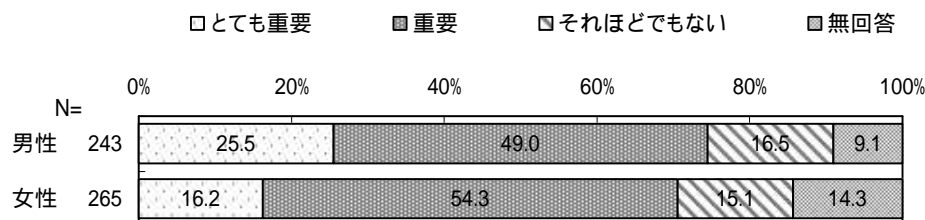
タ 市内の土地利用のバランスの良さ

重要度を性別で見ると、女性に比べ男性で「とても重要」と感じている人の割合が高い。年代別で見ると、他の年代に比べ、20～24歳で「とても重要」と考えている人の割合が高くなっているほかは大きな差異はみられません。

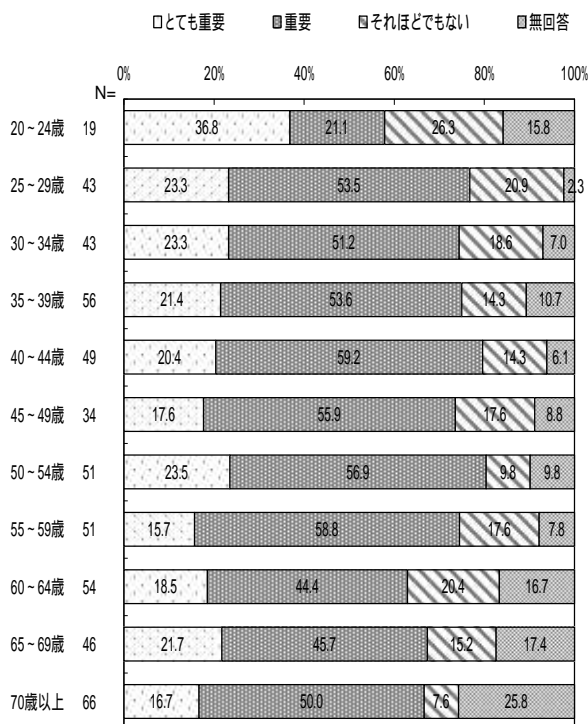
【全体】



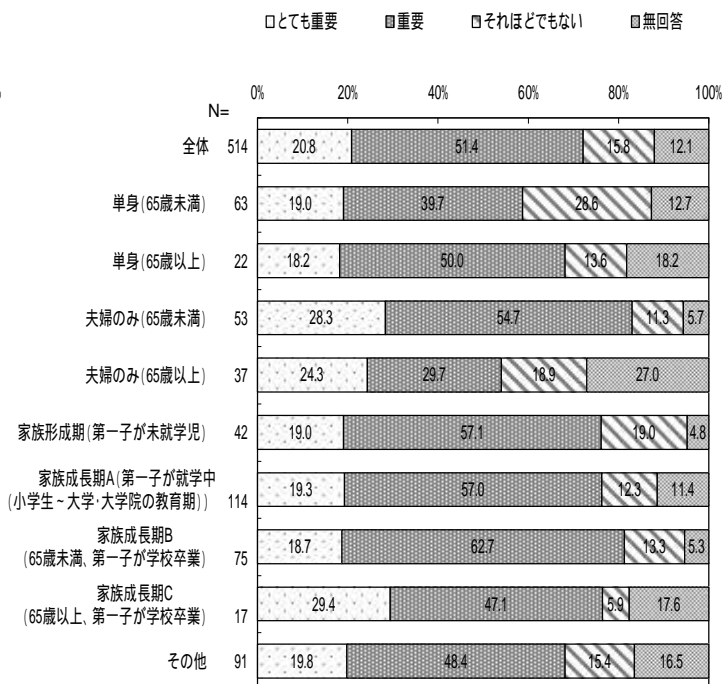
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

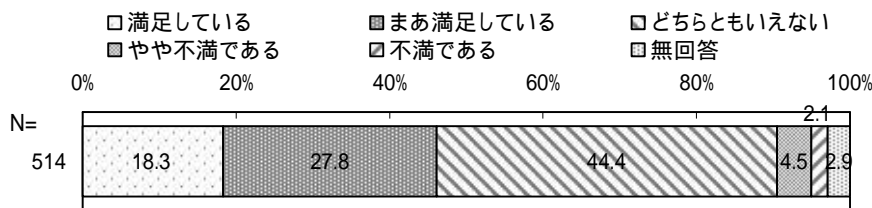


【問2 満足度】

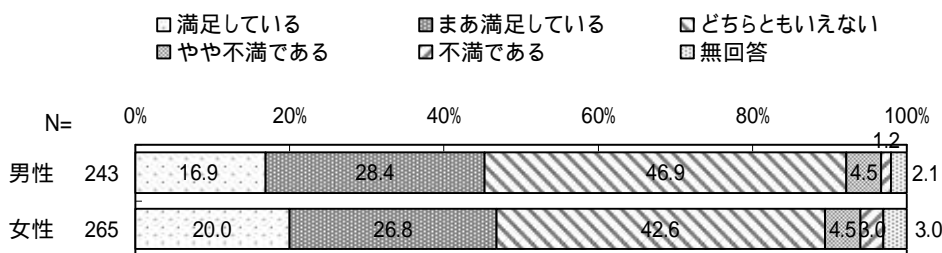
子 豊かで良質な水道水の確保

満足度について全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合が46.1%。年代別にみると、65歳以上で満足だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身、家族成長期Cともに65歳以上で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

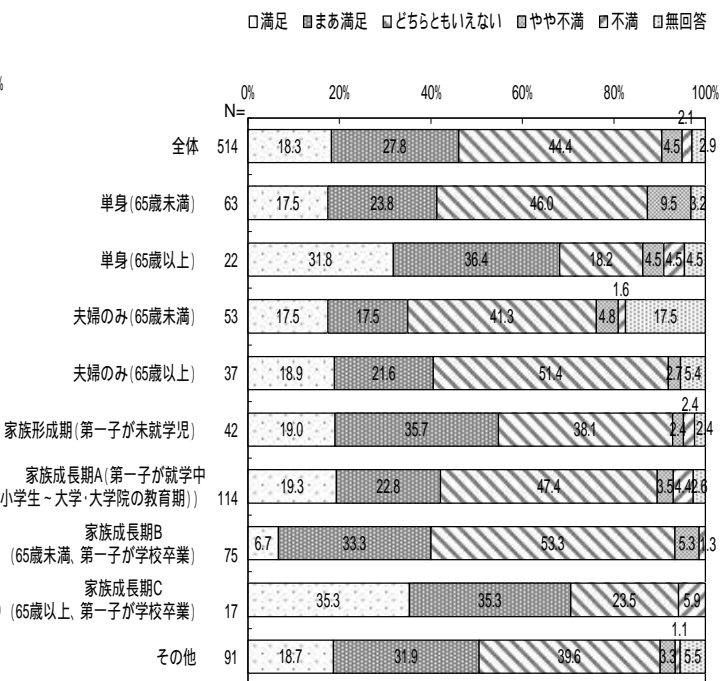
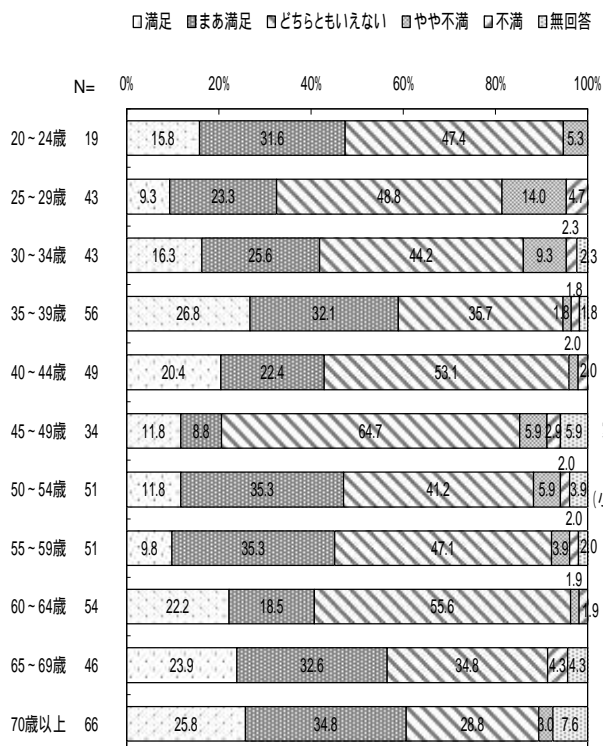


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

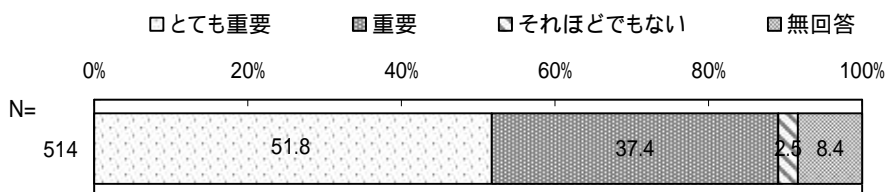


【問2 重要度】

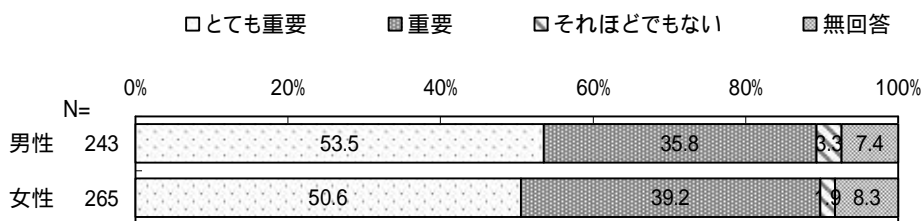
千葉県で良質な水道水の確保

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は約9割。性別、年代別では大きな差異はみられません。ライフステージ別でも、他に比べ、夫婦のみ(65歳以上)で「とても重要」だと感じている人の割合が低いほか、大きな差異はみられません。

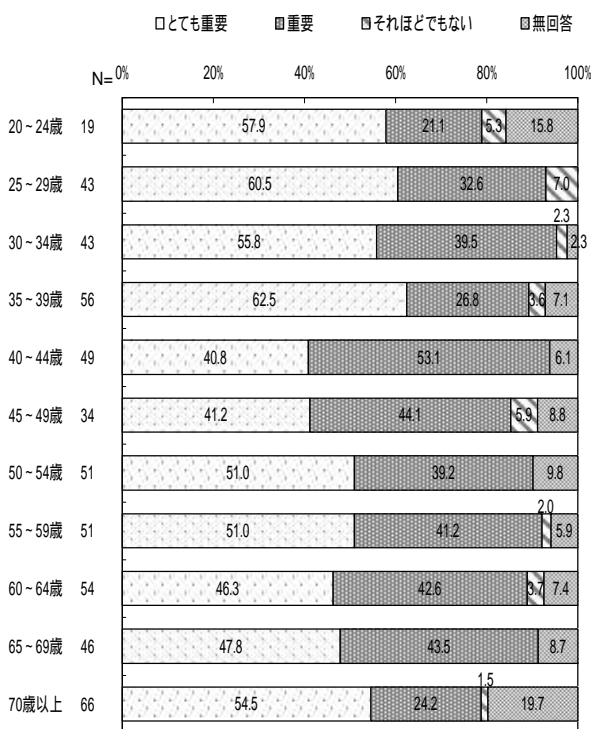
【全体】



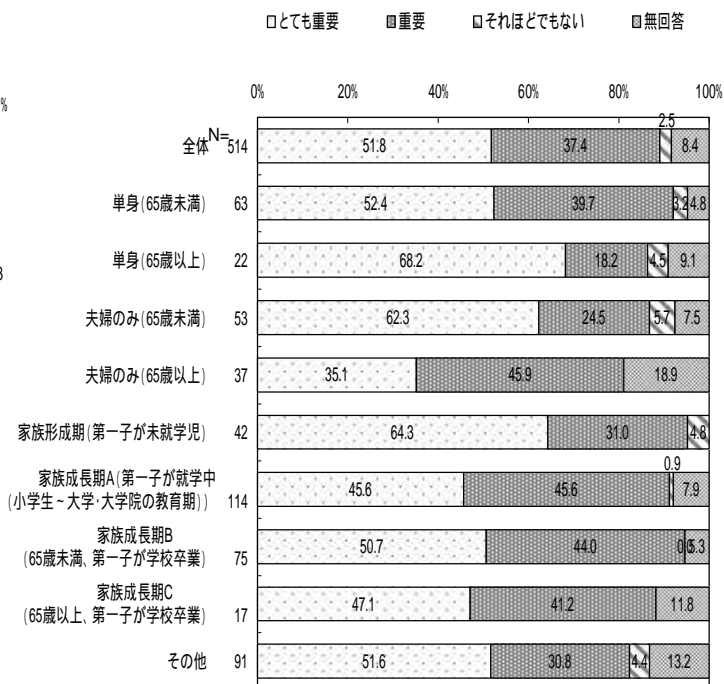
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

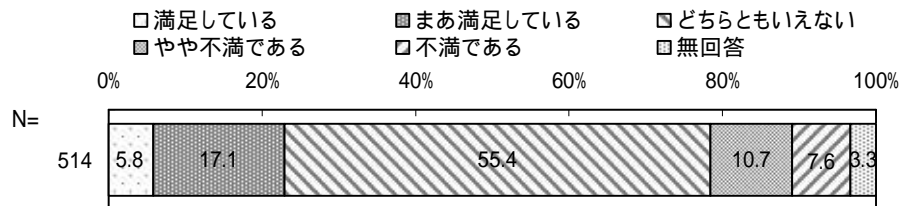


【問2 満足度】

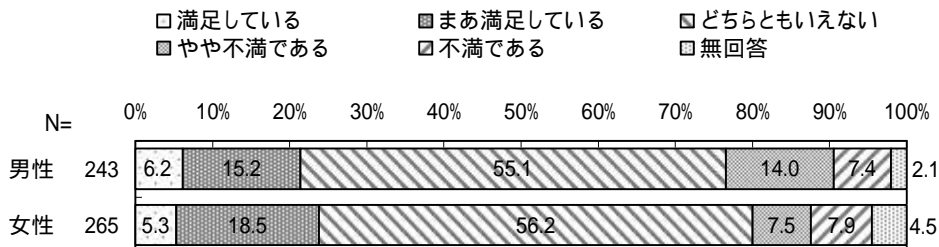
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況

満足度について全体で見ると、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合が22.9%。年代別にみると、20～29歳と若い世代で「どちらともいえない」が7割を越え、関心が薄くなっています。ライフステージ別で見ると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

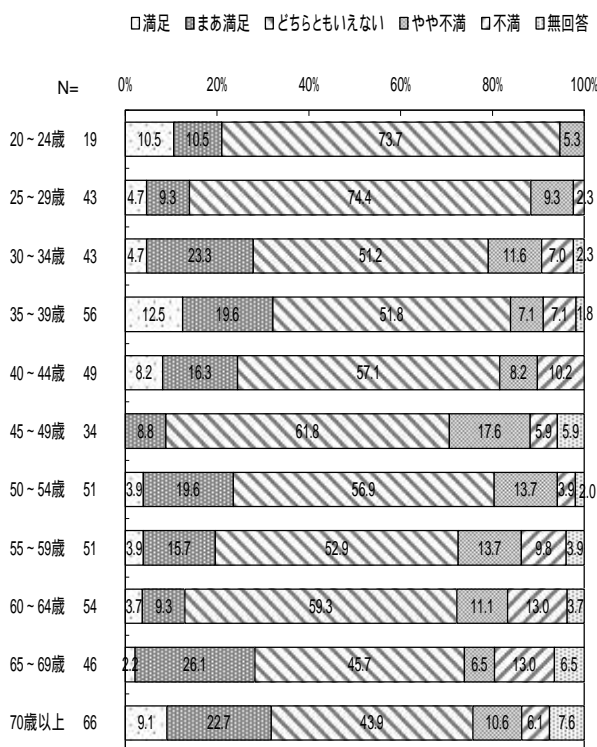
【全体】



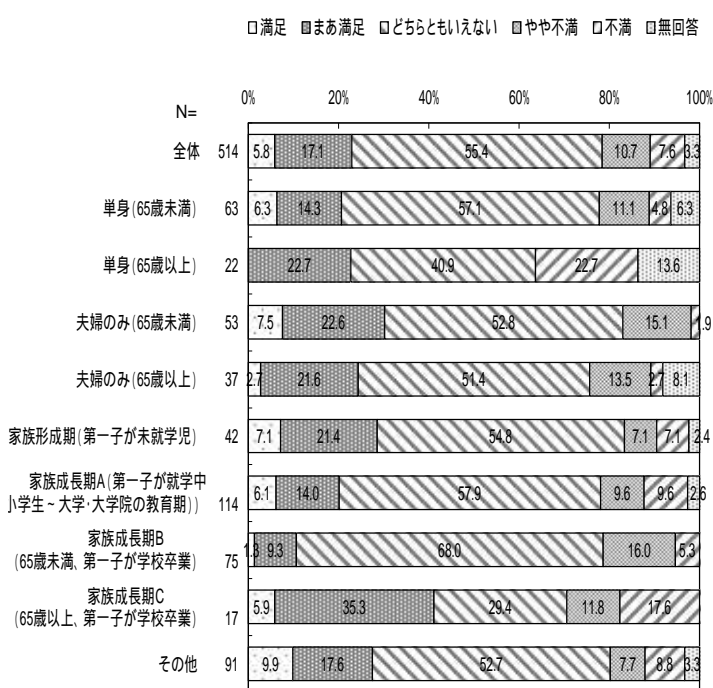
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

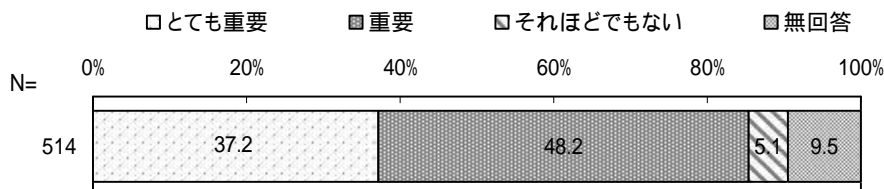


【問2 重要度】

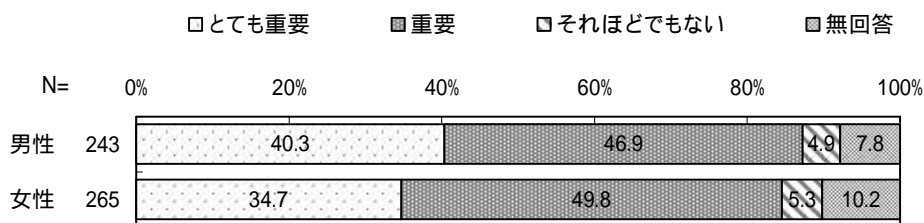
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要と感じている人の割合は85.4%。性別、年代別では大きな差異はみられません。ライフステージ別で見ると、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

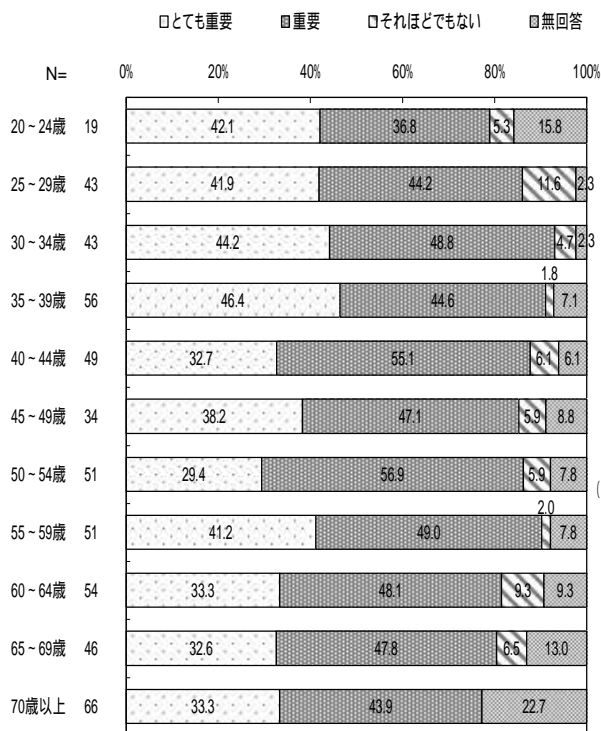
【全体】



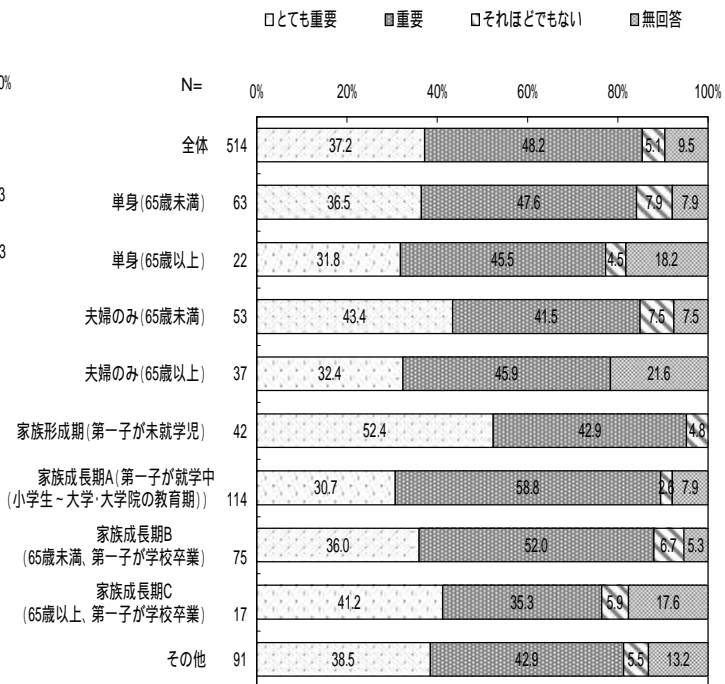
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

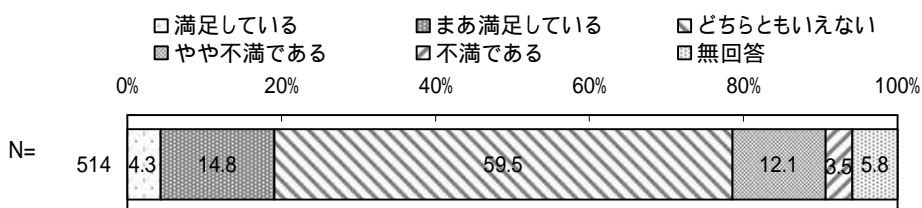


【問2 満足度】

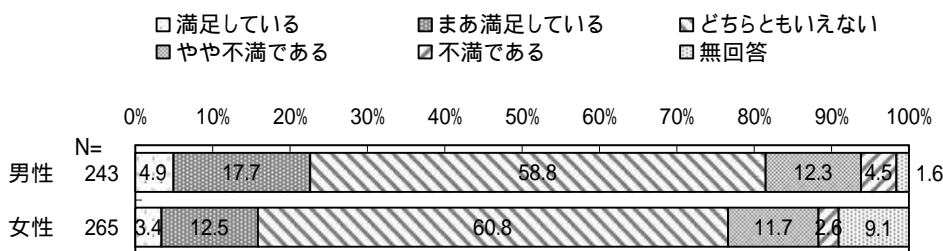
テ 工業を中心とした産業の活性化

満足度を全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足だと感じている人の割合は19.1%。性別でみると、女性に比べ、男性で満足だと感じている人の割合が高くなっています。年代別でみると50～64歳で「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が、満足だと感じている人の割合を上まわっています。ライフステージ別でみると、家族成長期Cで満足だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

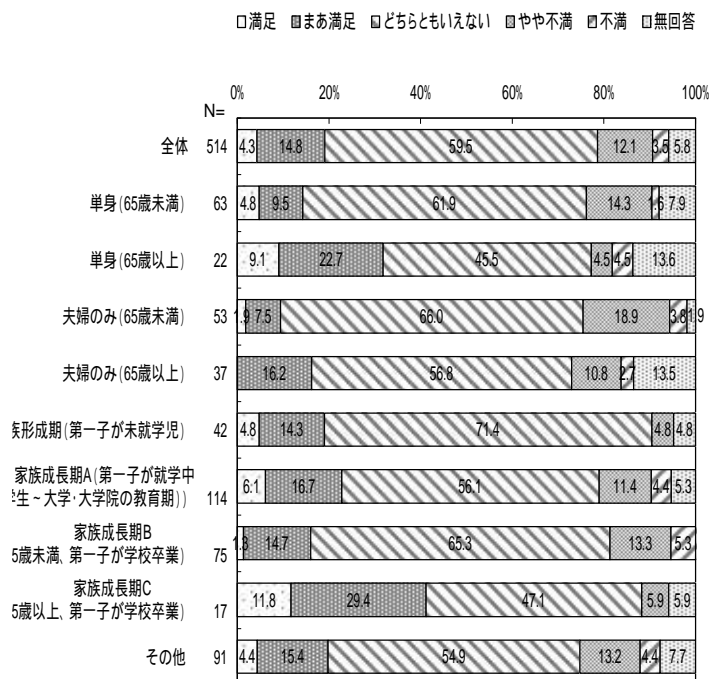
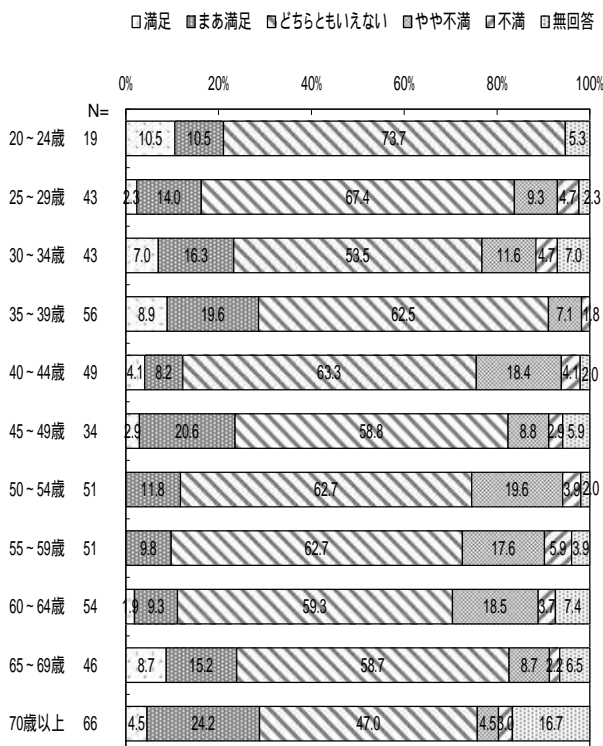


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

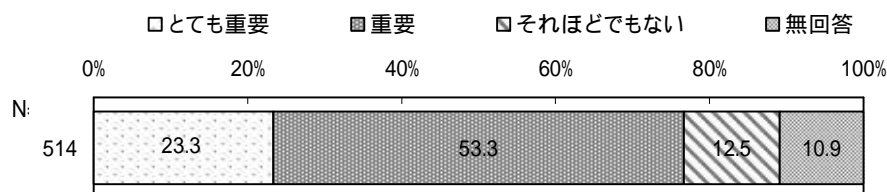


【問2 重要度】

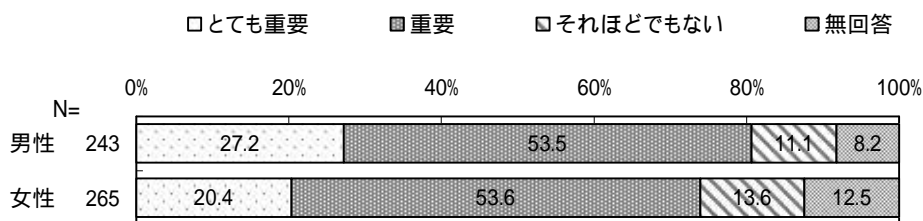
テ 工業を中心とした産業の活性化

重要度を性別で見ると、女性に比べ、男性で「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合が高くなっています。年代別、ライフステージ別で見ると、重要度に大きな差異はみられません。

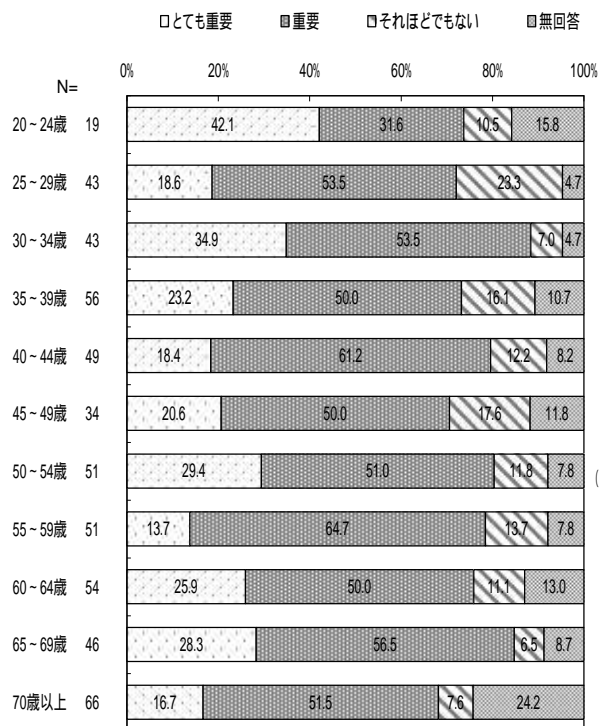
【全体】



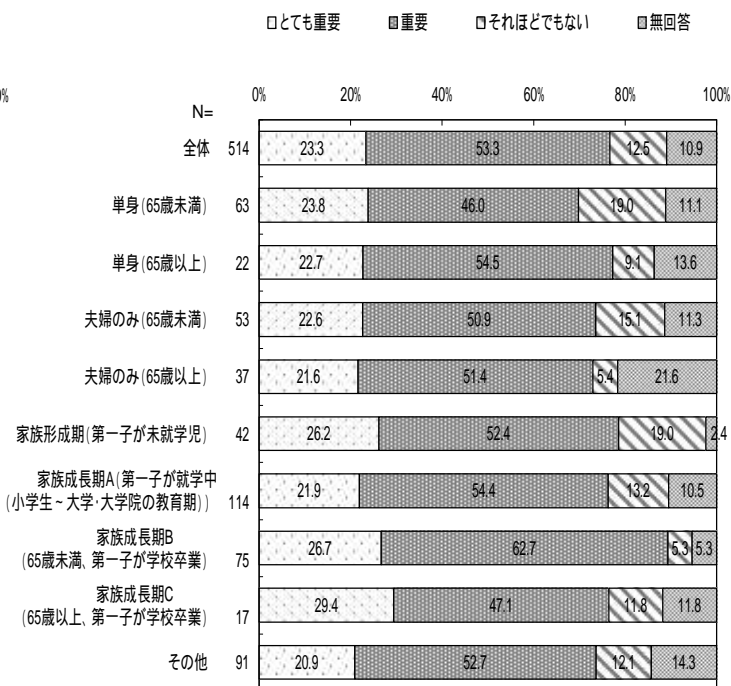
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

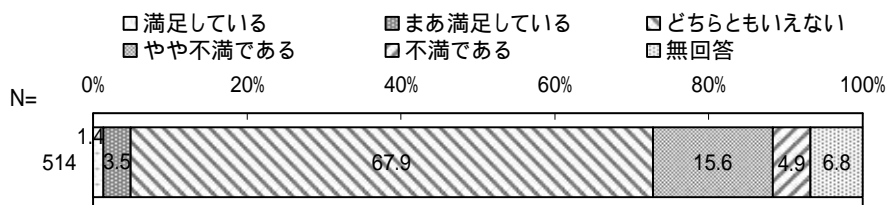


【問2 満足度】

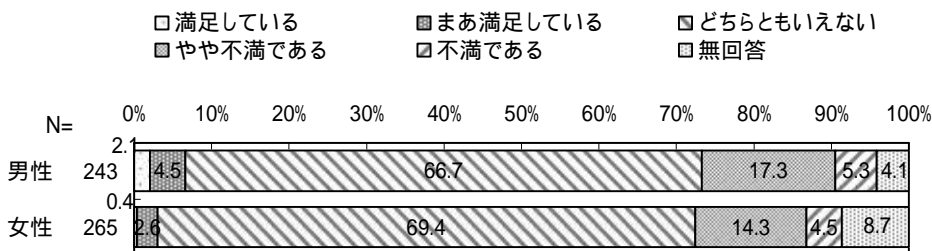
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別にみると、50歳以上で不満だと感じている人の割合が多い傾向がみられます。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

【全体】

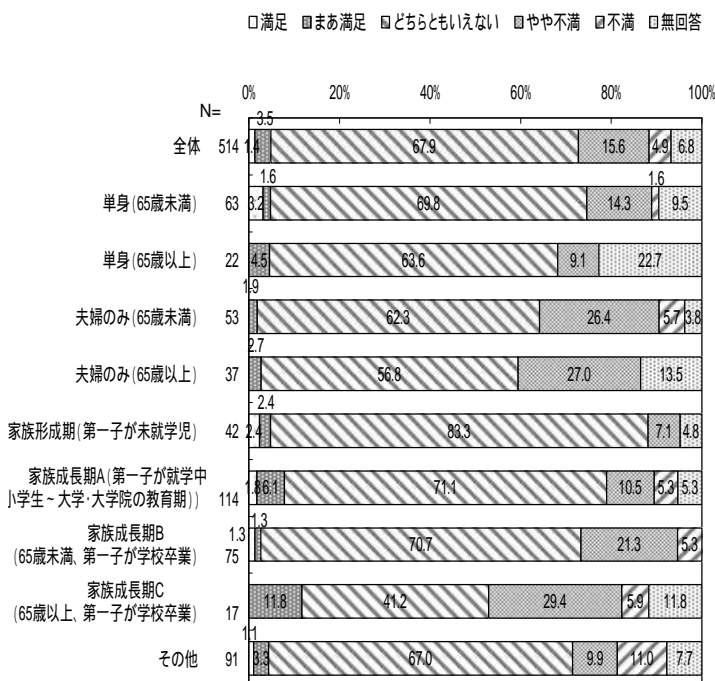
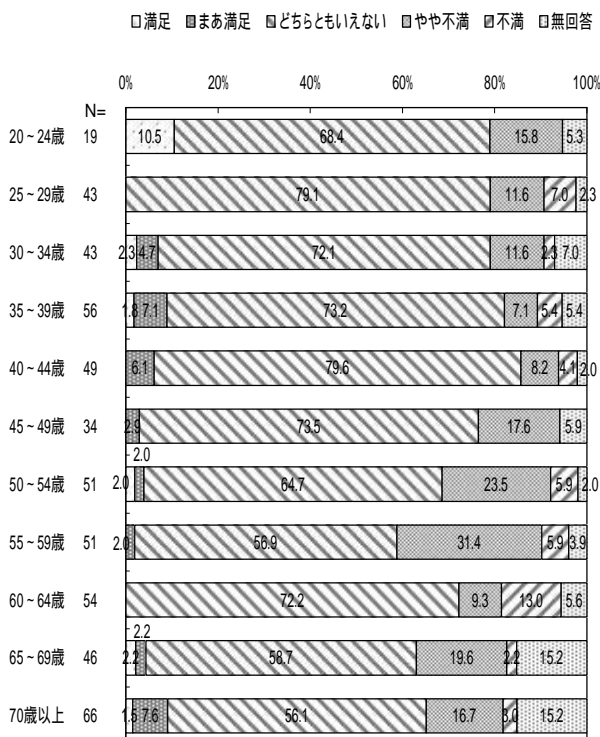


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

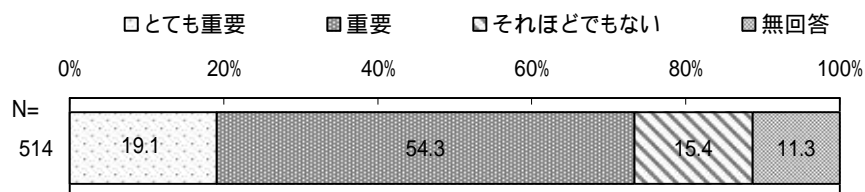


【問2 重要度】

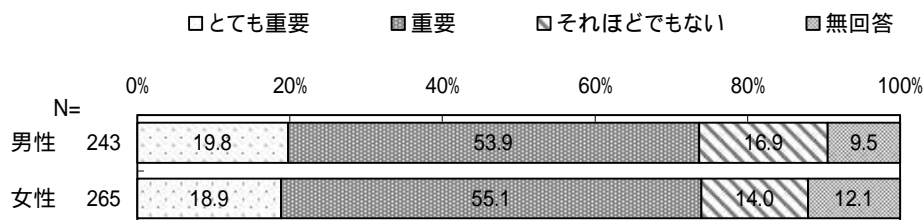
ト 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

重要度を全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要と感じている人の割合は73.4%。年代別でみると、20～39歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高い傾向にあります。性別、ライフステージ別では大きな差異はみられません。

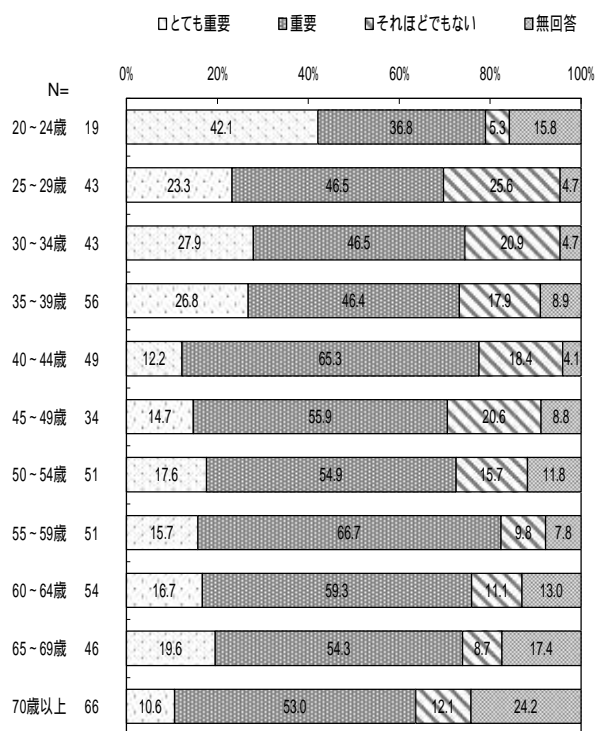
【全体】



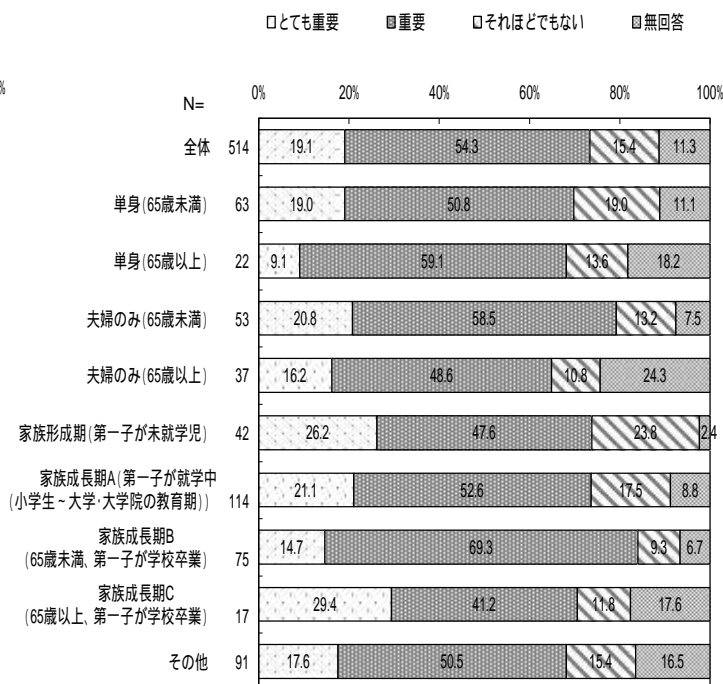
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

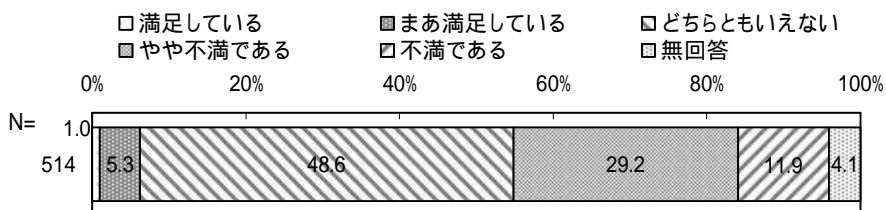


【問2 満足度】

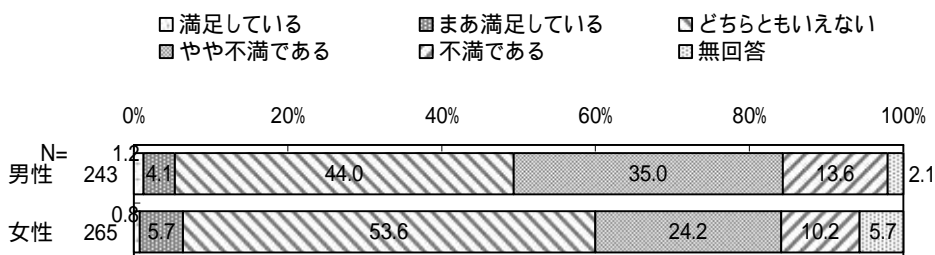
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を41.1%と大きく上まわっています。性別でみると、女性に比べ、男性で不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ(65歳未満)で不満だと感じている人の割合が高くなっています。

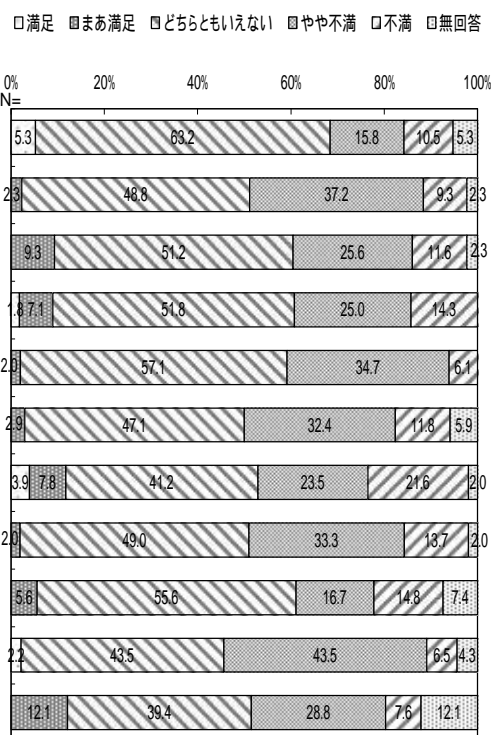
【全体】



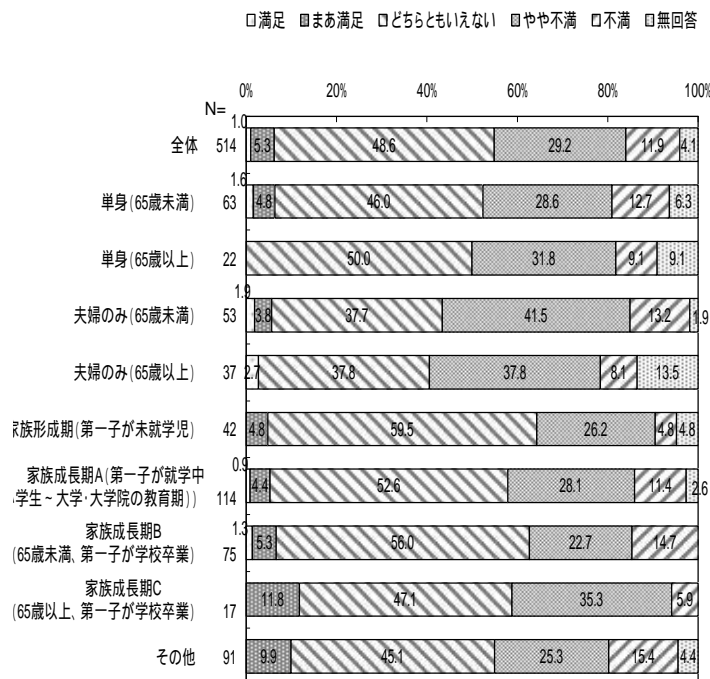
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

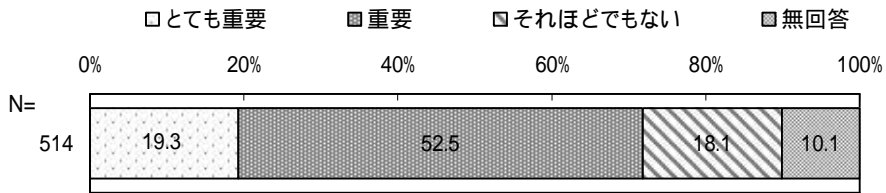


【問2 重要度】

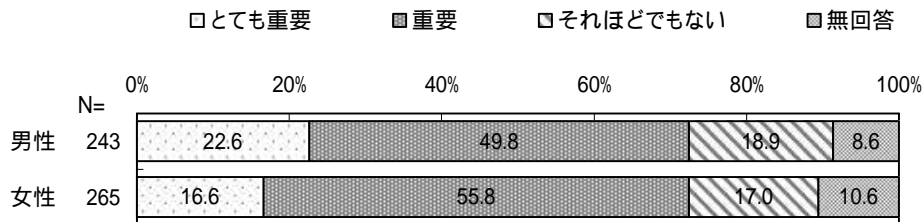
ナ にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

重要度を性別で見ると、女性に比べ男性で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、55～59歳で「とても重要」と感じている人の割合が少なくなっています。ライフステージ別では大きな差異はみられません。

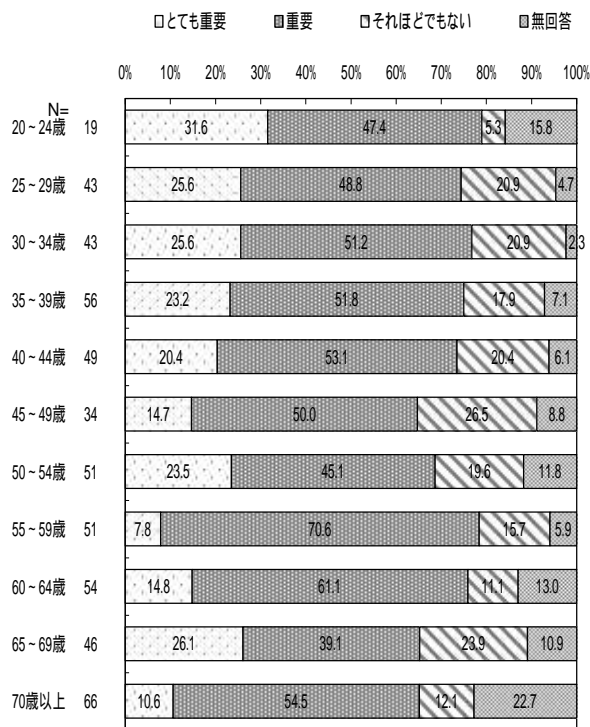
【全体】



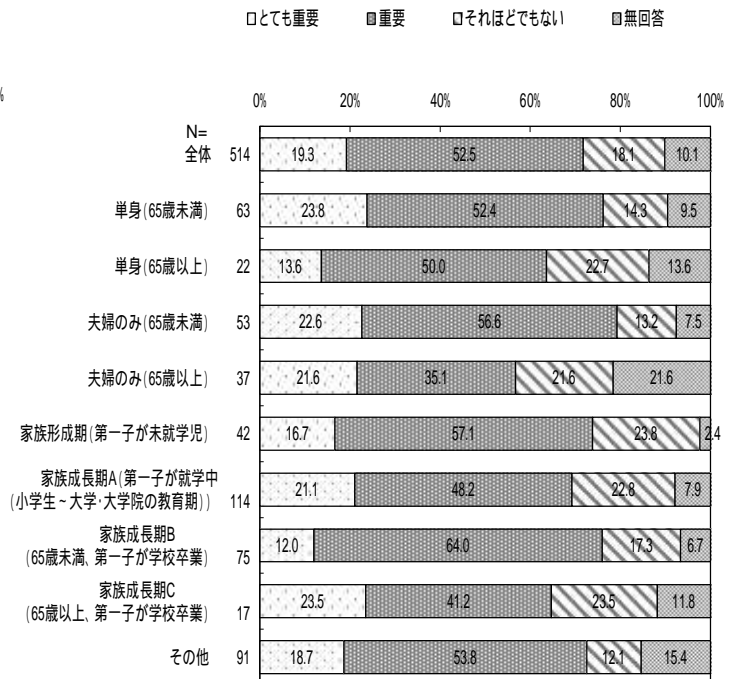
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

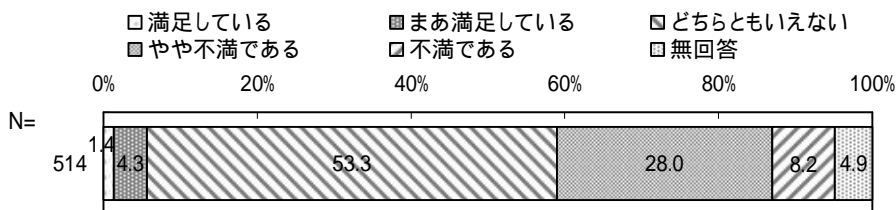


【問2 満足度】

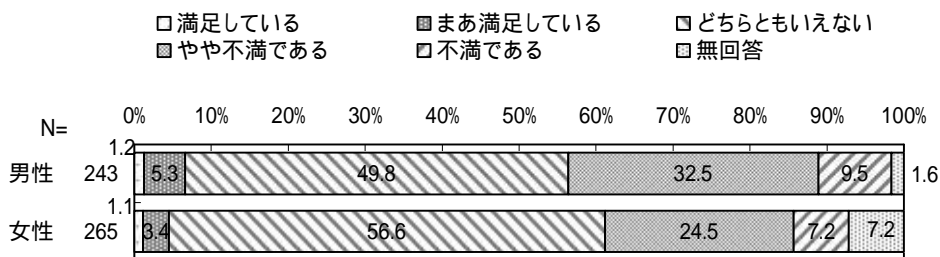
二 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が36.2%。性別でみると、女性に比べ男性で、不満だと感じている人の割合が多くなっています。年代別でみると、20～24歳で満足だと感じている人はいない一方で、不満だと感じている人の割合も低くなっています。

【全体】

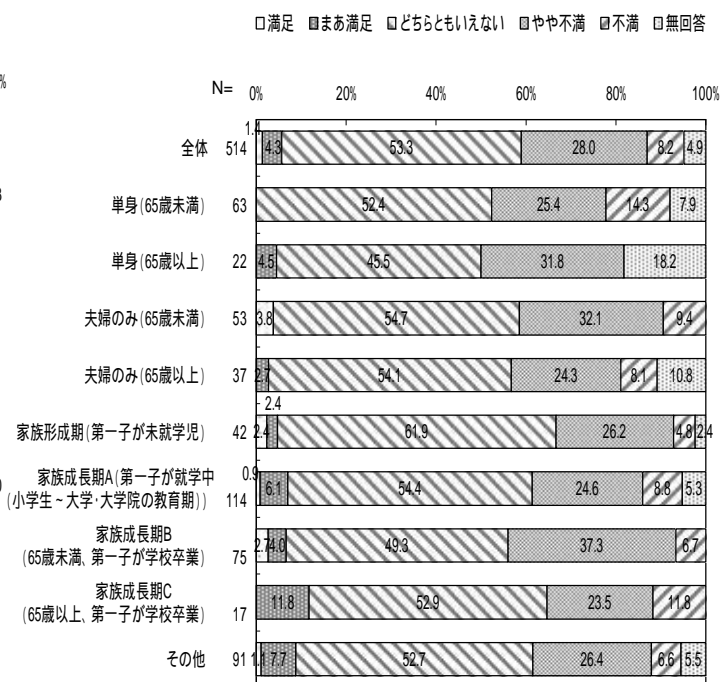
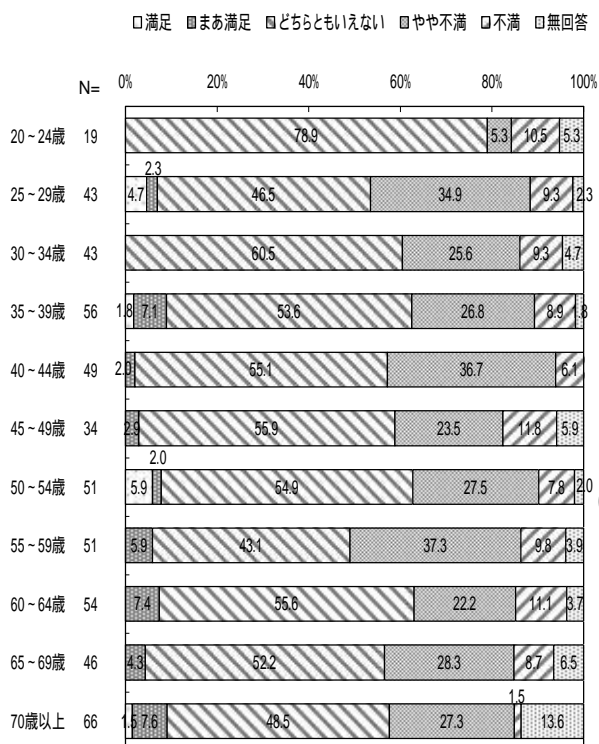


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

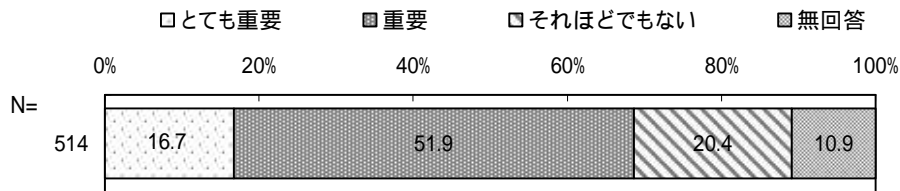


【問2 重要度】

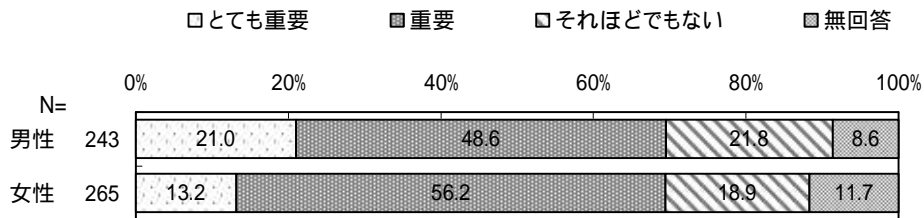
二 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

重要度を全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要と感じている人の割合は68.6%。性別でみると、女性に比べ男性で、「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。年代別でみると、20～29歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別では大きな差異はみられません。

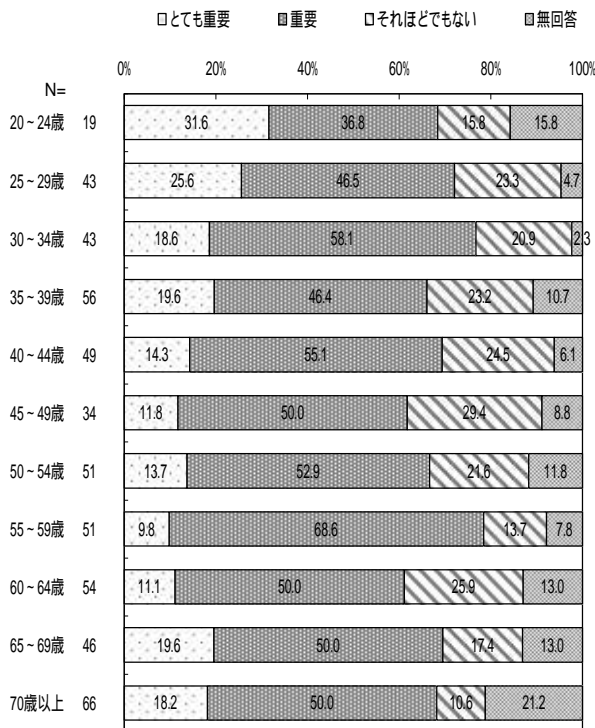
【全体】



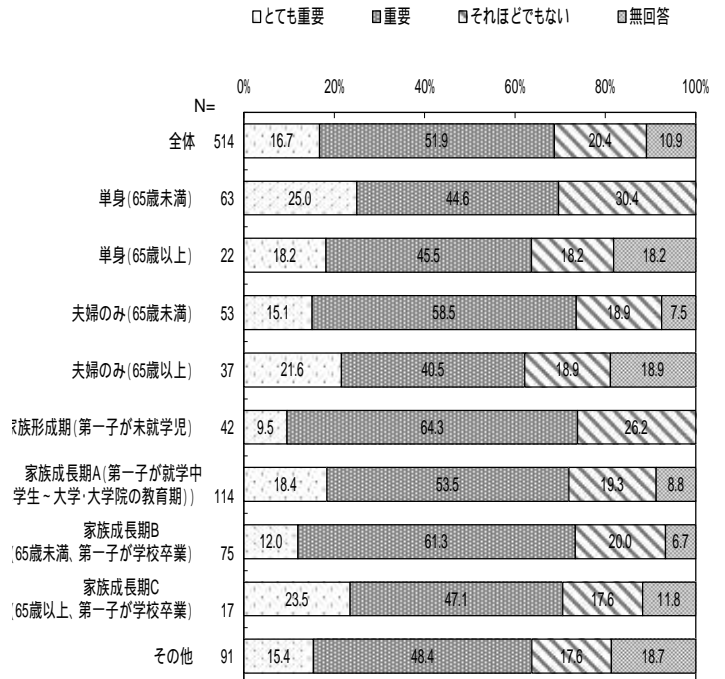
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

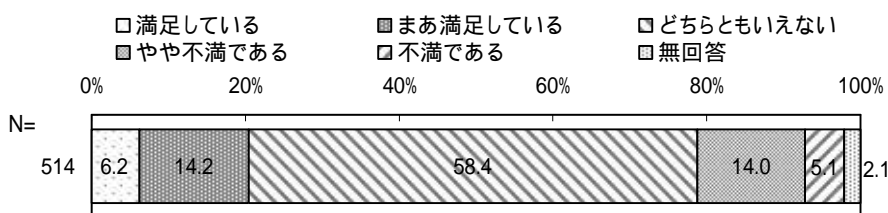


【問2 満足度】

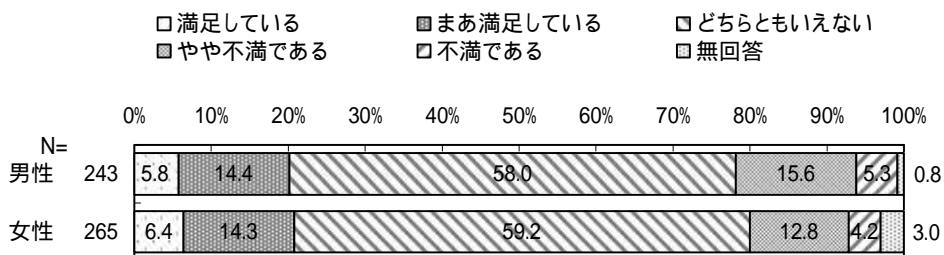
又 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

満足度について全体でみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合が「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合をやや上まわっています。年代別にみると、60歳以上で満足だと感じている人の割合が高く、一方、25～34歳で不満だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、単身（65歳以上）で満足だと感じている人の割合が4割と高くなっています。

【全体】

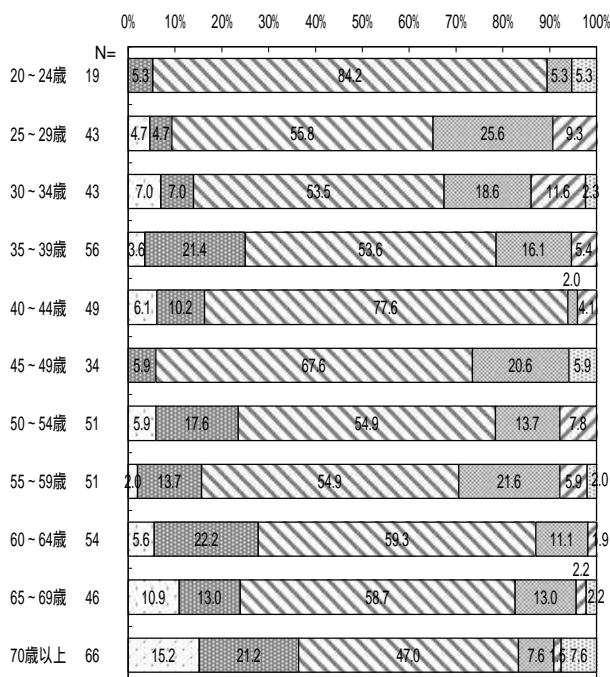


【性別】



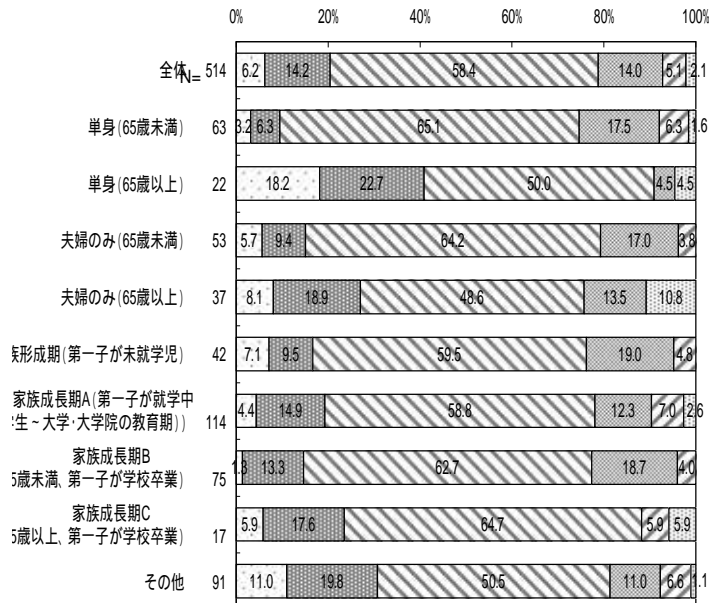
【年代別】

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答



【ライフステージ別】

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答

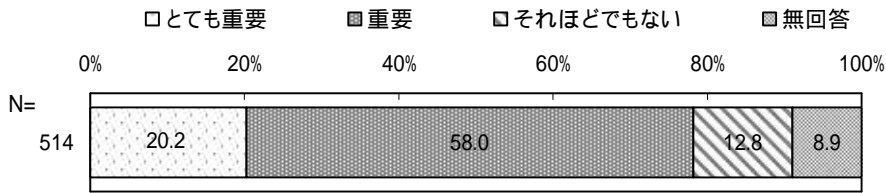


【問2 重要度】

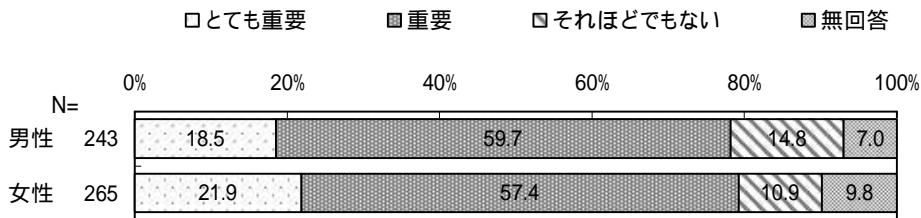
又 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は約8割。年代別で見ると、70歳以上で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別で見ると、家族成長期C、単身、ともに65歳以上で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

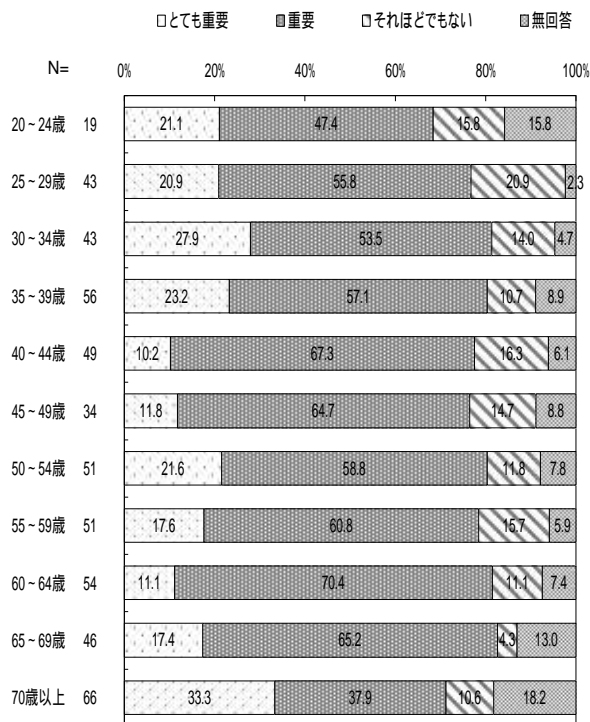
【全体】



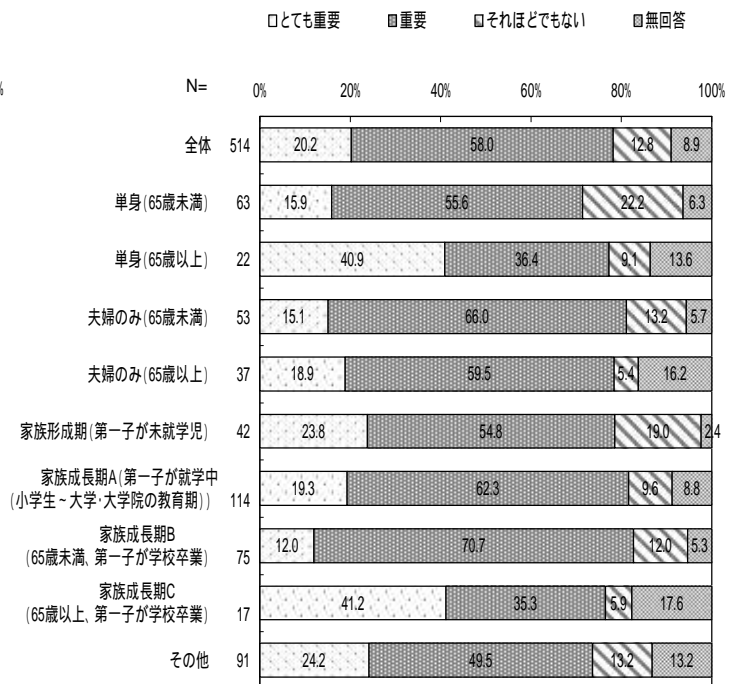
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

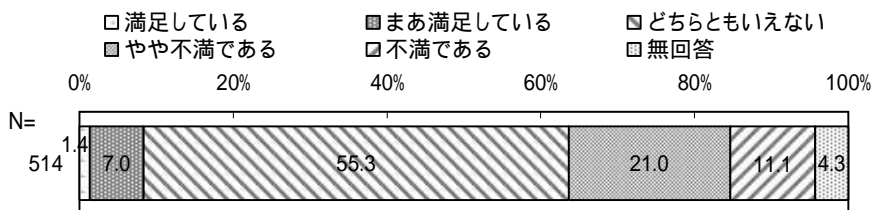


【問2 満足度】

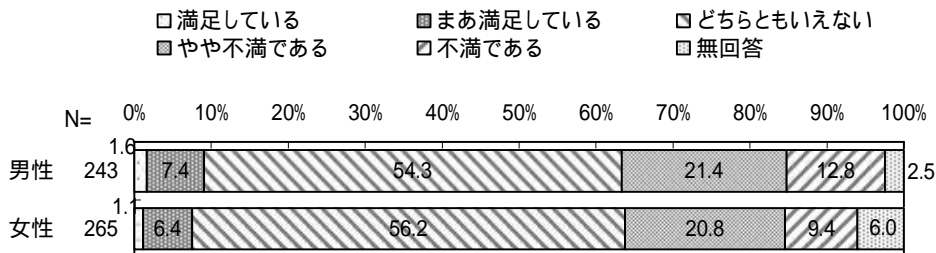
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合を上まわっています。年代別にみると、他の年代に比べ 45～59 歳で満足だと感じている人の割合が高くなっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳未満）で不満である人の割合が高くなっています。

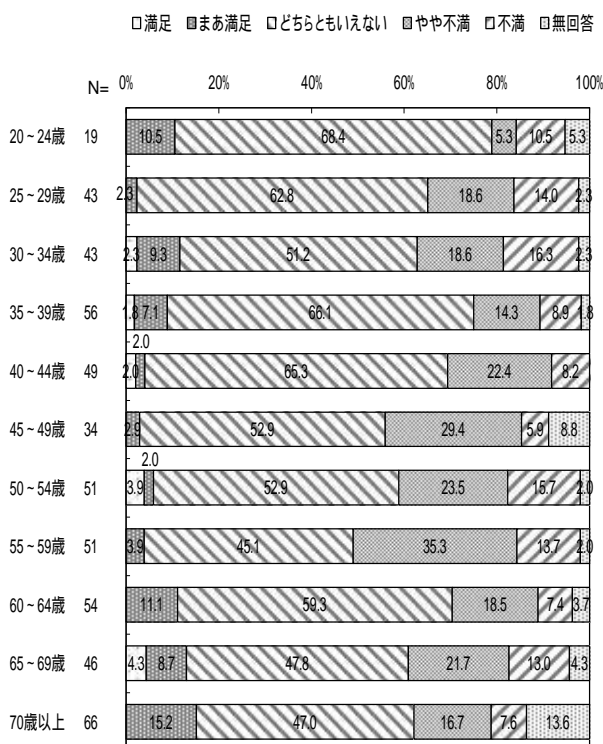
【全体】



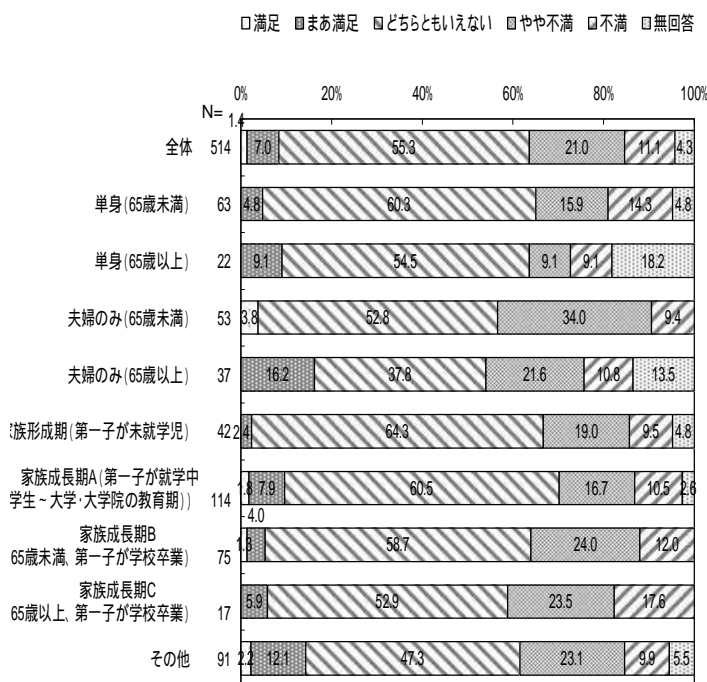
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

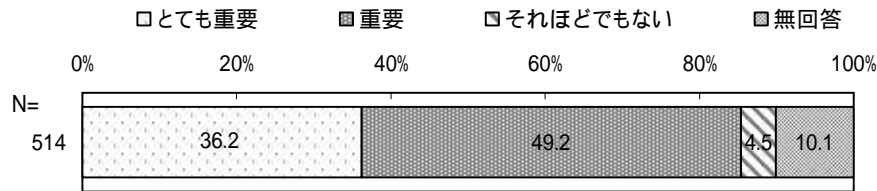


【問2 重要度】

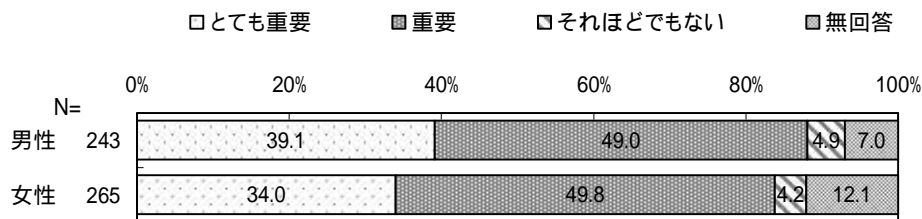
ネ 市の「予算の使い方」や「対応の早さ」など、行政運営の効率化

重要度を全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は85.4%。年代別でみると、20～34歳の若い世代で「とても重要」と感じている人の割合が高い傾向にあります。ライフステージ別でみると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）単身（65歳以上）で重要だと感じている人の割合が5割以上と特に高くなっています。

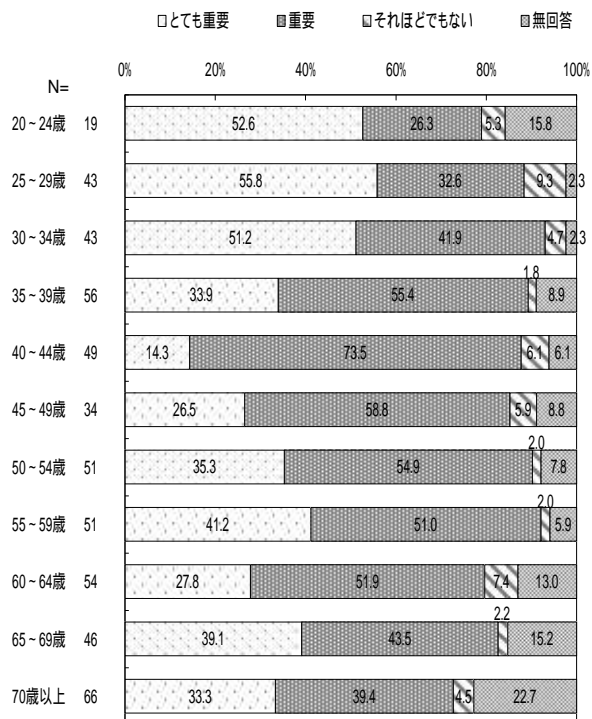
【全体】



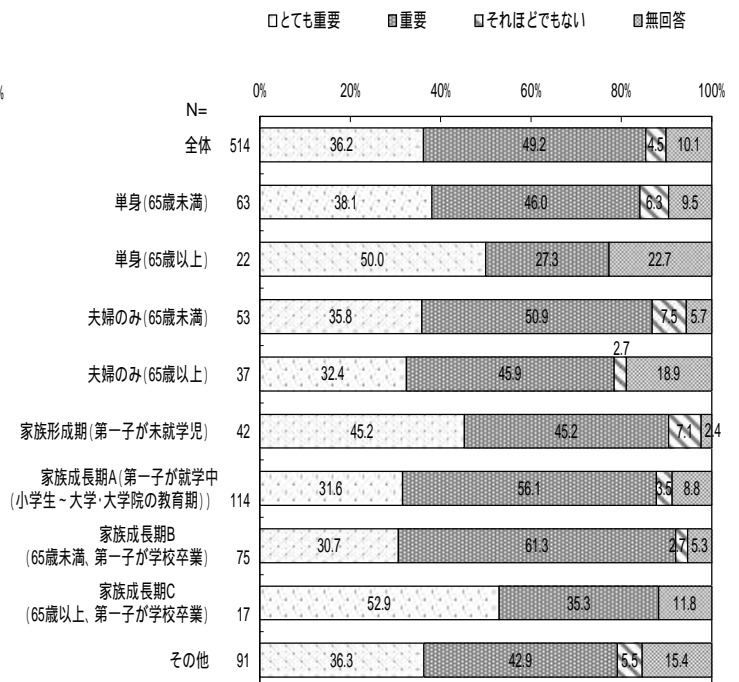
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

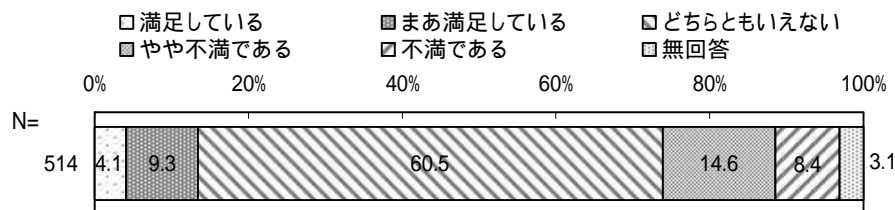


【問2 満足度】

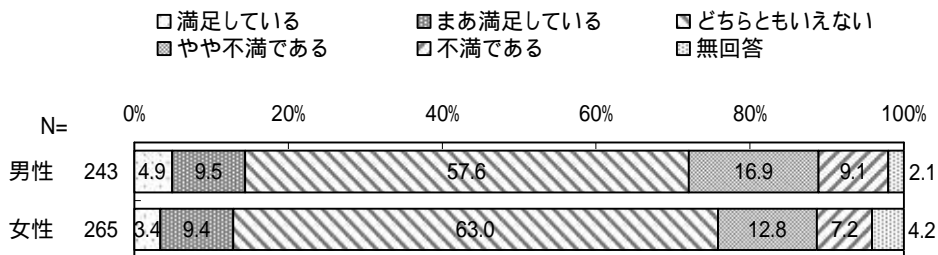
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた不満だと感じている人の割合が「満足」と「まあ満足」をあわせた満足だと感じている人の割合をやや上まわっています。年代別にみると、20～24歳で「どちらともいえない」が7割を越えています。ライフステージ別でみると、他に比べ夫婦のみ（65歳以上）で不満だと感じている人の割合が高くなっています。一方、単身、家族成長期C、ともに65歳以上で満足だと感じている人の割合が高くなっています。

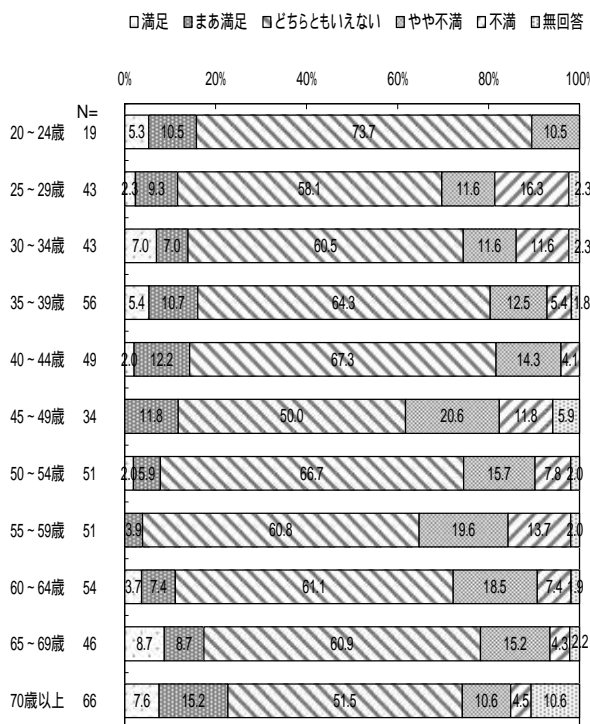
【全体】



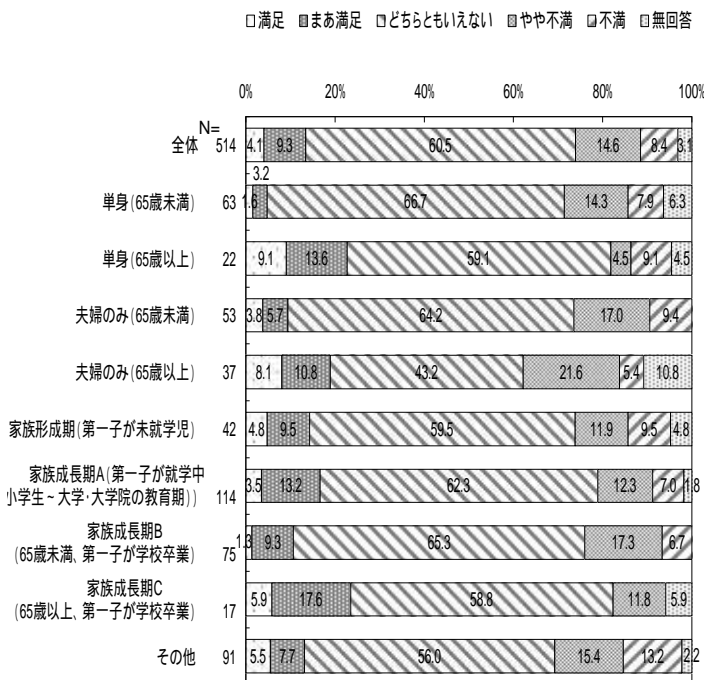
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

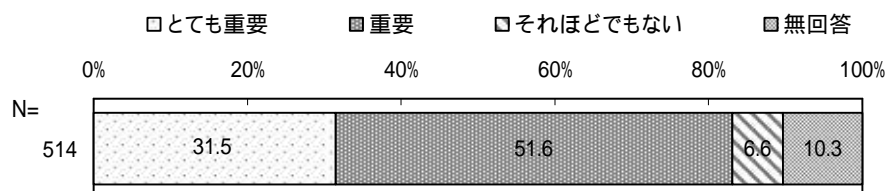


【問2 重要度】

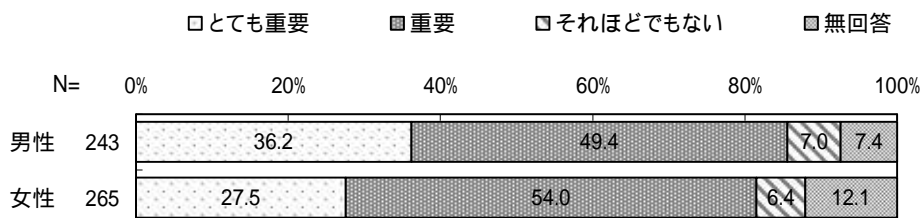
ノ 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

重要度を全体で見ると「とても重要」と「重要」をあわせた重要と感じている人の割合は83.1%。性別で見ると、女性に比べ男性が、重要と感じている人の割合が高くなっています。年代別で見ると、20～34歳で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。

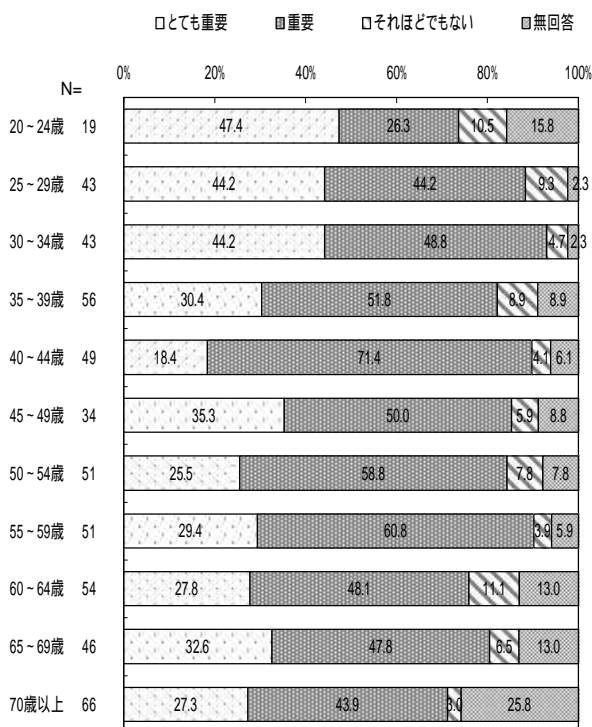
【全体】



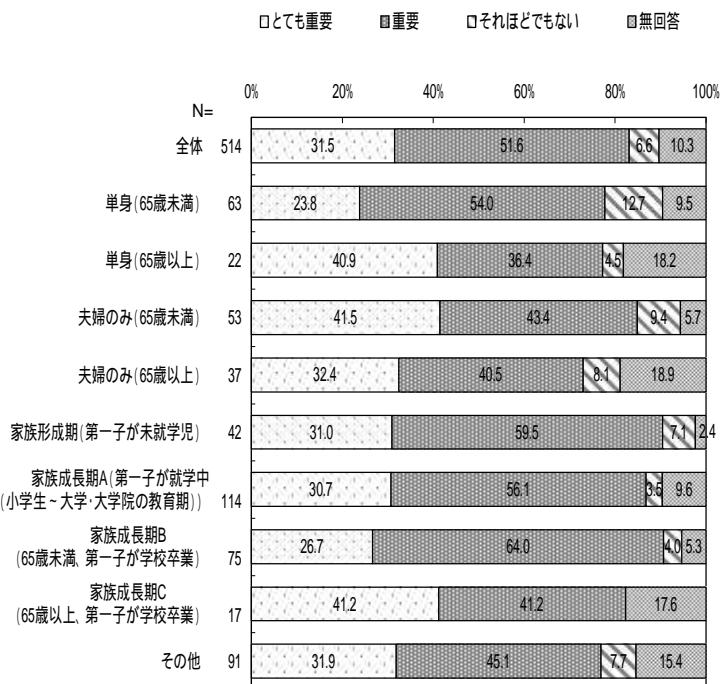
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

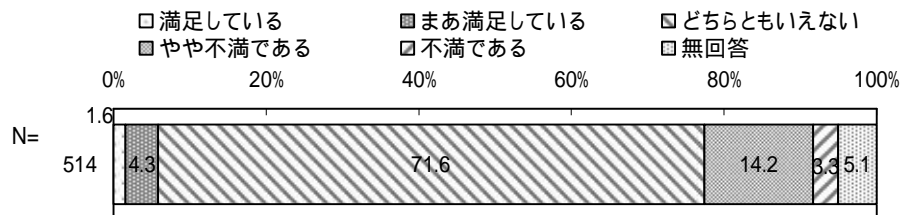


【問2 満足度】

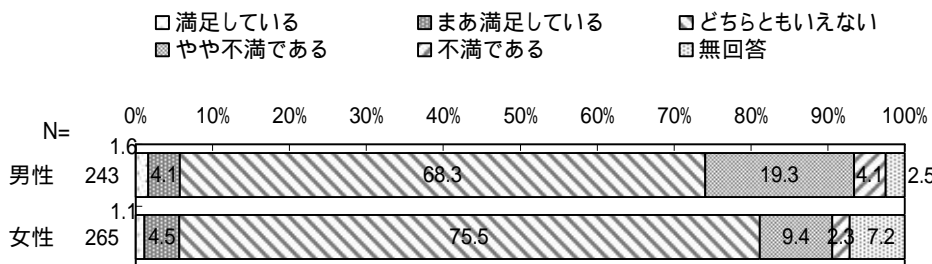
八 近隣市町との交流などの広域連携の促進

満足度について全体でみると、「不満」と「やや不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が17.5%。性別でみると、女性に比べ男性で、不満だと感じている人の割合が高くなっています。年代別にみると、20～24歳をのぞいた全ての世代で不満だと感じている人の割合が満足だと感じている人の割合を上まわっています。ライフステージ別でみると、夫婦のみ（65歳未満、以上ともに）で不満である人の割合が特に高くなっています。

【全体】

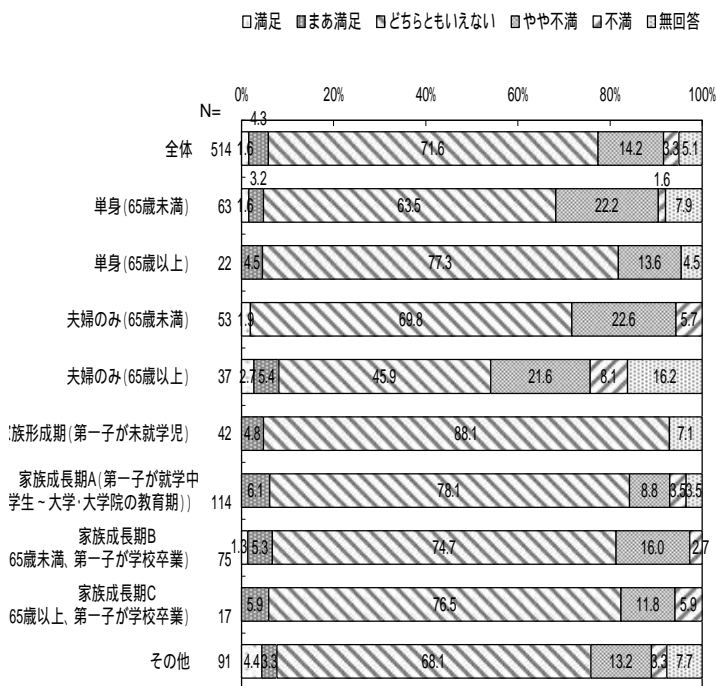
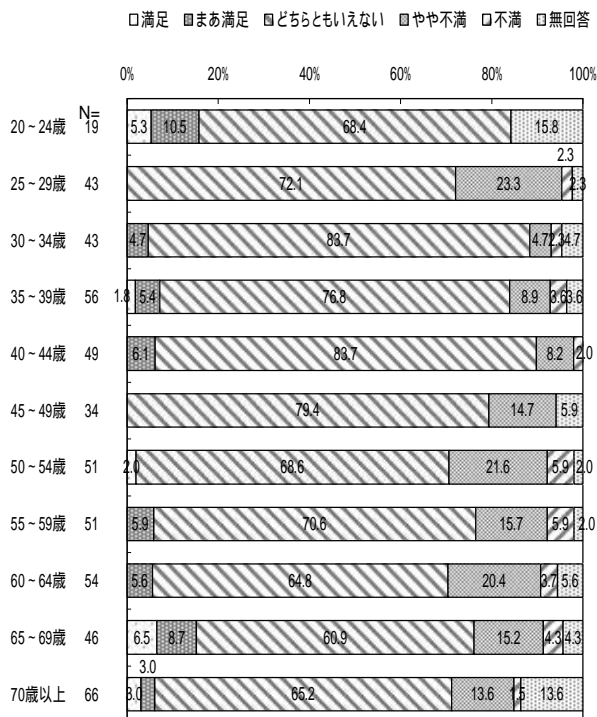


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

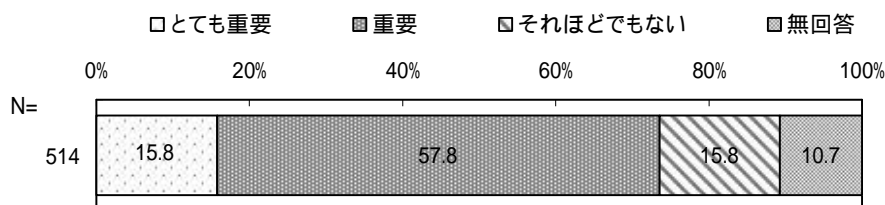


【問2 重要度】

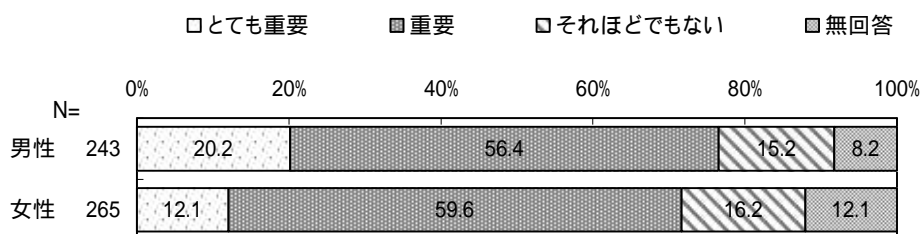
八 近隣市町との交流などの広域連携の促進

重要度を全体でみると「とても重要」と「重要」をあわせた、重要と感じている人の割合は73.6%。性別でみると、女性に比べ男性で「とても重要」と感じている人の割合が高くなっています。年代別、ライフステージ別でも大きな差異はありません。

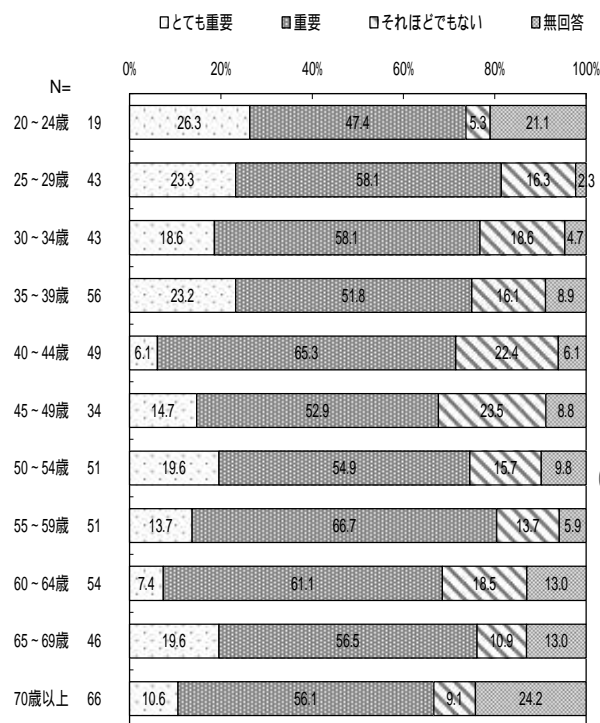
【全体】



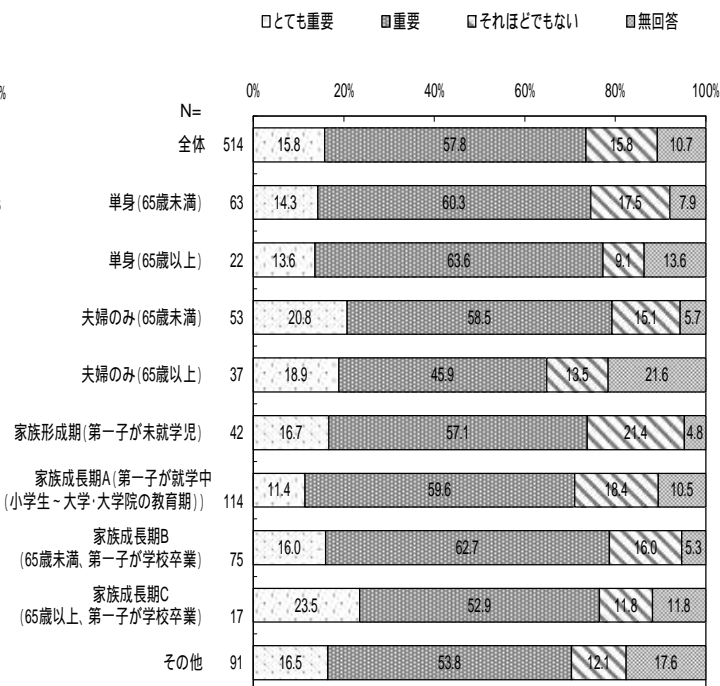
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】

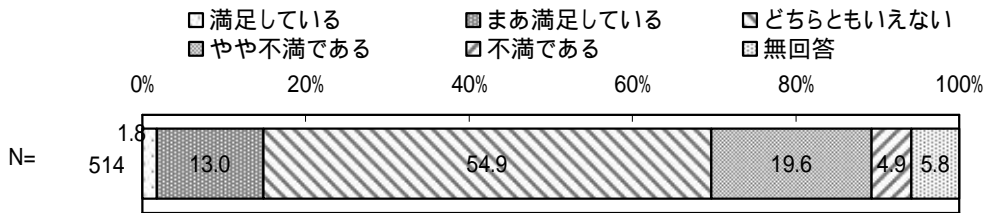


市の政策全体について

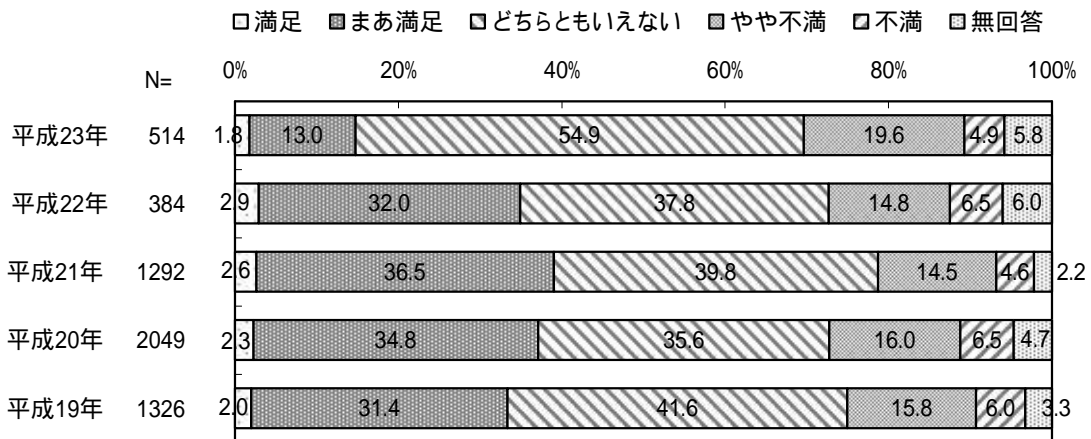
問 2-ヒ 市の政策全体について、どの程度満足していますか。

市の施策全体の満足度については、「不満」と「やや不満」をあわせた市の施策全体に不満だと感じている人の割合が 24.5%「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している人の割合が 14.8%と、不満だと感じている人の割合が高くなっています。

平成 19 年から平成 21 年まで満足度が高くなってきていましたが、平成 22 年から満足度が減少し始め、平成 23 年では平成 22 年に比べ 4 割以上減少しています。

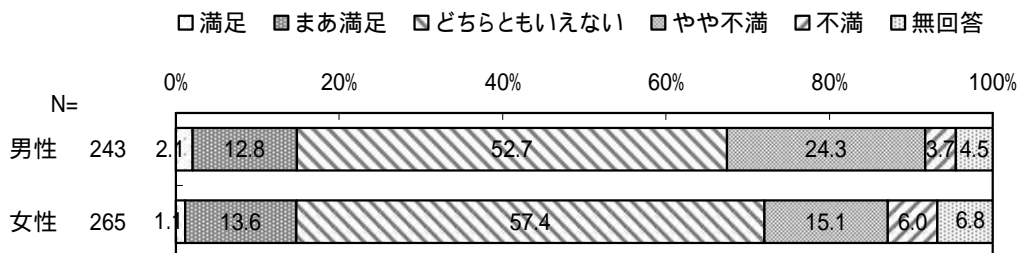


【経年比較】



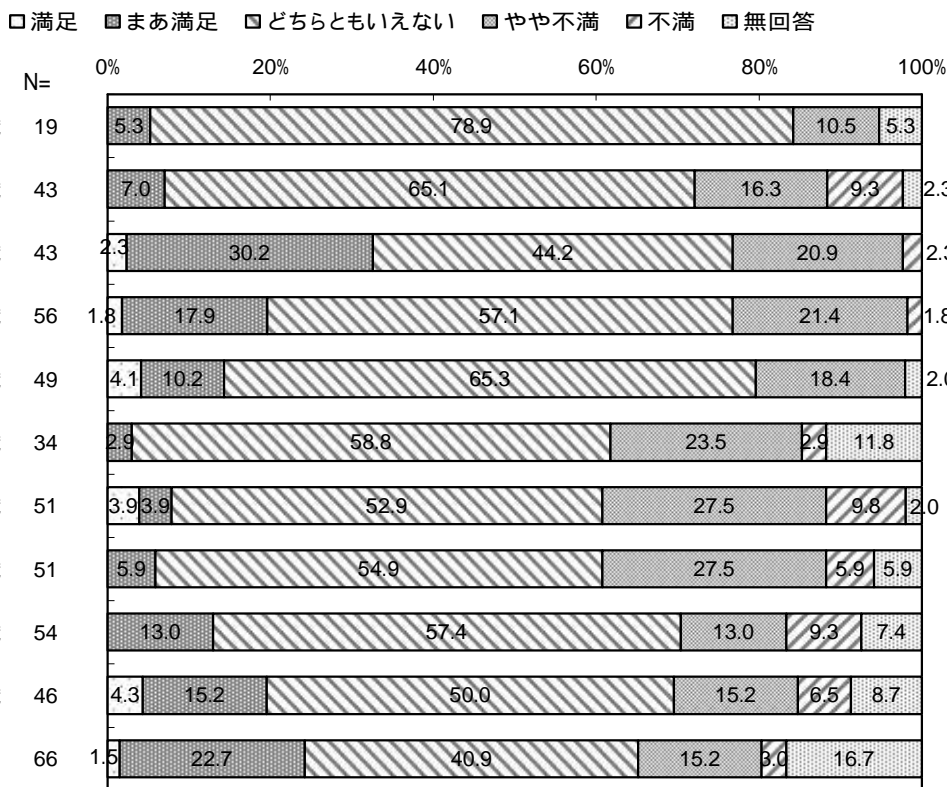
【性別】

性別でみると、女性に比べ男性で「やや不満」と「不満」をあわせた、不満だと感じている人の割合が高くなっています。



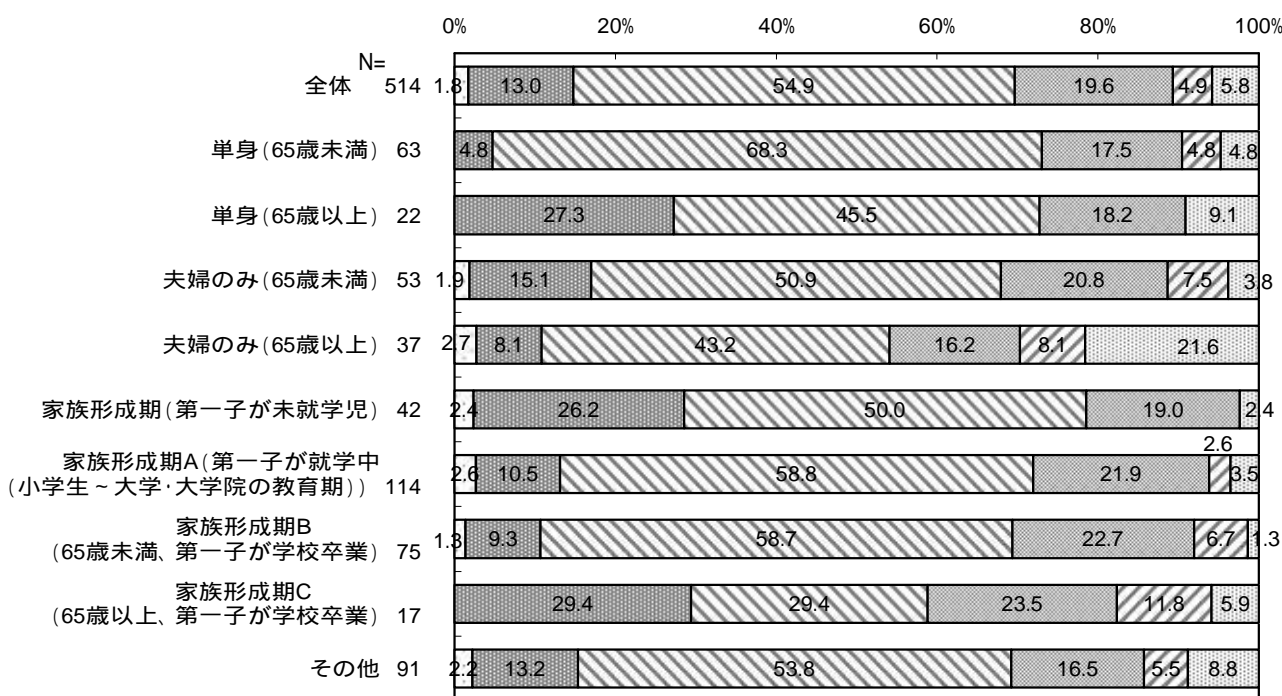
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く32.5%となっています。一方、50～59歳で「やや不満」と「不満」をあわせた市の施策に満足していない人の割合が3割を超えています。



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、単身（65歳未満）で「満足」と「まあ満足」をあわせた満足している割合が4.8%と最も低くなっています。一方、単身（65歳以上）と家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）、家族形成期（第一子が未就学児）で満足している割合が高くなっています。



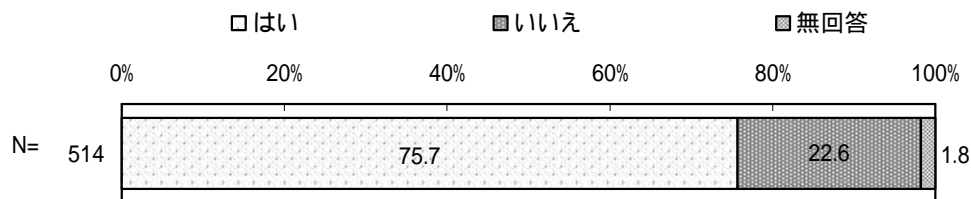
2 特集調査

健康について

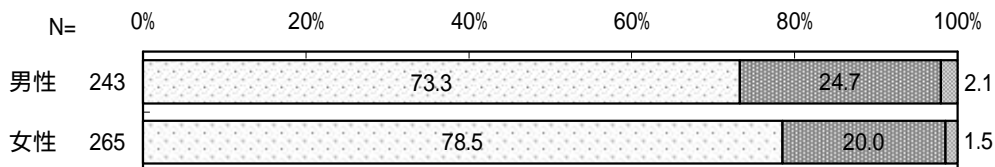
問 3 ご自分の健康について、心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。
(1つに)

健康について相談できる相手や場所がある人が 75.7%

性別でみると、男性に比べ女性の方が 5.2%多く、健康について相談できる相手や場所があると回答しています。

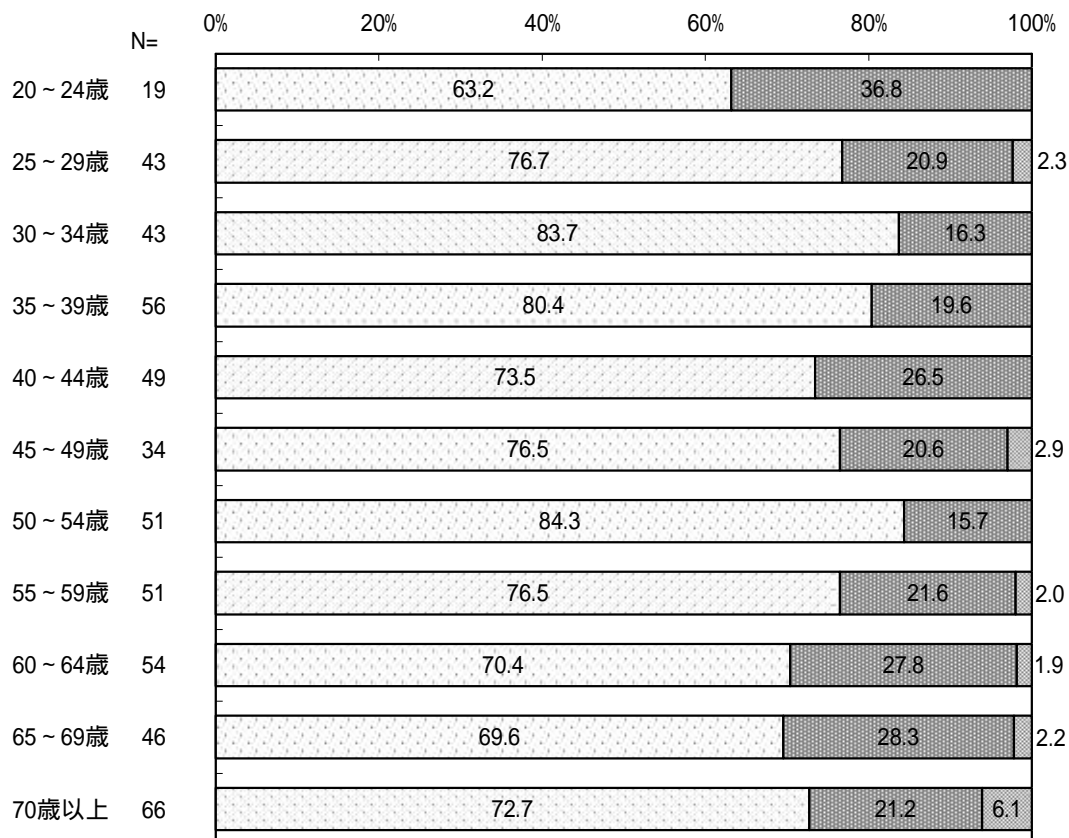


【性別】



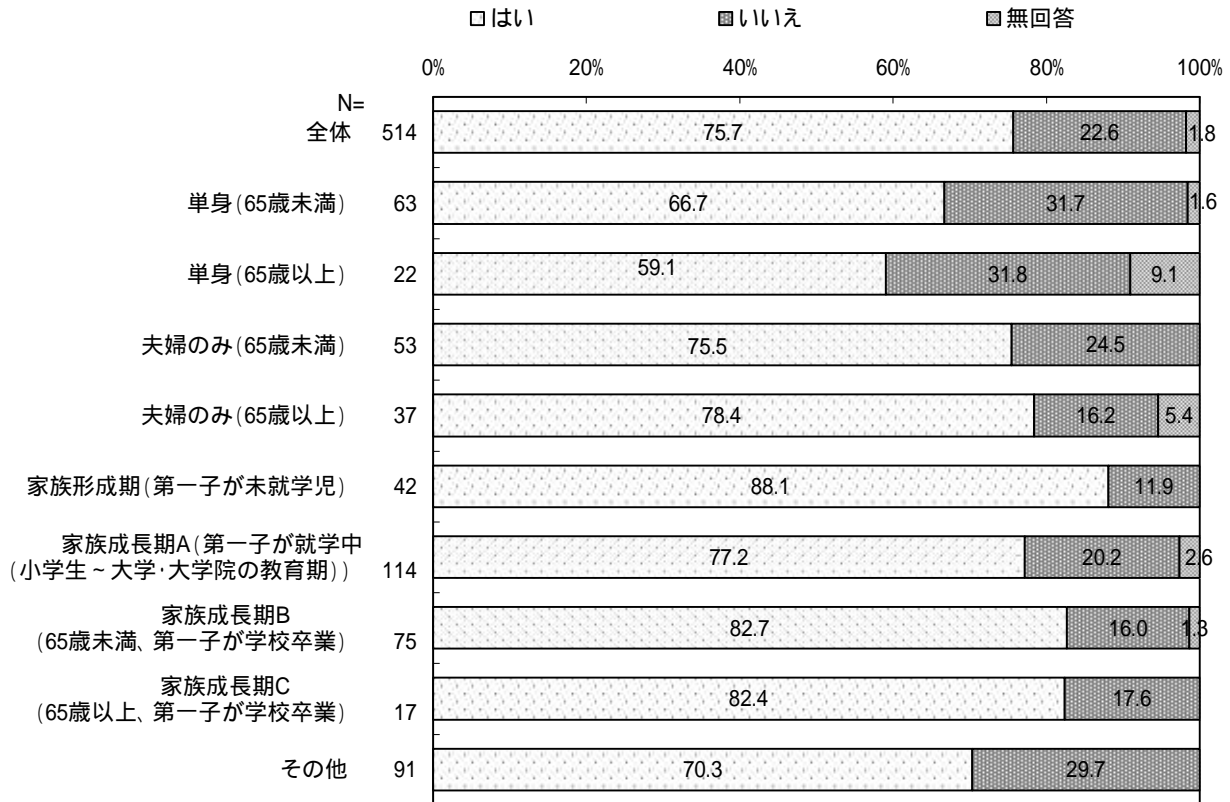
【年代別】

年代別でみると、20～24歳で健康について相談できる相手や場所がない人の割合が最も多くなっています。



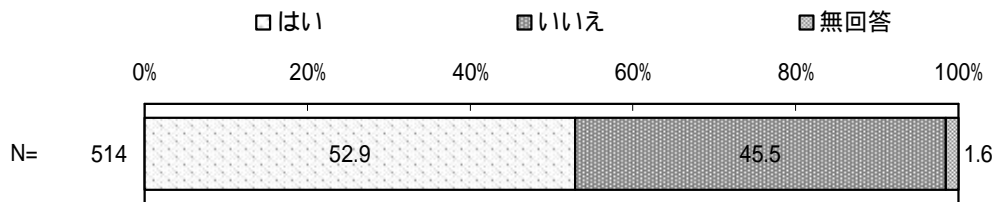
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、単身の人（65歳未満、以上ともに）が健康について相談できる相手や場所がない人の割合が多くなっています。

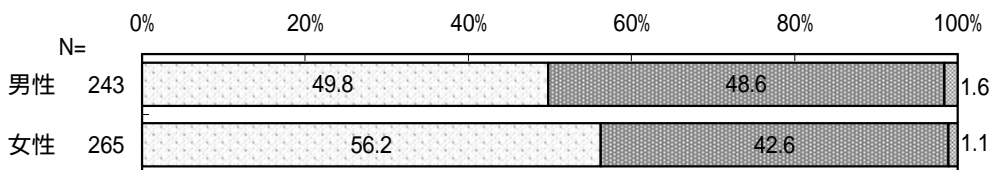


問 4 日常的な診療だけでなくご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」をもちますか。(1つに)

約5割の人が、かかりつけ医をもちます。
性別でみると、女性は男性より6.4%多くかかりつけ医をもちている人がいます。

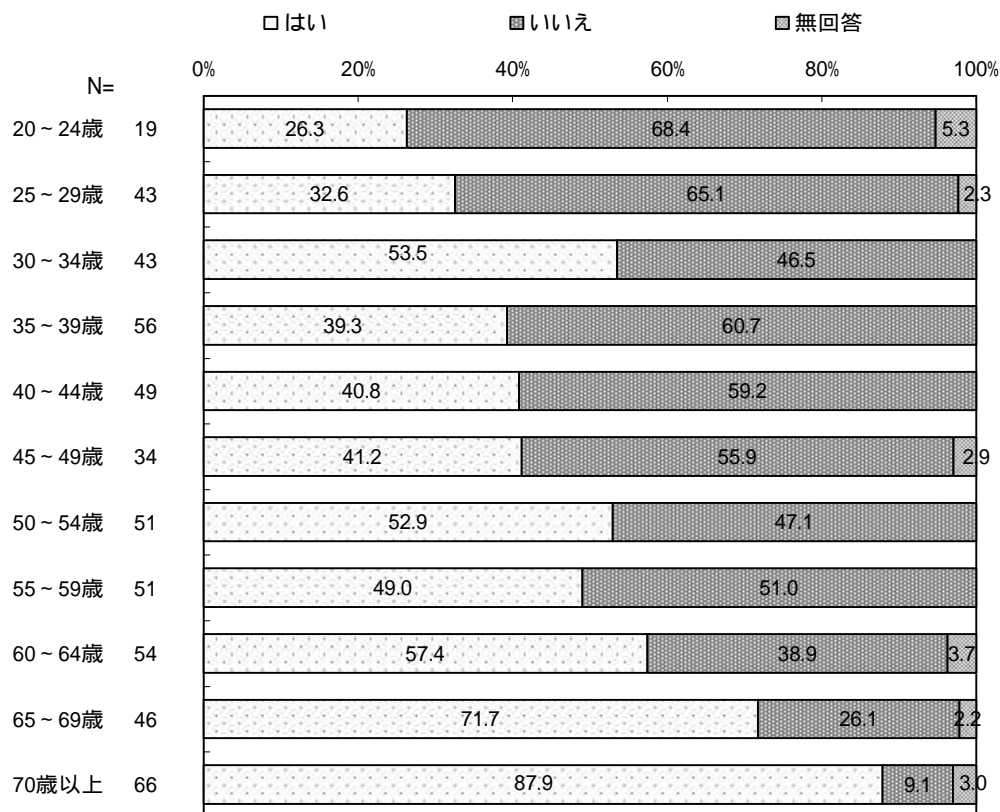


【性別】



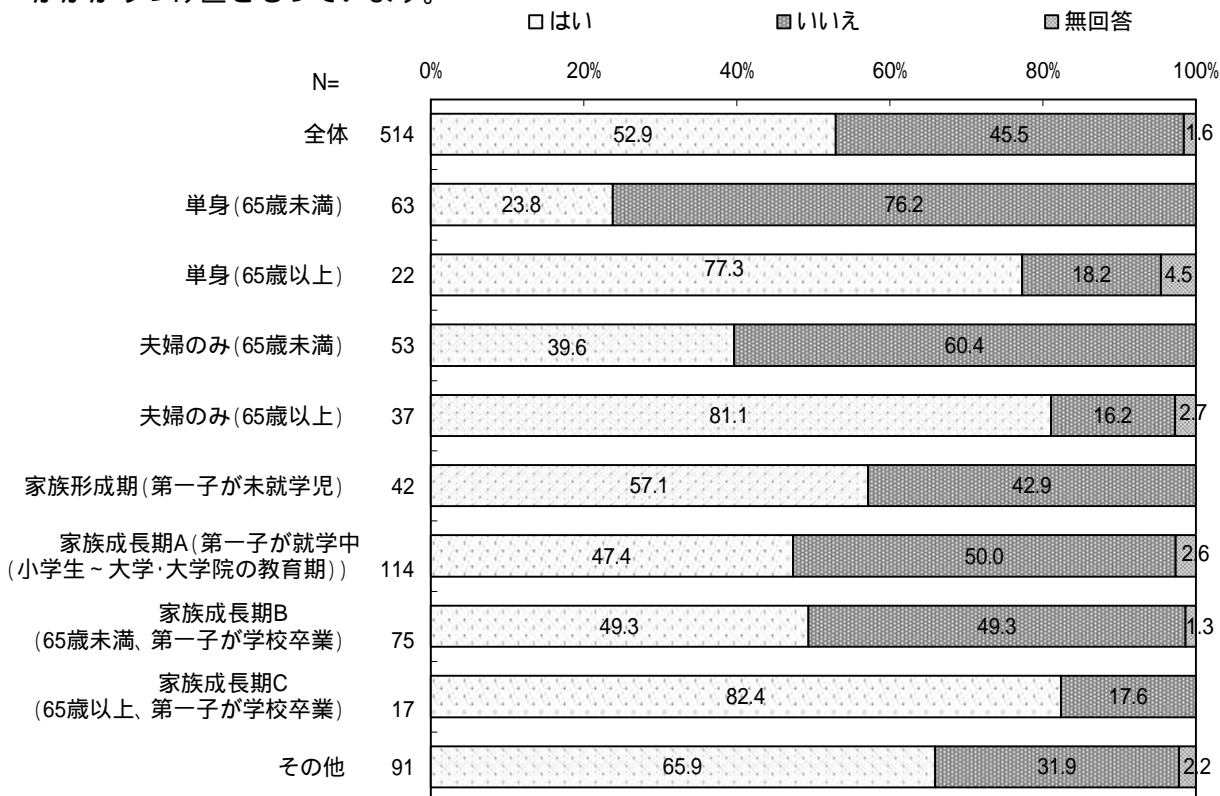
【年代別】

年代別でみると、30～34歳でかかりつけ医をもっている人の割合が53.5%となっている他には年代が上がるにつれ、かかりつけ医をもっている人の割合が高い傾向にあります。



【ライフステージ別】

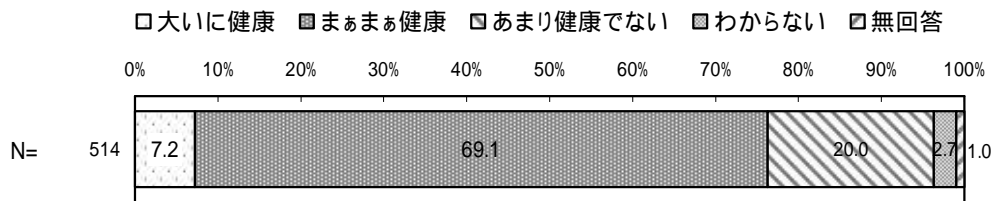
ライフステージ別にみると、単身、夫婦のみ、家族成長期C(ともに65歳以上)では7割以上がかかりつけ医をもっています。



スポーツ活動について

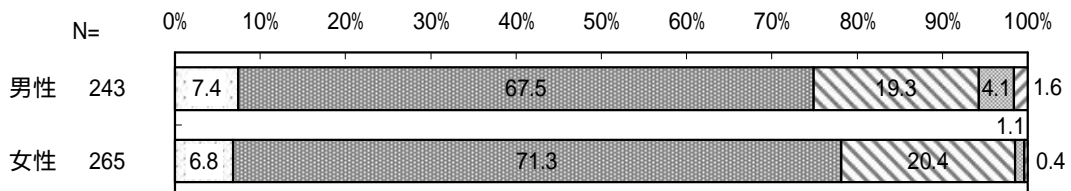
問5 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(1つに)

「大いに健康」と「まあまあ健康」をあわせた健康だと感じている人の割合が 76.3%、「あまり健康でない」の割合が 20.1%となっています。



【性別】

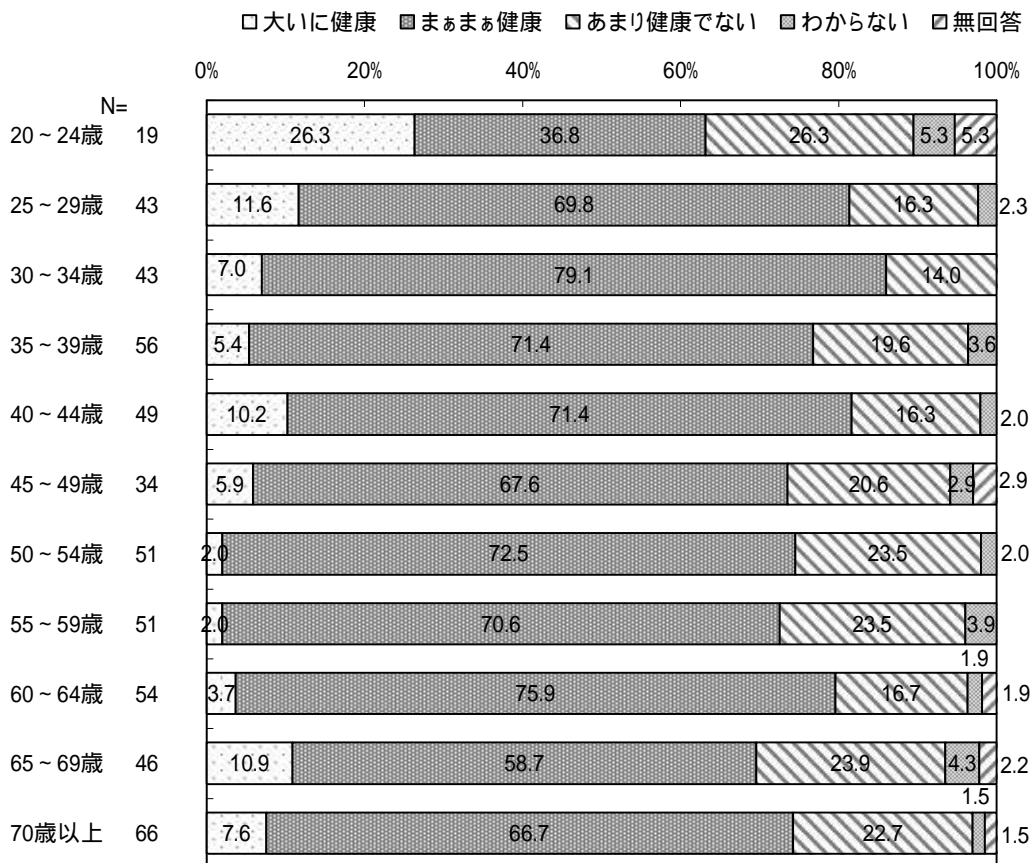
性別による大きな差異はみられません。



【年代別】

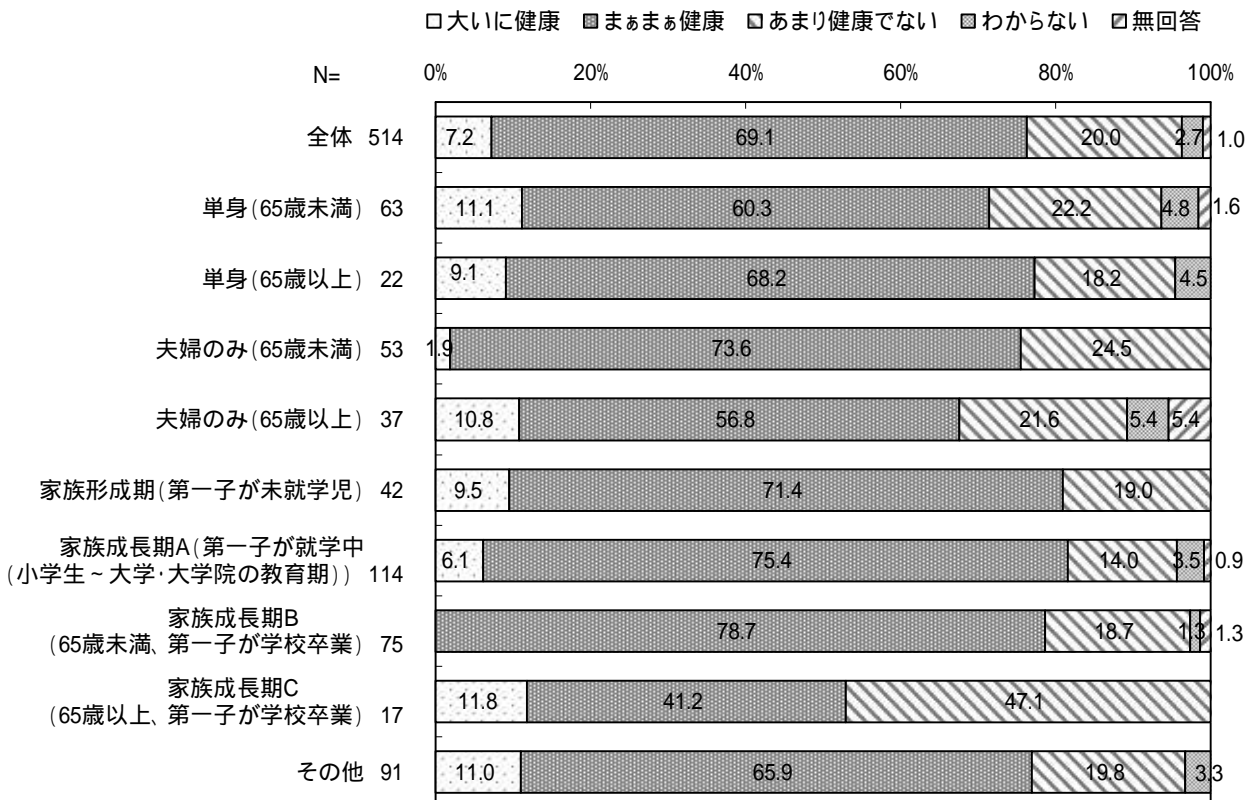
年代別で見ると、他の年代に比べ、20～24歳で「大いに健康」だと感じている人の割合が最も高いが、「あまり健康でない」と感じている人の割合も最も高くなっています。25歳以上の年代では「大いに健康」「まあまあ健康」をあわせた健康だと感じている人の割合が約7割以上と高くなっています。

【年代別】



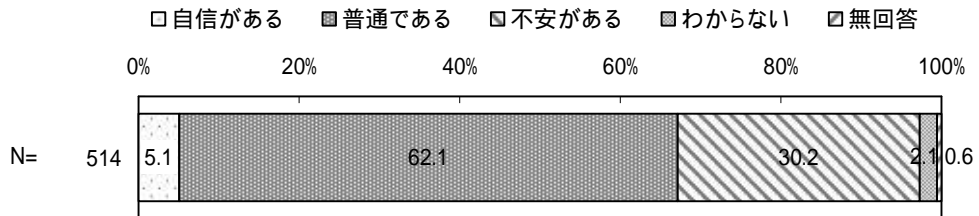
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で「あまり健康でない」と感じている人の割合が47.1%と高くなっています。



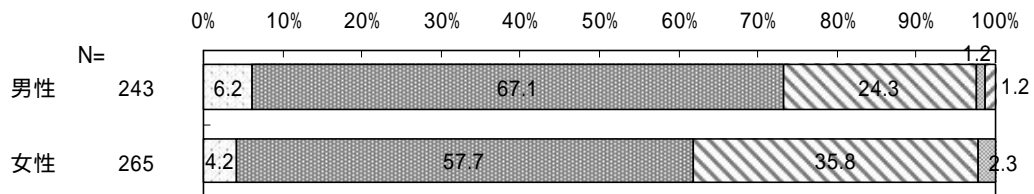
問6 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(1つに)

「普通である」の割合が62.1%と最も高く、次いで「不安がある」の割合が30.2%、「自信がある」の割合が5.1%となっています。



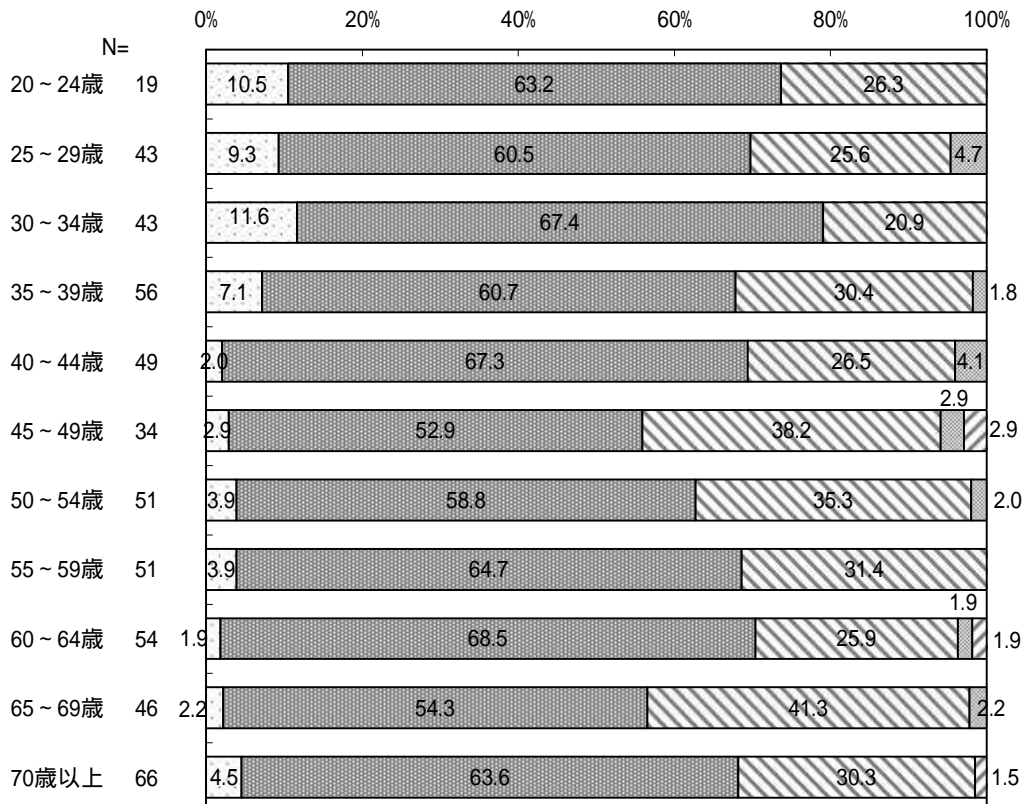
【性別】

性別で見ると、男性に比べ女性で「不安がある」の割合が高くなっています。



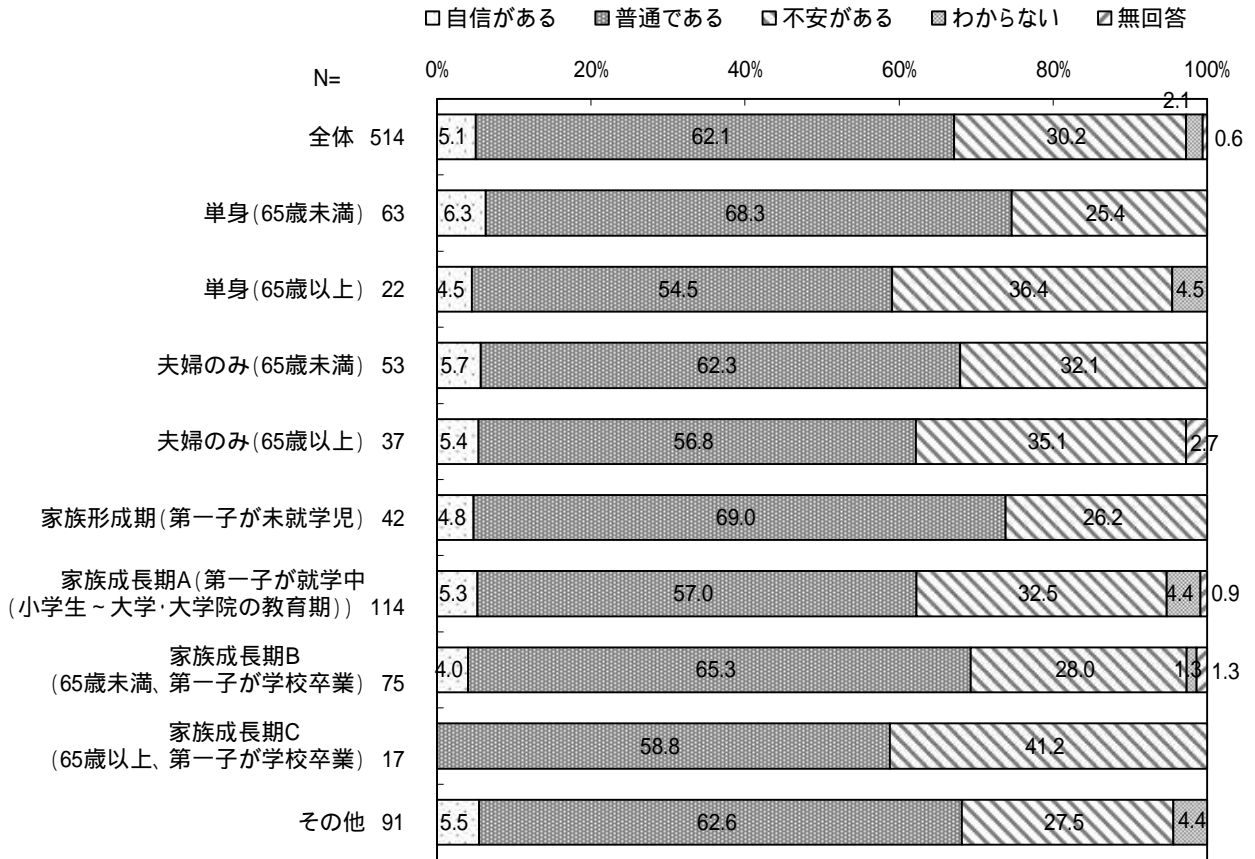
【年代別】

年代別にみると、他の年代に比べ、20～34歳の若い世代で「自信がある」の割合が高く、65～69歳では「不安がある」の割合が4割以上と高くなっています。



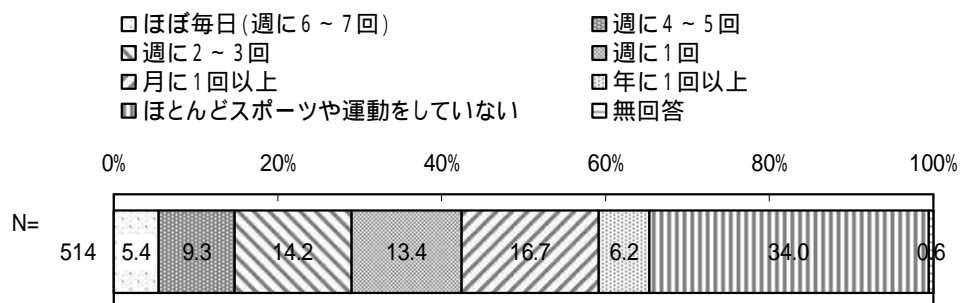
【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、家族成長期Cで「不安がある」が41.2%、次いで単身(65歳以上)、夫婦のみ(65歳以上)で「不安がある」の割合が高くなっています。65歳以上で「不安がある」の割合が高くなっています。



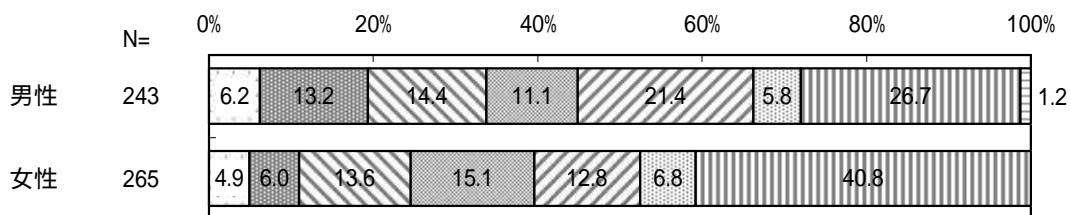
問 7 あなたは、この1年間でスポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をどれくらいの頻度で行いましたか。（1つに ）

「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「月に1回以上」の割合が16.7%、「週に2~3回」の割合が14.2%となっています。



【性別】

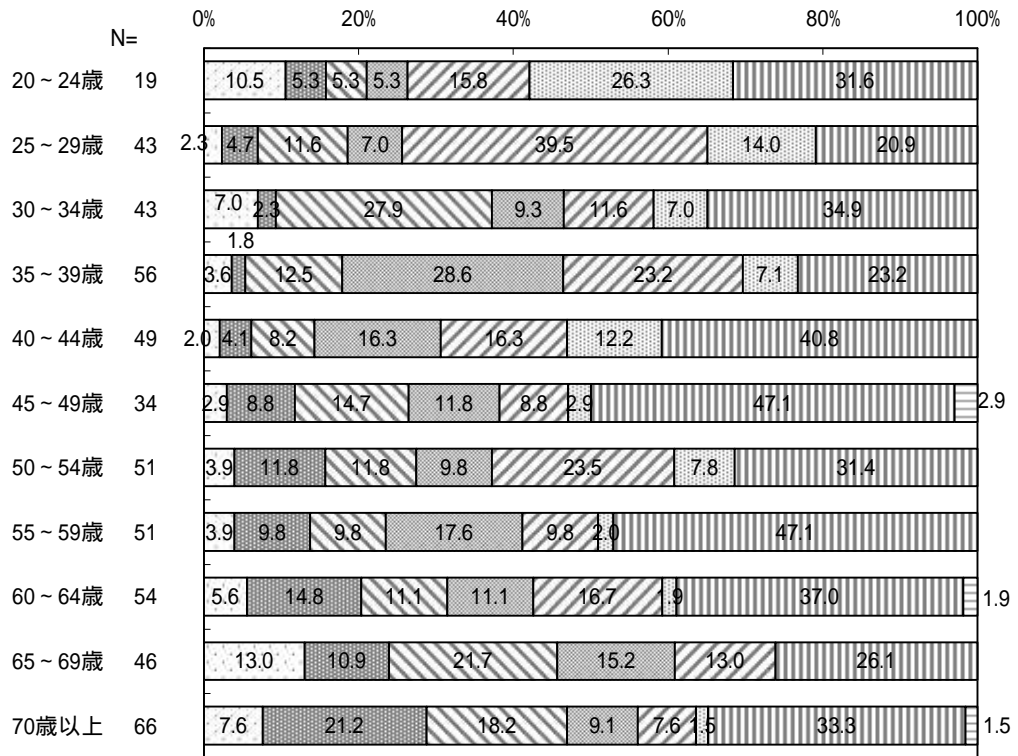
性別でみると、男性に比べ女性は「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が約4割。一方、男性は「月に1回以上」の割合が高くなっています。



【年代別】

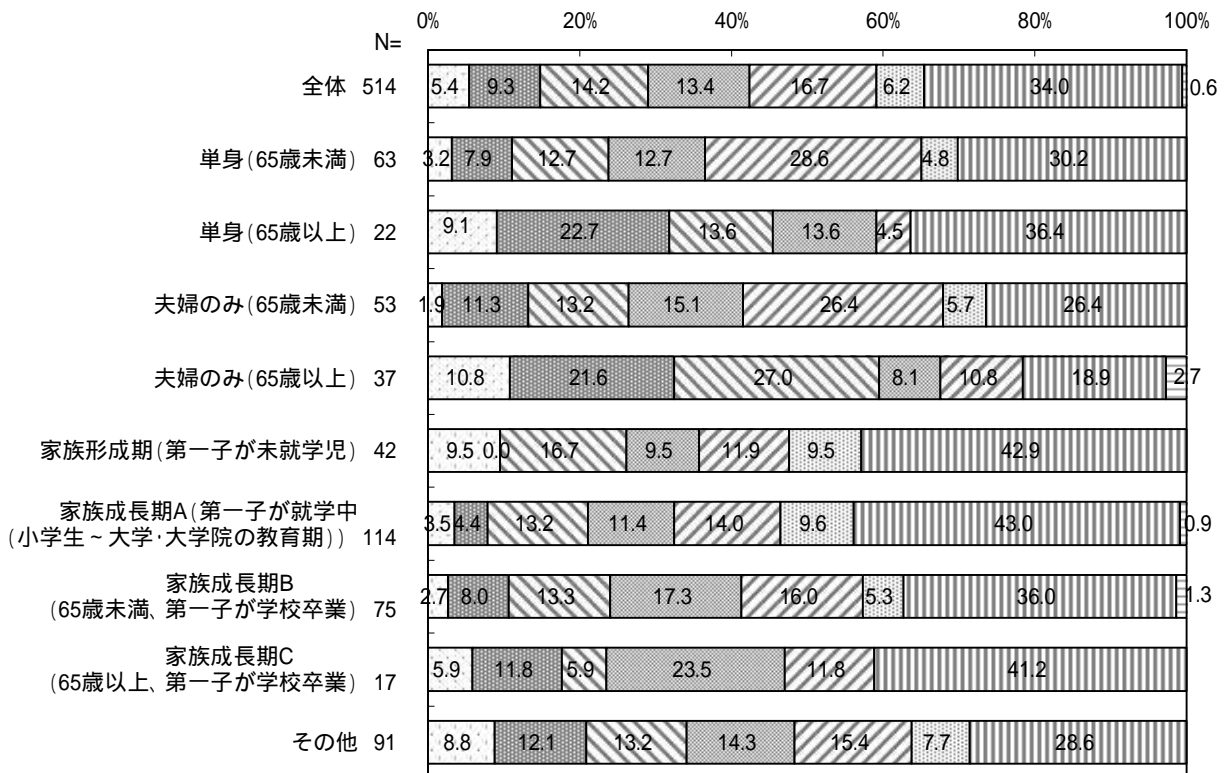
年代別でみると、他の年代に比べ、25~29歳で「月に1回以上」の割合が、35~39歳で「週に1回」の割合が、30~34歳で「週に2~3回」の割合が高くなっています。一方、45~49歳、55~59歳で「ほとんどスポーツや運動をしていない」が47%と高い割合を占めています。

- ほぼ毎日(週に6~7回)
- 週に2~3回
- 月に1回以上
- ほとんどスポーツや運動をしていない
- 週に4~5回
- 週に1回
- 年に1回以上
- 無回答



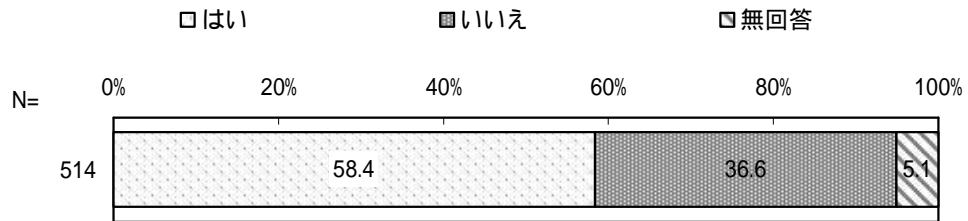
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、夫婦のみ(65歳以上)で「ほとんどスポーツや運動をしていない」割合が18.9%と最も低くなっています。

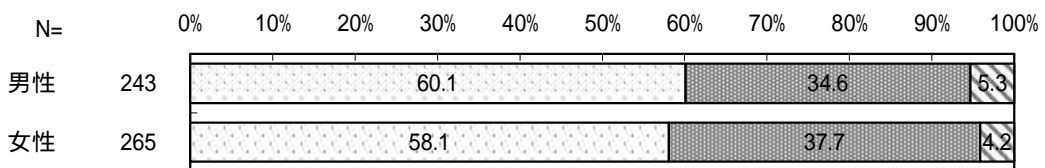


問 8 習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができていると感じますか？

6割近くの人が習慣的な運動により健康を保つことができていると感じています。

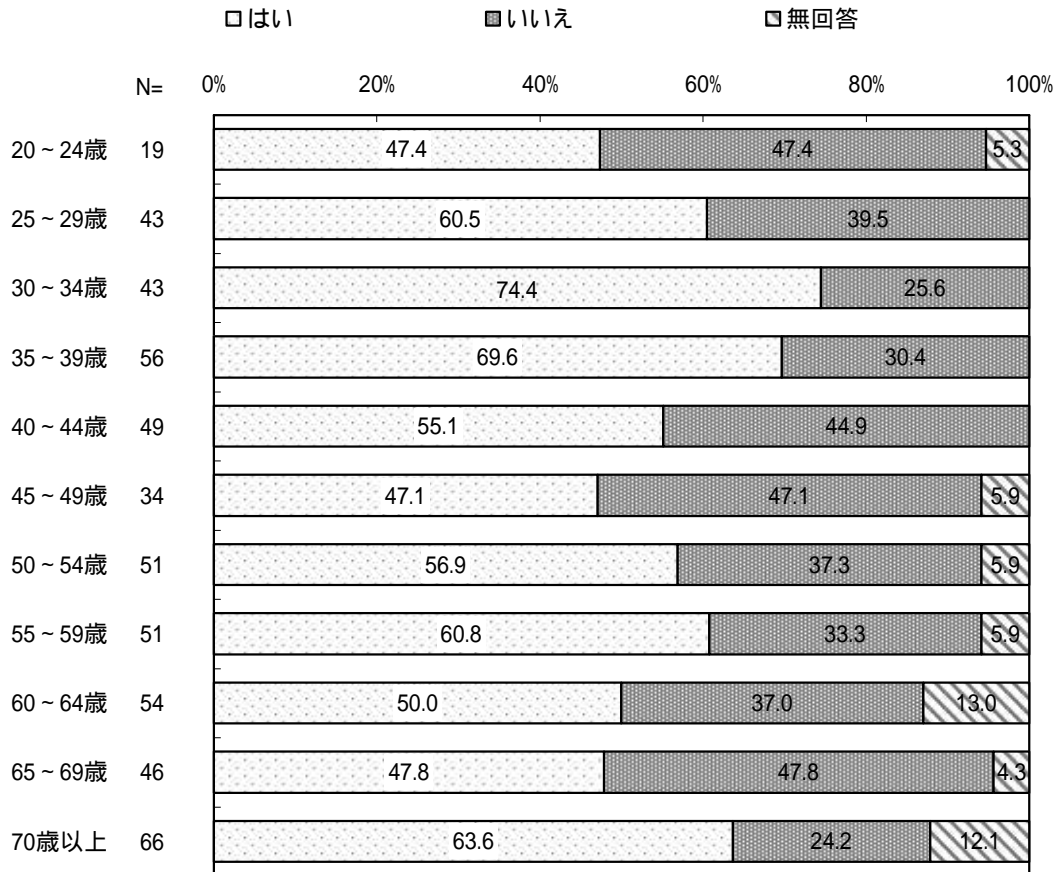


【性別】



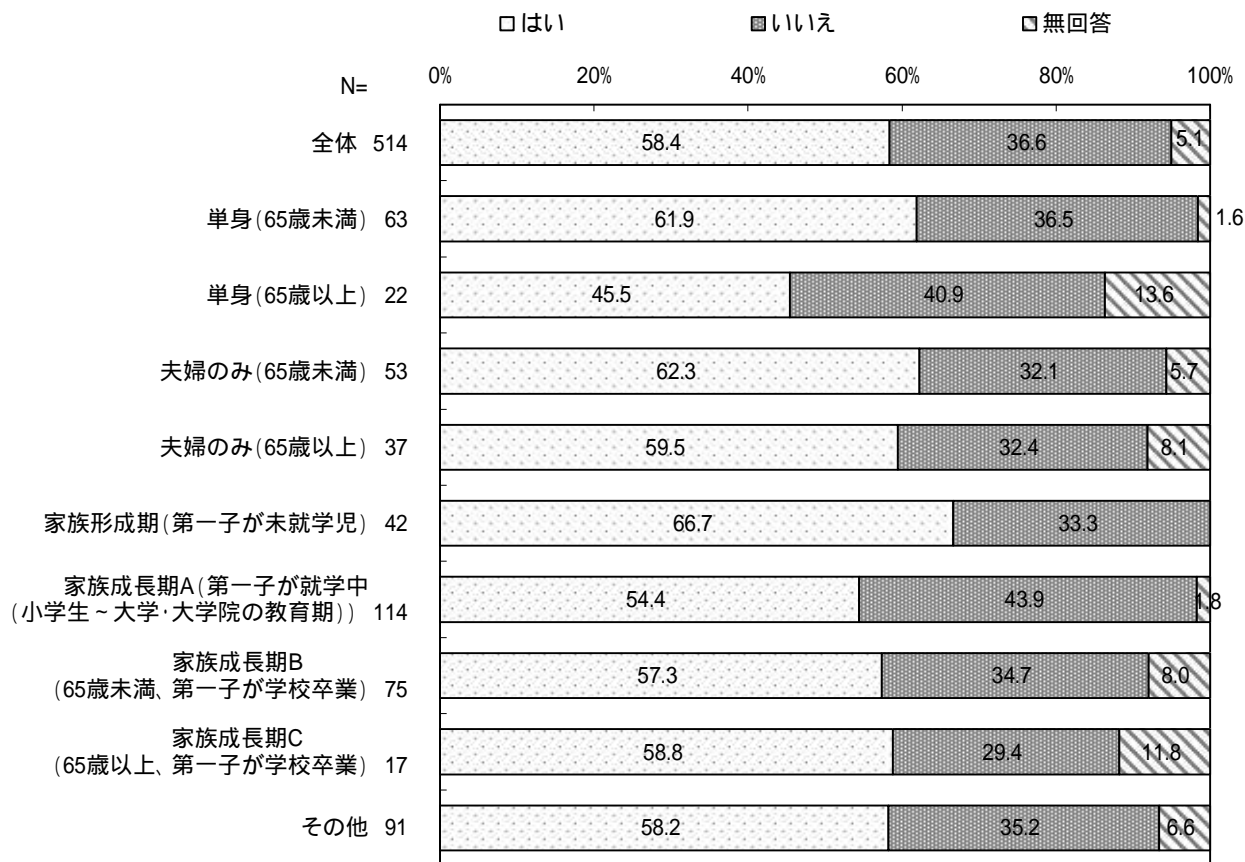
【年代別】

年代別でみると、30～39歳、70歳以上で習慣的な運動によって自分が健康を保つことができていると感じている割合が高くなっています。



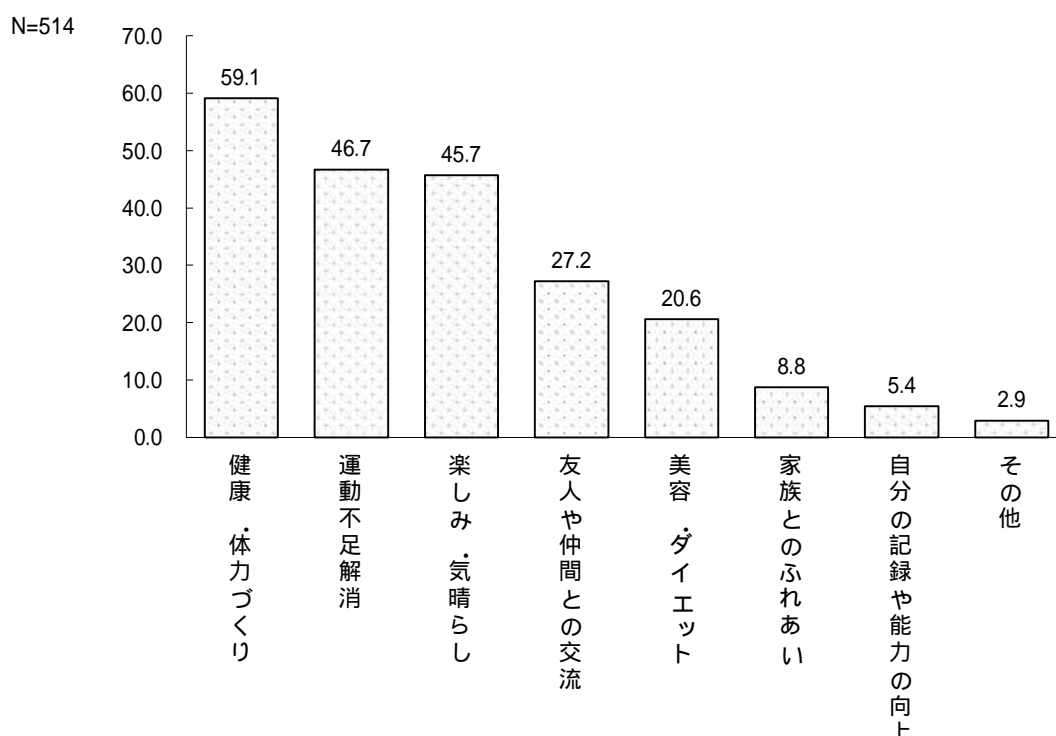
【ライフステージ別】

ライフステージ別にみると、単身（65歳以上）では、習慣的な運動によって自分が健康を保つことができていると感じているのは45.5%と低い割合となっています。



問9 あなたがスポーツや運動を行う目的は何ですか。(はいいくつでも)

「健康・体力づくり」が59.1%と最も高く、次いで「運動不足解消」が46.7%、「楽しみ・気晴らし」が45.7%となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ男性は「楽しみ・気晴らし」「友人や仲間との交流」の割合が高くなっています。一方、女性は「運動不足解消」「美容・ダイエット」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で「楽しみ・気晴らし」と「友人や仲間との交流」の割合が高く、30～34歳で「運動不足解消」の割合が高くなっています。また25～34歳の年代で「美容・ダイエット」の割合が高くなっています。

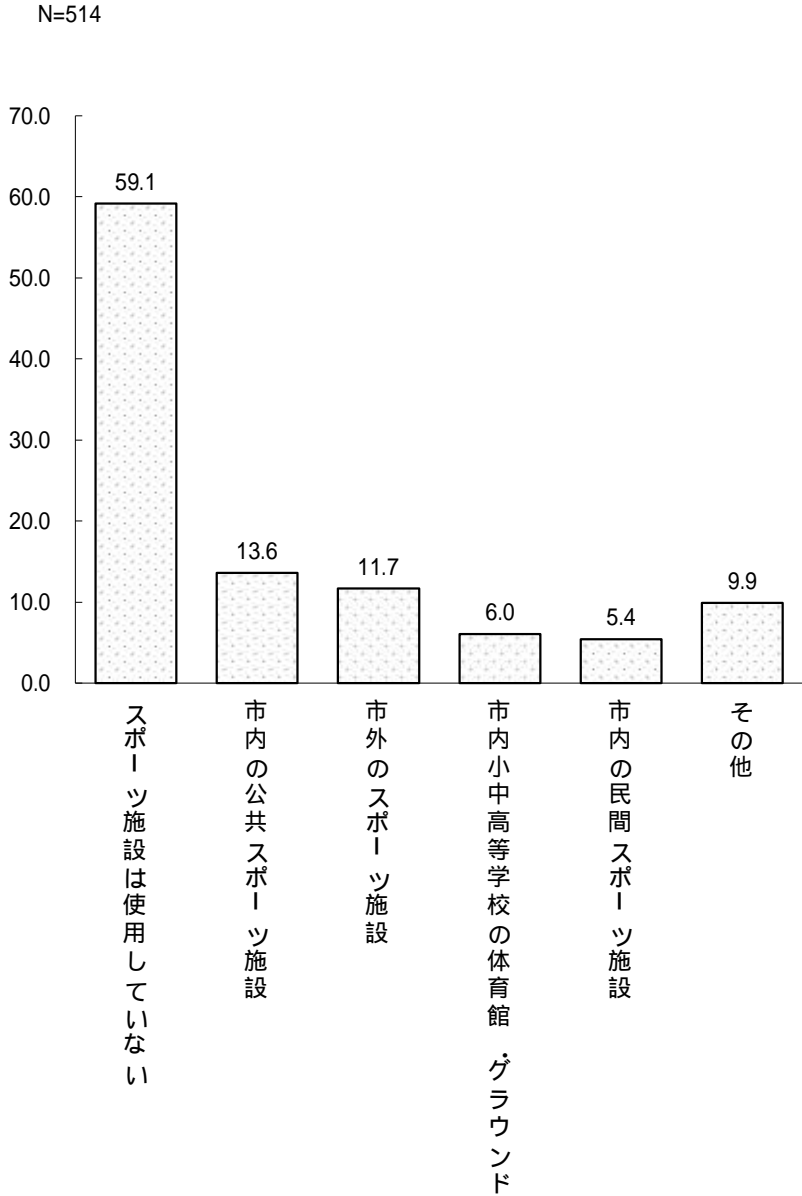
居住地区別でみると、千福が丘で「健康・体力づくり」の割合が特に高く、企業団地では「楽しみ・気晴らし」「運動不足解消」の割合が高くなっています。

単位%

区分	有効回答数(件)	健康 体力づくり	楽しみ 気晴らし	運動 不足解消	自分の記憶や能力の 向上	友人や仲間との交流	家族とのふれあい	美容 ダイエット	その他	無回答
男性	243	60.5	48.1	40.7	7.0	29.6	8.2	15.2	3.7	0.4
女性	265	58.9	43.8	52.8	4.2	24.9	9.1	26.0	2.3	-
20～24歳	19	57.9	78.9	52.6	15.8	52.6	10.5	31.6	-	-
25～29歳	43	55.8	60.5	51.2	2.3	41.9	16.3	41.9	-	-
30～34歳	43	65.1	58.1	60.5	4.7	25.6	14.0	41.9	4.7	-
35～39歳	56	57.1	46.4	46.4	7.1	25.0	8.9	30.4	1.8	-
40～44歳	49	61.2	61.2	44.9	6.1	20.4	22.4	24.5	-	-
45～49歳	34	58.8	35.3	50.0	2.9	20.6	2.9	20.6	-	-
50～54歳	51	62.7	33.3	41.2	3.9	25.5	9.8	23.5	7.8	-
55～59歳	51	54.9	43.1	47.1	3.9	23.5	3.9	17.6	3.9	2.0
60～64歳	54	55.6	38.9	40.7	3.7	16.7	5.6	5.6	7.4	-
65～69歳	46	58.7	39.1	47.8	4.3	32.6	-	4.3	-	-
70歳以上	66	63.6	34.8	42.4	9.1	31.8	4.5	3.0	3.0	-
須山	26	46.2	30.8	38.5	3.8	26.9	11.5	7.7	-	-
富岡	92	65.2	47.8	51.1	5.4	22.8	10.9	20.7	3.3	1.1
深良	62	61.3	45.2	40.3	8.1	35.5	12.9	24.2	3.2	-
東	155	58.1	47.1	47.7	4.5	29.0	7.1	20.0	3.2	-
西	117	55.6	47.0	43.6	5.1	27.4	6.8	17.1	3.4	-
千福が丘	31	74.2	35.5	54.8	6.5	12.9	9.7	25.8	3.2	-
企業団地	20	60.0	60.0	60.0	10.0	30.0	10.0	40.0	-	-

問 10 ふだん利用するスポーツ施設は次のどれですか。(はいくつでも)

「スポーツ施設は利用していない」の割合が59.1%と最も高く、次いで「市内の公共スポーツ施設」が13.6%、「市外のスポーツ施設」が11.7%となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

性別、年代別、居住地区別全てにおいて「スポーツ施設は利用していない」割合が高くなっています。

性別で見ると、女性に比べ男性で「市外のスポーツ施設」利用の割合が高くなっています。

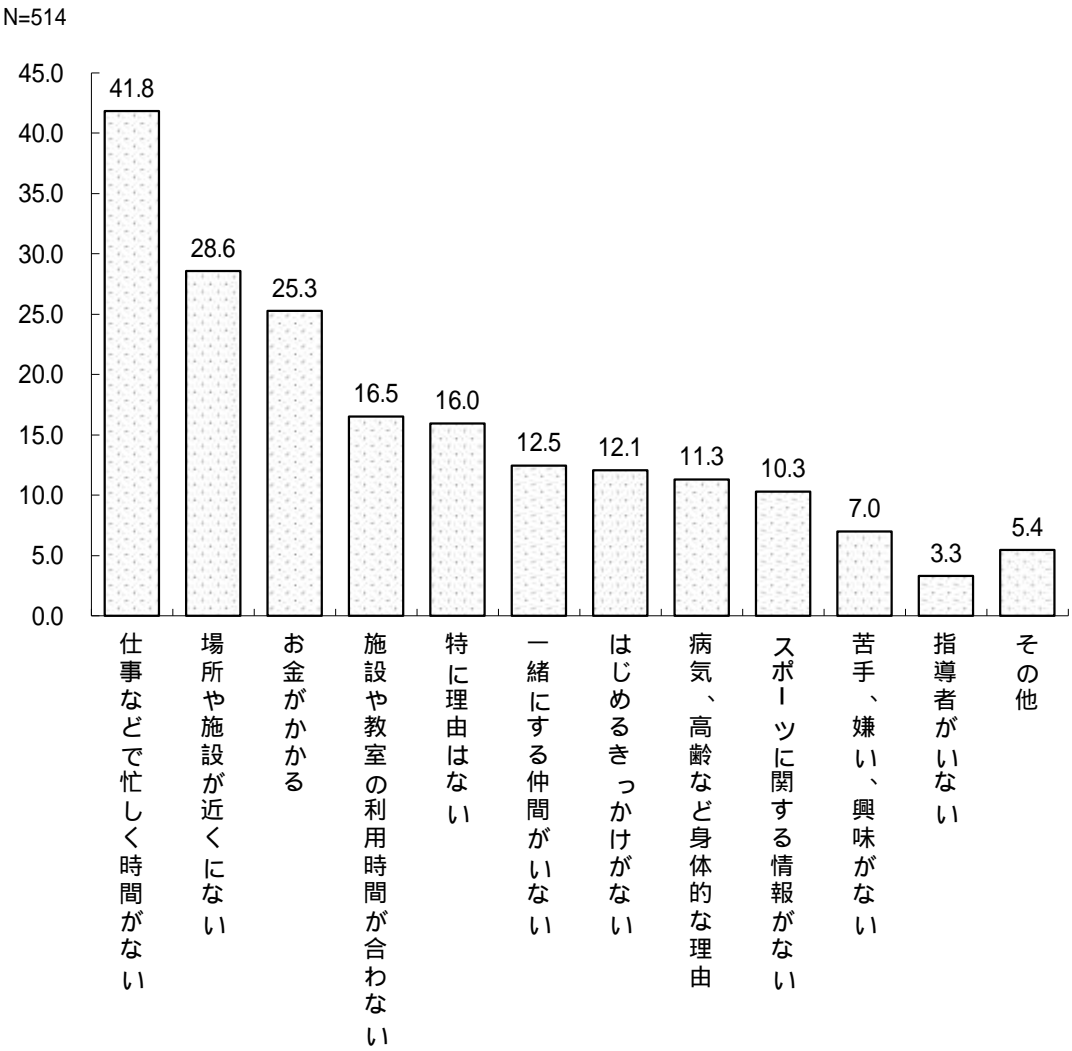
年代別で見ると、35～39歳で「市内小中高等学校の体育館・グラウンド」利用の割合が、20～24歳で「市内の民間スポーツ施設」利用の割合が高くなっています。また、20～44歳で「市外のスポーツ施設」利用の割合も高い傾向にあります。

居住地区別で見ると、須山で「市内小中高等学校の体育館・グラウンド」利用の割合が高くなっています。

区分	有効回答数(件)	市内の公共スポーツ施設	市内小中高等学校の体育館・グラウンド	市内の民間スポーツ施設	市外のスポーツ施設	その他	スポーツ施設は利用していない	無回答
男性	243	14.4	7.8	5.8	15.2	11.5	56.4	0.4
女性	265	13.2	4.5	5.3	8.7	8.7	61.1	-
20～24歳	19	21.1	-	15.8	15.8	15.8	52.6	-
25～29歳	43	20.9	4.7	9.3	20.9	11.6	48.8	-
30～34歳	43	16.3	9.3	9.3	20.9	11.6	53.5	-
35～39歳	56	14.3	17.9	1.8	17.9	8.9	51.8	-
40～44歳	49	10.2	10.2	4.1	14.3	2.0	67.3	-
45～49歳	34	20.6	5.9	5.9	5.9	2.9	64.7	-
50～54歳	51	17.6	5.9	5.9	9.8	3.9	60.8	-
55～59歳	51	11.8	3.9	2.0	5.9	9.8	70.6	2.0
60～64歳	54	3.7	3.7	-	5.6	14.8	66.7	-
65～69歳	46	10.9	-	4.3	10.9	8.7	63.0	-
70歳以上	66	12.1	1.5	9.1	6.1	18.2	50.0	-
須山	26	3.8	11.5	3.8	7.7	11.5	53.8	-
富岡	92	12.0	8.7	3.3	8.7	9.8	64.1	1.1
深良	62	14.5	4.8	3.2	16.1	16.1	53.2	-
東	155	14.8	6.5	6.5	9.7	5.8	60.0	-
西	117	15.4	4.3	6.0	16.2	12.0	57.3	-
千福が丘	31	9.7	3.2	6.5	12.9	9.7	64.5	-
企業団地	20	15.0	5.0	5.0	10.0	10.0	60.0	-

問 11 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由はありますか。
(はいいくつでも)

「仕事などで忙しく時間がない」が41.8%、次いで「場所や施設が近くにない」が28.6%、「お金がかかる」の割合が25.3%となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ女性で「施設や教室の利用時間が合わない」「お金がかかる」「苦手、嫌い、興味がない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ70歳以上では「病気、高齢など身体的な理由」の割合が、25～39歳で「仕事などで忙しく時間がない」の割合が、20～34歳と若い世代で「お金がかかる」「場所や施設が近くにない」の割合が高くなっています。

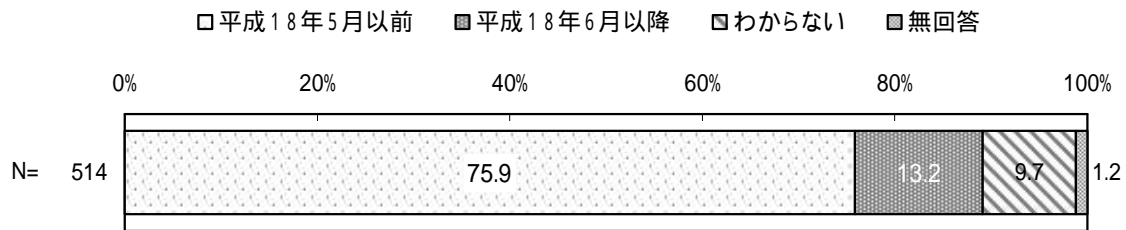
居住地区別でみると、千福が丘で「仕事などで忙しく時間がない」と「場所や施設が近くにない」の割合が特に高くなっています。

区分	有効回答数(件)	仕事などで忙しく時間がない	病気、高齢など身体的な理由	場所や施設が近くにない	施設や教室の利用時間が合わない	一緒にする仲間がない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけがない	スポーツに関する情報がない	苦手、嫌い、興味がない	その他	特に理由はない	無回答
男性	243	41.6	9.9	26.3	11.1	10.3	3.3	20.6	10.3	7.8	3.3	4.5	20.2	0.4
女性	265	42.3	12.1	30.9	21.9	14.3	3.4	29.8	12.8	12.5	10.2	6.4	12.5	-
20～24歳	19	52.6	-	31.6	21.1	15.8	-	47.4	26.3	5.3	-	10.5	15.8	-
25～29歳	43	65.1	7.0	46.5	20.9	18.6	4.7	48.8	4.7	27.9	4.7	4.7	2.3	-
30～34歳	43	67.4	4.7	30.2	30.2	11.6	7.0	39.5	9.3	16.3	9.3	7.0	7.0	-
35～39歳	56	66.1	1.8	28.6	21.4	16.1	3.6	28.6	5.4	7.1	10.7	10.7	3.6	-
40～44歳	49	57.1	4.1	22.4	8.2	16.3	-	28.6	18.4	2.0	4.1	10.2	10.2	-
45～49歳	34	52.9	5.9	41.2	29.4	8.8	5.9	26.5	23.5	17.6	5.9	-	17.6	-
50～54歳	51	37.3	17.6	17.6	19.6	11.8	3.9	23.5	13.7	7.8	7.8	7.8	7.8	-
55～59歳	51	33.3	7.8	27.5	15.7	9.8	3.9	25.5	9.8	7.8	17.6	3.9	21.6	2.0
60～64歳	54	27.8	11.1	24.1	14.8	7.4	3.7	9.3	7.4	7.4	1.9	5.6	33.3	-
65～69歳	46	10.9	19.6	28.3	8.7	6.5	4.3	10.9	17.4	10.9	6.5	2.2	17.4	-
70歳以上	66	13.6	30.3	27.3	4.5	13.6	-	12.1	9.1	7.6	3.0	-	31.8	-
須山	26	34.6	26.9	19.2	19.2	3.8	3.8	11.5	11.5	3.8	3.8	3.8	23.1	-
富岡	92	38.0	9.8	31.5	20.7	17.4	-	22.8	12.0	14.1	5.4	10.9	19.6	1.1
深良	62	41.9	11.3	27.4	14.5	11.3	6.5	21.0	16.1	11.3	9.7	1.6	16.1	-
東	155	42.6	11.6	23.9	14.2	12.3	3.2	27.7	14.2	10.3	8.4	3.9	12.3	-
西	117	41.9	11.1	30.8	17.1	9.4	3.4	28.2	7.7	8.5	6.0	4.3	18.8	-
千福が丘	31	48.4	9.7	48.4	25.8	6.5	9.7	19.4	16.1	-	3.2	3.2	12.9	-
企業団地	20	40.0	5.0	30.0	10.0	10.0	-	35.0	-	15.0	15.0	20.0	15.0	-

住宅用火災警報器の設置について

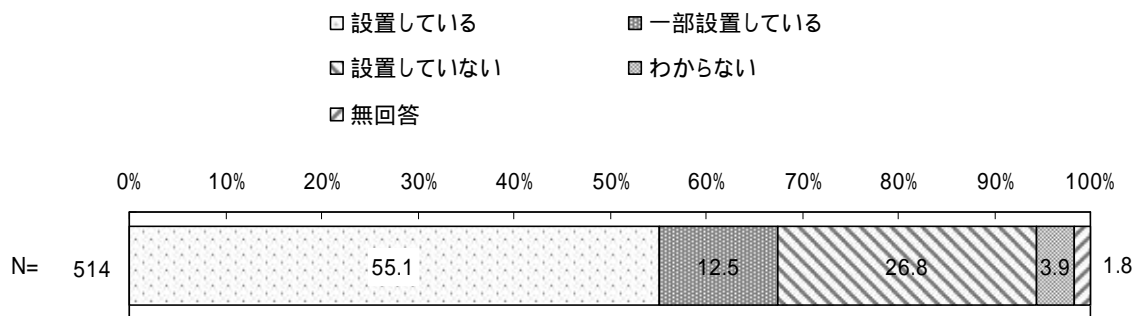
問 12 お住まいの住宅が建てられた時期はいつですか。(1つに)

「平成 18 年 5 月以前」に建てられた割合が 7 割を超えています。



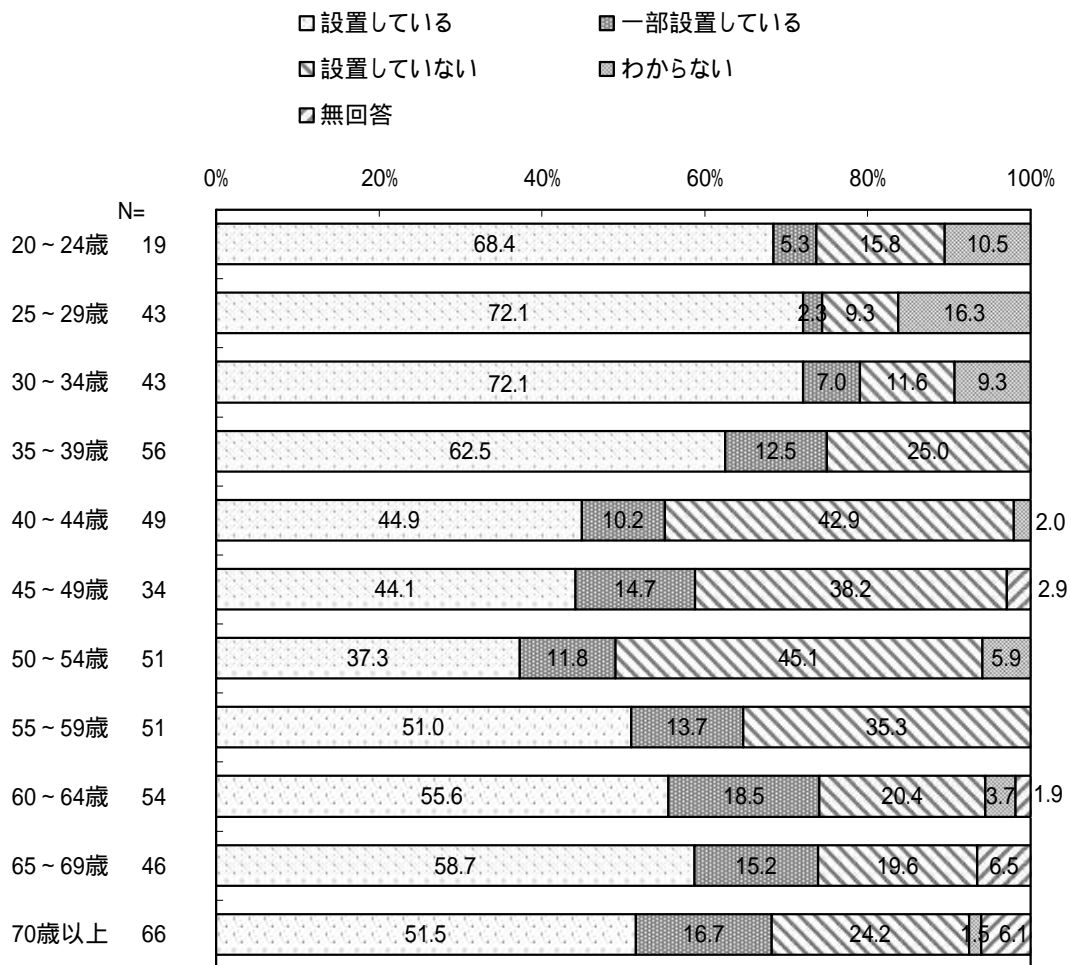
問 13 平成 21 年 6 月 1 日より、お住まいの住宅では、 寝室 階段（寝室が 2 階以上の階にある場合）に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。
お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。
(1つに)

「設置している」と「一部設置している」をあわせ 67.6%が設置しています。



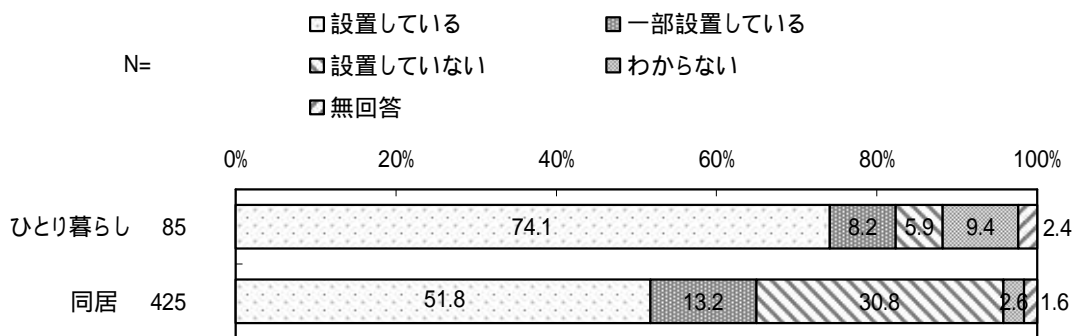
【年代別】

年代別でみると、40～54歳で「設置している」の割合が低くなっています。



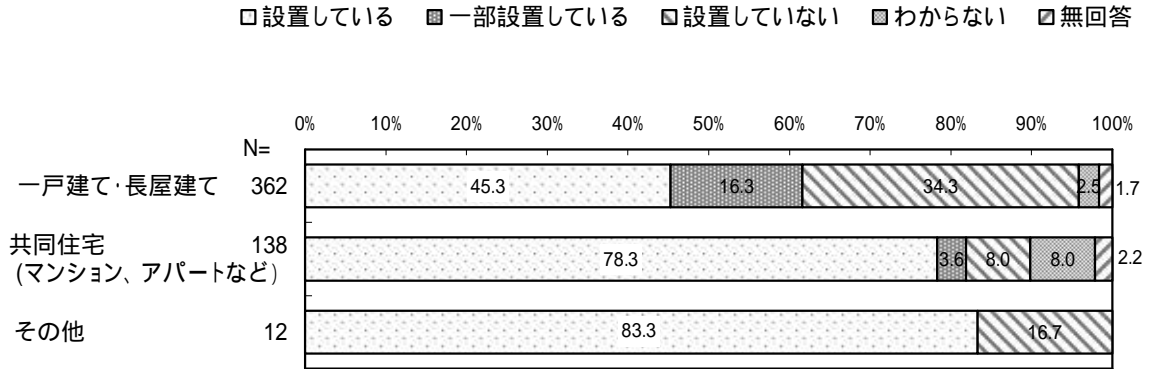
【同居別】

同居別でみると、ひとり暮らしが「設置している」の割合が7割を超えるのに対し、同居では「設置している」の割合が5割程度となっています。



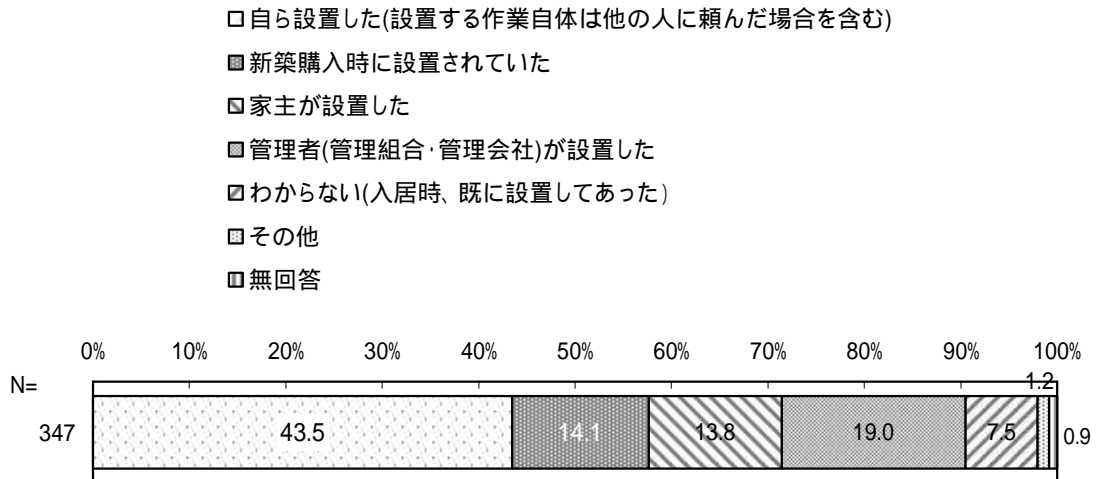
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、共同住宅では「設置している」と「一部設置している」をあわせ、設置している割合が8割以上となっています。一戸建て・長屋建てで「設置している」の割合は低く、5割以下となっています。



問 14-1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。
どのような経緯で設置にいたりましたか。(は1つ)

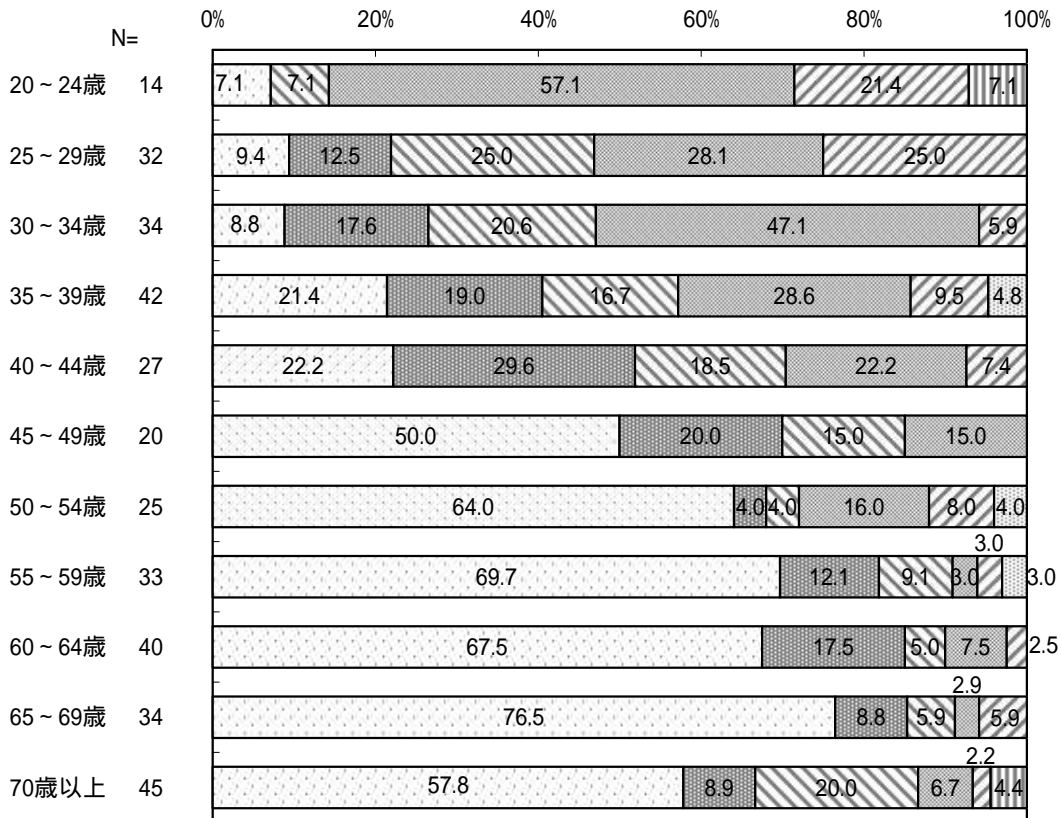
「自ら設置した」の割合が高く、43.5%となっています。



【年代別】

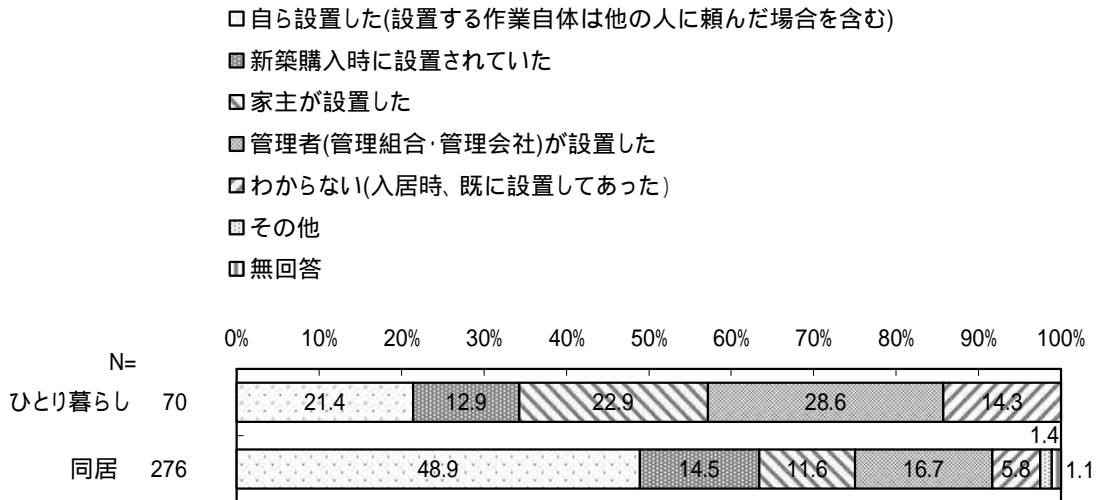
年代別でみると、45歳以上の年代で「自ら設置した」割合が5割以上となっています。特に65～69歳で「自ら設置した」割合が7割以上と高くなっています。一方、20～24歳で「管理者が設置した」割合が最も高くなっています。

- 自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)
- 新築購入時に設置されていた
- ▨ 家主が設置した
- ▩ 管理者(管理組合・管理会社)が設置した
- わからない(入居時、既に設置してあった)
- その他
- 無回答



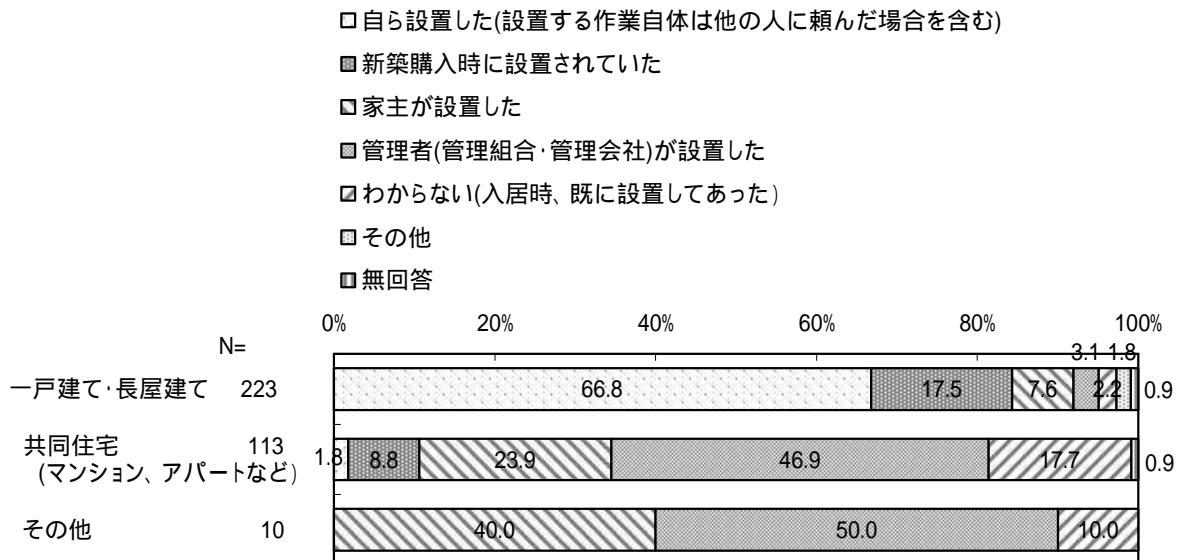
【同居別】

同居別でみると、同居で「自ら設置した」の割合が高く、48.9%となっています。一方、ひとり暮らしでは「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が最も多く 28.6%。



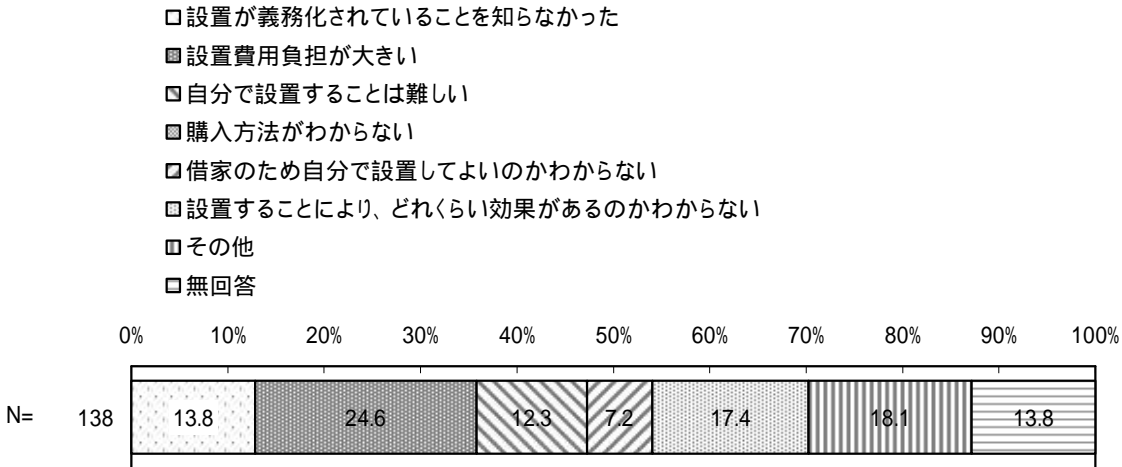
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、一戸建て・長屋建てで「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、66.8%となっています。



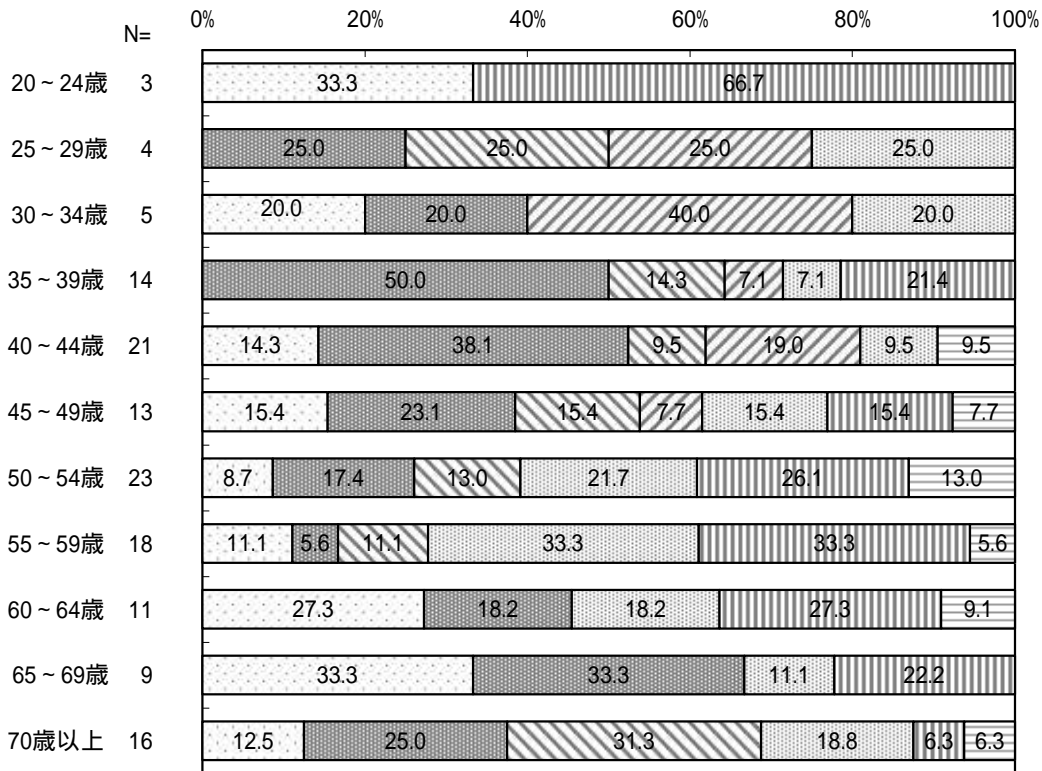
問 14-2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。
今のところ設置していない理由は何ですか。(1つに)

「設置費用負担が大きい」の割合が最も高く24.6%、次いで「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」が17.4%となっています。



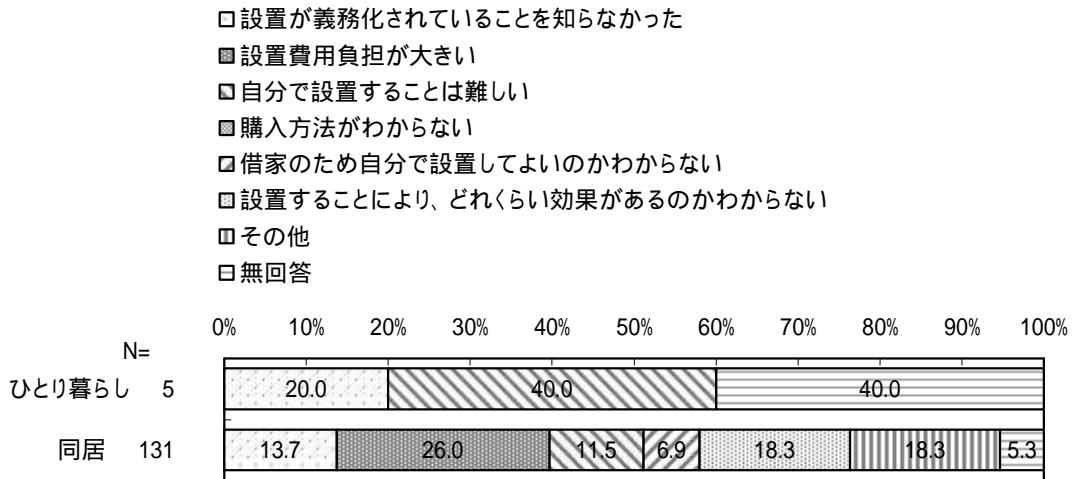
【年代別】

年代別で見ると、35～39歳で「設置費用負担が大きい」が5割、30～34歳で「借家のため自分で設置してよいのかわからない」が4割と高くなっています。



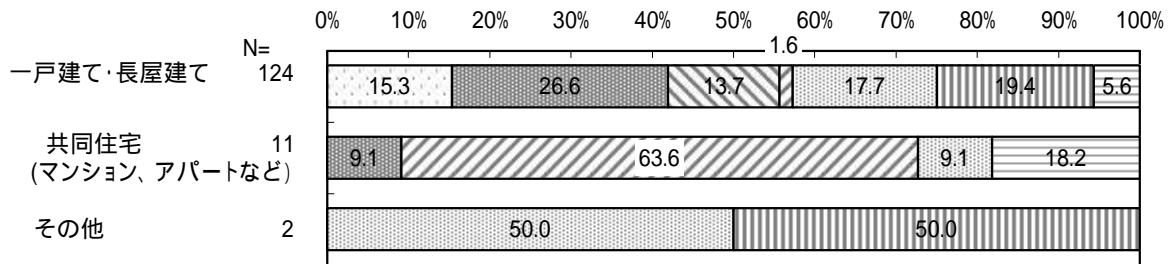
【同居別】

同居別でみると、ひとり暮らし世帯に比べ、同居世帯で「設置費用負担が大きい」「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が高くなっています。



【住居の形態別】

住居の形態別でみると、共同住宅で「借家のため自分で設置してよいのかわからない」が最も高く6割以上を占めています。



参考資料

1 追加クロス集計

問3 ご自分の健康について、心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(1つに)

健康についての相談ができる人や場所がある人は健康度が高い。

問3×問5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
はい	31	285	66	6	1	389	0.72
	8.0%	73.3%	17.0%	1.5%	0.3%	100.0%	
	83.8%	80.3%	64.1%	42.9%	20.0%	75.7%	
いいえ	6	65	36	8	1	116	0.35
	5.2%	56.0%	31.0%	6.9%	0.9%	100.0%	
	16.2%	18.3%	35.0%	57.1%	20.0%	22.6%	
無回答	0	5	1	0	3	9	0.44
	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%	33.3%	100.0%	
	0.0%	1.4%	1.0%	0.0%	60.0%	1.8%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

大いに健康×2
 まあまあ健康×1
 あまり健康でない×-1

 健康度:上記に示すように
 点数化したもの

問4 日常的な診療だけでなくご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」をもっていますか。(1つに)

「かかりつけ医」を持っていない人は健康状態についての関心も薄い。

問4×問5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
はい	20	190	57	4	1	272	0.64
	7.4%	69.9%	21.0%	1.5%	0.4%	100.0%	
	54.1%	53.5%	55.3%	28.6%	20.0%	52.9%	
いいえ	16	162	45	10	1	234	0.64
	6.8%	69.2%	19.2%	4.3%	0.4%	100.0%	
	43.2%	45.6%	43.7%	71.4%	20.0%	45.5%	
無回答	1	3	1	0	3	8	0.50
	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%	100.0%	
	2.7%	0.8%	1.0%	0.0%	60.0%	1.6%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問7 あなたは、この1年間でスポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をどれくらいの頻度で行いましたか（1つに ）

「ほとんど運動やスポーツをしていない」人は健康度が最も低い。日頃から運動をしている人は健康度が高い傾向にある。

問7×問5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
ほぼ毎日 (週に6-7日)	4	23	1	0	0	28	1.07
	14.3%	82.1%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
	10.8%	6.5%	1.0%	0.0%	0.0%	5.4%	
週に4-5日	4	37	6	1	0	48	0.81
	8.3%	77.1%	12.5%	2.1%	0.0%	100.0%	
	10.8%	10.4%	5.8%	7.1%	0.0%	9.3%	
週に2-3日	10	50	10	2	1	73	0.82
	13.7%	68.5%	13.7%	2.7%	1.4%	100.0%	
	27.0%	14.1%	9.7%	14.3%	20.0%	14.2%	
週に1回	7	50	12	0	0	69	0.75
	10.1%	72.5%	17.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
	18.9%	14.1%	11.7%	0.0%	0.0%	13.4%	
月に1回以上	3	63	16	3	1	86	0.62
	3.5%	73.3%	18.6%	3.5%	1.2%	100.0%	
	8.1%	17.7%	15.5%	21.4%	20.0%	16.7%	
年に1回以上	2	26	4	0	0	32	0.81
	6.3%	81.3%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
	5.4%	7.3%	3.9%	0.0%	0.0%	6.2%	
ほとんどスポーツや運動をしていない	7	106	54	8	0	175	0.38
	4.0%	60.6%	30.9%	4.6%	0.0%	100.0%	
	18.9%	29.9%	52.4%	57.1%	0.0%	34.0%	
無回答	0	0	0	0	3	3	0.00
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.6%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問8 習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができていると感じますか？

健康を保つことができていると感じる、運動をする頻度は週に2~3日が最も多く、次いで月に1回以上。

問8×問7

スポーツや運動の頻度	ほぼ毎日 (週に6-7日)	週に4-5回	週に2-3日	週に1回	月に1回以上	年に1回以上	ほとんどスポーツや運動をしていない	無回答	総計
はい	25	38	54	46	52	19	66	0	300
	8.3%	12.7%	18.0%	15.3%	17.3%	6.3%	22.0%	0.0%	100.0%
	89.3%	79.2%	74.0%	66.7%	60.5%	59.4%	37.7%	0.0%	58.4%
いいえ	3	9	17	22	33	12	92	0	188
	1.6%	4.8%	9.0%	11.7%	17.6%	6.4%	48.9%	0.0%	100.0%
	10.7%	18.8%	23.3%	31.9%	38.4%	37.5%	52.6%	0.0%	36.6%
無回答	0	1	2	1	1	1	17	3	26
	0.0%	3.8%	7.7%	3.8%	3.8%	3.8%	65.4%	11.5%	100.0%
	0.0%	2.1%	2.7%	1.4%	1.2%	3.1%	9.7%	100.0%	5.1%
総計	28	48	73	69	86	32	175	3	514
	5.4%	9.3%	14.2%	13.4%	16.7%	6.2%	34.0%	0.6%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問9 あなたがスポーツや運動を行う目的は何ですか。(はいくつでも)

体力に自信のある人のスポーツや運動を行う目的は、「健康・体力づくり」が最も高く、次いで「楽しみ・気晴らし」となっている。

問9×問6

スポーツを行う目的	自信がある	普通である	不安がある	わからない	無回答	総計
健康・体力づくり	24	184	93	3	0	304
	7.9%	60.5%	30.6%	1.0%	0.0%	100.0%
	34.6%	25.2%	30.4%	19.9%	0.0%	59.1%
楽しみ・気晴らし	17	160	54	4	0	235
	7.2%	68.1%	23.0%	1.7%	0.0%	100.0%
	24.5%	21.9%	17.6%	26.5%	0.0%	45.7%
運動不足解消	10	155	71	4	0	240
	4.2%	64.6%	29.6%	1.7%	0.0%	100.0%
	14.4%	21.2%	23.2%	26.5%	0.0%	46.7%
自分の記録や能力の向上	3	21	4	0	0	28
	10.7%	75.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	4.3%	2.9%	1.3%	0.0%	0.0%	5.4%
友人や仲間との交流	9	102	28	1		140
	6.4%	72.9%	20.0%	0.7%	0.0%	100.0%
	13.0%	13.9%	9.1%	6.6%	0.0%	27.2%
家族とのふれあい	2	30	12	1		45
	4.4%	66.7%	26.7%	2.2%	0.0%	100.0%
	2.9%	4.1%	3.9%	6.6%	0.0%	8.8%
美容・ダイエット	4	65	35	2		106
	3.8%	61.3%	33.0%	1.9%	0.0%	100.0%
	5.8%	8.9%	11.4%	13.3%	0.0%	20.6%
その他	0	8	7	0	0	15
	0.0%	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%	0.0%	2.9%
無回答	0	1	0	0	3	4
	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	100.0%
	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.8%
総計	69	731	306	15	3	514
	13.5%	142.3%	59.6%	2.9%	0.6%	100.0%
	99.4%	99.3%	99.3%	99.4%	100.0%	100.0%

問13 お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。

火災警報器を設置しているうち、7割は平成18年5月以前に建てられた住宅。

問13×問12

警報機の設置の有無	平成18年5月以前	平成18年6月以降	わからない	無回答	総計
設置している	198	52	33	0	283
	70.0%	18.4%	11.7%	0.0%	100.0%
	50.8%	76.5%	66.0%	0.0%	55.1%
一部設置している	53	9	2	0	64
	82.8%	14.1%	3.1%	0.0%	100.0%
	13.6%	13.2%	4.0%	0.0%	12.5%
設置していない	124	4	9	1	138
	89.9%	2.9%	6.5%	0.7%	100.0%
	31.8%	5.9%	18.0%	16.7%	26.8%
わからない	12	3	5	0	20
	60.0%	15.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	3.1%	4.4%	10.0%	0.0%	3.9%
無回答	3	0	1	5	9
	33.3%	0.0%	11.1%	55.6%	100.0%
	0.8%	0.0%	2.0%	83.3%	1.8%
総計	390	68	50	6	514
	75.9%	13.2%	9.7%	1.2%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 1-ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境

「必要な時に医療が受けられる環境」に満足している人は健康度が高い傾向にある。

問 1 ア満足度×問 5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
満足	9	58	12	2	0	81	0.79
	11.1%	71.6%	14.8%	2.5%	0.0%	100.0%	
	24.3%	16.3%	11.7%	14.3%	0.0%	15.8%	
やや満足	10	70	19	3	0	102	0.70
	9.8%	68.6%	18.6%	2.9%	0.0%	100.0%	
	27.0%	19.7%	18.4%	21.4%	0.0%	19.8%	
普通	9	149	38	4	1	201	0.64
	4.5%	74.1%	18.9%	2.0%	0.5%	100.0%	
	24.3%	42.0%	36.9%	28.6%	20.0%	39.1%	
やや普通	5	49	24	3	3	84	0.42
	6.0%	58.3%	28.6%	3.6%	3.6%	100.0%	
	13.5%	13.8%	23.3%	21.4%	60.0%	16.3%	
不満	3	23	10	1	1	38	0.50
	7.9%	60.5%	26.3%	2.6%	2.6%	100.0%	
	8.1%	6.5%	9.7%	7.1%	20.0%	7.4%	
無回答	1	6	0	1	0	8	1.00
	12.5%	75.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	
	2.7%	1.7%	0.0%	7.1%	0.0%	1.6%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

「必要な時に適切な医療が受けられる環境」を重要視していない人は健康度が低い。

問 1 ア重要度×問 5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
とても重要	24	215	65	7	4	315	0.63
	7.6%	68.3%	20.6%	2.2%	1.3%	100.0%	
	64.9%	60.6%	63.1%	50.0%	80.0%	61.3%	
重要	8	106	27	6	1	148	0.64
	5.4%	71.6%	18.2%	4.1%	0.7%	100.0%	
	21.6%	29.9%	26.2%	42.9%	20.0%	28.8%	
それほどでもない	0	1	4	0	0	5	-0.60
	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	0.0%	0.3%	3.9%	0.0%	0.0%	1.0%	
無回答	5	33	7	1		46	0.78
	10.9%	71.7%	15.2%	2.2%	0.0%	100.0%	
	13.5%	9.3%	6.8%	7.1%	0.0%	8.9%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問2-ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

「健康づくりプログラム」の充実感の満足度が高い人は健康度も高めの傾向にある。

問2ア満足度×問5

健康状態	大いに健康	まあまあ健康	あまり健康でない	わからない	無回答	総計	健康度
満足	1	15	3			19	0.74
	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	2.7%	4.2%	2.9%	0.0%	0.0%	3.7%	
やや満足	7	37	7	1		52	0.85
	13.5%	71.2%	13.5%	1.9%	0.0%	100.0%	
	18.9%	10.4%	6.8%	7.1%	0.0%	10.1%	
普通	24	253	72	9	5	363	0.63
	6.6%	69.7%	19.8%	2.5%	1.4%	100.0%	
	64.9%	71.3%	69.9%	64.3%	100.0%	70.6%	
やや普通	3	31	12	2		48	0.52
	6.3%	64.6%	25.0%	4.2%	0.0%	100.0%	
	8.1%	8.7%	11.7%	14.3%	0.0%	9.3%	
不満	0	10	4	0	0	14	0.43
	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
	0.0%	2.8%	3.9%	0.0%	0.0%	2.7%	
無回答	2	9	5	2	0	18	0.44
	11.1%	50.0%	27.8%	11.1%	0.0%	100.0%	
	5.4%	2.5%	4.9%	14.3%	0.0%	3.5%	
総計	37	355	103	14	5	514	0.63
	7.2%	69.1%	20.0%	2.7%	1.0%	100.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問2-エ 安心して子育てができる環境の充実

一番上の子どもの年齢が低い方が比較的満足度の高い傾向にある。

問2エ×F3-2	一番上の子が小学校入学前	一番上の子が小学校在学中	一番上の子が中学校・高校在学中	一番上の子が大学・大学院各種学校在学中	一番上の子が学校を卒業	無回答	総計
満足	5	5	1	0	4	5	20
	25.0%	25.0%	5.0%	0.0%	20.0%	25.0%	100.0%
	11.9%	8.5%	2.4%	0.0%	4.4%	1.9%	3.9%
やや満足	8	13	7	2	15	27	72
	11.1%	18.1%	9.7%	2.8%	20.8%	37.5%	100.0%
	19.0%	22.0%	17.1%	14.3%	16.5%	10.2%	14.0%
普通	18	23	22	8	58	176	305
	5.9%	7.5%	7.2%	2.6%	19.0%	57.7%	100.0%
	42.9%	39.0%	53.7%	57.1%	63.7%	66.2%	59.5%
やや普通	7	14	8	1	12	26	68
	10.3%	20.6%	11.8%	1.5%	17.6%	38.2%	100.0%
	16.7%	23.7%	19.5%	7.1%	13.2%	9.8%	13.3%
不満	3	4	2	1		10	20
	15.0%	20.0%	10.0%	5.0%	0.0%	50.0%	100.0%
	7.1%	6.8%	4.9%	7.1%	0.0%	3.8%	3.9%
無回答	1		1	2	2	22	28
	3.6%	0.0%	3.6%	7.1%	7.1%	78.6%	100.0%
	2.4%	0.0%	2.4%	14.3%	2.2%	8.3%	5.5%
総計	42	59	41	14	91	266	513
	8.2%	11.5%	8.0%	2.7%	17.7%	51.9%	100.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

まちづくりにあなただの声を！

裾野市民意識調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、上様より裾野市政に差別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、将来の都市像「みんなの元気と調和でつくる暮らし都市」の実現に向けて各種の施策を進めております。

このたび、市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりをめざして、「裾野市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000の方に回答をお願いいたします。

なお、この調査は無記名で回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご多に中誠に恐れ入りますが、調査の趣意をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

ご記入後は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**9月25日（日）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

平成23年 9月
裾野市長 大橋 俊二

調査票 記入上の注意

- 1 宛名のご本人がご回答ください。
- 2 ご記入は、えんぴつまたは黒のボールペンをお使いください。
- 3 ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
- 4 「その他（ ）」の場合には、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的に記入ください。
- 5 調査票の最後にある記入式回答の には、直接ご記入ください。
- 6 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについては、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。
裾野市企画部企画政策課 電話 995-1804

裾野市市民意識調査アンケート 調査票

（それぞれの設問ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。）

1 お住まいの周辺環境についてお伺いします

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境について、感じていることをお答えください。

施策	満足度・重要度				
	1	2	3	4	5
ア 必要な時に適切な医療が受けられる環境	満	足	適	満	満
イ 近隣市町が共に支えあえる地域福祉	1	2	3	4	5
ウ 区などが実施する地域コミュニティ活動（健康化理、地域訪問等）への参加のしやすさ	1	2	3	4	5
エ 地震災害に強いまちづくり	1	2	3	4	5
オ 犯罪のおきにくい安心なまちづくり	1	2	3	4	5
カ 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み	1	2	3	4	5
キ トラルクのない、安全で豊かな消費生活	1	2	3	4	5
ク 不安のない消防体制と救急体制の充実	1	2	3	4	5
ケ 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5
コ 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	1	2	3	4	5
サ 道路網の便りさや歩道の整備状況	1	2	3	4	5
シ 鉄道やバスの便りさ	1	2	3	4	5
ス まちなみや自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5
セ 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、メール、Webなど）展開	1	2	3	4	5
ソ 空気が河川の水のきれいさ	1	2	3	4	5
タ 「野鳥のささ」、草花のみの少なさ	1	2	3	4	5
チ 身近にすんでいる外国人とのトラルクの少なさ	1	2	3	4	5
ツ 河川や水路の整備状況	1	2	3	4	5
テ 「近くで買い物ができる」「家の回りが静かである」など、まちの環境の快適さ	1	2	3	4	5

2 裾野市の取り組みについてお伺いします

問2 裾野市行政の取り組みについて、感じていることをお答えください。

施策	満足度・重要度				
	1	2	3	4	5
ア 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	満	足	適	満	満
イ 市が行う「高齢者に対する講座」の充実感	1	2	3	4	5
ウ 障がいのある人の社会参加と自立	1	2	3	4	5
エ 安心して子育てができる環境の充実	1	2	3	4	5
オ 小・中学校の「学カの育成」や「人間の育成」についての取り組み	1	2	3	4	5
カ 市が行う「生涯学習プログラム」の充実感	1	2	3	4	5
キ 次世代を担う若者への育成	1	2	3	4	5
ク スポーツを通じた生活を営む環境の整備	1	2	3	4	5
ケ 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	1	2	3	4	5
コ 市民が関わることのできるまちづくり	1	2	3	4	5
ク わかりやすく、迅速丁寧な窓口対応	1	2	3	4	5
シ 日常生活や職場での「差別に関わらない平等な環境」	1	2	3	4	5
ス こみの不法投棄や公営への対策	1	2	3	4	5
セ リイクルやごみの減量作等の環境に配慮した取り組み	1	2	3	4	5
ソ 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5
タ 市内の土地利用のバランスの良さ	1	2	3	4	5
チ 豊かで良質な水通水の確保	1	2	3	4	5
ツ 衛生的で快適な下水道の整備状況	1	2	3	4	5
テ 工業系中心とした産業の活性化	1	2	3	4	5
ト 農地利用や農業の活性化を目標とした、農業者の推進	1	2	3	4	5
ナ にぎわいのある商業街づくりと、それぞれのブランドの活用推進	1	2	3	4	5
ー 新たな観光資源の創出と観光振興の発信	1	2	3	4	5
ヌ 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「信頼の置」	1	2	3	4	5
ネ 市の「子育ての便り」や「対面の早さ」など、行政運営の効率化	1	2	3	4	5
ノ 市職員に仕事や地域活動に任せられる、職員の高橋	1	2	3	4	5
ハ 近隣市町との交流などの広域連携の促進	1	2	3	4	5
ヒ 市の取組全体について、どの程度満足していますか	1	2	3	4	5

3 健康について

- 問3 ご自分の健康について、心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(1つに○)
 1. はい 2. いいえ
- 問4 日常的な診療だけでなくご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」をもっていますか。(1つに○)
 1. はい 2. いいえ

4 スポーツ活動について

- 問5 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(1つに○)
 1. 大いに健康 2. まあまあ健康
 3. あまり健康ではない 4. わからない
- 問6 ご自分の体力についてどのように感じていますか。(1つに○)
 1. 自信がある 2. 普通である
 3. 不安がある 4. わからない
- 問7 この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(1つに○)
 1. ほぼ毎日(週に6~7回) 2. 週に4~5回
 3. 週に2~3回 4. 週に1回
 5. 月に1回以上 6. 年に1回以上
 7. ほとんどスポーツや運動をしていない
- 問8 習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができていると感じますか?
 1. はい 2. いいえ
- 問9 あなたがスポーツや運動を行う目的は何ですか。(○はいくつでも)
 1. 健康・体づくり 2. 楽しみ・気分直し
 3. 運動不足解消 4. 自分の記録や能力の向上
 5. 友人や仲間との交流 6. 家族とのふれあい
 7. 美容・ダイエット 8. その他()
- 問10 ふだん利用するスポーツ施設は次のどれですか。(○はいくつでも)
 1. 市内の公共スポーツ施設 2. 市内小・中学校の体育館・グラウンド
 3. 市内の民間スポーツ施設 4. 市外のスポーツ施設
 5. その他()
 6. スポーツ施設は利用していない

問11 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由はありませんか。(○はいくつでも)

1. 仕事などで忙しく時間が無い 2. 病気、高齢など身体的な理由
 3. 場所や施設が近くにない 4. 施設や教室の利用時間が合わない
 5. 一緒にする仲間がいない 6. 指導者がいない
 7. お金がかかる 8. はじめのきっかけがない
 9. スポーツに関する情報が無い 10. 苦手、嫌い、興味がない
 11. その他() 12. 特に理由はない

5 住用火災警報器について

- 問12 お住まいの住宅が建てられた時期はいつですか。(1つに○)
 1. 平成18年5月以前 2. 平成18年6月以降
 3. わからない
- 問13 平成21年6月1日より、お住まいの住宅では、①寝室 ②階段(寝室が2階以上の階にある場合)に住用火災警報器の設置が義務づけられています。
 お住まいの住宅には、義務となる場所に住用火災警報器が設置されていますか。(1つに○)
 1. 設置している } → 問14-1へ
 2. 一部設置している } → 問14-2へ
 3. 設置していない } → 次のページへ
 4. わからない
- 問14-1 どのような経緯で設置に至りましたか。(1つに○)
 1. 自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)
 2. 新築購入時に設置されていた
 3. 家主が設置した
 4. 管理者(管理組合・管理会社)が設置した
 5. わからない(入居時、既に設置してあった)
 6. その他()
- 問14-2 今のところ設置していない理由は何ですか。(1つに○)
 1. 設置が義務化されていることを知らなかった
 2. 設置費用負担が大き
 3. 自分で設置することは難しい
 4. 購入方法がわからない
 5. 借家のため自分で設置してよいかわからない(管理者が付けてくれない)
 6. 設置することにより、どれくらい効果があるかわからない
 7. その他()

裾野市市民意識調査
報 告 書

平成 24 年 2 月 発行

裾野市 企画部 企画政策課

〒410-1192

静岡県裾野市佐野 1059 番地

T E L 055-995-1804

F A X 055-995-1861